

1 : 25



年 國 五

次 二 第

米 順 在 調 郎 三 七 九 七

庫 文 閣 内			
函	三 七 九 七	和 書	類
架	一 冊	號	

調 査 調 房 官 料 鑑 灣 臺

石 刊 學 士 正 次

第一卷
 臺灣總督府調查課

內閣文庫			
函	三七九九七	和	書
架	一冊	號	類



臺灣總督府調查課

大正七年刊



358
37997
210

第二次臨時臺灣戶口調査顛末ノ編纂成ル
茲ニ謹テ閣下ニ呈ス

大正七年三月

總督官房臨時戶口調査部長 下村 宏

臺灣總督 男爵安東貞美殿

大 正 四 年

次二第

末顛查調口戶灣臺時臨



臺灣總督官房調查課

大正七年刊行

凡例

- 一 本行ノ目的ハ大正四年十一月一日施行ノ第二次臨時戸口調査ニ關スル顛末ヲ敘述シ
本調査ノ經過ヲ示シ、以テ今後ノ計畫施設ニ資セムトスルニ在リ
- 二 既ニ報告書類ニ所載ノ事項ト重複ノモノハ力メテ之ヲ省略シタリト雖首尾一貫ヲ要
スルモノハ復之ヲ收録セリ
- 三 本編ノ編纂ハ専ラ屬福田眞麿之ニ任シ主事心得水科七三郎之ヲ校閲セリ

目次

第一章 總敘	一
第二節 第二次調査ノ必要	一
第二節 調査施行ノ計畫	一
第一 要旨	二
第二 調査ノ主義	二
第三 調査ノ時	二
準備ノ時	二
調査事實ノ屬スル時	二
調査執行ノ時	三
第四 調査ノ地域	三
第五 調査事項	三
第六 調査組織	五
第七 調査機關	五
第二章 準備	六
第一節 第一期及第二期	六
第二節 準備事項	六

第一	統計講習會	六
第二	警察官及司獄官練習所ニ於ケル臨時戸口調査ノ講習	七
第三	戸口調査事務訓練會	七
第四	戸口調査簿ニ調査事項追加	一五
第五	統計局ト協商	二一
第六	臨時戸口調査諸規定	二一
	臨時戸口調査規則	二二
	臨時戸口調査事務取扱規程	二四
	臨時戸口調査監督委員及監督補助委員心得	二七
	臨時戸口調査調査委員心得	二八
	臨時戸口調査所帶票樣式及所帶票記入心得	三〇
第七	調査區劃及調査人員	四八
	普通調査區及特別調査區	四九
	調査人員	五〇
第八	印刷物	五八
第九	視察及監督	五九
第十	地方廳ノ準備	六〇

第三章	實查	六〇
	應トシテノ準備	六〇
	委員部トシテノ準備	六〇
	實查ノ時	六二
	實查ノ要項	六二
	實查ノ方法	六二
	被調査者ノ實況	六二
	障礙及制裁	六三
	實查ノ進程	六四
第四章	整理	六五
	要旨	六五
	所帶票及要計表ノ提出及受理	六五
	訂正	六七
	地方委員長ノ報告	六八
第五章	檢査	八五
	所帶票ノ檢査	八五
	要計表ノ檢査	八七
	爾他諸表ノ檢査	八七

所帶票及要計表檢查手續	八八
爾他諸表ノ檢查要項	一一二
第六章 製表	一一三
第一節 小票作成	一一三
第一 單名票	一一三
第二 所帶單位票	一一五
第三 所帶票略符記入心得及寫字生規程	一一七
第二節 統計表調製	一二五
第一 概覽表	一二五
調製順序	一二五
樣式	一二〇
第二 集計原表	一二四
調製順序	一二四
樣式	一六三
第三 結果表	一二〇
第四 比較表	一〇一
前回比較	一〇一
附錄表	一〇二

第七章 記述

要旨

第八章 調查機關

第一節 中央機關(臨時戶口調查部)

第一 組織

分課規程

各掛事務規程

第二 職員

第二節 地方機關(地方委員部)

第一 委員部

第二 主ナル職員

第九章 參加章

第十章 經費

戶口調查費

旅費支給規程

第十一章

褒賞

各委員

區長及保正

部員其ノ他

三六四

第十二章 執務時間

三六五

第十三章 出版公布

三六七

第二次臨時戸口調査顛末

第一章 總 敘

第一節 第二次調査ノ必要

統計史ヲ案スルニ歐米列強ニ於テ一タヒ定期センサスヲ決行スルヤ中途ニシテ之ヲ廢止シタルノ實例ヲ見ス故ニ本島ニ於テ難ニ第一次ノ調査ヲ實施シタル以上ハ第二次以後ノ調査ヲ定期ニ繼續施行スヘキハ既ニ自明ノ理ナリ殊ニ本島ニ於ケル第一次調査ノ一部ハ殆ト基礎材料ノ提供ニ過キサルモノアルヲ以テ是等ハ勿論其ノ他ノ一部ト雖第二次以後ノ分ト比較對照シテ始メテ其ノ價值ヲ發揮スルニ至ルヘシ若第二次以後ノ調査ヲ施行セサルトキハ第一次調査ニ對スル效果ノ一半ハ全ク水泡ニ歸スルノ虞アルノミナラス近ク十年間ニ於ケル本島社會的狀態即チ民志的及經濟的方面ノ變遷ヲ統計的ニ表章研究スルヲ得サルノミナラス他年何レノ日カ國勢調査實行ノ曉ニ至リテ第一次ト第二次トノ間隔餘リニ大ナルトキハ其ノ間時ノ推移ニ因ル變遷ヲ探討スルニ其ノ不利多大ナルモノアリト雖後年ニ至リテハ亦之ヲ如何トモスル能ハス是レ大正四年ニ於テ第二次調査ノ執行ヲ必要ト爲シタル所以ナリ

第二節 調査施行ノ計畫

第一 要旨

明治三十八年ヲ以テ本島ニ執行シタル第一次臨時戸口調査ハ東洋ニ於テ最新ノ近世の國勢調査ヲ實行シタル嚆矢ナリ而シテ大正四年ハ正ニ其ノ十年ニ相當スルヲ以テ各國國勢調査ノ歴史及目的ヨリ言ヘハ第二次調査ヲ執行スヘキ定期タリ然レトモ本邦ニ於テハ前例ナキ事ニシテ之ヲ如何ニ決スヘキヤハ一ノ懸案タリシモ當府ハ前節ノ理由ニ因リ終ニ決行スヘキモノト斷シ之カ施行ニ關シテハ大體ニ於テ第一次調査ト同一方針ヲ以テスルモ時世ノ變遷ニ伴ヒ更新ヲ要スルモノハ之ニ適應スル施設ヲ爲スコトトセリ其ノ要項左ノ如シ

第二 調査ノ主義

由來國勢調査ニハ自計主義ト他計主義トアリ而シテ第二次調査ニ於テハ尙他計主義ヲ採ラムトス是レ本島人現下ノ民度ニ照シテ適當ノ方法ト認ムルヲ以テナリ

第三 調査ノ時

準備ノ時 準備ノ整否ハ實查ノ正否ニ關スルコト大ナルヲ以テ大正三年度ヨリ之ニ要スル講習諸立案其ノ他調査上ニ關スル諸般ノ準備ニ著手シ實查ニ際シ遺憾ナカラシメムトス調査事實ノ屬スル時 大正四年十月一日午前零時トス蓋シ統計上靜態調査ニハ或一定ノ時限ヲ要ス故ニ第二次調査ニモ一定ノ時點ヲ要スルハ自明ノ理ニシテ第一次調査調査事實ノ屬スル時ノ明治三十八年十月一日午前零時タリシト此ノ時ハ本島ニ於テ天時人事共ニ靜態

調査ヲ爲スニ最支障少キ時タルト他年母國ニ於テ國勢調査ヲ執行セムトスルニ方リテモ亦十月一日午前零時ヲ採ラムトスル國勢調査準備委員會ノ決議ニ見テ上記ノ時ヲ以テ至當トス

調査執行ノ時 大正四年十月一日ヨリ同三日ニ至ル三日間トス尤モ調査執行ノ時ハ可及的短期ナルヲ可トスレトモ本島現下ノ事情ニ鑑ミ三日間ノ執行期ヲ與フルハ止ムヲ得サル所トス

第四 調査ノ地域

調査ノ地域ハ大正四年十月一日ニ於ケル行政區域内ニ限リ蕃地ニ於ケル蕃人ヲ除外セムトス何トナレハ蕃地ニ於ケル蕃人ノ調査ハ未精確ヲ期シ難キノミナラス地域廣漠人口稀疎ニシテ勞費ノ結果ト相償ハサルノ虞アルヲ以テナリ

第五 調査事項

第一次調査ト比較スルノ必要アルト調査ノ結果ヲ民志的經濟的一般的地方的各方面ヨリ觀察スルノ必要アルトニ依リ左記ノ事項ヲ調査セムトス

- 一 氏 名
- 二 所帯主トノ続柄又ハ所帯主若ハ所帯トノ關係
- 三 種 族
- 四 男女ノ別

- 五 出生ノ年月日
- 六 緣事上ノ身分
- 七 本業名
- 八 本業ノ地位
- 九 副業名
- 一〇 副業ノ地位
- 一一 常用語
- 一二 常用以外ノ語
- 一三 讀ミ書キノ程度
- 一四 不具ノ種類(聾啞、盲、白痴及癲癩ニ限ル)
- 一五 不具ノ原因
- 一六 阿片烟吸食者
- 一七 纏足者
- 一八 出生地(内地人ニ限ル)
- 一九 本籍(内地人ニ限ル)
- 二〇 國籍(外國人ニ限ル)
- 二一 渡臺ノ年(内地人ニ限ル)
- 二二 常住地(一時現在者ニ限ル)

前項ノ現在者ニアラサルモ常住者ト認ムヘキ者ニ付テハ氏名及男女ノ別ヲ調査シ其ノ所帶主ニ付テハ仍職業名及其ノ地位ヲ調査ス又所帶主ニ限リ現在者ナルト現在者ニアラサル常住者ナルトヲ問ハス住家ノ有様(土地及家屋ノ所有關係例之ハ持地持家借地借家ノ類)ヲ調査ス

此ノ他調査手續上ノ必要事項トシテ縣名監督區番號調查區番號住家番號所帶番號所在地共準所帶ノ種類及名稱調查委員ノ官職氏名等ヲ所帶票ニ記入セシメムトス

第六 調査組織

近世ニ於ケル統計調査組織ノ一大進歩タル中央集査法ニ依リテ調査ノ結果ヲ編成公表セムトス

第七 調査機關

調査事業ヲ遂行スルニ適應セシムヘク中央部既設機關ヲ擴張スルト同時ニ地方部其ノ他下級機關ヲ以テ補助ト爲シ上下系統的ニ一貫シテ命令監督共ニ一途ニ出テ一絲亂レス敏活ニ簡捷ニ調査ヲ完結セムト欲ス

第二章 準備

第一節 第一期及第二期

準備時代ハ之ヲ第一期及第二期ニ分ツ而シテ第二次調査ノ準備ニ關シテハ第一次調査ノ事業完成後間モナク計畫スル所アリタリト雖之カ執行ニ關シテハ府議未決セス著々其ノ歩ヲ進メタルハ大正二年七月以降ニシテ爾後大正三年六月臨時戸口調査部規程發布迄ヲ第一期(統計課時代)トシ之ヨリ大正四年九月三十日マテヲ第二期(調査部時代)トス然レトモ事兩期ニ跨リ相關聯スルモノアリ故ニ或ハ年次ニ依リ或ハ事項ノ類集ニ依リテ之ヲ略述セムトス

第二節 準備事項

第一 統計講習會

當府ニ於ケル統計講習會ハ明治四十二年一月第六回開催以後之ヲ續行スルノ時機ナク大正三年ニ至レリ然ルニ多年ノ懸案タリシ第二次調査ノ執行確定スルヤ特ニ地方ニ在リテハ該調査ニ從事セシムル者ニ對シ一般統計及臨時戸口調査ニ關スル智識ヲ普及スルノ必要アルモ當府ノ統計講習會ニハ其ノ講習人員ニ限リアリテ一時ニ多數ノ者ヲ講習スルコト能ハサルノミナラス地方廳ニ於テモ多數ノ講習員ヲ派出スルコト不可能ナルヲ以テ各廳ヲシテ臨時統計講習會ヲ開催セシメ講師ハ當府ヨリ之ヲ派遣シテ講習上ノ便宜ヲ與ヘタリ左ニ其ノ開催ノ地方會期及講習員ヲ示サム

地方廳統計講習會

廳	會期	講習員	廳	會期	講習員
花蓮港	自大正三年七月二十八日 至同年八月十一日	二二	桃園	自大正三年七月二十八日 至同年八月五日	三九
澎湖	自同年八月八日 至同年八月二十二日	三一	臺南	自同年十月十一日 至同年十月二十二日	五六
彰化	自同年九月二十五日 至同年十月十五日	四八	嘉義	自同年十二月五日 至同年十二月十八日	四七
南投	自同年十一月二十七日 至同年十二月九日	三三	北港	自同年一月二十六日 至同年二月六日	七二
南投	自同年二月十七日 至同年三月二日	二六	新竹	自同年三月十一日 至同年三月二十二日	五一
宜蘭	自同年五月十七日 至同年六月八日	五六	臺東	自同年三月十一日 至同年三月二十二日	三四

講習員中ニハ傍聴員、聴講員ヲ含ム

第二 警察官及司獄官練習所ニ於ケル臨時

戸口調査ノ講習

臨時戸口調査ト警察官トハ密接ノ關係アルヲ以テ大正三年九月卒業スヘキ警察官及司獄官練習所甲科生及乙科生ニ對シ大正三年八月二十三日ヨリ同月二十七日マテ臨時戸口調査部職員ヲシテ第二次調査ニ關スル講習ヲ爲サシメタリ

第三 戸口調査事務訓練會

大正四年七月各廳ヨリ統計主務、保安係長及戸口主務各一名但シ保安係長兼戸口主務ノ者ハ

之ヲ一名トセリ。税關醫院及監獄ヨリ各一名ノ吏員ヲ召集シテ第二次調査ニ關スル諸規定ノ講習及事務上ノ打合ヲ爲サシム蓋シ調査ノ統一ヲ期セムカ爲ナリ
右統一ヲ期セムカ爲主事水科七三郎ニ會長ヲ命シ一切ノ會務ヲ處理セシメ且臨時戸口調査ニ關スル説明及答辨ノ任ニ當ラシム開會ノ際民政長官内田嘉吉及臨時戸口調査部副部長廣瀬吉郎ノ訓示並閉會式ニ於ケル主事水科七三郎ノ告辭左ノ如シ

第二回臨時戸口調査事務訓練會開會式ニ於ケル訓示

民政長官 内田 嘉吉

今次特ニ諸氏ヲ召集シテ茲ニ第二回臨時戸口調査ニ關スル訓練會ヲ開キタルハ諸氏カ或ハ地方廳或ハ醫院或ハ監獄或ハ税關ノ幹部員トシテ本調査ニ關スル位置ヲ占メ入テハ幹部ノ補佐機關ト爲リ出テハ調査執行ノ機關ト爲ルノミナラス多數ノ調査者タル調査委員監督委員及監督補助委員ヲ訓練スルノ任務ヲ有スルカ爲ナリ
抑臨時戸口調査ハ世ノ所謂國勢調査ニシテ爲政治上經濟上其ノ他社會各種ノ方面ニ必須ニシテ諸般統計ノ基本タルハ敢テ多言ヲ要セサル所ナリ然レトモ之カ調査タルヤ社會組織ノ細胞タル戸口ニ對シテ一時ノ靜的狀態ヲ捕捉スルニ在ルカ故ニ多數ノ調査者ヲ要スルハ數ノ免レサル所ナリ隨テ其ノ多數調査者ノ意見ヲ一ニシテ調査ニ從事セサルヘカラサルノミナラス正直勤勉而モ敏活熱心ナルヲ要ス是レ本調査根本ノ材料タル單位觀察ヲ精確ニシ且其ノ結果ヲ完備セシムル所以ナリ故ニ空論ニ走ルコトナク放漫ニ流ルルコトナク慎重細心荷モ疑義ノ存スル所ハ能ク之ヲ質シ實行上ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス尙細目ノ要旨ハ本日副部長又ハ主事ヲシテ熟議セシムヘシ
思フニ本島ニ於テハ曩ニ第一回調査アリテ之カ成功ヲ告ケタルハ中外ノ等シク認ムル所ナリ今ヤ第二回調査ヲ施行スルニ際シ之カ調査ニ從事スル者ハ最善ノ方法ト努力トヲ以

テ更ニ好果ヲ獲ルニ努メサルヘカラス諸氏ノ職責亦重且大ナリト謂フヘシ本會ニ於テ諸氏克ク此ノ意ヲ體シ開催ノ目的ヲ達成セラレムコトヲ望ム

第二回臨時戸口調査事務訓練會開會式ニ於ケル訓示

臨時戸口調査部副部長 廣瀬 吉郎

今般第二次臨時戸口調査事務訓練會爲諸君ヲ召集セラレタルニ付テ本官モ命ニ依リ同調査ノ趣旨及方法ノ大要ニ關シ成ルヘク具體的ニ御話ヲ爲様ト思フ
申ス迄モナク臨時戸口調査ハ其ノ名ハ戸口調査テアルカ其ノ實ハ即チ國勢調査テアツテ只今長官閣下ノ御訓示ニモ有ツタ通り社會組織ノ細胞タル戸口ノ狀態ヲ一時ニ寫眞的ニ調査スルノテ歐米諸國テハ或ハ五年毎ニ或ハ十年毎ニ古クヨリ實施セラレテ居ルカ我日本ニテモ夙ニ其ノ必要ヲ認メ明治三十五年法律第四十九號ヲ以テ國勢調査法ヲ制定セラレ明治三十八年ヲ以テ其ノ第一回調査ヲ施行セララル等ナリシモ偶ニ露戰役ノ起ルアリテ果サス遂ニ無期延期ノ止ムナキニ至リ爾來今日ニ至ルモ未タ第一回施行ノ期ヲ知ル能ハサル有様テアルカ本島ハ新領土トシテノ必要上カラ内地ノ事情ニ頓著ナク明治三十八年ニ於テ第一回調査ヲ斷行セラレ爾後三年ノ日子ヲ費シテ結果ノ發表ヲ見ルニ至リ施政上學問上ニ貢獻スル所ノ多大ナリシコトハ諸君ノ記憶ニ新ナル所テアラウト思フ實ニ第一回ノ臨時戸口調査ハ土地ノ調査ト共ニ時ノ總督長官以下當路ノ各位カ心血ヲ凝カレタ所ノ大事業テアツタノテアル然ルニ本年ハ正ニ第一回施行ノ十年目ニ當ルノテ其ノ第二回調査ヲ施行シ調査ノ結果ヲ前回ノ調査ニ比較シテ人口ノ組立ハ斯ノ如ク異動シ社會上ノ關係ハ斯ノ如ク變化セリト云フコトヲ明ニシ以テ行政上或ハ學問上ノ斷定ヲ下シ進ミテハ其ノ原因ノ由來スル所ヲ窮メナクハナラヌノテ此ノ大體ノ方針ハ既ニ第一回施行ノ時ニ於テ確定シテ居タルヲ要スルニ本調査ノ如キ事業ハ單ニ一回限リノ施行ノミテハ其ノ實益比較的ニ少ク之ヲ二タヒシ三タヒスルニ於テ愈々效果ヲ擧クルコトカ出來ルノテ此ノ意味カラ言フタナラ今同ノ調査ハ前回ヨリモ必要ノ程度更ニ高キヲ加ヘタモノ

ト謂ハネハナラヌ
尙臨時戸口調査ハ動態調査ノ基礎ト爲ルモノテアル即チ臨時戸口調査ノ如キ大規模ノ事
業ハ年々ノ施行ヲ望ムヘカラサルカ故ニ次回ノ施行ニ至ル迄ノ間ハ動態調査ヲ行ヒ臨時
戸口調査ノ結果ヲ基礎トシテ靜態人口ヲ調査シ且ツ其ノ動態ヲモ調査スルノ組織テアツ
テ本島ニ於テモ明治三十八年ノ第一回臨時戸口調査施行以來此ノ方法ヲ採リ來ツタノテ
アル
前ニモ述タ通り國勢調査ハ或一定時ニ於ケル人口ノ現在ノ狀態ヲ短時間内ニ寫眞的ニ影
寫スルノテアツテ即チ本年十月一日午零時ニ於ケル本島全人口及所帶ノ狀態ヲ全島同
時ニ調査スルノテアル調査事實ノ屬スル時力縱令一定ノ時日テアツテモ之ヲ調査執行ス
ル時間ニシテ長キニ互ルニ於テハ其ノ真相ヲ捕捉スルニ足リナイカラ調査ノ時間ハ勉メ
テ短カイコトヲ要件トシ原則トシテハ十月一日中ニ調査ヲ完了スヘキ規定テアル隨テ多
數ノ從事員ヲ要シ通譯迄ヲ合算スレハ約八九千人ノ人員ヲ要スル豫定テアツテ此ノ多數
ノ人員力短時間内ニ一齊ニ調査ニ從事スルノテアルカラ各自ノ頭腦ヲ統一シテ打テ一丸
ト爲スヲ要スルノテアル荷モ意見ヲ異ニシ解釋ヲ區々ニスル様ナ事カアツタラ實ニ容易
ナラヌ次第テ即チ本會ヲ開催セラレタ大原因ハ此ノ點ニ存スルノテアル殊ニ事業本來ノ
性質力極メテ緻密ノ觀念ヲ必要トスルハカリテナク調査ノ事項ニ於テモ前回ニ比シテ聊
細密ヲ加ヘタ點カアルノテ諸君ハ十分ノ研究練磨ヲ重ネ任地ニ歸リテ各委員ヲ訓練スル
ニ當リテモ最モ此ノ點ニ意ヲ注キ百千人ノ心ヲシテ一人ノ心タラシムルノ覺悟ヲ要スル
ノテアル
次ニ調査ノ方法テアルカ元來歐米ニ行ハル國勢調査ノ方法ハ一ハ獨逸主義テアツテ被
調査者一人毎ニ單名票ヲ配布シテ置テ一人一人之ニ書込マセル他ノ一ハ英米諸國ニ行ハ
ル主義テ一所帶ヲ單位トシ所帶票ニ各人員ヲ連記セシメテ置テ集計事務ノ際ニ之ヲ單
名票ニ寫シ取ルノ方法テアル併シナカラ其ノ孰レテアツテモ被調査者自身ヲシテ自ラ調
査事項ノ記入ヲ爲サシムルノカ歐米諸國ノ常例テ之ヲ自計主義ト謂フノテアル然ルニ本

島ニ於テハ實際上ノ事情カ未タ此ノ自計主義ヲ採用スルニ適セナイカ爲已ムナク他計主
義ヲ採リ調査員ヲシテ尋問ノ上記入ヲ爲サシムル方法テアツテ又其ノ記入ハ英米流ノ所
帶票主義ニ依ルノテアル即チ調査委員ニ於テ被調査者ニ就キ一人毎ニ各事項ヲ尋問調査
シ之ヲ所帶票ニ記入スルノ制度ナルカ何分ニモ調査委員監督委員及監督補助委員ハ尙更
ノ大部分ハ内地人テアツテ被調査者ノ大部分タル本島人トノ間ニ種族習慣言語ヲ異ニス
ル所カラシテ縱令通譯ハ之ヲ附スルコトスルモ調査上困難或ハ誤謬ヲ生スル事アルヲ
免レナイノテアル加之他計主義ト云フ事ニナレハ調査ト記入トノ間ニ何等カ中段ノ手數
ヲ費サネハナラス様ニナルノハ免レナイ所テ是カ即チ本島ニ於ケル特別制度トシテ警察
行政上ニ於ケル戸口調査副簿ヲ本調査ノ基礎ト爲スニ至ツタ所以テアルカ此ノ制度ハ一
面ニ於テ非常ニ便利ナ制度テアルカ爲ニ調査ノ正確ヲ期スルコトカ出來ルト謂テ差支
ナイ位テアル即チ調査委員ハ調査ノ際戸口調査副簿ヲ携行シ其ノ記入ニ照シ合セテ各事
項ノ調査ヲ爲スノテアルカラ副簿ノ記入ニ誤謬モナク又記入後ニ異動モナイ限リハ其ノ
記入シテアル事實力直ニ調査ヲ遂ケ得タ事實トナルノテアル唯副簿ノ記入ニ誤謬カアル
カ又ハ記入後ニ異動カアツタ場合ニハ其ノ部分ニ附箋ヲ施シテ置テ尙十分ノ調査ヲ遂ケ
其ノ正確ナル方ヲ所帶票ニ記入スルコトニナルノテアルカ本來副簿ハ警察行政ノ目的ノ
下ニ編製セラレタモノテ臨時戸口調査ノ目的トハ必シモ合致スルモノテナイカラ臨時戸
口調査ニ於ケル調査事項ノ中テモ副簿ニ記載シテナイ事項力少カラヌノテアルソコ此
等ノ事項ニ對シテハ客年十一月特別ノ命令ヲ發セラレテ特ニ其ノ事項ノ調査ヲ爲シ其ノ
結果ハ一々特定様式ノ附箋ニ記入シテ之ヲ副簿ノ各人毎ニ貼附シテ在ルシ其ノ附箋ノ記
入方ニ付テモ前後三通達ヲ發セラレテ居ルノテアル此ノ事ハ警察系統ニ屬スル諸君ハ
勿論熟知ノ筈テアルカ之ニ付テモ種々ノ疑問力出テ居ルシ逐一回答ハ與ヘテアルカ尙疑
問ノ點モアルヘキコトト思ハレ又警察系統ニ屬シナイ諸君ハ此ノ附箋記入ノ事ニ付テハ
從來ハ關係ハナカッタカ今ヤ臨時戸口調査事務ノ範圍ニ屬スルニ至リタレハ此ノ好機ニ
於テ共ニ十分ノ研究アラント望ムノテアル

右述ヘタ通り本島ニ於ケル特別制度トシテ戸口調査副簿ヲ臨時戸口調査ノ基礎ト爲スノ
テアルカ臨時戸口調査ノ被調査者ハ戸口調査副簿ニ記載サレタ者ト同一テアルト言フノ
テハナイ即チ一面ニ於テハ副簿ニ記載サレタ者トモ出寄留其ノ他其ノ地ニ居所ヲ有シナ
イ者ハ其ノ地テハ調査シナイ代リニ又一面ニ於テハ副簿ニ記載シナイ者トモ其ノ地ニ居
所ヲ有スル以上ハ常住地カ内地ニ在ラウト外國ニ在ラウトハ其ノ現在地テ調査ス
ルノテ是レハ臨時戸口調査ノ目的物カ現在人口ニ在ルノ結果テアツテ此等ニ關スル詳細
ハ主事ヨリ十分説明スル所カアル答テアル
尙ホ本島ニ於ケル特別制度ト申スヘキハ調査ニ關スル委員ヲ官廳奉職者又ハ少クモ公
共團體職員ニ限ラレタ點テアル即チ監督補助委員ハ其區ノ受持巡査ニ限ルカラ之ハ無論
ノ事トシ監督委員及調査委員モ事務取扱規程ニ於テ總テ行政各官廳吏員學校職員公共團
體職員又ハ公營ノ中カラ選拔スヘク一私人カラ選拔スルコトヲ認メナイノテアル元來カ
ラ云フト國勢調査ノ事務ニ關係スルハ國民トシテノ名譽テモアリ又履歷ニ一光彩ヲ添
ヘルノテアルカラ歐米各國ニ於テハ勿論内地テノ豫定計畫テモ事情ニ通曉スル者ナラハ
一私人テモ之ヲ委員トスルノ方針テアルカノ様ニモ聞テ居ルシ又一面カラ言フトキハ適
當ナ委員ヲ得ルニハ一私人カラ之ヲ求ムルコトニセネハナラヌコトトハ思フカ本島
ニ於テ一私人ヲ除外サレタノハ種々事情モアルコトテアラウカ前段ニ述ヘタ戸口調査副
簿ヲ本調査ノ基礎ト定メラレタ點ニ職由スルノテアル何トナレハ本來警察行政上ノ必要
カラ出來テ居ル戸口調査副簿ニハ一私人ニ示スヘカラサル事項ヲモ記載シテ在ルカラ之
ヲ取扱ハセルニハ一私人ヲ非ナリトセラレタノテアルカラ各委員モ能ク其旨ヲ體シテ
漫リニ之ヲ他人ニ示ス様ナコトノナイ様ニ諸君ニ於テ能ク注意スヘキテアルソコテ右ノ
趣旨カラシテ委員ト爲ルヘキ者ノ範圍ヲ限定セラレ且ツ普通行政機關ノ系統ニ依ラヌ委
員長ノ下ニ監督委員監督補助委員アリ其下ニ調査委員アリトスル特別系統ヲ立テラレタ
ノテアルカラ之ヲ普通行政機關ノ系統ニ照シタナラハ其ノ地位相顛倒スル者モアラウシ
又全ク別異ノ系統ノ下ニ立ツ職員ト相伍シテ其ノ監督ヲ受ケタリ或ハ之ヲ監督スル等ノ

事實ヲ生スルノハ決シテ少カラヌ事ト思フカ是ハ事業ノ性質カラ生スル結果テアルカラ
虛心坦懷其ノ間ニ私心ヲ藏スルコトナク勤勉忠實ニ本調査ノ事務ニ従事スヘキハ敢テ本
官ノ言ヲ俟タナイ所テアルカ各官衙長官ニ對シテモ民政長官閣下カラ特ニ御通達モアツ
タ次第テアル年併委員トシテノ擔當區ハ成ルヘク本官本職トシテノ勤務地ニ近キヲ可
シ特別ノ事情ノナイ限リ遠隔地ヲ擔當サスル様ノコトナカシムルハ其ノ本來ノ職務上
及本調査上ヨリシテ共ニ緊要ノ事テアル是レハ地方廳ヨリ御出テノ諸君ニ申スノテアル
ソコテ地方廳ヨリ御出テノ諸君ハ單ニ本調査ノ調査事務ハカリテナク委員長ニ直屬シテ
種種雜多ノ事務ニ執掌セネハナラヌノテアル即チ此ノ訓練會ヲ終ツタ直ニ歸任セラレ
テ本月三十一日迄ニ調査區及監督區ノ區別ヲ制定シ其ノ所帶數及人口數ト共ニ之ヲ報告
セネハナラヌ同日迄ニ各委員及通譯ノ員數ヲ報告セネハナラヌ又八月三十一日迄ニ各委
員及通譯ニ辭令書ヲ交付シテ之ヲ報告セネハナラヌ尙同日迄ニ諸君ノ任務中最重要ナル
訓練指導ノ任ニ當ラネハナラヌノテアル夫レカラ準備調査ト爲リ實地調査ト爲ツテ所帶
票及要計表カ調査委員ノ手カラ監督委員ニ提出サレ監督委員ノ手カラ委員長ニ提出サル
ルト爲ル之ヲ取纏メテ五日內ニ總督ニ提出スルノ手續ヲ執ラネハナラヌノテアルカ取
纏ノ期間トシテ五日ノ猶豫ヲ置テアルハ其ノ檢査ヲ爲スコトノ出來ル期間ヲモ與ヘラ
レタノテ大要ノ檢査ハ何レノ委員長ト雖必ス諸君ヲシテ之ヲ爲サシメラルコトト思フ
ノテアル醫院監獄及税關ヨリ御出テノ諸君ハ此等ノ事務ニハ從事シナイ代リニ醫院監獄
又ハ外國船內ニ在ル所帶ニ對シテ自ラ調査委員ノ職務ヲ行ヒ所帶票及要計表ノ記入ヲ爲
サネハナラヌカラ其ノ任務ハ亦極メテ重大ナルモノテアルソコテ右様ノ手續ヲ以テ所帶
票及要計表カ臨時戸口調査部ニ提出サレト同部ニ於テハ先ツ其ノ檢査ヲ開始シ檢査ヲ
終ツタ所帶票ハ逐次之ヲ單名票及所帶單位票ト云フ二種ノ小票ニ改寫シ之ニ依リテ中央
集査法ニ依ル集計事務ヲ行ヒ夫レカラ集計原票及結果表ノ作製ト爲リ結果ノ記述説明ニ
至ル迄向後三年ノ日子ヲ費ス豫定テアルコトハ諸君ノ知ル通りテアル
次ハ本調査ニ要スル費用ノ點テアルカ諸君ノ方ノ側ニ要スル費用ノ主ナルモノハ第一ハ

旅費次ハ應費ヲアツテ之ハ必要ナ金額丈ケハ追テ配布ニ爲ル筈ナル所カ全體ノ豫算カ餘リ裕カテナク殊ニ政費節減ノ折柄テアルカラ萬事節約ヲ加ヘテ尙モ不足ヲ訴フル事ノナインヲ期スヘキテアル

借テ最後ノ結論ト云フ段取りト相成ツタカ一言以テ其ノ要ヲ掩フナラハ調査ノ真正ヲ期スヘシト云フニ歸著スル抑許多ノ勞力ヲ費シ莫大ノ費用ヲ投シ常務ヲモ差措イテ本調査ヲ爲サネハナラヌノハ之ヲ爲サネハナラヌ必要カアルカラ然ルニモ拘ラス調査ノ結果ニシテ若シ真相ヲ捕捉スルコトカ出來ナシタナラハ其責將誰ニカ歸センヤアルソコト如何ニシテ調査ノ真正ヲ期スヘキヤト云ハハ第一ニハ先ニ述ヘタル頭腦ノ統一テ是レハ先ツ茲ニ御出席ノ諸君ノ頭腦ヲ統一シ次ニ任地ニ御歸リノ上訓練指導ノ際十分此ノ點ニ注意スヘキ第二ニハ調査ノ際被調査者ニ對シ成ルヘク懇篤ナル態度ニ出テラル様願度シ被調査者ノ大部分タル本島人ハサナキタニ流言ヲ好ミ浮説ヲ喜フ民テアル本調査ニ關シテモ或ハ新稅賦課或ハ徵兵令施行或ハ何或ハ何ト何等根柢ナキ蜚語ヲ逞ウスルコト第一回施行ノ際ニ於テ實驗シタル所今同ハ或一小部分ヲ除ク外ハ未タ其ノ聲ヲ聞カナイカ時日ノ切迫ニ連レテ如何ナル報告ニ接スルヤモ知レスト考ヘテ居ル所テアルカラ調査ニ際シテハ尙更其ノ言動ヲ謹嚴ニシ苟モ無智ノ民ヲシテ疑惑ヲ起サシメ惹イテ調査ノ真正ヲ誤ル様ノ事ナキヲ期セネハナラヌ戸口調査規則ニ於テ調査忌避其ノ他ノ場合ニ對スル罰則ノ設ケハアルカ罰則ハ調査ノ真正ヲ確保スル擬制テアツテ其ノ運用ノ妙ハ治者ノ方寸ニ在ルコトヲ忘レテハナラヌ第三ハ極メテ末節テハアルカ調査ニ依リテ知り得タ事項ヲ記入スルニ當リテ誤記ノナイ様ニ心掛クヘキテアル切角苦心シテ調査シ得タ事項ヲハ操筆ノ過誤ニ埋沒シ去ル様ナコトハ絕對ニ之ナイコトヲ期セネハナラヌ以上ヲ以テ本調査ノ大要ニ關スル注意ヲ盡シタリト思フカ諸規則ノ解釋及事務ノ打合ニ關スル詳細ハ主事等ニ於テ之ヲ擔任シ諸君ト共ニ十分研鑽ノ實ヲ擧ケ本會ノ開催ヲ無意味ニ了ハラセナイ様切望スル次第ナル

第二回臨時戸口調査事務訓練會閉會式ニ於ケル告辭

臨時戸口調査部主事

水 科 七 三 郎

本會ノ終リニ方リ副部長閣下ヨリ諸君ニ一場ノ告辭アルヘキ筈ナリシカ昨日俄ニ花蓮港應ニ出張セラレタルヲ以テ已ムヲ得ス不肖代リテ一言スルノ光榮ヲ有スルコトナレリ現下炎熱熾クカ如キ折柄ナルニモ拘ラス諸君ハ連日午後ニ至ルマテ此ノ炎熱ヨリモヨリ以上ノ熱心ヲ以テ臨時戸口調査ノ研究ニ從事セラレタルコトハ吾人ノ大ニ満足スル所ナリ思フニ諸君ハ地方廳其ノ他幹部ノ中堅ト爲リテ本調査ニ貢獻セララルノ位置ニ在ルカ故ニ本調査ノ成績如何ハ一ニ諸君ノ雙肩ニ懸リテ存ス而モ諸君ノ熱誠ハ大ニ人意ヲ強ウスルモノアリ乃チ知ル第二ニ次調査ノ必スヤ第一次調査ニ優ルモノアルヲ諸君ノ數日ヲ出テスシテ其ノ任地ニ歸ルヤ日ヲ遂フデ本調査ノ事務益々繁劇ト爲リ殊ニ各委員訓練ノ如キ重要ノ任務アリ日モ亦足ラサルヘキヲ以テ諸君ハ須ラク加餐シテ健康ヲ保持シ本調査有終ノ美ヲ濟サレンコトヲ切望ニ禁ヘサルナリ

終リニ臨ミテ特ニ一言ス他ナシ不肖連日會長ノ席ヲ汚シタルコトヲ深謝ス

第四 戸口調査簿ニ調査事項追加

第二次調査ニ於テハ戸口調査簿ヲ基礎トスル方針ナルヲ以テ該調査事項中同副簿ニ記載ナキモノハ豫メ之ヲ調査シ置クノ必要ヲ認メ大正四年四月左記様式ノ附箋ヲ各人毎ニ貼附シ其ノ調査記入方ハ甲號記入心得ニ依ルヘキ旨ヲ通達シ越テ五月乙號記入心得六月丙號記入心得ヲ就モ追加セリ

民政長官通達ノ一 (大正四年四月二十八日 警第一〇二七號)

臨時戸口調査準備ノ調査事項ニ關スル件

大正四年十月施行ノ臨時戸口調査ハ戸口調査副種ヲ基礎トセラルヘキ答ニ付臨時戸口調査ニ於ケル調査事項中同副種ニ登記ナキ分ハ豫メ之ヲ調査シ置クノ必要有之候條別紙様式ノ附屬ヲ各人毎ニ貼附シ別紙記入心得ニ依リ七月末日迄ニ調査終了可相成

右依命通達ス

追テ本件ノ調査ハ戸口調査簿ト照合済ノモノニ限リ著手可相成此段申添候 (終)

(別紙ノ一)

(實物大)

姓名	性別	年齢	職業	婚姻	籍貫	出生地	不具ノ原因	内地人ノ出生地	内地人ノ渡来ノ年
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

(甲 覽)

臨時戸口調査調査事項ノ特別調査ニ關スル記入心得

- 一 不動文字ニハ其ノ當レル文字ノ上ニ「X」ヲ記入シ其ノ他ハ「」ノ下ニ相當事實ヲ記入スヘシ但シ不詳ノモノハ調査項目ノ上ニ「△」ヲ記入スヘシ
- 一 讀ミ書キノ程度ノ標準タル假名ハ片假名又ハ平假名ノ一方ニテ足ルモ五十音又ハ四十七字ノ

總テヲ知ルコトヲ要ス

- 一 一人ニシテ二種以上ノ職業ヲ有スル者ハ收入ノ多寡ニ依リテ本業ト副業トヲ區別シ若收入ノ多寡ニ依リ難キトキハ一身ヲ委スル關係ノ厚薄ニ依リテ之ヲ區別スヘシ而シテ本業、副業共ニ一種ニ限ル

一 職業ナキ者ハ左ノ例ニ依リ記入スヘシ

- イ 土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者ハ「生計ノ途」ノ下ニ其ノ生計ノ基ト爲ル收入ノ種類ヲ記入スヘシ

- ロ 所帯主又ハ父母、夫等ノ職業ノ手助ヲ爲ス者ハ「職業」ノ行、本業名ノ下ニ其ノ職業名ヲ記入シ且「職業ノ地位」ノ行、手助家族ノ上ニ「X」ヲ附スヘシ

- ハ 家事ノ傍ヲ内職ヲ爲ス者ハ「内職」ノ下ニ其ノ内職名ヲ記入スヘシ

- ニ 専リ家事ノミニ従事スル者及全ク他ニ養ハルル者ハ「生計ノ途」ノ下ニ之ヲ養フ者ノ職業名又ハ生計ノ途ヲ冠セシメ「何業家族」又ハ「何業同居寄留人」ト記入スヘシ

- ホ 官ヨリ學費又ハ手當ヲ支給セラルル學生、生徒又ハ講習生等ハ家庭ニ在ルト寄宿舍、下宿屋等ニ在ルトヲ問ハス「生計ノ途」ノ下ニ其ノ支給ノ種類ヲ記入スヘシ

- ヘ 被救助者ハ「被救助者」ニ「食」ハ「食」、既決因ハ「既決因」ト「生計ノ途」ノ下ニ記入スヘシ

- 一 職業ノ地位中「役員」トハ人ニ使ハルルモ已レ又他ヲ指揮監督スル地位ニ在ル者ヲ謂ヒ「職工」其ノ他トハ全ク人ニ使ハレ他ヲ指揮監督セサル地位ニ在ル者ヲ謂フ而シテ此ノ兩者ニ付テハ一定ノ名稱又ハ技能アル者ハ之ヲ記入シ若一定ノ名稱又ハ技能ナキトキハ「役員」ニ付テハ人ヲ使フ雇人、「人ヲ使フ家族」又ハ人ヲ使フ同居寄留人ト記入シ「職工」其ノ他ニ付テハ人ニ使ハルル雇人、「人ニ使ハルル家族」又ハ人ニ使ハルル同居寄留人ト記入スヘシ但シ全ク家事ノミニ使ハルル雇人ハ「職工」其ノ他ノ下ニ「家事雇人」ト記入スヘシ而シテ本項ニ該當スル者ニ付テハ「職業」ノ行ニ本

- 一 業名又ハ副業名(家事雇人ハ本業ニ限ル)ノ記入ヲ要スルヤ勿論ナリ
- 一 土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者ノ地位ハ「職業ノ地位」ノ行「本業」ノ部ニ記入シ又内職ノ地位ハ「職業ノ地位」ノ行「副業」ノ部ニ記入スヘシ
- 一 常用語ハ家庭ニ於テ使用スル言語ニシテ必ス一種ニ限ルモ常用以外ノ語ハ常用語以外ニ於テ其ノ語リ得ル總テノ言語ヲ熟達ノ深淺ニ從テ順次ニ記入スヘシ
- 一 支那語モ土語ト同シク福建語、廣東語及其ノ他ノ漢語ニ區別シテ記入スヘシ
- 一 不具ノ原因トシテノ老衰ハ盲及聾啞ニ限リ且極メテ少數ナルヘク思考セラル
- 一 渡臺ノ年ハ改隸後始メテ本島ニ居住シタル内地人ノ渡臺ノ年(二十八年、四十五年、元年、四年等)ヲ記入スヘシ但シ一旦内地ニ引上ケ次年以後更ニ渡臺シタル者ハ最終ノ渡臺ノ年ヲモ併記スヘシ

注 意

- 一 本調査ハ尙左ノ各項ニ依ルモノトス
- イ 本居地ト寄留地トヲ併有スル者ハ寄留地ニテ調査スルコト
- ロ 二以上ノ寄留地ヲ有スル者ハ主タル寄留地ニテ調査スルコト
- ハ 浮浪者收容所ニ收容セラレ居ル者ハ同所ニテ調査スルコト
- 一 附屬用紙ハ初メ人口ノ約四割増ニ配付シ爾後再ヒ配付セサルヲ以テ受持區域擔任者ニ對シ先ツ五戸乃至十戸ノ附屬ニ記入ヲ爲サシメ精細ナル檢査ヲ遂ケ誤謬ナキヲ確メタル後ニ非サレハ全部ノ附屬記入ヲ進行セシムヘカサルコト
- 一 記入ヲ要スル關界狹隘ニシテ記入ニ困難ナルトキハ關界ニ拘リス不動文字ノ上ニ記入シ又ハ掛紙ヲ以テ記入ヲ補フコト
- 一 附屬用紙ハ戸口調査副簿ノ上端ニ貼附スルコト

臨時戸口調査調査事項ノ特別調査ニ關スル記入心得追加

- 一 在職文武官(休職停職、待命等)ヲ含マス及准官吏(囑託及雇ナ含ミ備ナ含マス)ハ「職業ノ行(本業名)」ノ下ニ其ノ本官名又ハ本職名ト其ノ勤務ノ部局名トヲ記入スヘシ「職業ノ地位」ノ行ニハ記入ヲ要セス例之ハ臺灣總督府屬通信局、「臺北廳警部、新店支廳」ト記入スルカ如シ
- 一 附屬「職業」ノ行ニ示セル(生計ノ途)、「内職」及「職業」ノ地位「ノ行」ニ示セル「手助家族」ハ本業及副業ナ有セサル者ニ限リテ現ハルヘク且其ノ中ノ一種ニ該當スル者ハ更ニ他ノ一種ニ該當スルコトナシ但シ土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者ニシテ尙何等カノ職業ヲ爲ストキハ前者ヲ「生計ノ途」ノ下ニ、後者ヲ「内職」ノ下ニ記入スヘシ
- 一 會社、銀行等ニ在リテハ社長、頭取等ヲ「職業主」トシ其ノ他ハ「役員」、「職工」其ノ他トスヘキコト他ノ職業ニ於ケルト同一ナリ
- 一 土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者及内職者ノ地位ハ其ノ主タル本人ヲ「職業主」トシ其ノ他ヲ「役員」、「職工」其ノ他トスヘキコト亦他ノ職業ニ於ケルト同一ナリトス
- 一 義ニ通達ノ記入心得第四項ノ「三」ハ「何業家族」及「何業同居寄留人」ノミヲ例示セルモ土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者ノ家事ノミニ從事スル者及全ク之ニ養ハルル者ニ付テハ同一ノ箇所ニ「何々ノ收益ニ養ハルル家族」又ハ「何々ノ利子ニ養ハルル同居寄留人」等ト記入スヘシ
- 一 言語ヲ發スルコト能ハサル者(例之ハ發音時期ニ達セサル者、聾啞等)ニ付テハ其ノ家庭ニ於テ使用セラルル言語ヲ記入スヘシ但シ家庭ニ在ル者總テ言語ヲ發スルコト能ハサルトキハ「不詳」ト記

入スヘシ

- 一 常用以外ノ語トシテ數種ノ言語ヲ話ス者ハ熟達ノ深淺ニ從テ順次ニ之ヲ記入スヘキ規定ナルカ故ニ其ノ數種ノ言語中最熟達セル一種ノ言語カ附屬用語ノ行(常用以外ノ語)ノ下ニ不動文字ヲ以テ示セル言語ノ一ニ該當スルトキハ其ノ文字ノ上ノミニ「X」ヲ記入シテ殘餘ノ言語(第二位以下ノ言語)ニシテ不動文字ニ該當スルトキト雖「X」ヲ最下段ニ順次ニ記入スヘシ若其ノ總テノ言語ニシテ不動文字ノ何レニモ該當セサルトキハ其ノ總テノ言語ヲ最下段ニ順次ニ記入スヘシ
- 一 本島ニ於テ出生シタル内地人ニシテ一旦内地ニ引上ケ更ニ渡臺シタル者ハ「内地人渡臺ノ年」ニハ其ノ渡臺シタル年ノミヲ記入スヘシ

(丙號)

臨時戸口調査事項ノ特別調査ニ關スル記入心得第二次追加

- 一 區長、區書記及臺灣公署ハ准官吏ノ例ニ依リテ(本業名)ノ下ニ「區長、區書記、區書記鹽水港」又ハ「公署、恒春等」ト記入スヘシ但シ其ノ地位ハ之ヲ記入セス且ツ他ニ何等ノ職業アルモ之ヲ記入スルコトナシ
- 一 廳參事ハ其ノ手當ニ依リテ生計ヲ立ツル者ニ限リ准官吏ノ例ニ依リテ記入スヘシ其ノ他ハ之ヲ職業ト認メス
- 一 各官衙ニ於ケル傭員以下ノ者、各種團體職員及保甲書記等ハ其ノ受ケル給料又ハ手當ト他ノ職業ニ依ル收入トヲ比較シ其ノ多寡ニ依リテ本業ト副業トヲ區別記入スヘシ
- 一 本來職業名ニ非スシテ身分ヲ示ス稱呼ナルモ通例職業名ト併セ唱ヘラルルモノハ其ノ併セ唱フル稱呼ヲモ記入スヘシ例之ハ「大工棟梁」、「左官親方」又ハ「苦力頭等」ノ如シ
- 一 人ニ使ハルル者ノ本來ノ職業名ヲ使フ者ノ職業ト異ナルトキハ其ノ使ハルル者ノ職業名ニ

- ハ之ヲ使フ者ノ職業名ヲ冠セシメ「製茶業者ニ使ハルル箱製造職」、「印刷業者ニ使ハルル製本職」、「製糖業者ニ使ハルル製糖師」又ハ「建築業者ニ使ハルル大工等」ト記入スヘシ而シテ此ノ場合ニ於テハ其ノ地位ハ常ニ役員又ハ職工其ノ他ナリ
- 一 藝妓ハ全ク獨立シテ其ノ業ヲ營ム者ニ限リテ其ノ地位ヲ職業主トシ抱主ニ對シテ雇傭關係ノ下ニ立ツ者ハ「職工其ノ他」ノ下ニ「人ニ使ハルル雇人」ト記入スヘシ但シ仲居及酌婦ハ常ニ「人ニ使ハルル雇人」ナリ

- 一 賃地業ハ(生計ノ途)ノ下ニ「土地ノ收益ニ依ル」ト記入スヘシ
- 一 本年五月十九日附民警第一〇二七號ノ一通達ノ記入心得第四項中「職工其ノ他」等ト記入スヘキコト亦他ノ職業ニ於ケルト同一ナリ「トアル」(職工其ノ他)ニ區別スヘシト訂正ス
- 一 戸主ニシテ他ニ寄留中ナルトキ又ハ舊地假住中(舊地勤務ノ警察官、警手、隘勇、監警所、駐在所等ノ雇傭人及以上列記者ノ家族ヲ含ム)ナルトキハ本居地ニ在ル家族中戸主ニ代ルヘキ者ニ付テ住家ノ有様ヲ記入スヘシ
- 一 家族ニシテ分房ヲ爲シ別ニ家計ヲ立ツル者アルトキハ分房ヲ爲セル家族中ニ於テ戸主ト爲ルヘキ者ヲ定メ其ノ者ニ付テモ住家ノ有様ヲ記入スルヲ要ス

第五 統計局ト協商

第二次臨時戸口調査ハ母國國勢調査トノ關係少カラサルヲ以テ大正四年四月本調査ニ關シ主事水科七三郎ヲシテ内閣統計局長ニ協議セシム越テ五月同局長ハ渡臺シテ實況ヲ視察セリ

第六 臨時戸口調査諸規定

第二次調査ニ必要ナル諸規定ハ大正二年七月以降之カ立案ニ著手シ同四年三月ニ至リ略完成ヲ告ケ逐次審議ヲ盡シ遂ニ大正四年六月府令又ハ訓令ヲ以テ之ヲ發布セリ即チ左ノ如シ

臨時戸口調査規則 (大正四年六月十五日 府令第三十五號)

第一條 大正四年十月一日臨時戸口調査ヲ施行ス但シ同日内ニ完了シ難キトキハ同月三日迄ニ施行スヘシ

天災事變其ノ他避クヘカラサル事由ニ因リ前項ノ期間ニ施行スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ノ止ミタル後直ニ之ヲ施行スヘシ

大正四年九月十一日以後ニ於テ前二項ノ調査ニ對スル準備調査ヲ施行ス

第二條 臨時戸口調査ハ大正四年十月一日午前零時ニ於ケル現在者ニ就キ左ノ事項ヲ調査スルモノトス但シ舊地ニ在ル舊人ハ之ヲ調査セス

- 一 氏名
- 二 所帯主トノ續柄又ハ所帯主若ハ所帯トノ關係
- 三 種族
- 四 男女ノ別
- 五 出生ノ年月日
- 六 職業上ノ身分
- 七 本業名
- 八 本業ノ地位
- 九 副業名

十 副業ノ地位

十一 常用語

十二 常用以外ノ語

十三 讀ミ書きノ程度

十四 不具ノ種類(雙啞、盲、白痴及癱瘓ニ限ル)

十五 不具ノ原因

十六 阿片烟吸食者

十七 纏足者

十八 出生地(内地人ニ限ル)

十九 本籍(内地人ニ限ル)

二十 國籍(外國人ニ限ル)

二十一 渡臺ノ年(内地人ニ限ル)

二十二 常住地(一時現在者ニ限ル)

前項ノ現在者ニ非サルモ常住者ト認ムヘキ者ニ付テハ前項第一號、第二號及第四號ノ事項ヲ調査シ其ノ所帯主ニ付テハ仍第三號及第七號乃至第十號ノ事項ヲ調査ス

所帯主ニ限リ現在者ナルト現在者ニ非サル常住者ナルトヲ問ハス住家ノ有様ヲ調査ス

第一項ノ時刻以前ニ本島ヲ發シ十月一日中ニ始メテ本島ニ著シタル舟筏ニ在ル者ハ第一項ノ時刻ニ本島ニ現在シタル者ト看做ス

第三條 區長、區書記、保正及甲長ハ臨時戸口調査ニ際シ當該職員ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ヲ補助スヘシ

第四條 廳長ハ臨時戸口調査ニ際シ祭典其ノ他衆庶ノ移動ヲ來スヘキ行為ニシテ調査ヲ阻害スル

- ノ虞アリト認メタルトキハ之ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得
- 第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 一 臨時戸口調査ニ際シ調査ヲ忌避シ又ハ其ノ進行ヲ阻害スルノ行爲アリタル者
 - 二 臨時戸口調査ニ關シテ當該職員ノ尋問ニ答ヘス又ハ答フルニ實ヲ以テセサル者
- 第六條 第四條ノ命令ニ從ハサル者及處罰ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計若ハ威力ヲ用井テ臨時戸口調査ヲ妨ケタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

臨時戸口調査事務取扱規程 (大正四年六月十五日
訓令第七十八號)

- 第一條 各廳ニ於ケル臨時戸口調査事務ヲ管理セシムル爲戸口調査委員長一人ヲ置キ廳長ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 戸口調査委員長ハ警察官吏派出所及之ニ相當スル廳直轄支廳直轄區域内ニ約百戸ヲ標準トシテ各若干ノ調査區ヲ設クヘシ
- 第三條 戸口調査委員長ハ適宜若干調査區ヲ聯合シテ監督區ヲ設クヘシ
- 第四條 調査區ニハ監督區域毎ニ一番ヨリ起シ番號ヲ附スヘシ
- 監督區ニハ一廳下通シ番號ヲ附スヘシ
- 第五條 調査區及監督區ハ其ノ境界明確ニシテ調査ニ便ナルヲ要ス
- 第六條 戸口調査委員長ハ大正四年七月三十一日迄ニ調査區監督區ノ番號、區域、街、庄、村、社、郷、土名、並其ノ所帶及人口ノ概數ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ
- 第七條 戸口調査委員長ハ調査區毎ニ一人ノ調査委員ヲ監督區毎ニ一人ノ監督委員及若干ノ監督補助委員ヲ定ムヘシ

- 第八條 戸口調査委員長ハ前條調査委員監督委員ノ外補缺ノ爲若干ノ豫備調査委員及豫備監督委員ヲ定ムヘシ
- 第九條 戸口調査委員長ハ臺灣總督府所屬行政各官衙吏員學校職員各種團體職員又ハ公警ニシテ調査區内ノ事情ニ通曉シタル者ノ中ヨリ調査委員及監督委員ヲラシムヘキ者ヲ選拔スヘシ
- 戸口調査委員長ハ警察官吏派出所及之ニ相當スル廳直轄支廳直轄ノ巡查ノ中ヨリ監督補助委員ヲラシムヘキ者ヲ選拔スヘシ
- 第十條 調査委員ト監督委員又ハ監督補助委員トハ相互兼務セシムルコトヲ得
- 第十一條 戸口調査委員長ハ必要アリト認ムルトキハ調査委員ニ通譯ヲ附スルコトヲ得
- 第十二條 戸口調査委員長ハ大正四年七月三十一日迄ニ調査委員監督委員監督補助委員及調査委員附通譯ヲラシムヘキ者ノ員數ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ
- 第十三條 戸口調査委員長ハ大正四年八月三十一日迄ニ調査委員監督委員監督補助委員及調査委員附通譯ヲラシムヘキ者ニ辭令書ヲ交付シ其ノ日附官職氏名及各委員ノ擔當區名ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ
- 各委員若ハ通譯ニ異動ヲ生シ又ハ各委員ノ擔當區ニ變更ヲ生シタルトキハ前項ノ規定ニ依リ其ノ都度之ヲ報告スヘシ
- 第十四條 戸口調査委員長ハ大正四年八月三十一日迄ニ調査委員監督委員及監督補助委員ニ對シテ調査ニ關スル訓練及實地ノ指導ヲ爲スヘシ
- 第十五條 戸口調査委員長ハ監督區内便宜ノ地ニ監督委員事務所ヲ設クヘシ
- 第十六條 戸口調査委員長ハ大正四年九月十一日ヨリ同月三十日迄ノ間ニ於テ相當ノ期間ヲ定メ調査委員監督委員及監督補助委員ヲシテ準備調査ニ關スル事務ヲ處理セシムヘシ
- 第十七條 監督委員ハ其ノ監督區域内ニ於ケル實地調査完了ノ報告アリタルトキハ直ニ之ヲ戸口

調査委員長ニ報告スヘシ
戸口調査委員長ハ各監督區域内ニ於ケル實地調査完了ノ報告アリタルトキハ直ニ之ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十八條 監督委員ニ於テ調査委員ヨリ所帶票及調査委員要計表ヲ受ケタルトキハ各記入事項ヲ對照檢査シ誤謬アルトキハ直ニ訂正セシメ區内各調査委員ノ分テ一括シ監督委員要計表ヲ調製添附シテ七日内ニ之ヲ戸口調査委員長ニ提出シ戸口調査委員長ハ之ヲ取纏メ五日内ニ臺灣總督ニ提出スヘシ

第十九條 臺灣總督府ニ於テ前條ノ書類ヲ檢査シ誤謬ヲ發見シタルトキハ監督委員若ハ監督補助委員タリシ者又ハ當該警察官吏派出所若ハ之ニ相當スル縣直轄支廳直轄ノ巡查チンテ之ヲ訂正セシムヘシ

第二十條 戸口調査委員長ハ臺灣總督府ヨリ左記ノ印刷物ヲ受ケタルトキハ之ヲ監督委員ニ配布シ監督委員ハ大正四年八月三十一日迄ニ調査委員心得第五條ニ規定セル員數ノ印刷物ヲ調査委員ニ配布スヘシ

印刷物配布ノ際ハ印刷物配布目錄ニ其ノ數量ヲ記入シ受領者ノ印ヲ徴シテ授受ノ證ト爲スヘシ

一 臨時戸口調査規則

二 臨時戸口調査事務取扱規程

三 調査委員心得

四 監督委員及監督補助委員心得

五 所帶票用紙

六 所帶票記入心得

七 調査委員要計表用紙

八 監督委員要計表用紙

九 所帶票及要計表檢査手續

十 調査事項一覽表

十一 年齡早見表

十二 住家番號票用紙

十三 附箋用紙

十四 印刷物配布目錄

第二十一條 臨時戸口調査ニ關スル書類ヲ發送スルトキハ其ノ毀損又ハ散逸ヲ防グニ足ルヘキ完全ノ包裝ヲ爲スヘシ

第二十二條 調査委員心得監督委員及監督補助委員心得所帶票樣式及所帶票記入心得要計表樣式、所帶票及要計表檢査手續ハ別ニ之ヲ定ム

臨時戸口調査監督委員及監督補助委員心得 (大正四年六月十五日訓令第七十九號)

第一條 監督委員ハ戸口調査委員長ノ指揮監督ヲ承ケ誠實且ツ敏活ニ其ノ監督事務ヲ處理スヘシ

第二條 監督委員ハ臨時戸口調査ニ關スル諸規定ヲ精細ニ曉得シ調査委員ニ對シテ實地調査ノ訓練及指導ヲ爲シ調査ノ統一完備ヲ期スヘシ

第三條 監督委員ハ調査委員ノ爲シタル準備事務ノ整頓セシヤ否ヲ監督スヘシ

第四條 監督委員ハ調査委員ノ實地調査ノ事務ヲ觀察シ粗漫又ハ凝滯ナキヤ否ヲ監督スヘシ

第五條 監督委員ハ調査委員ノ整理事務ヲ監督シ且ツ其ノ調査記入シタル所帶票及調査委員要計表ノ完全ナルヤ否ヲ檢査スヘシ

第六條 監督補助委員ハ監督委員ノ職務ヲ補助スヘシ

臨時戸口調査調査委員心得 (大正四年六月十五日 訓令第六十八號)

第一章 服務

第一條 調査委員ハ上司ノ指揮監督ヲ承ケ誠實且ツ敏活ニ擔當事務ヲ處理スヘシ
第二條 調査委員ハ臨時戸口調査ニ關スル諸規定ヲ精細ニ曉得シ實地調査ニ臨ミテ粗淺又ハ凝滯ナキヲ期スヘシ

第三條 調査委員ハ實地調査ヲ爲スニ當リ人ノ隱微ヲ摘發スルカ如キコトナキヲ要ス
第四條 調査委員ハ各個人ニ關シ調査シタル事項ヲ隠リニ他人ニ漏洩スルコトヲ得ス

第二章 準備

第五條 調査委員ハ監督委員ヨリ左ノ員數ノ印刷物ヲ受領スヘシ
一 臨時戸口調査規則 一部
二 臨時戸口調査事務取扱規程 一部
三 調査委員心得 一部
四 所帶票用紙 擔當調査區内所帶枚數ノ二割増ニ相當スル枚數
五 所帶票記入心得 一部
六 調査委員要計表用紙 三枚
七 調査事項一覽表 一枚
八 年齡早見表 一枚
九 住家番號票用紙 擔當調査區内所帶枚數ニ相當スル枚數
十 附箋用紙 若干枚
第六條 調査委員ハ實地調査前擔當調査區内ノ住家ニ番號ヲ附シ尙左ノ各號ノ調査ヲ爲スヘシ但

シ住家ノ番號ハ住家番號票用紙ニ記入シテ之ヲ貼附スヘシ

一 實地調査ヲ施行スヘキ舟筏ノ有無及其ノ隻數

二 普通所帶及准所帶ノ各枚數

三 人口ノ概數

前項第二號及第三號ノ調査ハ最近ノ戸口調査表ニ依ルコトヲ得

住家番號票ノ貼附ヲ了シタルトキハ其ノ番號ヲ戸口調査副簿ノ欄外ニ記入スヘシ

第七條 調査委員ハ寄宿舍、旅店、下宿屋、木賃宿、舟筏其ノ他戸口調査副簿ニ登記セサル所帶ニ付テハ豫メ其ノ管理者ニ所帶票用紙ヲ交付シ各事項ノ下調又ハ其ノ記入ヲ爲サシムルコトヲ得

第三章 實地調査

第八條 調査委員ハ擔當調査區内ノ各所帶ニ就キ一人毎ニ戸口調査副簿ニ照合シテ所帶票ニ記入スヘキ各事項ヲ調査スヘシ

第九條 前條ノ調査ニ依リ戸口調査副簿ノ誤謬又ハ異動ヲ發見シタルトキハ附箋用紙ニ其ノ事項ヲ記載シ之ヲ該簿ノ相當欄内ニ貼附スヘシ

第十條 第七條ニ依リ管理者ニ記入ヲ爲サシメタル場合ハ實地調査ノ際其ノ所帶票ヲ提出セシメ其ノ記入事項ノ正確ナルヲ否ヲ照査シ若誤謬アリタルトキハ直ニ之ヲ訂正スヘシ

管理者ニ下調ヲ爲サシメタル場合ハ實地調査ノ際其ノ所帶ニ關スル各事項ヲ所帶票ニ記入スヘシ

第十一條 實地調査ハ大正四年十月一日ヨリ開始シ成ルヘク同日中ニ完了スヘシ

第十二條 調査委員ハ實地調査ヲ完了シタルトキハ直ニ之ヲ監督委員ニ報告スヘシ

第四章 整理

第十三條 調査委員ハ第八條及第九條ノ調査ヲ爲シタルトキハ該戸口調査副簿及附箋紙記載ノ各

事項ヲ所帶票ニ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ必共ノ事項ニ誤謬ナキヤ否ヲ照合スヘシ

第十四條 調査委員ハ各所帶票ノ整理ヲ了シタルトキハ之ニ依リテ調査委員要計表ヲ調製シ買地調査完了後七日内ニ之ヲ監督委員ニ提出スヘシ

第十五條 調査委員ハ其ノ擔當ニ係ル所帶票又ハ要計表ニ付上司ヨリ推問ヲ受ケタルトキハ速ニ調査答申スヘシ

入心得 (大正四年六月十五日)
(訓令第八十一號)

姓名	町丁目	住家番號第	號(所帶ノ)
土名	番號第	號(所帶ノ)	號(枚ノ)

准所帶	及ノ種類
-----	------

住家ノ有様(所帶主ニ限ル)	地家
---------------	----

業及其ノ地位	業	副業	地位	業	用	不	出	本	國	渡	常
九	位	名	位	常用語	讀	具	生	籍	籍	年	地
九	(欄内記入心) (得八ツ見心)	(欄内記入心) (得九ツ見心)	(欄内記入心) (得十ツ見心)	(欄内記入心) (得十二ツ見心)	(得心記入欄) (見三ツ)	(欄内記入心) (得十五ツ見心)	(欄内記入心) (得十八ツ見心)	(欄内記入心) (得十九ツ見心)	(欄内記入心) (得二十ツ見心)	(欄内記入心) (得二十一ツ見心)	(欄内記入心) (得二十二ツ見心)
十				常用語	度程ノキ書ミ讀	者食吸烟片阿	者足纏	籍	籍	年	地
十一				常用語							
十二				常用語							
十三				常用語							
十四				常用語							
十五				常用語							
十六				常用語							
十七				常用語							
十八				常用語							
十九				常用語							
二十				常用語							
二十一				常用語							
二十二				常用語							
二十三				常用語							

調査委員 官職氏名

裏面白紙

一般ノ心得	所帯ノ種類	普通所帯	本來所帯	一人所帯	家計ヲ共ニスルモ居所ヲ異ニスル者
臨時戸口調査所帶票記入心得	一 臨時戸口調査ニ於ケル所帶トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ	甲 普通所帯	イ 本來所帯 居所及家計ヲ共ニスル者ハ一所帶トス 同一ノ居所ニ在ル者(同一住家ノ一室又ハ同一構内ノ別棟ヲ占有スル者ノ如キハ同一居所ノ者ニ非ス)ハ家計ヲ共ニスルモノト看做ス 同一ノ居所ニ在ル者ハ各一所帶トス其ノ一人ナル場合亦同シ	ロ 一人所帯 一人ニシテ居所ヲ有シ及家計ヲ立ツル者亦一所帶トス 家計ヲ共ニスルモ居所ヲ異ニスル者ハ各一所帶トス其ノ一人ナル場合亦同シ	例之ハ左ニ示スカ如シ 同一ノ居所ニ在リテ衣食ヲ共ニスル一家族ハ勿論一所帶トス 主人ト同一ノ居所ニ在ル同居寄留人、雇人及來客ノ類ハ主人ノ所帶ニ屬スルモノトス 數人協同ノ合宿所等ニ在リテ別ニ管理者トシテ其ノ全員ヲ以テ一所帶ト看做ス 同一構内又ハ一棟ノ家屋内ニ在ル親族互ニ分房シテ各別ニ家計ヲ立ツル者ハ同居ト異帶トヲ問ハス一房毎ニ一所帶トス 主女ト家計ヲ共ニスル同居ノ父、母ニシテ別ノ居所ニ在ル者ノ類ハ一所帶トス 主人ノ所有ニ係ル別荘、支店、租館等ニ在ル家族、同居寄留人、雇人、來客ノ類ハ一所帶トス

- 准所帯
准所帯中ノ普通
所帯
- 乙 准所帯 家計ヲ共ニセサル者ノ集合スル箇所ニ在ル者ハ一箇所毎ニ一所帯ニ
准ス
但シ同一ノ箇所ニ在ル者ト雖別ニ家計ヲ立ツル者ハ准所帯ニ屬セス各之ヲ普
通所帯トス
附之ニテ「宿舍、旅館、下宿屋、本質宿、料理宿、醫務、慈善院、行旅病人救護場、寺、
工場、陸軍、海軍、警察、救護所、原因收容所、監獄、刑務所、遊樂場、遊藝場、演習場、
專用、その他」等ニ在ル者ハ其ノ場所又ハ一箇所毎ニ一所帯ニ屬ス
「三宿舎、内務院、内務省、在リテ別ニ家計ヲ立ツル者ハ其ノ場所又ハ一箇所毎ニ一所帯ニ屬ス
如シ、旅館、下宿屋、本質宿等ノ營業上ニ屬スル一家族ノ如シ又ハ下宿屋ノ一
ノ箇所ニ自來ノ爲メ者ノ如シハ准所帯ニ屬ス各之ノ本所帯又ハ一
所帯ト爲メ加シ
- 二 臨時戸口調査ハ各所帯ニ屬スル各人ニ關シ大正四年十月一日午前零時(九月三十
日ヨリ十月一日ニ移ル夜半)現在ノ事實ヲ調査スルモノトス
- 三 舊地ニ在リテハ舊人以外ノ各種族ヲ調査シ舊人ハ之ヲ調査セス
- 四 舟筏ニ在リテハ大正四年十月一日午前零時ニ港灣、河川又ハ湖沼ニ碇泊シタルモ
ノ及該時刻前ヨリ碇泊中ノモノニ限リ之ヲ調査スヘシ
前項ノ時刻前ニ本島ヲ發シ十月一日中ニ始メテ本島ニ着シタル舟筏ハ該時刻ニ碇
泊シタルモノト看做ス
- 五 軍隊、軍醫、監獄、官立醫院及領事館ハ調査委員ニ於テ調査スルニ及ハス
- 六 臨時戸口調査ニ於ケル現在者トハ常住者戸口調査副簿ノ現在者ニシテ本居者ト

調査ヲ要セサル者
現在者ノ意義

調査ノ時期
舊地ノ調査
舟筏ノ調査

- 現在者ノ除外例
本人ノ所帯ニ
現在シタル者
看做スヘキ者
通勤ノ雇人
當夜一時不
在者
當夜宿泊者
及夜業從事
者
始メテ入りタ
ル所帯ニ現在
シタル者
スヘキ者
不在者ノ意義
所帯票ノ調製
所帯票ノ記入方
- 寄留者トハ間ハサルモ本居ト寄留ト有スル者ニ在リテハ寄留ニ依リ又ニ以上ノ
寄留ヲ有スル者ニ在リテハ主タル寄留ニ依ルナルト常住者以外ノ者ナルトハ間ハ
ス大正四年十月一日午前零時ニ所帯ニ現在シタル者ヲ謂フ即チ所帯主、家族、同居寄
留人、雇人ヨリ一時ノ來客ニ至ルマテ該時刻ニ所帯ニ現在シタル者、該時刻後ニ所帯
ヲ去リタル者、死亡シタル者及該時刻前ニ出生シタル者ハ現在者トス
但シ左ニ掲クル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 甲 左記ノ一ニ該當スル者ハ出先ノ所帯ニ記入セス各本人ノ所帯ニ現在シタル者
ト看做シテ記入スヘシ
- イ 通勤ノ雇人ニシテ當夜該時刻ニ主人ノ家ニ在リタル者
- ロ 當夜近隣ニ在ルモ他人ノ家ニ宿泊セスシテ該時刻ヲ經過シタル者
- ハ 平常一定ノ居所アル者ニシテ當夜宿泊、會社、工場等ニ宿泊シ又ハ右等場
合ニ於テ夜業ニ從事シタル者
- 乙 當夜ニ於テ終夜旅行シ又ハ屋外ノ業務ニ從事シタル者ハ始メテ入りタル所帯
ニ現在シタル者ト看做シテ記入スヘシ
但シ調査後ニ入りタル者ニ付テハ記入ヲ要セス
- 七 臨時戸口調査ニ於ケル不在者トハ常住者ニシテ大正四年十月一日午前零時他出
不在者ヲ謂フ
- 八 所帯票ハ一所帯毎ニ各別ニ調製スヘシ
- 九 所帯票ニ記入スル文字ハ楷書ヲ以テ其ノ字體ヲ明確ニシ墨又ハ濃厚ナル墨イン
キヲ以テ書スヘシ若シ誤記ヲ訂正スルトキハ塗抹セス朱筆ヲ以テ誤字ヲ消シ其ノ傍
ニ黒書スヘシ

同一事項ノ記入方
空欄ノ境記

欄内記入心得

氏名

氏名ノ順序

本來所帶

准所帶

氏名ノ文字

名ヲ付セサル者

墳墓又ハ關係

本來所帶

記入ノ事項同一ナルモ之ヲ略シ又ハ「同」字ヲ以テ表示スヘカリス
所帶票ニ記入スヘキ事項ナキ欄ニハ必「」ヲ填記シテ其ノ誤脱ニ非サルコトヲ證
スヘシ
但シ不詳ナルモノハ「不詳」ト記入スヘシ

第二 欄内記入心得

一 (第一欄) 氏名

甲 氏名ハ左ノ順序ニ依リ記入スヘシ

イ 本來所帶ニ在リテハ所帶主、直系尊屬、配偶者、直系卑屬及其ノ配偶者、傍系親及
其ノ配偶者、其ノ他ノ家族、奴才、傭人、附籍者、同居人、同居寄留人、雇人、來客トスル
ヲ本則トスルモ戸口調査副簿ニ登記セラレタル者ハ其ノ順序ニ依ルコトヲ得
但シ妾ハ配偶者ニ準ス
ロ 准所帶ニ在リテハ先ツ寄留人、船客等ヲ記入シ次ニ平常其ノ場合又ハ舟筏ニ
止宿スル役員、船員等ニシテ別ニ所帶ヲ成ササル者ヲ記入スヘシ

乙 氏名ハ戸口調査副簿登記ノ氏名ヲ記入スヘシ

但シ女ノ名ハ内地人ニ在リテハ片假名ヲ以テ記入シ朝鮮人、蕃人以外ノ本島人及
支那人ニ在リテハ氏名ノ間ニ「氏」字ヲ挿入シ「何氏某」ト記入スヘシ

丙 出生後未ダ名ヲ付セサル者アルトキハ「名ヲ付セス」ト記入スヘシ

二 (第二欄) 所帶主トノ墳墓又ハ所帶主若ハ所帶主トノ關係

甲 本來所帶ニ在リテハ所帶主ハ「所帶主」ト記入シ其ノ他ハ所帶主ニ對スル墳墓又
ハ關係ヲ記入スヘシ
但シ奴才、傭人、附籍者、同居人、同居寄留人、雇人及來客ハ親族ノ墳墓アルモ之ヲ

記入セス畢ニ「奴才」、「傭人」、「附籍者」、「同居人」、「同居寄留人」、「雇人」又ハ「來客」ト
記入スヘシ

例之ハ所帶主ノ父ナレバ「父」、長男ナレバ「長男」、長男ノ妻ナレバ「妻」、招夫、妾、媳、婦、仔、
過房子、嫁、婦、子、招夫以下ハ本島人及支那人ニ限ル等ナレバ「招夫」、「妾」、「媳婦仔」、
「過房子」、「嫁婦子」等親族ノ墳墓ヲ記入シ奴才、傭人、附籍者、同居人、同居寄留人、
雇人又ハ來客トシテハ各其ノ實名ヲ記入スルカ如シ

數人協同ノ合宿所等ニ在リテ別ニ管理者ナキ者ハ適宜其ノ中ノ一人ヲ「所帶主」
ト記入シ其ノ他ノ者ハ「同居寄留人」ト記入スヘシ

乙 准所帶ニ在リテハ所帶主トノ關係ヲ記入スヘシ

例之ハ寄留人ノ生徒、族店ノ旅客、船客、船客等ニ生徒、「旅客」、「船客」等ト記入シ
其ノ場合又ハ船舶ノ役員、船員等ニシテ別ニ所帶ノ成ササル者ハ「校長」、「舍監」、
「船長」、「船員」等ト記入スルカ如シ

三 (第三欄) 種族

甲 種族ハ内地人、朝鮮人、樺太人、本島人、福建人、廣東人、其ノ他ノ漢人、熟蕃及生蕃及外
國人、支那人及其ノ他ニ區別シ左記ノ如ク略語ヲ以テ記入スヘシ

内地人	朝鮮人	樺太人	本島人	福建人	廣東人	其ノ他ノ漢人	熟蕃	生蕃	外國人	支那人	其ノ他
略語	略語	略語	略語	略語	略語	略語	略語	略語	略語	略語	略語

混血人	
入スヘシ	
乙 混血人ハ有ノ區別ニ依リテ父ノ種族ヲ記入シ父不明ナルトキハ母ノ種族ヲ記入スヘシ	
四 (第四欄及第五欄) 男女ノ別	
甲 所帯票ニ記入シタル者男ナレハ第四欄ニ「男」ト記入シ女ナレハ第五欄ニ「女」ト記入スヘシ即チ第二欄ニ「父」トアレハ男タルコト「母」トアレハ女タルコト分明ナルモ本欄ニハ尙必男女ノ別ヲ記入スヘシ	
乙 「男女合計及男女總計」ノ二行ニハ本欄ニ記入シタル男女ノ員數ニ限リ之ヲ集算記入スヘシ即チ「所帯票」一枚ヲ使用シタルトキハ「男女合計」ノ行ノミニ記入シ所帯票二枚以上ヲ使用シタルトキハ一枚毎ニ「男女合計」ノ行ニ記入シ更ニ其ノ「男女合計」ヲ合算シタル員數ヲ最終ノ所帯票ノ「男女總計」ノ行ニ記入シ其ノ他ノ所帯票ノ「男女總計」ノ行ニ「」ヲ填記スヘシ	
五 (第六欄) 出生ノ年月日	
甲 各人ノ出生シタル年ノ年號月日ヲ記入スヘシ出生ノ年月日ヲ知ラサル者ハ何年(十二支)何歳ト記入シ何歳ナルカヲ知ラサル者ハ推定ヲ以テ「何歳」ト記入スヘシ	
乙 外國人ハ各其ノ本國ノ年號月日ニ依リ記入スルコトヲ得	
六 (第七欄) 縁事上ノ身分	
縁事上ノ身分ハ未婚者、配偶者、寡妻及離婚者ニ區別シ左記ノ如ク略語ヲ以テ現在ノ身分ヲ記入スヘシ	
未婚者	略語
配偶者	略語
寡妻	略語
離婚者	略語

各身分ノ意義	
未婚者トハ本調査ノ當時マテ未タ一度モ婚姻シタルコトナキ男又ハ女、配偶者トハ本調査ノ當時妻(内地人ニ在リテハ内縁ノ妻ヲ含マズ本島人及支那人ニ在リテハ招夫及招婦ニ對スル女ヲ含ム)アル男又ハ夫(内地人ニ在リテハ内縁ノ夫ヲ含マズ本島人及支那人ニ在リテハ招夫及招婦ヲ含ム)アル女、寡妻トハ妻ニ死別シタル男寡トハ夫ニ死別シタル女、離婚者トハ妻ニ生別シタル男又ハ夫ニ生別シタル女ナリ	
但シ本島人及支那人ニ在リテハ媳婦仔ニシテ未タ婚姻セサル者及之ニ對スル男ハ未婚者トシ妾及之ニ對スル男ハ配偶者トシ妻及離婚テノ妾ニ死別シタル男ハ寡トシ男ニ死別シタル妻ハ寡トシ妻及離婚テノ妾ニ生別シタル男又ハ男ニ生別シタル妻ハ離婚者トス	
七 (第八欄) 本業名	
本欄ハ所帯主ニ限ラス家族、同居寄留人、雇人來客ニ至ルマテ左記ノ區別ニ依リ職業アル者ハ各其ノ職業名ヲ記入シ職業ナキ者ハ「無職業」ト記入ス各其ノ生計ノ途ヲ記入スヘシ	
甲 在職文武官及准官吏	
在職文武官(休職停職待命等ヲ含マズ)及准官吏(嘱托及雇ヲ含ム)ハ其ノ本官名又ハ本職名ト其ノ勤務ノ部局名トヲ記入スヘシ	
乙 職業名	
定住ノ濱海漁業、府廳通信局、臺北廳警部、商店支店、輸入ノシラ知	

職業名は職文、武官及准官吏ヲ除クハ實際ノ稱呼ニ依リ其ノ類別ヲ記入スヘシ
其ノハ左ニ示スルカ如シ
農業ハ田畑作、菜園作、植木職、牧畜業等ニ區別シ林業ハ植業、炭燒業等ニ區別シ又漁業ハ捕魚業、採藻業、養魚業、養蠶業、製鹽業等ニ區別シテ記入スヘシ
工業ハ其ノ採掘又ハ採取スル礦物ノ種類ヲ區別シテ記入スヘシ
工業ハ殊ニ細別多キヲ以テ成ルヘク詳細ナル記入ヲ爲スヘシ即チ同シク大工、二テモ、家作大工、舟大工、車大工等ニ區別シ金屬ニ關スル製造ニテモ貴金屬品製造、銅品製造、鐵品製造等ニ區別シ機械製造ニテモ發條機、構造機器製造、船具製造、器具製造、遊藝品製造等ニ區別シ又煉瓦職ニテモ煉瓦製造職ト煉瓦製造職等ニ區別スルカ如シ
商業ハ中物品ヲ販賣スル者ニ在リテハ其ノ物品ノ種類ニ依リテ米商、炭販商、果物商等ニ區別シ又仲買業ニ在リテハ米仲買、茶仲買、砂糖仲買等ニ區別スヘシ但シ多數ノ物品ヲ販賣スル商業ニシテ總括的名稱アルモノハ其ノ名稱ヲ記入スヘシ即チ小間物商、雜貨商、雜貨店等ノ如シ
製造業ハ小賣業ヲ含マサルヲ普通トスレトモ實際上ニ於テハ同シク菓子商、豆商、豆腐商、雜貨商、鐵業職等ト稱スルモ其ノ中ニハ單ニ小賣ノミナリテ爲ス者ト製造及小賣ヲ兼メタル者トアリ一々之ヲ區別シテ記入スヘシ
自衛若力ハ其ノ從事スル職業ヲ區別シ得ル者ハ田畑作日傭、「運搬日傭」、「車後押日傭」等ト記入シ之ヲ區別スルコト能ハサル者ニ限リテ「雜役日傭」ト記入スヘシ
本來職業名ニ非スシテ身分ヲ示ス稱呼ナルモ通例職業名ト併セ唱ヘラルルモノ

數種ノ職業アル者

臨時職業ヲ休止シ又ハ他業ニ從事スル者

所有ノ財産ニ依リ生計ヲ立ツル者

ハ其ノ併セ唱フル稱呼ヲモ記入スヘシ
例之ハ「大工棟梁」、「左官親方」、「苦力頭」等ト記入スルカ如シ
人ニ使ハラル者ノ本來ノ職業名之ヲ使フ者ノ職業名ト異ナル場合ニハ其ノ使ハラル者ノ職業名ニハ之ヲ使フ者ノ職業名ヲ冠セシムヘシ
例之ハ「茶商ニ使ハラル箱製造職」、「印刷業者ニ使ハラル製本職」、「製糖業者ニ使ハラル製糖師」等ト記入スルカ如シ
數種ノ職業アル者
一人ニシテ二種以上ノ職業ヲ有スル者ハ收入ノ最多キモノヲ本業トシテ記入シ若收入ニ依リ賺キトキハ重ニ一身ヲ委スルモノヲ本業トシテ記入スヘシ季節ニ依リ職業ヲ變スル者ハ之ニ准ス
丁 臨時職業ヲ休止シ又ハ臨時他業ニ從事スル者
本來ノ職業アル者ハ本調査ノ當時臨時休止シ又ハ臨時他ノ職業ニ從事スル場合ト雖其ノ本來ノ職業名ヲ記入スヘシ
但シ轉業ノ場合ハ其ノ轉業名ヲ記入スヘシ
未決因ノ職業名ハ臨時職業ヲ休止セル者ニ准シテ記入スヘシ
戊 所有ノ財産即チ土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者
一定ノ職業ナキモ所有ノ財産即チ土地家屋ノ收益、公債株券ノ利子、其ノ他恩給、扶助料ノ類ニ依リ生計ヲ立ツル者ハ其ノ生計ノ基ト爲ル收入ノ種類ヲ記入スヘシ
例之ハ「小作料ニ依ル」、「家作收益ニ依ル」、「株券ノ利子ニ依ル」、「恩給ニ依ル」等ト記入スルカ如シ

手助ヲ爲ス者	己 手助ヲ爲ス者 家族又ハ同居寄留人ニシテ平常所帯主又ハ父母、夫等ノ職業ノ手助ヲ爲ス者ハ其ノ助ケル職業名ヲ記入スヘシ
内職ヲ爲ス者	庚 内職ヲ爲ス者 家族又ハ同居寄留人ニシテ家事ノ傍ラ内職ヲ爲ス者ハ内職トシテ其ノ業名ヲ記入スヘシ 初之ハ、豚ノ飼養ヲ内職トスル者ヲレハ「内職養豚」ト記入スルカ如シ
其ノ他ノ者	辛 其ノ他ノ者 イ 前各項ニ該當セサル家族又ハ同居寄留人ニシテ専ラ家事ノミニ從事スル者及所帯主又ハ所帯主ト同一ノ職業者ハ生計ノ途ヲ有スル同一所帯内ノ者ニ養ハルル者ハ「家族」又ハ「同居寄留人」ト記入シ所帯主ト異ナリタル職業者ハ生計ノ途ヲ有スル同一所帯内ノ者又ハ他ノ所帯内ノ者ニ養ハルル者ハ其ノ養フ者ノ職業名若ハ生計ノ途ヲ冠セシメ「何業家族」「何業同居寄留人」「何ノ收入ニ養ハルル家族」又ハ「何ノ利子ニ養ハルル同居寄留人」等ト記入スヘシ ロ 之ハ田畑耕作ナル所帯主ノ所帯内ニ在リテ手助又ハ内職ヲ爲サズハ「家族」又ハ「同居寄留人」ト記入シ又ハ所帯主ノ弟同一所帯内ニ在リテ所帯主以外ニ所帯主ト同シ田畑耕作ヲ爲シ以テ其ノ内職ノ妻ヲ養フ場合ノ如キハ其ノ内職ノ妻ハ「妻」ト同居寄留人ト記入スヘキモ所帯主ノ弟同一所帯内ニ在リテ小間物行商ヲ爲シ以テ其ノ妻ヲ養フ場合ノ如キハ其ノ妻ハ「小間物行商」ト記入シ又ハ其ノ所帯内ニ在ル里子ニ對シ恩給ニ依リ生活スル他所帯内

官ヨリ學費又ハ手當ヲ支給セラルル者	ノ者、イ 養育料ヲ支持ノ場合ノ如キハ其ノ里子ハ「恩給ニ養ハルル同居寄留人」ト記入スルカ如シ ロ 官ヨリ學費又ハ手當ヲ支給セラルル學生、生徒又ハ講習生等ハ家庭ニ在ルト寄宿舍、下宿屋等ニ在ルトナリハ其ノ支給ノ種類ヲ記入スヘシ ハ 之ハ「國語學校師範部生」「農事講習生」「醫學校給費生」等ト記入スルカ如シ
救助ヲ受ケル者及囚人	ハ 行旅病人救護所被救護者、慈善院在院者、浮浪者收容所收容者、成徳學院在院者、無料宿泊所宿泊者、冤囚收容所收容者其ノ他ノ被救助者ハ「被救助者」、乞食ハ「乞食」、既決囚ハ「既決囚」ト記入スヘシ
本業ノ地位	八 (第九欄) 本業ノ地位 本欄ニハ左記ノ區別ニ依リ第八欄ニ記入シタル本業ニ對スル地位ヲ記入スヘシ 甲 職業主又ハ業務主主筆スル地位ニ在ル者 イ 之ハ自立ノ職業主トシテ「職業主」ト記入シ會社、銀行其ノ他ノ業務主主筆スル地位ニ在ル者トシテ「社長」又ハ「頭取」等ト記入スルカ如シ 乙 人ニ使ハルル地位ニ在ル者 イ 同シク人ニ使ハルルモ店員、職工等ヲ指揮監督スル地位ニ在ル者 ロ 之ハ一定ノ名稱又ハ一定ノ技能アル者ハ商店ノ人番頭、支配人、會計、銀行等ノ部長、課長、顧問、支店長、技師長等各其ノ名稱又ハ技能ヲ記入シ若一定ノ名稱又ハ技能アル者ハ「人番頭」又ハ「技師」等ト記入スルカ如シ ハ 全ク人ニ使ハレテ指揮監督セサル地位ニ在ル者 ロ 之ハ一定ノ名稱又ハ一定ノ技能アル者ハ店員、職工、事務員、書記等各具ノ名稱又ハ技能ヲ記入シ若一定ノ名稱又ハ技能アル者ハ「店員」又ハ「職工」等ト記入スルカ如シ
職業主	
被僱人	
役員	
職工其ノ他	

手助家族	「手助」ト記入スルヲ得	ハ	但シ日備其ノ他種役ニ使ハルル者ハ日備又ハ
家事雇人	親之ハ父、母、夫妻ノ職業ノ手助ヲ爲ス者ハ「手助」ト記入スヘシ ニ、家事ノ爲ニ人ニ使ハルル地位ニ在ル者 附シハ家庭教師、抱車人、守等ノ如キ家事ノミノ雇人ハ「家事雇人」ト記入スヘシ	ハ	及ハス
地位ノ記入ヲ要セサル者 副業名	第八欄記入心得甲及辛ニ該當スル者ノ地位ハ之ヲ記入スルニ及ハス 九 (第十欄) 副業名 本業(第八欄記入心得乙乃至丁ニ該當スル者ニ限ル)ノ傍リ尙副業(第八欄記入心得乙乃至丁ニ該當スル者ニ限ル)アル者ハ本業ノ記入方ニ準據シ其ノ主ナル一ノ業名ヲ本欄ニ記入スヘシ 但シ第八欄記入心得戊ニ該當スル者ニシテ尙何等カノ職業ヲ爲ス者ハ其ノ職業名ヲ本欄ニ記入スヘシ	ハ	及ハス
副業ノ地位	十 (第十一欄) 副業ノ地位 本欄ノ記入方ハ本業ニ對スル地位ノ記入方ニ準據スヘシ	ハ	及ハス
常用語	十一 (第十二欄) 常用語 甲 本欄ニハ左記ノ區別ニ依リ略語ヲ以テ平常其ノ家庭ニ於テ使用スル言語ヲ記入スヘシ	ハ	及ハス
常用語ノ區分	區別	略語	ハ
常用語ノ區分	朝鮮語	朝鮮語	ハ
常用語ノ區分	内地語	内地語	ハ
常用語ノ區分	朝鮮語	朝鮮語	ハ

常用以外ノ語

讀ミ書キノ程度

不具ノ種類

十四 (第十五欄) 不具ノ種類

英(又ハ獨逸語等)

音語ヲ發スルコト能ハサル者

家庭ニ於テ使用セラルル音語ヲ記入スヘシ

但シ家庭ニ在ル者總テ音語ヲ發スルコト能ハサルトキハ「不詳」ト記入スヘシ

常用語ノ外尙其ノ他ノ言葉ヲ話ス者ハ常用語ノ記入方ニ準據シ略語ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

但シ記入ノ順序ハ熟達ノ深淺ニ從フヘシ

十三 (第十四欄) 讀ミ書キノ程度

讀ミ書キノ程度ハ片假名又ハ平假名ヲ標準トシ左記ノ如ク略語ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

區別

略語

假名ヲ讀ミ且ツ書キ得ル者

讀ミ書キノ程度ハ片假名又ハ平假名ヲ標準トシ左記ノ如ク略語ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

假名ヲ書クコトノミ爲シ得ル者

書

不具ノ種類

福州語、廈門語等ニシテ、潮州語、興化語等ヲ含マス。

廣東語(所謂客人語ニシテ、廣州語ヲ含マス)

其ノ他ノ漢語

英語(又ハ獨逸語等)

音語ヲ發スルコト能ハサル者(例之ハ發音時期ニ違セサル者、雙啞等ニ付テハ其ノ家庭ニ於テ使用セラルル音語ヲ記入スヘシ)

但シ家庭ニ在ル者總テ音語ヲ發スルコト能ハサルトキハ「不詳」ト記入スヘシ

常用以外ノ語

讀ミ書キノ程度

不具ノ種類

十四 (第十五欄) 不具ノ種類

種類ノ区分	
不具ハ左記ノ種類ニ限リ之ヲ記入スヘシ	甲
聾啞 聾又ハ啞モ「聾啞」ト記入スヘシ	
盲 兩眼ヲ盲シタル者	
白痴 世人ノ一般ニ白痴ト認メ得ル者	
癡癡 世人ノ一般ニ癡癡ト認メ得ル者	
乙 一人ニシテ二種類以上ノ不具ヲ兼メタル者ハ「盲、白痴」、「聾啞、盲癡癡」等ト記入スヘシ	
不具ノ原因	十五 (第十六欄) 不具ノ原因
原因ノ区分	甲 不具ノ原因ハ左記ノ區別ニ依リ略語ヲ以テ之ヲ記入スヘシ
區別	
生 來	略語
疾病	疾 生
負 傷	傷 疾
老 衰(聾啞及盲ニ限ル) 老	
乙 一人ニシテ二種類以上ノ不具ヲ兼メタル者ハ其ノ各種類ニ對スル原因ヲ各別ニ記入スヘシ	
十六 (第十七欄) 阿片烟吸食者	
本欄ニハ阿片烟吸食特許者ニ限リ「阿」ト記入スヘシ	
十七 (第十八欄) 癮足者	
本欄ニハ平常癮足セル者及一旦癮足シタル者ニシテ本調査ノ當時既ニ解癮シタル者ニ限リ左記ノ如ク略語ヲ以テ之ヲ記入スヘシ	

區別	
癮足者	癮 足
解癮足者	解 癮
十八 (第十九欄) 出生地(内地人ニ限ル)	
本欄ニハ内地人(内地ニ本籍ヲ有スル)否トテ問ハスニ限リ左記ノ區別ニ依リ其ノ出生地ヲ記入スヘシ	
内地ニ於テ出生シタル者ハ	何府縣(北海道廳ヲ含ム)
朝鮮ニ於テ出生シタル者ハ	朝鮮
樺太ニ於テ出生シタル者ハ	樺 太
本島ニ於テ出生シタル者ハ	何 廳又ハ「舊地」
但シ廳名ハ本調査ノ當時ニ於ケル廳ノ管轄區域ニ依リテ記入スヘシ	
外國ニ於テ出生シタル者ハ	何 國
航海中出生シタル者ハ	航海中
十九 (第二十欄) 本籍(内地人ニ限ル)	
本欄ニハ内地人ニ限リ左記ノ如ク其ノ本籍ヲ記入スヘシ	
何府縣(北海道廳ヲ含ム)	
二十 (第二十一欄) 國籍(外國人ニ限ル)	
本欄ニハ外國人ニ限リ其ノ國籍ヲ記入スヘシ	
西之ハ支那人トシテ「支」ト記入スルヲ知シ	
二十一 (第二十二欄) 渡臺ノ年(内地人ニ限ル)	
本欄ニハ内地人ニ限リ改隸後始メテ本島ニ住居シタル者ノ渡臺ノ年(西曆)ハ二十八	

一時現在者ノ常住地ノ区分	一時現在者ノ合計及統計	不在者ノ記入方	調査區畫	所帶所在地	地名ノ記入方
甲 本欄ニハ常住者ニ非スシテ本調査ノ當時他ヨリ一時來レル宿泊者又ハ來客ニ對シ左記ノ區別ニ依リ其ノ常住地ヲ記入スヘシ 常住地内地ニ在ル者ハ 何府縣(北海道廳ヲ含ム) 常住地朝鮮ニ在ル者ハ 朝鮮 常住地地權太ニ在ル者ハ 樺太 常住地本島内ニ在ル者ハ 何 縣又ハ「舊地」 常住地外國ニ在ル者ハ 何 國	乙 「男女合計」「男女統計」ノ行ニハ第四欄及第五欄ノ記入方ニ準據シ男女ノ具數ヲ記入スヘシ	二十三 不在者ニ對スル記入方ハ現在者ニ對スル記入方ニ準據スヘシ	一 調査區畫 各縣ニ於ケル監督區及調査區ノ番號ヲ記入シ其ノ他ハ「」ヲ填記スヘシ	二 所帶所在地 甲 縣名、堡里、市、鄉、海、嶼、名、街、庄、村、社、鄉、名、土、名、町、丁目ハ所帶所在ノ行政區域ノ名稱ヲ記入スヘシ 但シ舊地ニ付テハ其ノ社名ヲ記入シ舟筏ニ付テハ其ノ港灣名又ハ河川地先ノ總括名稱例之ハ大、小、河、川、地、先、離、岸、地、先、等、其ノ他、其ノ泊所ヲ明確ニスルニ足ル	

住宅番號ノ記入方	住宅ノ單位	獨立住宅	連接住宅	一住宅ニシテ二箇以上ノ街庄等ニ跨リタルモノノ記入方	所帶番號記入方
乙 住宅番號ノ欄ニハ住宅ニ付テハ本調査ノ爲定メタル住宅番號ヲ記入シ掛小屋、田、菜、工、場、天、幕、帳、棚、其ノ他住宅ニ非サルモノニ付テハ其ノ種類ヲ記入シ又舟筏ニ付テハ「船何丸」等其ノ名稱(若キハ所有者ノ氏名)ヲ記入スヘシ 但シ一所帶ニ二住宅以上アルトキハ其ノ番號ヲ併記シ又住宅番號票貼附後ニ生シタル住宅ノ番號ハ隣接ノ住宅番號ニ「ノ」「二」等ヲ附記スヘシ 一住宅又ハ一舟筏等ニ二所帶以上アルトキハ括弧ノ下ニ「ノ」「二」等ヲ記入シ且ツ其ノ最初ノ所帶票ニ限リ括弧内ニ所帶數ヲ記入スヘシ 住宅ノ單位ヲ區別スルハ左記ノ標準ニ依ルヘシ イ 獨立住宅 母屋及其ノ附屬建物ヲ包含シタル一構 例之ハ棟ノ其ニスト雖一構内ニ在リ母屋ニ附屬スル離座敷、障子家等ノ如キハ合シテ一住宅トスルカ如シ ロ 連接住宅 外壁又ハ泥土、竹木等ヲ以テ作りタル境壁ノ間ニ在リテ廊下ノ類ヲ以テ連接セサル一構 例之ハ一棟ノ家屋ト雖其ノ中間ノ目切、別箇ノ居所ト雖モ一ハ一切切リ毎二一戸家トスルモ廊下又ハ階段等ヲ以テ連接セラルモノハ之ヲ合シテ一住宅トスルカ如シ ハ 二箇以上ノ街庄、村、社、鄉、土名又ハ町丁目ニ跨ル住宅ハ其ノ大部分ノ屬スル街庄、村、社、鄉、土名又ハ町丁目ニ存在スルモノト看做シテ記入スヘシ 丙 所帶番號ハ住宅番號ノ順序ニ從ヒテ記入スヘシ 但シ一所帶ニ所帶票二枚以上ヲ使用シタルトキハ括弧ノ下ニ「ノ」「二」等ヲ記					

准所帯ノ種類及名稱	日附	署名
三 准所帯ノ種類及名稱 本欄ニハ准所帯ノ種類及名稱(若名稱ナキトキハ管理者ノ氏名)ヲ記入スヘシ 住家ノ有様(所帯主ニ限ル)	入シ且ツ其ノ最初ノ所帯票ニ限リ括弧内ニ枚數ヲ記入スヘシ 本欄ニハ所帯主ニ限リ其ノ現在者ナルト不在者ナルトヲ問ハス左記ノ區別ニ依リ 住家ノ有様ヲ記入スヘシ 但シ自己ト他人トノ共有ニ係ル土地又ハ家屋ハ自己ノ土地又ハ家屋ト看做シテ 記入スヘシ	
四 住家ノ有様(所帯主ニ限ル)	自己ノ土地ニ在ル自己ノ家屋ニ住居スル者 自己ノ土地ニ在ル他人ノ家屋ニ住居スル者 他人ノ土地ニ在ル自己ノ家屋ニ住居スル者 他人ノ土地ニ在ル他人ノ家屋ニ住居スル者 一 所帯ニ住家以上アリテ各住家ノ有様異ナルトキハ主タル住居ニ充ツル住家ノ 有様ヲ記入スヘシ二種ノ土地ニ在ル住家ニ付テモ亦同シ	持地持家 持地借家 借地持家 借地借家
五 日附	所帯票ノ日附ハ實地調査ノ日ヲ記入スヘシ	
六 署名	「調査委員官職氏名」下ニハ所帯票毎ニ擔當調査委員ノ官職及氏名ヲ記入スヘシ 「所帯主」處何處又ハ「逕査何處」ト署名スルカ如シ	

時間數	所帯票整理時間數
自十月 至十月 日	百十時 百十時

准所帯ニ在ル者

調査委員要計表

順番 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 合	住居数			所帯数		普通所帯ニ在ル者		
	住家	舟筏	其ノ他	普通所帯	准所帯	現在スル者	常住者ニシテ現在スル者	常住者ニ非スル者
一								
二								
三								
四								
五								
六								
七								
八								
九								
十								
合								

右記入之通相違無之候也

大正四年十月 日

記入心得

- 一本表ハ調査委員ニ於テ所帯票ニ依リ一調査區毎ニ一枚ヲ調製スヘシ
- 堡里市郷湧嶋街庄村社郷名ノ欄ニハ一街庄村社郷毎ニ各其ノ名稱ヲ記入スヘシ但シ一街庄社ノ一部ナルハ灣河川又ハ湖沼ナルトキハ「何港又ハ何地先等」ト記入スヘシ
- 實地調査時間數ハ實地ニ就キテ調査シタル月日及其ノ延時間ヲ記入シ所帯票整理時間數ハ所帯票ノ整理

調査委員 官職
監督補助委員 官職
監督委員 官職

臨時戸口調査要計表様式

(大正四年六月十五日
訓令第八十二號)

廳名	監督區番號	調査區番號
廳第 號	第 號	第 號

實地調査	自十月	至十月
------	-----	-----

署名 日附

一人ノ土地ニ在ル者
他人ノ土地ニ在ル者
一人ノ土地ニ在ル者
一所有權ニ在ル者以上
有様ヲ記入スヘシニ
五 日附
所帯票ノ日附ハ實地
六 署名
「調査委員官職氏名」
署名 日附

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

監 督 委 員 要 計 表

合 計	順番號	調 査 區 番 號		住 居 數		所 帶 數		普 通 所 帶 者		不 在 者		現 在 者	現 在 者
		一 區	二 區	三 區	四 區	五 區	六 區	七 區	八 區	九 區	十 區	十一 區	十二 區
	一												
	二												
	三												
	四												
	五												
	六												
	七												
	八												
	九												
	十												
	十一												
	十二												
	十三												
	十四												
	十五												
	合 計												

右記入之通相違無之候也

大正四年十月 日

記入心得

- 一 本表ハ監督委員又ハ監督補助委員ニ於テ各調査委員ヨリ差出シタル要計表及所帶票ヲ對照檢査シ其ノ要計表ニ依リ之ヲ
- 二 檢査時間數ハ調査委員要計表及其帶票ノ檢査ニ要シタル月日及其ノ延時間ヲ記入スヘシ

監督補助委員 官職氏名
監督委員 官職氏名

廳	名
第	監督區番號
號	號

檢 査	自 十月 至 十月
-----	-----------

檢 查 時 間	自 十 月 至 十 月 日	百 十 時
------------------	-------------------------------------	-------------

[illegible]

無之候也

監査補助委員 官職氏名

入心得

監督委員 官職氏名

ハ盛督補助委員ニ於テ各調査委員ヨリ差出シタル要計表及所帶票ヲ對照検査シ其ノ要計表ニ依リ之ヲ調製スヘシ
委員要計表及其帶票ノ検査ニ要シタル月日及其ノ延時間ヲ記入スヘシ

裏面白紙

第七 調査區劃及調査人員

普通調査區及特別調査區 本調査ニ關スル區劃ハ監督區七三三區調査區四七三八區ニシテ
 内普通調査區ニ屬スルモノ六八二監督區四六七二調査區特別調査區ニ屬スルモノ五一監督
 區六六調査區ナリ而シテ普通調査區ハ戶口調査委員長ノ管理ニ屬スルモ特別調査區ハ税關
 醫院監獄及軍衛ニシテ總督ニ直屬ス蓋シ税關ハ通關ノ手續ヲ了セサル船員船客アリ醫院ハ
 重病傷者ヲ收容シ監獄及軍衛ハ別乾坤ナルヲ以テ孰モ外來調査委員ニ於テ調査ヲ爲スニ困
 難ノ事情ナシトセス依リテ各其ノ官衛長指揮ノ下ニ調査セシムルノ得策ナルヲ認メタルヲ
 以テナリ詳細ハ左表ノ如シ

調査區劃

普通調査區									
宜 北	桃 園	新 竹	臺 中	南 投	嘉義	臺 南	阿 摩	臺 東	臺 南
廳	廳	廳	廳	廳	廳	廳	廳	廳	廳
一〇四	五二	三四	一一〇	一二九	四一	六〇	五五	四五	一四
八〇〇	一九一	三七三	五二九	六〇八	二〇一	六九八	六一一	三五六	一〇六

特別調查區																		通將調查區		官衙
臺南監獄	臺中監獄	臺北監獄	打狗醫院	澎湖醫院	花蓮港醫院	臺東醫院	宜蘭醫院	阿緞醫院	嘉義醫院	臺南醫院	臺中醫院	新竹醫院	基隆醫院	臺北醫院	稅關	陸軍	澎湖廳	花蓮港廳		
計																				

調査人員 本調査ニ従事タル人員ハ監督委員以下六〇七五人ヲ算シ内普通調査區ニ屬スルモノ五、九二五人特別調査區ニ屬スルモノ一五〇人トス詳細ハ左表ノ如シ

普通調査區ニ於ケル地方及官階別委員

[illegible]

職	南												職
	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	
總務官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	總務官
高等官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高等官
判任官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	判任官
下級官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	下級官
計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	計
監督委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監督委員
監督補助委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監督補助委員
調査委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査委員
豫備委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豫備委員
計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	計

×ハ兼務ナリ次表亦同シ

普通調査區ニ於ケル官職別委員

職	南												職
	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	列任官	
總務官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	總務官
高等官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高等官
判任官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	判任官
下級官	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	下級官
計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	計
監督委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監督委員
監督補助委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監督補助委員
調査委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査委員
豫備委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豫備委員
計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	計

[illegible][illegible]

官 職		委 員		計	
		監督委員	監督補助委員	調查委員	豫備委員
廳 嘱 託	廳 嘱 託				
廳 原	廳 原				
廳 備	廳 備				
公 醫	公 醫				
公 醫 嘱 託	公 醫 嘱 託				
小 學 校 原	小 學 校 原				
公 學 校 原	公 學 校 原				
農 會 書 記	農 會 書 記				
農 會 技 手	農 會 技 手				
農 會 技 手 補	農 會 技 手 補				
農 會 助 手	農 會 助 手				
農 會 嘱 託	農 會 嘱 託				
農 會 原	農 會 原				
畜 牛 保 健 組 合 書 記	畜 牛 保 健 組 合 書 記				
畜 牛 保 健 組 合 技 師	畜 牛 保 健 組 合 技 師				
畜 牛 保 健 組 合 技 手	畜 牛 保 健 組 合 技 手				
官 設 埤 圳 水 利 組 合 書 記	官 設 埤 圳 水 利 組 合 書 記				
官 設 埤 圳 水 利 組 合 工 手	官 設 埤 圳 水 利 組 合 工 手				
公 共 埤 圳 聯 合 會 主 事	公 共 埤 圳 聯 合 會 主 事				
公 共 埤 圳 聯 合 會 書 記	公 共 埤 圳 聯 合 會 書 記				
公 共 埤 圳 聯 合 會 技 手	公 共 埤 圳 聯 合 會 技 手				

託公醫、 屋等	
公共埤圳聯合會監視員	一
公共埤圳聯合會巡視員	一
公共埤圳聯合會囑託	一
公共埤圳聯合會雇	一
公共埤圳聯合會工手	一
土地整理組合雇	一
土地整理組合事務員	一
公共衛生費主事	一
公共衛生費書記	一
公共衛生費技手	一
公共衛生費囑託	一
公共衛生費雇	一
公共衛生費事務員	一
公共衛生費防疫手	一
防疫組合事務員	一
婦人病院書記	一
港東醫院雇	一
港東醫院雇	一
晉濟院書記	一
市場書記	一
公共營造物事務員	一
北投公共浴場事務員	一
愛國婦人會事務員	一
計	八二

官	職	員			
		監督委員	監督補助委員	調査委員	豫備委員
總計		10	10	10	10

×ハ調査委員ヨリ兼務者ヲ示ス

特別調査區委員

官	衛	員			
		監督委員	調査委員	豫備委員	計
陸軍		×			×
海軍					
警察					
監獄		×			×
計		×	×	×	×

×ハ兼務ナリ

第八 印刷物

本調査ニ要スル印刷物ハ所帶票ヲ始トシ其ノ數量多大ナルノミナラス急速印行ヲ要シ爲ニ其ノ印刷校合ノ頻繁ヲ極メシモ幸ニ必要ノ時期ヲ失セス悉ク臺北ニ於テ其ノ需用ヲ滿セリ今其ノ印刷物ノ種類名稱數量及價額ヲ表示スレハ左ノ如シ

名	稱	數	量	價	額
冊	臨時戶口調査諸法規	1	1000		1000.00
冊	臨時戶口調査ニ關スル注意要項	1	1000		1000.00
冊	臨時戶口調査ニ關スル往來要錄	1	1000		1000.00
冊	特別調査ニ關スル往來要錄	1	1000		1000.00
冊	所帶票	1	1000		1000.00
冊	監督委員要計表	1	1000		1000.00
冊	調查委員要計表	1	1000		1000.00
冊	印刷物配付日錄	1	1000		1000.00
冊	辭令用紙	1	1000		1000.00
冊	住家番號	1	1000		1000.00
冊	船舶檢査用紙	1	1000		1000.00
冊	附箋	1	1000		1000.00
冊	其他	1	1000		1000.00
冊	總計	1	1000		1000.00

第九 視察及監督

地方廳ニ於ケル戸口調査簿ハ本調査ト密接ノ關係アルヲ以テ先ツ其ノ整理狀況ヲ視察セシムル爲大正四年二月臺中、嘉義、臺南及阿緞ノ四廳ニ部員一名ヲ出張セシメタルヲ始トシ三月臺北及宜蘭ノ二廳ニ一名八月ニ至リ更ニ一般ノ準備狀況ヲ視察セシムル爲宜蘭廳ニ一名嘉義臺南及阿緞ノ三廳ニ一名花蓮港及臺東ノ二廳ニ一名桃園及新竹ノ二廳ニ一名臺中及南投ノ二廳ニ一名九月臺南及澎湖ノ二廳ニ一名臺南及阿緞ノ二廳ニ一名並實查監督ヲ兼ネ阿緞廳ニ一名臺南及嘉義ノ二廳ニ一名臺中及南投ノ二廳ニ一名新竹及桃園ノ二廳ニ一名宜蘭廳ニ一名ヲ出張セシメタリ右ノ外準備事務視察トシテ臺中、嘉義、臺南及阿緞ノ四廳ニ副部長、全島各廳ニ主事ヲ出張セシメ尙十月一日ヨリ三日ニ亘リテ副部長及主事ヲシテ臺北、桃園及新竹ノ三廳ニ於ケル實查ノ狀況及整理事務ヲ視察セシメタリ

第一〇 地方廳ノ準備

廳トシテノ準備 其ノ數固ヨリ一ニシテ足ラスト雖就中警察行政上ニ於ケル戸口調査副簿ノ整理ヲ以テ最要ナルモノトス蓋シ本調査ハ戸口調査副簿ヲ以テ其ノ基礎ト爲スヲ以テ之カ整理ノ正否ハ本調査ニ至大ノ關係アリ是ヲ以テ當府ハ大正三年十一月戸口調査副簿整理ニ關シ特別ノ命令ヲ發スルヤ各廳就モ全力ヲ舉ケテ之カ整理ニ努メタル結果其ノ終了ニ多少ノ遲速アリト雖大正四年九月十日迄ニ全部之ヲ完了シ以テ實查ニ遺憾ナキヲ期セリ委員部トシテノ準備 戸口調査委員長以下監督委員又ハ調査委員ニ至ル迄各準備事務アリ右ハ臨時戸口調査事務取扱規程(大正四年六月號)臨時戸口調査監督委員及監督補助委員心得

(大正四年六月號)臨時戸口調査調查委員心得(大正四年八月十號)ニ規定セリ而シテ其ノ準備事務ハ地方ニ依リ時ニ多少ノ伸縮アリ事務ニ幾分ノ精粗ナキニ非スト雖要スルニ一定標準ノ下ニ統一シタルヲ以テ各廳略同一ナリト謂フヲ得ヘシ就中臨時戸口調査事務取扱規程第十四條ニ依ル各委員ニ對スル訓練及實地指導ノ遲速ヲ舉クレハ左ノ如シ

廳		結了月日	廳		結了月日
臺北	九月十一日	嘉義	九月二十三日		
宜蘭	八月十五日	臺南	九月二十四日		
桃園	九月十五日	阿緞	九月二十六日		
新竹	八月二十九日	臺東	九月六日		
中投	八月三十日	花蓮	八月二十九日		
南投	九月四日	澎湖	九月十五日		

第三章 實 査

實査ノ時 本調査ニ於テハ原則トシテ調査事實ノ屬スル時ヲ大正四年十月一日午前零時トシ調査施行ノ時ヲ同十月一日ト爲セリ然レトモ一日ニ完了シ難キトキハ同月三日迄施行スルヲ得ルコトトシ尙天災事變其ノ他避クヘカラサル事由ニ處スル場合ヲ規定セルコト第一次調査ニ同シ(大正四年六月府令第三十五號臨時)
實査ノ要項 本調査ニ於ケル調査事項ハ概ネ第一次調査ニ同シ其ノ現在者ニ對スル事項ハ二十二箇條ニシテ内地人本島人及外國人等各種族ニ共通ノモノ十六箇條種族特殊ノモノ六箇條即チ内地人ニ限ルモノ三箇條本島人及外國人中ノ支那人ニ限ルモノ二箇條外國人ニ限ルモノ一箇條ナリ其ノ他常住者ニ對スル調査事項八箇條アリテ第一次調査ニ比シ二箇條ヲ增加セリ(同上第二)
實査ノ方法 大正四年八月末ヲ以テ何レノ地方ニ於テモ監督委員及調査委員ノ部署定マリ戸口調査規則第一條第三項ノ準備調査ハ九月二十四日ヨリ同月二十八日マテノ間ニ於テ孰モ之ヲ開始シ實査ニ先立チ再三豫備調査ヲ爲シタル者アリ而シテ實査ノ初日タル十月一日ニハ各委員皆味爽ヨリ結束シテ日出ヲ俟チ直ニ各擔當區ノ調査ニ著手セリ而シテ其ノ實査ノ方法ハ第一次調査ニ於ケルト同一方針ノ下ニ執行シ各所帶各人ニ就キ戸口調査副簿ニ對照各事項ヲ調査セリ(大正四年六月府令第八十號臨時戸口調査)
被調査者ノ實況 島民ハ第一次調査ニ於テスラ極メテ靜肅ニ其ノ調査ヲ受ケ自ラ進ミテ調

査ノ便ヲ圖レリ故ニ今次調査ニ在リテハ既ニ前回ノ經驗モアリ臨時戸口調査ニ對スル觀念亦進歩セルヲ以テ徒ニ流言浮説ヲ放チ又ハ本籍地ニ於テ調査ヲ受クルニアラサレハ國籍ヲ喪失スルカ如キ誤解ヲ爲シテ輕舉歸宅シタル者ノ如キハ殆ト之ナク殊ニ調査委員ノ尋問ニ對シテハ敏活誠實ニ應答シ以テ調査ノ進行上便宜ヲ得タルコト少カラス

障礙及制裁 此ノ如クニシテ實査ハ概ネ一日中ニ結了シタルトモ交通極メテ不便ノ地アリシト偶、九月末ニ於テ北部地方ニ豪雨アリ道路泥濘溪水汎濫等ノ爲調査上ノ困難ヲ感シ又南部ニハ土匪掃蕩ノ殘務未全ク終局ヲ告ケサル結果トシテ二日ニ至リテ完了セル箇所アリ然レトモ其ノ大部分ハ既ニ初一日中ニ調査ヲ了ヘ終ニ期限ニ先立チテ之カ完了ヲ見ルニ至リシハ成功ト謂ハサルヘカラス唯、多數人民中ニハ尙調査ノ趣旨ヲ誤解セル者アリテ其ノ調査ヲ忌避シ又ハ虛偽ノ答申ヲ爲シテ府令ノ制裁ヲ受ケタル者十名ヲ算シタルハ遺憾ナリトス其ノ詳細左記ノ如シ

臨時戸口調査規則ニ依リ制裁ヲ加ヘタル者ノ氏名

應	制裁ノ種類	住	氏名
臺	ナシ		
新	ナシ		
桃	ナシ		
宜	ナシ		
北	ナシ		
臺	規則第五條第二號ニ依リ科料壹圓	竹南一堡北鄉里與庄土名北鄉里與	饒 榮 氏
新	同上參照	竹北二堡五份埔庄土名五份埔	廖 澄 氏
中	規則第五條第一號ニ依リ科料拾圓ニ處スヘキヲ換利等十	本居地 支那、福建省 寄留地 臺南市	陳 二 妹

縣	制 裁 ノ 種 類	住 所	氏 名
臺 中	規則第五條第二號ニ依リ科料五圓 規則第五條第一號ニ依リ科料五圓 同上五圓	燕霧下堡大港庄土名大港 本居地 臺北縣基隆 藍興堡大里街 本居地 支那、福建省 寄留地 臺中縣東上堡東勢角庄 土名東勢角 南投堡二重溪庄 埔里社堡福興庄 打貓東頂堡科仔林庄	賴 氏 陳 氏 林 氏 楊 氏 廖 氏 陳 氏 黃 氏 金 氏 文 氏
南 投	規則第五條第二號ニ依リ科料壹圓 規則第五條第二號ニ依リ科料壹圓 同上三圓		
嘉 義	規則第五條第二號ニ依リ科料拾圓		
臺 南	ナ シ		
阿 緬	ナ シ		
臺 東	ナ シ		
花 蓮	ナ シ		
澎 湖	ナ シ		

實査ノ進程 各地ニ於ケル實査ノ進程左ノ如シ

實 査

完了月日	普通調査區	特別調査區
十月一日	臺中、臺南、阿緬、臺東、花蓮港、澎湖	陸軍、稅關、臺北、基隆、新竹、臺中、臺南、嘉義、阿緬、宜蘭、臺東、花蓮港、澎湖、打狗、各醫院、臺北、臺中、臺南、各監獄
十月二日	臺北、宜蘭、桃園、新竹、南投、嘉義	

第四章 整 理

要旨 茲ニ謂フ所ノ整理トハ調査委員ニ於テ實地調査ノ後七日以内ニ所帶票ニ所定ノ事項ヲ記入照査シ該所帶票ニ依リ調査委員要計表ヲ作成シ共ニ其ノ完備ヲ認メタル上當該監督委員ニ提出シ監督委員ハ調査委員ノ整理事務ヲ監督シ且其ノ調査記入シタル所帶票及要計表ヲ檢査シ不備ノ點アルトキハ之ヲ調査委員ニ訂正セシメ然ル後監督委員要計表ヲ作成シ大正四年十月二十日迄ニ戶口調査委員長ヲ經由シテ之ヲ臺灣總督ニ提出シ總督官房臨時戶口調査部ニ於テ之ヲ檢査シテ不備ヲ發見シタルトキハ當該責任者ヲシテ訂正セシムル迄ノ事務ヲ總稱ス故ニ茲ニ所謂整理ノ事務ハ實査ノ終了ト共ニ始マリ訂正ノ完了ト共ニ終ルモノトス又所帶票ノ記入及要計表ノ作成事務ハ監督委員調査委員間連絡上ノ必要ト其ノ提出期限ノ短キカ爲概ネ監督委員事務所ニ於テ之ヲ取扱ヒ早出晚退以テ其ノ事務ニ從事シ中ニハ徹宵シテ熱心ニ其ノ進捗ヲ企圖シタル者アリ

所帶票及要計表提出及受理 實査既ニ完了スルヤ驢テ特別調査區ニ係ル所帶票及要計表ハ續々本部ニ到着シ普通調査區ニ係ルモノモ亦各監督委員ヨリ戶口調査委員長ヲ經由シテ大正四年十一月一日迄ニ全部進達セリ而シテ其ノ最終ハ臺北廳ニシテ實査後(十月二日)三〇日間ヲ要シタリ然レトモ之ヲ前回調査ニ於ケル最終宜蘭廳ノ實査後(十月三日)三七日間ヲ要シタルニ比スレハ其ノ差七日ヲ早メタリ各廳ヨリノ最終提出期及臨時戶口調査部ニ於テ之カ最終受理期ハ左ノ如シ

アジアパシフィック・インテリジェンス

アジアパシフィック・インテリジェンス

アジアパシフィック・インテリジェンス

アジアパシフィック・インテリジェンス

最終照會發送年月日		最終回答到達年月日	
阿 越	大正五年四月十四日	同	大正五年四月二十六日
花 港	同 二月十八日	同	同 三月十三日
蓬 湖	同 二月二十三日	同	同 三月十七日
其ノ他ノ諸官衙	同 四月二十五日	同	同 四月十一日

臺北及桃園二縣ノ括弧内ノ年月日ハ訂正ノ爲吏員出張及歸任ノ年月日ナリ

地方委員長ノ報告 地方ニ於ケル準備ヨリ整理マテノ事務ノ一斑ヲ示サムカ爲茲中應戸口調査委員長枝德二ノ報告ヲ左ニ掲ク

一 臨時戸口調査事務訓練狀況及方法

臨時戸口調査上最緊要ナルハ監督委員並調査委員ノ實務訓練ニ在ルハ勿論ナルモ之カ十分ナル訓練ハ容易ノ業ニ非ラス殊ニ時日ト經費トニ制限サレ勢ヒ不十分ナルヲ免ル能ハサレハ比較的短時日ノ間ニ於テ周到ナル訓練ヲ爲スニ如カスト認メ當應ニ於テハ七月二十六日ヨリ三日間ノ豫定ヲ以テ廳下警部補全部ヲ召集シ論議ヲ避ケ專ラ調査事務就中調査方法並所帶票記入ヲ主眼トシテ訓練指導ヲ爲サシメ然ル後各支廳ニ於テ調査委員及監督委員ヲ召集シ二日乃至三日間ノ豫定ニテ訓練ヲ行ハシムルト同時ニ委員部ヨリ保安係長統計主務戸口主務ヲ臨席セシメ統一ヲ計リ傍ラ所帶票ノ實地記入ヲ勵行シ該所帶票ニ依リ誤謬不備ヲ訂正研究セシメ尙ホ訓練後各支廳ニ於テ數回所帶票ノ演習記入ヲ爲サシムルト共ニ右所帶票ハ之ヲ委員部ニ於テ檢査訂正ノ上各本人ニ返戻研究セシムルノ方法ヲ採リタル結果訓練時日ノ短キ割ニ比較的十分ナル訓練ヲ爲スヲ得タリ然ルニ當應ニ於テハ區域廣大人口稠密ナルヨリ調査區數六百八區ノ多キニ達シタル爲メ調査委員ノ選出ニ多大ノ困難ヲ感シ應職員ノ殆ト全部ヲ網羅スルモ尙不足ヲ

感セシカ如キ實況ニテ從テ委員ノ命免異動頻繁ニシテ之カ補充ノ苦心一方ナラス九月二十五六日ニ至リ俄ニ豫備委員ヲ任命訓練セサルヘカラサルカ如キ困難ヲ感シ漸クニシテ調査事務ヲ終了スルヲ得タリ而シテ各官職別委員ノ任命ハ別表第一表ノ如シ

一 準備調査開始狀況

準備調査ノ完否ハ直接臨時戸口調査ノ結果ニ至大ノ關係ヲ及ボスヘク從テ之カ重要ナルハ言ヲ俟タサル所ナリト雖訓練同様到底完全ヲ期スルモ之ヲ望ミ得ヘカラサル事情アリ然レトモ第一回臨時戸口調査ニ比シ今回ハ豫テ受持巡査ニ於テ附箋調査ニ努力セテ結果比較的容易ナルモノアリ從テ該附箋調査ト所帶票トノ關係ヲ十分ニ訓練會ニ於テ會得セシメ居タルヲ以テ準備調査中ノ煩雜ヲ避ケ得タルモノアリ且ツ旅費支給ノ關係ヨリ廳下全部ヲ通シ一齊ニ九月二十六日ヲ以テ之ヲ開始スルコトシ只東勢角葫蘆墩及直轄ニ於ケル山地ヲ管轄セル土地ニ限リ二十五日ヨリ開始スルコトシ殊ニ開始當日ハ監督委員ハ必ス自己ノ配下ニ屬スル調査委員ヲ監督委員事務所ニ集合セシメ調査ニ關スル注意ヲ與フルト共ニ萬端打合セテ爲シ然ル後先ツ住家番號票ノ貼付ニ從事シ之ヲ終リテ始メテ各調査事項ノ調査ヲ爲サシメタル結果少キモ一回多キハ三回ノ十分ナル準備調査ヲ爲スヲ得殊ニ夜間ハ各監督委員事務所ニ集合シ調査事項ノ質疑研究ヲ勵行シ實地調査並所帶票記入ノ錯誤ナカラムコトヲ期セシメタリ是ヨリ先第二回臨時戸口調査施行ニ關シテハ之カ周知及誤解ヲ避ケルコトニ努メ常ニ保甲及新聞ヲ利用シ調査方法並趣旨ノ徹底ニ留意シタル結果本島人ニ在リテハ誠意該調査ノ無事終了ヲ期待シ調査上些ノ故障ナキノミナラス却テ如何ニシテ調査ノ便益ヲ計ランカヲ苦心セラルカ如キニ反シ内地人ニ在リテハ多少橫著ナル態度ヲ以テ應待シ調査ノ煩雜ヲ厭惡セラルカ如キ傾向アリ爲メニ市街地就中臺中街ノ如キ調査委員ノ苦心名狀スヘカラサルモノアリ從テ準備調査ニ多大ナル困難ヲ感シタルニ反シ本島人ニ在リテハ勉メテ戸口異動ハ勿論家族ノ旅行外出等ヲ避ケ居タルニモ拘ラス内地人ニ在リテハ平然トシテ當時ト異ナラス彼是調査上差隔ヲ生シタルハ一般内地人ノ氣風ヲト知スルニ足ルヘシ

一 實地調査ノ狀況

實地調査ノ狀況ヲ記述スル以前ニ於テ一應監督委員並調査委員ノ調査ニ對スル觀念如何ヲ述フルノ必要アリ本調査ノ效果ニ至大ノ關係アルハ調査委員並監督委員ノ調査ニ對スル獻身ノ觀念ヲ注入スルニ在リ而モ調査委員タルハ職責ハ勿論各種團體員並諸官衙職員ニシテ各種各階級ノ吏員ヲ網羅セルコトナレハ之カ統一ヲ期スルハ容易ノ業ニ非ラス如何ニ人民ニ於テ誠意該調査ノ便宜ヲ計リ如何ニ幹部ニ於テ奮勵スト雖關係委員ニ於テ熱誠該調査ニ盡瘁スルノ念乏シカラシカ豫期ノ目的ヲ達スル能ハザルヲ以テ常ニ此ノ點ニ苦心願慮セシ所ナリシカ實地調査ニ當リテハ監督委員ハ勿論調査委員ノ熱誠努力ハ到底之ヲ筆紙ニ盡シ得ヘカラサルモノアリ何レモ自ラ進ンテ奮勵實績ヲ確實ニ示現センコトヲ期シ病者病ヲ冒シ或ハ家族ニ病者アルモ之ヲ顧ミズ常ニ人後ニ落ッルヲ耻トシ万ニ相競フテ調査研究ニ從事シ官職階級ノ如何ヲ問ハス只己ノ任務ヲ曠ウセンコトノミヲ虞レ監督委員ハ監督補助委員ト一致協定シ一般調査ハ其ノ指揮命令ニ對シ他ク迄之ヲ遵奉シ質疑ニ對スル監督委員ノ解決ニ些ノ異論ヲ挾マス專ラ最終ノ目的ヲ達センコトヲ期シタル結果調査上豫期以上ノ好成績ヲ擧ゲ得タルハ大ニ特記スヘキ價值アリト信ス

就中監督委員ノ如キハ何レモ重要ナル擔任事務ヲ有スル關係ヨリ準備調査中ニ在リテハ終始調査委員ニ附隨スルノ必要ナキヲ以テ夫々方針ヲ示シタル上歸廳執務スヘキ豫定ナリシモ準備調査ノ監督モ忽ニスヘカラサルモノアリ殊ニ疑義解決ニ當リテハ實地研究ノ重要ナルヲ自覺シ終始調査委員ト同行研究ニ努メ遂ニ所帶票記入結了迄監督事務所ニ詰切リタルカ如キ又以テ其ノ一班ヲ窺知スルニ足ルヘシ

實地調査ハ十月一日午前六時ヲ期シ廳下一齊ニ開始スルコトニ決定シ置キタルヨリ各調査委員ハ其ノ時刻ニ後レンコトヲ憂ヒ殆ト安眠スル者ナク調査區ノ距離遠キ地ニ在リテハ午前三時頃ヨリ監督委員事務所ヲ出發シ擔任調査區ニ到着スルヤ保正甲長等ハ早クモ庄端ニ調査委員ヲ出迎シ庄民ハ各自邸前ニ集合調査ニ支障ナキヲ期シ進ンテ調

查ヲ受ケタルヨリ早キハ同日午前八時實地調査ヲ終了シ遅キモ同日午後七時三十分ヲ以テ些ノ故障ナク廳下全部ヲ通シテ終了セリ而シテ此ノ間監督委員及調査委員ノ奮勵苦心ハ感スルニ餘リアリ

一 所帶票記入狀況

各調査委員ハ實地調査終了ト同時ニ早キハ同日午後ヨリ各監督事務所ニ於テ遅キモ翌二日早朝ヨリ所帶票記入ニ著手シタルニ最初ノ間ハ記入上ノ疑問續出シ訓練會及其ノ後ニ於テ研究シ稍記入ノ要領ヲ得居タル者モ實地記入ニ際シテハ取捨ニ迷ヒ記入ヲ疑フ等頗ル困難ナルノ狀態アリシモ各監督委員ハ常ニ委員部ト連絡ヲ保持シ之カ解決指導ニ努メタルヨリ好成績ヲ以テ進捗セリ而シテ監督委員ハ調査委員ノ所帶票記入ヲ追ウテ之カ檢査ニ從事シ不備缺點ヲ發見スルヤ直ニ全調査委員ニ注意ヲ促シ一調査委員ノ誤謬ハ之ヲ當該調査委員ノミノ誤謬トセス一監督區ノ統一ヲ企圖シタル結果成績良好ニシテ進捗上多大ノ便益アリタリ

而シテ記入ニ最疑問多ク且ツ困難ヲ感シタルハ職業及地位ニシテ殊ニ警察官以外ノ調査委員ハ元來戸口調査副簿ノ概念ヲ有セサルヨリ續柄就中同居人ト同居寄留人ノ區別ノ如キ疑問トナリ其ノ他比較的疑義多カリシハ又止ムヲ得サル所ナリ

記入ニ際シテハ敢テ遲速ヲ爭フノ必要ナク最モ完全ニ期日内ニ終了スルヲ方針ト爲セシ結果一調査區平均五十時間弱ヲ要シ何レモ期日内ニ委員部ニ到着スルヲ得タリ

一 監督委員監督狀況

監督委員ト調査委員トノ連絡就中支廳長ト他官吏ヨリ選定シタル監督委員トノ關係ニ就テハ明治三十八年第一回臨時戸口調査ノ際ニ於テモ種々ノ衝突ヲ來シ進行上多少ノ障害アリシ實例アリシヲ以テ兩者ノ意思疏通ニ就テハ當初ヨリ最モ苦慮願念セシ所ニシテ委員部規程規定當時支廳長ヲ委員部ニ直屬セシメ支廳管内ノ統一ヲ爲サシムルコトトセハ此ノ間ノ連絡疏通ヲ圓滿ナラシムル上ニ於テ效果アルヘシト信シ同規程中ニ規定シタル結果他監督委員ニ於テモ其ノ趣旨ヲ諒解シ些ノ支障ナク最モ圓滿ニ進捗シ

得タリ監督委員ノ監督狀況ハ準備調査開始ト同時ニ各監督委員ハ則セシテ競争的奮勵トナリ住家番號貼付ヨリ準備調査ハ勿論實地調査及所帶票記入整理ニ至ル迄常ニ指導統一ヲ旨トシ殆ト晝夜兼行ノ狀態ニテ些ノ倦怠ノ色ナク奮勵トシテ自ラ進ムテ調査委員ヲ附隨シ監督ヲ勵行シタル結果能ク實情ヲ知悉シ疑義解決ニ際シ論議ニ涉ルノ餘地ヲ存セサラシメタルハ臨時戸口調査ノ目的ヲ達スル上ニ於テ多大ノ效果アリシヲ疑ハス

監督委員ノ監督上最モ便宜ヲ得タルハ調査委員ハ準備調査開始以來必ス監督委員事務所ニ起臥シ常ニ監督委員トノ連絡ヲ確實ナラシムルト共ニ常ニ相互ニ接觸シ其ノ性行ヲ知悉スルヲ得タルヨリ規律ヲ執行及執務上些ノ缺點ナキヲ得タルニ在リ

一 準備調査開始ヨリ實地調査ニ對スル民情

臨時戸口調査施行ニ關シ最モ憂慮セルハ民情如何ニシテ殊ニ疑惑心ニ富ミ世事ニ疎ク判斷力ニ乏シキ本島人ニ在リテハ必ス流言浮説頻出シ調査上不測ノ支障發生センコトヲ憂ヒ警察官吏ノ附屬調査開始ヨリ終始保甲ヲシテ調査ノ趣旨ヲ周知セシムルコトニ努ムルト共ニ常ニ人民ノ疑惑ヲ解クコトニ注意シタル爲メ豫想外ニ民情平靜ナリシノ層民ニ在リテハ全ク流言浮説ナキニアラサリハ現時ノ民智上止ムヲ得サル所ナリ而シテ其ノ大要ヲ列記セハ

附屬調査當時ニ在リテハ調査事項中職業及其ノ地位ニ對シテハ最モ綿密ナル調査ヲ遂行シ延テ一家ノ收入ノ内職ノ種類程度雇傭狀態及副業關係ヲ調査シタル爲メ一部本島人ニ在リテハ課税ノ目的ニ外ナラサルヘシ殊ニ内職ニ對スル養豚等ヲ調査スルハ養豚稅ヲ賦課スルノ手段タルヘシ等ノ浮説ヲ爲スモノアリタルモ漸次其ノ趣旨ヲ諒解シ何等流言浮説ハ勿論危懼ノ念ヲ起スモノナキニ至リタリ

然リト雖本島人カ臨時戸口調査ニ對スル觀念ハ最モ之ヲ重要視シ殆ト國籍得喪ニ關係セルモノノ如ク思惟シ俗ニ大調査ト稱シ萬一ニモ本調査ニ漏ルル事アラシカ忽チ本島

民籍ヲ失シ支那人ノ取扱ヲ受クルニ至ルヘク調査後編入願出ツルモ殆ト絕對的ニ編入ヲ許サレサルヘク從テ旅行出寄留者等モ如何ニ官廳ヨリ現在地ニ於テ調査ヲ受ケ差支ナキ旨說示スト雖決シテ斯ル輕易ノ業ニ非ラサレハ本居地ニ於テ受クルノ萬全ニ如カサルヘシト誤信セルモノトハ官廳ニ於テ多大ノ經費ト努力トヲ費シ萬難ヲ排シ全島同一時ニ住民全部ノ調査ヲ行ハルルハ如何ニ本調査カ重要ナルカハ推知スルニ難カラス從テ調査ニ際シ誤謬ノ答ヲ爲サンカ嚴罰ニ處セララルル虞アリ此ノ際戸口抄本ノ下付ヲ受ルカ或ハ保甲事務所ノ戸口簿ニ依リ氏名年齡ハ勿論必要事項ヲ暗記シ置カサルヘカラストテ應支應ニ抄本下付ヲ請求スルモノ平日ノ三倍乃至五倍ニ達シ保甲事務所ハ早朝ヨリ深夜ニ至ル迄保甲民ヲ以テ埋ムルノ奇觀ヲ呈セシヨリ直ニ之カ誤解ヲ除去スルコトニ努メタルモ人民ハ容易ニ安心スルニ至ラス殊ニ調査委員カ受持警察官吏ノミナレハ能ク部民ノ狀態ヲ熟知シ相識ノ間柄格別懸念スル點ナキモ臨時戸口調査委員ニハ多數ノ官吏任命セラレヘケレハ自然民情ニ通セス言語モ通セサル調査委員アルハ止ムヲ得サレハ如何ナル間違ヒヲ生スルヤモ計リ難シト心配セルモノ之カ爲却テ調査上利益スル所少カラサリシモノアリ而シテ準備調査ヨリ實地調査ニ至ル流言浮説若ハ奇談等ノ重ナルモノヲ列記セハ

イ 今回ノ臨時戸口調査ハ南部地方ニ於ケル逃走匪徒ノ檢舉搜查ノ目的ナリ從テ各戸ニ就キ嚴重調査スルモノナリト

ロ 内職就中養豚等ヲ調査サルルハ新稅賦課ノ下調ヘナリ從テ多數ノ飼養豚アルカ如ク調査ヲ受ケンカ多額ノ稅額ヲ負擔セサルヘカラス故ニ一頭ヲ飼養セルカ如ク答辯スルニ如カスト

此ノ誤解ハ殆ト廳下全部ニ及リ何レモ一頭ヲ飼養シ居レルニ過キスト答ヲ爲ス者ノミナリシハ課税ノ目的ト誤信シ居タルハ事實ナルカ如シ

ハ 住家住地ノ有様殊ニ持地持家借地借家等ヲ調査セラルルハ家稅增額ノ目的ナリトニ生年月日ヲ事實ニ依リ調査セラルルハ徵兵令ヲ布カルル前提ナリト以上葫蘆墩支

應管内

ホ 内職又ハ本業副業トシテ林投帽製造若ハ編工等ヲ調査サルルハ幾分ノ課税目的ナルヘシト

此ノ誤解ハ容易ニ内職トシテハ林投帽編ニ從事セルノ事實ヲ答辯セス調査委員ニ於テ再三其ノ誤解ナルヲ諭シタル結果漸ク氷解スルニ至リタリ

ヘ 一部民ニ在リテハ從來本島ニ在リテ戸口編入漏トナリ居レル者モ今回ノ調査ヲ受クル時ハ其ノ儘編入サルヘシト信シ居タル者アリ(以上大甲支應管内)

ト 住家番號貼付ニ關シ甲ノ住家ニハ番號票ヲ貼付シ乙ノ住家ニハ貼付セザリシ(一住家數所帶ノ場合結果乙者ハ自己ノ住家ニ對スル權利ヲ認メラレシテ再三貼付方ヲ調査委員ニ嘆願セルモノアリ)

チ 旅行者出寄留者ニシテ本居地ニ於テ調査ヲ受ケサル者ハ本島民籍ヲ失スルニ至ルヘシト誤解セルモノアリ受持警察官吏並保甲ヲシテ其ノ誤解ヲ諭シ現在地ニ於テ調査スルノ方針ナレハ決シテ動搖スヘカラサル旨ヲ極力諭示シタルモ容易ニ之ヲ信セス旅行出稼先ヨリ歸來セル者多數アリタリ(以上彰化支應管内)

リ 從來登記セラレ居レル戸口調査副簿上ノ相違ノ點ハ本調査ニ於テ事實ノ通り申告セハ何等手續ヲ要セス直チニ變更訂正セラレヘシト誤信シ居タルモノアリ

ス 十月一日午前零時ノ時刻ニ於テ調査セラルル方針ナリト誤解シ居タルモノアリ(以上鹿港支應管内)

ル 住家及職業調査ハ課税ノ目的ナリトノ風説ヲ爲スモノアリタリ

ヲ 逃走匪徒ノ檢舉及搜查ノ目的ナリトノ風説アリタリ

ワ 臨時戸口調査終了後ハ本島人モ立派ナル國民ト認メラレ内地人ト同地位ニ立ツニ至ルヘシトノ風説アリタリ(以上員林支應管内)

カ 調査ノ目的カ課税ニ在リトノ風説ハ他支應ニ同シ

ヨ 準備調査開始間際ニ至リ東螺西堡溪洲庄附近民中今回ノ調査ハ名ヲ臨時戸口調査

ニ藉リ各人ニ就テ調査ヲ爲スハ南部地方ニ於ケル匪徒殘黨ノ搜查ヲ行フモノナリ或ハ南部匪徒蜂起地方ニ於ケルト同様人民ヲ一地ニ集メ一舉ニ之ヲ討滅スルモノナリトノ間込ミアリ果シテ眞ナリヤ否ト巡查補ニ内密ニ問ヒタルモノアリ又二八水庄附近民中ニハ南投地方ニ出稼者ノ言ナリトテ右同様ノ風評ヲ爲スモノアリトノ報告ニ接シ一部ノ風説ニ過キスト雖此ノ如キ風評ヲ流布スルニ至リテハ調査上障害ヲ來スノ虞レアリト認メ特ニ荒卷警務課長ヲ出張セシメ支應全管内保正ヲ召集シ臨時戸口調査ニ關スル訓示ヲ爲サシムルト同時ニ斯ル流言浮説ニ惑ハサルルカ如キコトナキ様懇諭セシメタル結果全然誤謬ヲ氷解シ些ノ支障ナク進行スルヲ得タリ(以上北斗支應管内)

タ 豚税賦課ノ風評ハ他支應ニ同シ

レ 今回ノ調査ニ纏足解纏足者ヲ調査サルルハ新ニ纏足税ヲ課セラルルニ至ルヤモ計ラレストノ風評アリタリ

ソ 一部人民中政府カスル精密ナル調査ヲ爲スハ諸種ノ税金ヲ取立テ民財ヲ政府ニ吸收スル下準備ニ外ナラサルヘシト語り居タルモノアリタリ

ツ 一住家數所帶ノ場合ニ家税其ノ他ノ税金ヲ所帶數ニ應シ賦課セラルルモノト誤信シ調査委員ノ問ニ對シ他迄一所帶ナリト答申シタルカ如キモノアリタリ(以上二林支應管内)

ネ 本調査ニ脱漏者ハ本島民籍ヲ失シ本居地ニ於テ調査ヲ受ケサレハ除籍サルヘシトノ誤解ハ他支應管内同様ナリ

ナ 臺中街在住内地人ニ在リテ本調査ハ九月三十日夜半ニ於テ施行セラルルモノト誤解ヲ懷キ尙最モ嚴格ナル調査ナレハ若シ調査當時不在トナルカ或ハ其ノ他ノ事故アリタル場合ハ三十圓ノ罰金ヲ科セラルルニ至ルヘシトノ風評ヲ爲シタルモノアリタリ

ラ 本島人中ノ一部ニ於テハ今回ノ戸口調査ハ臺灣總督交迭ノ結果新總督ノ施設方針

ヲ定ムル一助トシテ施行セラルルモノナリト又臨時戸口調査ハ職業上ノ關係讀書ノ程度縁事身分等各人ニ就キ最モ精密ナル調査ヲ行ヒ本島人ノ身元調査ヲ爲スモノニテ殊ニ戸口調査副簿ニハ各人毎ニ何等カノ符號ヲ以テ各人ノ身元ノ良否ヲ表示シアリ今回ノ調査ニテ此ノ關係ヲ明確ナラシムトノ事ナレハ從來無頼漢タリシ者素行不良ナリシ者等ハ自ラ戒メ正業ニ就クニ非ラサレハ警察ノ視線ヲ脱スルコト能ハサルヘク就中相當年齡ニ達シ結婚ノ事實ナキ獨身者ノ如キ或ハ職業ノ確實ナラサル者ノ如キハ直ニ以テ身元素行ノ不良ナル者ナリトノ断定ヲ下サルルニ至ルヘシト風評ヲ爲シタルモノアリ

ム 一部民中南部地方匪徒蜂起ノ結果個人ノ身元調査ヲ勵行シ良否ヲ鑑別スル資料ニ供セラルルモノナルヘシト風評ヲ爲スモノアリタリ

ウ 調査ニ際シ調査事項ヲ知ラサルカ又ハ當日不在ナルトキハ五十圓ノ罰金ニ處セラ

ルヘシトノ風評アリタリ

キ 住家番號票貼付ニ際シ所帶ニ據ラス住家ニ基キ貼付シタル結果所有權ニ關係スルカ如ク思惟シ憂慮シタルモノアリタルモ調査委員ノ説明ニ依リ始メテ安堵セルモノアリタリ

ノ 臺中街在住ノ内地人ニ在リテハ調査ノ趣旨ヲ諒解セル者モ附箋調査開始ヨリ準備調査實地調査等僅少ノ時日ノ間ニ數回ノ調査ヲ爲スハ繁雜且ツ面倒ノ限リニテ殊ニ家族モ少數ノ家ニテ何等異動モナケレハ何回モ來ル必要アルマシト多少怨言の風評ヲ爲スモノモアリタリ而シテ斯ノ如キ家庭ニ於テ却テ他行來泊等ノ異動多カリシハ又以テ本島在住内地人ノ誠意ニ乏シキヲ察スルニ足ル(以上直轄管内)

流言浮説トシテハ大要前記ノ通りナルモ右ハ各地方一部民ノ間ニ流布又ハ誤解サレタルニ止マリ調査進行上何等支障ヲ見サリシハ以テ本島人ノ調査ニ對スル觀念ヲ窺知スルニ足ルヘシ

一般奇談トシテハ

イ 九月三十日夜半ヲ期シ實地調査ヲ開始セラルヘキニ依リ當夜ハ人民ハ總テ就眠セ

ス調査ヲ待タサルヘカラストノ風説ヲ生シタル爲受持派出所ニ至リ自分等ハ未タ會

テ點燈シタルコトナキ故洋燈等ヲ所持セサルノミナラス家計貧困ニシテ購入シ能ハ

サルヲ以テ何等カノ方法ヲ以テ燈火ヲ免除サレタシト願出テタルモノアリ

ロ 出寄留者中本居地ニ於テ調査ヲ受クル目的ニテ歸家シ九月三十日一泊シ翌十月一

日午後三時頃出發寄留地ニ至リシ際ハ既ニ寄留地ニテハ不在者トシテ調査済ミナル

旨ヲ聞キ萬一不在者トナリ居リテ戸口籍ヲ失スルカ如キコトアリテハト急キ本居地

ニ歸リ見タルニ既ニ本居地モ調査済ミナリシヨリ大ニ狼狽シ顔色ヲ變シ調査委員ノ

後ヲ追フコト十餘丁ニシテ漸ク追ヒ付キ前記ノ事情ヲ述ヘ是非調査ヲ受ケ度シト懇

願セルヨリ其ノ誤解ヲ論シ既ニ九月三十日夜宿泊シタルヲ以テ本居地ニ於テハ來客

トシテ調査済ミニテ何等心配スヘキ必要ナシト懇篤ナル説明ヲ聞キ始メテ安堵セル

者アリタリ

ハ 調査委員カ實地調査ニ際シ一家族全部庭前ニ整列シ調査ヲ受クルニ當リ婦女子ハ

調査委員ノ前ニ出ツルヲ好マス後ヨリ單ニ手ノミヲ出スモノアリ又ハ全然後口向キ

トナリ顔ヲ見セサルモノアルヨリ其ノ理由ヲ取調ヘタルニ未婚ノ婦女子ノ如キ未タ

髮結ヲ済マササルモノ又ハ髮結ハ終リタルモ化粧ヲ済マササル内ニ調査委員ノ來ラ

レシヨリ身ノ不審ミヲ耻チタルモノナルコト判明セリ

ニ 九月三十日葫蘆墩街木賃宿屋主人本島人ハ午後五時頃一名ノ本島人ヲ同行支應ニ

出頭シ此ノ者ハ如何ニ投宿ヲ謝絶スルモ聞カス是非投宿ヲ強要スルニ依リ説諭ヲ仰

キ度シト願出ニ依リ謝絶ノ理由ヲ調査シタルニ臨時戸口調査ハ本居地ニ於テ受ケサ

ルヘカラスト誤解シ出稼先嘉義廳竹頭崎庄ヨリ本居地タル同支應管内揀東上堡烏牛

欄庄ニ歸宅途中ニテ本居地ニ歸リテモ住家ヲ有セサルヨリ宿屋ニ宿泊セハ調査ヲ受

ケ得ラルヘシト信シ投宿ヲ求メタルモノニテ宿主ハ臨時戸口調査ニ際シテハ旅行ハ

勿論來客アルモ家族以外ノ者ハ宿泊セシムヘカラスト誤解シ居タルコト判明シタル

ニ依リ調査ノ趣旨ヲ説示シ快ク宿泊セシムヘキ旨説諭シタル結果漸ク双方共安堵シ嬉々トシテ引揚ケタリ

ホ 十月一日港灣調査委員カ調査ノ爲メ港灣ニ至リタルニ竹筏内ニ一婦人ノ潜伏セルヲ發見取調ヘタルニ自己知人方ニ宿泊シ居タルモ十月一日實地調査ニ際シテハ他人ヲ宿泊セシメ居リテ萬一刑罰ニ觸ルルカ如キコトアリテハトノ懸念ヨリト一ハ人妻ナルヨリ姦通者ト誤認サルルカ如キコトアリテハトノ心配ヨリ九月三十日夜半ニ竹筏内ニ潜伏セシメ居タルモノナルコト判明シ其ノ誤解ヲ説諭セルモノアリ

九月三十日午後十一時臺中街東門警察官吏派出所へ一人ノ本島人車夫出頭シ願出ツル所ニ依レハ自分ハ今ヨリ五年以前招夫トシテ現戸ニ入婿シ停車場構内ニ賣子トナリ相當ノ收益アリ當時ハ家族ヨリ優遇ヲ受ケ居タルモ其ノ後車夫ニ轉業以來收入思ハシカラサル爲メ折合圓滿ヲ缺キ殊ニ此頃ニ至リ姑ハ自分ヲ離婚シ他ニ招夫ヲ迎フルノ考ニテ既ニ自分ノ後ニ招夫トナルヘキ人物ヲ見出シ双方ノ約束モ纏マリタルヨリ自分ヲ離縁スヘキ計略ヲ講究中恰モ戸口調査ノ實施トナリ十月一日實地調査當日在宅セサルモノハ戸口調査副簿ヨリ除籍セラルルト速斷シ自分カ終日終夜稼業ニ從事シ歸宅シタルニ姑ハ固ク門戸ヲ鎖シ如何ニ開門ヲ迫ルモ更ニ應セサルヲ以テ相當説諭ヲ仰キ度シ萬一在宅セサルトキハ全ク戸口籍ヲ除カレ離婚ハ當然成立シ彼等ノ術中ニ陥ルノ愚ヲ學ハサルヘカラスト眞面目ニ焦慮セルモノノ如クナリシヲ以テ相當説諭ヲ加ヘ歸家セシメタル奇談アリタリ

ハ 準備調査開始前自己ノ子ヲ他ニ養子トシテ既ニ縁組ヲ爲シタルモ未タ戸口上ノ届出ヲ爲シ居ラサルヨリ漏籍センコトヲ恐レ近隣ノ同年兒童ヲ雇ヒ來リ自己ノ子トシテ調査ヲ受ケントシテ調査委員ヨリ發見セラレ自己ノ不明ヲ耻チ大ニ謝罪シタルモノアリ

ト 兄弟二人暮ノ一戸兄弟共明治四十二年ヨリ行方不明トナリ居タルニ九月二十六日兄弟共歸來シ受持警察官ニ向ヒ自分等ハ四十二年ヨリ嘉義ニ出稼中戸口籍ヲ失ヒタ

ル由ナレハ此ノ際入戸願ヲ許容サレ度シト哀願シ出テタルニ依リ取調ヘタルニ行方不明トナリ居レラ以テ其ノ旨説キ聞カセタルニ戸口籍ノ存スルヲ聞キ大ニ安心シ直ニ自己ノ舊住家ヲ探カシタルモ元來借家ナリシヨリ既ニ他人カ居住シ居レヨリ今回ハ調査ヲ受クヘキ住家ヲ有セサルヨリ再ヒ心配ヲ生シ兄弟ニテ東奔西走漸ク借家ヲ探カシ得テ調査ヲ受クヘキ準備整ヒタリト喜色滿面調査ヲ待チ弟ハ再ヒ嬉々トシテ嘉義ニ出稼シ兄ハ臺中ニ殘留シ今後ハ斷シテ届出ヲ怠リ行方不明トナルカ如キ不都合ヲ爲サスト調査委員ニ固ク謝シタル奇談モアリタリ

風説奇談トシテハ以上ノ如クナルモ一般民情トシテ尙附記スヘキハ

臺中廳參事吳鸞旂ハ十月一日實地調査當日ハ一家族全部禮裝ニテ調査委員ヲ迎ヘ誠意ヲ以テ調査ヲ受ケタリ其ノ他本島人中各地ニ於テ國旗ヲ掲揚シ家業ヲ休ミ特ニ水牛犬等ヲ縛シ置キ調査委員ノ順路ノ支障ヲ除キタルモノ若ハ道路ヲ補修シ構内ヲ洒掃シ茶菓ヲ進メ饗應ノ準備ヲ爲セルモノ等一般調査委員ノ勞苦ヲ多大ナリトシ誠心誠意禮ヲ以テ迎ヘタルカ如キ一々之ヲ枚舉シ能ハサルモノアリ

要スルニ本島人カ如何ニ臨時戸口調査ヲ重視シ如何ニ敬意ヲ表セシカハ右ニ依リ推知スルニ難カラスト信ス殊ニ一部本島人間ニ在リテハ毎五年若ハ毎十年ニ一回宛此ノ如キ調査ヲ施行セラルハ無籍者無賴ノ徒若ハ犯人等潜伏ノ餘地ナキニ至リ本島民ノ幸福此ノ上モ無カルヘシトノ語ヲ漏ラスモノアリ以テ一般本島人ノ感想ヲ察スルニ足ルヘシ

一 調査終了後ニ於ケル民情

調査終了後ハ一般ニ平靜ニシテ何等異狀ヲ認メス只調査以前ニ在リテハ多少調査委員ノ人民接遇ニ關シ苛酷粗暴ナキヤヲ疑ヒ居タルモ各委員ハ何レモ懇切丁寧ニシテ溫言以テ調査ニ從事シ且ツ土語ニ熟セサル調査委員ニハ何レモ通譯ヲ附シアリ對談上些ノ支障ナカリシヲ以テ能ク意思疏通シ何等叱責等ヲ受クルコトナク無事終了シタルハ人民ノ幸福此上モナク思ヒシヨリモ易カリシト大ニ安堵シ居レルト多年音信不通行方不

明ノ父母兄弟妻子カ本調査ノ爲メ期セスシテ相會スルヲ得タルハ全ク戸口調査ノ賜物ニシテ仁政ノ然ラシムル所ナリト大ニ歡喜シ居レル外何等ノ流言浮説モナク只調査委員ノ勞苦感謝スルニ餘リアリトテ慰勞宴開催ノ申出ヲ爲シタルモノアリタルカ如ク何レモ好感ヲ以テ迎ヘ居レルノ有様ナリ

一 監督委員調査委員ノ狀態

監督委員並調査委員奮勵努力ノ狀態ハ何レモ献身の熱心ニシテ其ノ功勞多トスヘキハ既ニ記述セル所ナリト雖就中最感スヘキハ

第四百四監督區第五調査區調査委員

中村幸之助

右者準備調査開始當時ヨリ三男病氣ニ罹リ稍々危險狀態ナリシモ未タ危篤ニ迫リ居レルニアラサルヨリ調査ニ出張シ愛兒ノ病狀懸念ニ堪ヘサルモ調査ヲ忽ニスヘカラストテ遂ニ願ミルノ際ナク實地調査ヲ終了シタル當日看護ノ手後レヨリ愛兒ハ遂ニ死亡スルニ至リタルモノニテ十月二日遺骸涙ヲ吞ミ調査委員ヲ辭シ葬儀ヲ済マシタルハ實ニ感スルニ餘リアルモノトス

第五十一監督區第二調査區調査委員

荒川晃

右者九月二十五日ヨリ擔任調査區ニ出張翌二十六日ヨリ準備調査ニ從事シ過劇ノ勤務ニ服シタル爲メ身體ニ異狀ヲ生シタルモ敢テ休養セス勤務中九月二十九日ハ高熱ノ爲メ一日休養シタルモ豫テヨリ格勤ノ氣性ニ富メル同巡査ハ翌三十日ハ多少退熱シタリトテ強テ準備調査ニ奮勵シ引續キ實地調査ヲ完全ニ終了翌十月二日所帶票二十餘枚ヲ調製シタルモ病勢倍々募リ遂ニ腎臟病トナリ到底服務シ能ハサルヨリ始メテ歸宅療養中日ニ病勢險惡トナリ十月九日臺中醫院ニ入院シタルモ既ニ療養ノ手後レトナリ十月十日遂ニ死亡シタルハ全ク自己ノ職責ヲ全クセンカ爲メ一身ヲ顧ミサリシ結果斃ルルニ至リタルモノニテ他ノ鑑トスヘキモノナリ

第四百十五監督區第四調査區調査委員

戸塚市太郎

右ハ九月二十六日準備調査ノ爲擔任調査區ニ出張調査中九月二十七日午前十一時ヨリ

俄然劇烈ナル下痢及腹痛ヲ訴ヘ到底服務ニ堪ハサルヨリ不得止轎ヲ雇ヒ自宅ニ歸リ靜養中監督者ハ到底急治ノ見込ミナク殊ニ強テ服務セハ豫後危險ノ虞レアリトテ豫備調査委員ト交代セシメムト此ノ旨本人ニ通告セシニ同委員ハ既ニ準備調査ニ著手シ殊ニ實地調査ヲ眼前ニ控ヘ居レル今日病氣ノ爲己レノ任務ヲ完フシ能ハサルカ如キハ一身ノ不面目ナルノミナラス本廳ノ計畫ニ齟齬ヲ生セシムルカ如キハ殊ニ警察官吏トシテ忍フ能ハサル所ニシテ假令病氣ナリト雖未タ全ク勤務ニ堪ヘ得サルニ非ス從テ一日休養シ能フ限リ療養セハ十分ナリトテ監督者ノ注意ヲ却ケ二十九日ニ至リ更ニ病勢減退スルノ見込ミナカリシモ實地調査ノ切迫セルニ奮勵シ自費ニテ轎ヲ雇ヒ乘轎ノママ最完全ナル準備調査ヲ翌三十日午後一時頃迄ニ終了シタルモ病勢依然タリシヲ推シテ十月一日監督者ノ好意ヲ謝絶シ急遽轎ニ乘リ實地調査ヲ完全ニ終了シ以後病苦ヲ忍ビテ所帶票整理ニ從事シ始ト絶食スルコト三日間ナリシニモ拘ラス健康ナル他調査委員ト異ナラス早朝ヨリ深夜迄連日最熱心誠實ニ奮勵シ能ク己レノ任務ヲ遂行シタルモノニテ其ノ行動實ニ嘆賞スヘキ値アリテ衆人ノ模範トスルニ足ルヘシ

一 其ノ他參考トナルヘキ事項

臨時戸口調査ノ結果發見シ得タル警察上ノ資料少カラス殊ニ戸口規則上失蹤者トナリ又ハ行方不明トナリ居レル者等ハ殆ト十數年音信不通其ノ生死サハ疑ハレ居タルモノ漂然歸來シ父母妻子ノ喜悅ニ堪ヘサルモノ又ハ豫テ犯罪ノ爲逃走シ各所ニ潜伏檢舉ヲ免レ居タル者モ臨時戸口調査ニ漏ルルカ如キコトアリテハ民籍ヲ失スルノ虞レアリトテ私カニ歸來シ調査ヲ受ケントシテ檢舉セラレタル者等少カラス今其ノ數ヲ示セハ別表第二表ノ如シ

附言

臨時戸口調査力如何ニ本島人ニ重要視サレ居タルカハ既ニ民情ノ項ニ記述セルカ如クナルモ尙之ヲ補足スルニ好資料タルハ十月一日實地調査當日旅客ノ激減セシハ實ニ驚クヘキ狀況ニテ殊ニ廳下各私設鐵道ノ如キ終日殆ト乘客皆無ノ有様ナリシニ反シ其ノ前日迄ノ如キハ何レモ出稼者ノ歸來客ヲ以テ滿タサレ就中鹿港市街ノ如キ豫テ出稼者ノ多キ地方ハ一層甚シク九月二十七日ヨリ同三十日迄ノ間ニ於テ約一千餘名ノ出稼者歸來シ新高專鐵ノ如キ每列車乘客ヲ以テ滿タサレタル狀況ナリシハ其ノ一斑ヲ窺知スルニ足ルヘシ

第一表 官職及所屬別監督委員及調査委員

[illegible][illegible]

第二表 往方不明、逃走犯人、失踪、漏籍者發見數

警務課	直轄支廳		往戶方口不上不明	發達見走犯人檢舉人	失蹤者歸來	漏籍者發見	臨時口調查規則違犯	計
	男	女						
警務課	五	三						六三
東勢角支廳	一六	七						二五
葫蘆墩支廳	一七	三						二九
大甲支廳	四	一						五
沙撈越支廳	一九	一						二六
彰化支廳	三二	三						三五
總計	一〇	一〇						二〇

鹿港	員林	北斗	二林	計
支廳	支廳	支廳	支廳	支廳
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
三	三	三	三	三
四	四	四	四	四
五	五	五	五	五
六	六	六	六	六
七	七	七	七	七
八	八	八	八	八
九	九	九	九	九
十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二
十三	十三	十三	十三	十三
十四	十四	十四	十四	十四
十五	十五	十五	十五	十五
十六	十六	十六	十六	十六
十七	十七	十七	十七	十七
十八	十八	十八	十八	十八
十九	十九	十九	十九	十九
二十	二十	二十	二十	二十

逃走犯人檢舉數 傷害二、賭博六、竊盜四、詐欺一、橫領二、阿片令違犯三、骨牌稅法違犯一、
漏籍者ノ内 男五、女二ハ他廳ヨリ臨時戸口調査當日葫蘆墩支廳下乞食養二入込ミタル者尙
男五ハ他廳ヨリ流浪シ來リ居タル者ニシテ其ノ内一名ハ目下臺北廳ニテ設置手續中

第五章 檢 査

所帶票ノ検査 本部ニ於ケル所帶票ノ検査ハ其ノ最終検査ニシテ單位觀察ノ正否ハ一ニ繫
リテ此ノ検査ニ在リ而シテ所帶票ノ検査タルヤ同検査手續ノ命スルカ如ク頗ル複雑多岐ニ
互リ時間ト勞力ヲ要スルコト多大ニシテ而モ短時間ニ之ヲ終了セサレハ不備事項ヲ訂正ス
ルニ或ハ困難ヲ生シ或ハ不可能ニ至ルノ虞アリ而モ之ニ要スル検査員ノ人選困難ニシテ豫
定ノ人員ヲ得ル能ハス依リテ中途ヨリ定時間外勤務ヲ開始シ早出晚退且廢休ノ上其ノ検査
ニ從事セシメ迅速ニ結了セシメムコトヲ期シタル結果大正四年十月二十一日ヨリ同五年三
月十日マテ一四二日間内就業日數一二五日事務休止日數一七二日之ヲ完了スルヲ得タリ其
ノ結果左ノ如シ

所帶票檢查成績

[illegible]

種別	着手年月日	終了年月日	期間	延時間	従人員	備考
集計原表	大正六年五月十六日	大正六年八月十五日	三ヶ月	100時間	一人	就業日数八一日、事務休止日数二二日
結果表	大正六年五月十六日	大正六年八月十五日	三ヶ月	100時間	一人	就業日数八七日、事務休止日数二二日

結果表検査中ニハ記述報文附録表ノ検査ヲ含ム

所帯票及要計表検査手續 大正四年七月訓令ヲ以テ所帯票及要計表検査手續ヲ規定シ以テ精確ノ程度ヲ一定セリ而シテ地方中央共ニ此ノ手續ニ依リテ検査ヲ遂ケタルヲ以テ所帯票及要計表ハ同一標準ニ依リテ少クモ二回ノ検査ヲ爲シタルニ同シ右訓令左ノ如シ

臨時戸口調査所帯票及要計表検査手續 (大正四年七月二十八日訓令 第百八十八號)

甲 所帯票検査手續

第一 一般ノ注意

- 一 所帯票ノ検査ヲ爲ス者ハ先ツ左記ノ注意ヲ要ス
- イ 記入ノ文字明確ナルヲ
- ロ 記入ノ文字適當ナルヲ
- ハ 略字又ハ「同」ノ字ヲ記入シタルモノナキヲ
- ニ 記入ヲ必要トスル欄ニ記入ノ脱漏ナキヲ
- ホ 記入ノ事項ナキ欄ニハ「」ノ境記アリヲ
- ヘ 記入事項ノ検査ハ逐次主欄ニ於テ他ノ關係欄ト對照スルヲ要ス然レトモ必要ニ依リテハ前ノ關係欄ニ過リテ對照スヘシ但シ主欄ニシテ既ニ前ノ關係欄ニ於テ検査済ト爲リタル場合ニハ交互ニ重ノ検査ヲ爲スニ及ハス

ト 各欄對照検査ノ證トシテ當該事項ニ鉛筆(黒色ニ限ル)ヲ以テ「レ」ヲ附スヘシ

二 調査委員兼監督委員ノ記入シタル所帯票ハ監督補助委員之ヲ検査スヘシ

第二 欄内ノ検査

現在者ノ部

第一 欄 氏 名

一 本欄ニハ「」ヲ填記スルコトナシ

二 本欄ハ第二欄第三欄第四欄第五欄及第六欄ト對照ヲ要ス但シ日本ノ國籍ヲ取得者ハ喪失シタル者、本島人ノ戸ニ入りタル内地人又ハ内地人ノ家ニ入りタル本島人ニ在リテハ第三欄對照ノ外尙第十九欄第二十欄第二十一欄又ハ第二十二欄ヲ對照スヘシ

三 第二欄トノ對照

男ノ名ニシテ第二欄ニ妻、長女又ハ下女等女性固有ノ續柄又ハ關係、女ノ名ニシテ父、次男又ハ下男等男性固有ノ續柄又ハ關係ノ記入ナキヲ

四 第三欄トノ對照

女ノ名ヲ片假名ニテ記入シタル者第三欄ニ「内」トアリヤ

氏名ノ間ニ「氏」ノ字ヲ挿入シタル者第三欄ニ「福」、「廣」、「漢」、「然」、「朝」又ハ「支」トアリヤ

氏名トモ片假名ヲ以テ記入シタル者第三欄ニ「生」、「權」又ハ「外」トアリヤ

五 第四欄及第五欄トノ對照

男ノ名ニシテ第五欄ニ「女」、女ノ名ニシテ第四欄ニ「男」トナキヲ

片假名ヲ以テ記入シ又ハ氏名ノ間ニ「氏」ノ字ヲ挿入シタル者第五欄ニ「女」トアリヤ

六 第六欄トノ對照

「名」ヲ附セス「ト」アル者出生後多クノ日數ヲ經過セスヤ

- 第二欄 所帯主トノ續柄又ハ所帯主若ハ所帯トノ關係
- 一 本欄ニハ「」ヲ填記スルコトナシ
- 二 本欄ハ第一欄對照ノ外尙第三欄、第四欄、第五欄、第六欄、第七欄、第八欄、第二十欄、第二十一欄、第二十三欄及不在者ノ欄並ニ關外准所帯ノ種類及名稱、住家ノ有様(所帯主ニ限ル)ト對照ヲ要ス
- 三 第三欄トノ對照
- 四 父子ニシテ其ノ種族ヲ異ニスル等ノコトナキヤ
- 四 第四欄及第五欄トノ對照
- 本欄ニ父、兄、招夫又ハ下男等男性固有ノ續柄又ハ關係ヲ記入シタル者第四欄ニ「男」トアリヤ
- 本欄ニ母、妻、妾又ハ下女等女性固有ノ續柄又ハ關係ヲ記入シタル者第五欄ニ「女」トアリヤ
- 五 第六欄トノ對照
- 父ノ年、子ノ年ヨリモ少ク弟ノ年、兄ノ年ヨリモ多キ等ノコトナキヤ
- 六 第七欄トノ對照
- 本欄ニ「入夫」、「招夫」、「招婿」、「妻」、「妾」、「媳婦」等ト記入シタル者第七欄ニ「配」トアリヤ
- 本欄ニ「媳婦仔」ト記入シタル者第七欄ニ「未」トアリヤ
- 本欄ニ「嫂」、「從弟ノ妻」等ト記入シタル者第七欄ニ「未」トナキヤ
- 七 第八欄トノ對照
- 本欄ニ「來客」、「船客」、「旅客」等ト記入シタル者ニシテ第八欄ニ「家族」、「同居寄留人」等トアル者ハ之ヲ養フ者ノ職業名又ハ生計ノ途ノ附記アリヤ
- 八 第二十欄トノ對照
- 本欄ニ在ル内地人ニシテ所帯主又ハ父、母、妻、子等家族ノ續柄アル者第二十欄ニ記入ノ本籍皆同一ナリヤ

- 九 第二十一欄トノ對照
- 本欄ニ在ル外國人ニシテ所帯主又ハ父、母、妻、子等家族ノ續柄アル者第二十一欄ニ記入ノ國籍皆同一ナリヤ
- 十 第二十三欄トノ對照
- 本欄ニ來客、旅客、船客等一時ノ現在者タルコトヲ表明スル關係ヲ記入シタル者第二十三欄ニ常住地ノ記入アリヤ
- 平常其ノ所帯ニ住居セサル主人及其ノ家族又ハ雇人等ニシテ支店別荘ノ類ニ一時宿泊セル者ニ在リテハ本欄ニ主人ニ付テハ「所帯主」ト記入シ其ノ他ノ者ニ付テハ主人トノ續柄又ハ關係ヲ記入シ且ツ第二十三欄ニ常住地ノ記入アリヤ
- 十一 不在者欄トノ對照
- 本欄ニ所帯主トノ續柄又ハ關係ノ記入アリテ所帯主ノ記入ナキトキ不在者所帯主ノ欄ニ記入アリヤ
- 十二 關外准所帯ノ種類及名稱トノ對照
- 本欄ニ所帯トノ關係例之ハ旅客、船客、下宿人等ヲ記入シタルトキハ准所帯ノ種類及名稱欄ニ記入アリヤ
- 十三 關外住家ノ有様トノ對照
- 本欄又ハ不在者欄ニ所帯主ノ記入アルトキハ住家ノ有様欄ニ記入アリヤ
- 第三欄 種族
- 一 本欄ニハ「」ヲ填記スルコトナシ
- 二 本欄ハ第一欄及第二欄ト對照ノ外尙第八欄、第九欄、第十欄、第十一欄、第十七欄、第十八欄、第十九欄、第二十欄、第二十一欄及第二十二欄ト對照ヲ要ス

- 三 第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄トノ對照
本欄記入ノ種族ト第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄記入ノ職業名又ハ地位ト相容レサルカ如キコトナキヤ
 - 四 第十七欄トノ對照
本欄ニ「内」、「朝」、「樺」又ハ「外」ト記入シタル者第十七欄ニ「阿」トナキヤ
 - 五 第十八欄トノ對照
本欄ニ「内」、「朝」、「樺」又ハ「外」ト記入シタル者第十八欄ニ「系」又ハ「解」トナキヤ
 - 六 第十九欄トノ對照
本欄ニ「内」ト記入シタル者第十九欄ニ出生地ノ記入アリヤ（第二十欄ニ本籍ノ記入ナキ内地人モ本欄ノ記入ヲ要ス）
 - 七 第二十欄トノ對照
本欄ニ「内」ト記入シタル者第二十欄ニ本籍ノ記入アリヤ但シ無籍者、日本ノ國籍ヲ喪失シタル者及本島人ノ凡ニ入りタル者ハ此ノ限ニ在ラス
 - 八 第二十一欄トノ對照
本欄ニ「支」又ハ「外」ト記入シタル者第二十一欄ニ國籍ノ記入アリヤ但シ無國籍者及日本ノ國籍ヲ取得シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
 - 九 第二十二欄トノ對照
本欄ニ「内」ト記入シタル者第二十二欄ニ渡臺ノ年ノ記入アリヤ但シ第十九欄ニ記入シタル出生地本島内ニ在リテ引續キ在住ノ者、改隸以前ノ渡臺者ニシテ引續キ在住ノ者及第二十三欄ニ記入シタル常住地本島外ニ在ル者即チ旅行中ノ者ニハ渡臺ノ年ナシ
- 第四欄 男

- 一 本欄ニ「男」ノ外記入スルコトナシ
 - 二 本欄ハ第一欄及第二欄ト對照ノ外尙第五欄、第七欄、第八欄、第九欄、第十欄、第十一欄及第十八欄ト對照ヲ要ス
 - 三 第五欄トノ對照
本欄ニ文字ノ記入アルトキ第五欄ニ「」ノ填記アリヤ
 - 四 第七欄トノ對照
本欄ニ記入シタル者第七欄ニ「家」トナキヤ
 - 五 第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄トノ對照
本欄ニ記入シタル者第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄ニ產婆、下女等女性特有ノ職業名又ハ地位ノ記入ナキヤ
 - 六 第十八欄トノ對照
本欄ニ記入シタル者第十八欄ニ「系」又ハ「解」トナキヤ
- 第五欄 女
- 一 本欄ニ「女」ノ外記入スルコトナシ
 - 二 本欄ハ第一欄及第二欄ト對照ノ外尙第四欄、第七欄、第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄ト對照ヲ要ス
 - 三 第四欄トノ對照
本欄ニ文字ノ記入アルトキ第四欄ニ「」ノ填記アリヤ
 - 四 第七欄トノ對照
本欄ニ記入シタル者第七欄ニ「家」トナキヤ
 - 五 第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄トノ對照

本欄ニ記入シタル者第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄ニ下男、作男等男性特有ノ職業名又ハ地位ノ記入ナキヤ

第六欄 出生ノ年月日

一 本欄ニハ「」ヲ填記スルコトナシ

二年 年月日ヲ記入シタル者其ノ年號ニ相違ナキヤ(例之ハ天保十五年、安政七年又ハ元治二年ト云フカ知キモノナキヤ)(年齡表參照)

三年 年齡ノ上ニ十二支ヲ冠シタル者其ノ十二支ト年齡ト符合スルヤ(年齡表參照)

四 本欄ハ第一欄及第二欄ト對照ノ外向第三欄、第七欄、第八欄、第九欄、第十欄、第十一欄、第十四欄、第十七欄、第十八欄、第二十一欄及第二十二欄ト對照ヲ要ス

五 第三欄トノ對照

本欄ニ外國ノ年號、月日ヲ記入シタル者第三欄ニ「支」又ハ「外」トアリヤ

六 第七欄トノ對照

年少者ニシテ第七欄ニ「配」、「嫁」、「寡」又ハ「離」トナキヤ

七 第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄トノ對照

年少者ニシテ第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄ニ相當ノ年齡ナルコトヲ要スル職業名又ハ地位ノ記入ナキヤ

八 第十四欄トノ對照

相當年齡ニ達セサル者ニシテ第十四欄ニ「讀」、「讀」又ハ「書」トナキヤ

九 第十七欄トノ對照

阿片煙吸食特許年齡(二十歳)ニ達セサル者ニシテ第十七欄ニ「阿」トナキヤ

十 第十八欄トノ對照

出生後未タ多クノ年月ヲ經過セサル者ニシテ第十八欄ニ「系」又ハ「解」トナキヤ
十一 第二十一欄トノ對照
本欄ニ外國ノ年號、月日ヲ記入シタル者第二十一欄ニ國籍ノ記入アリヤ

十二 第二十二欄トノ對照

出生ノ年ニシテ第二十二欄ニ記入セル渡臺ノ年ヨリモ晚キコトナキヤ

第七欄 錄事上ノ身分

一 本欄ニハ「」ヲ填記スルコトナシ

二 本欄ハ第二欄、第四欄、第五欄及第六欄ト對照ノ外向第十八欄ト對照ヲ要ス

三 第十八欄トノ對照

本欄ニ「錄」ト記入シタル者第十八欄(本島人及支那人ニ限ル)ニ「系」又ハ「解」トナキヤ

第八欄 本業ノ業名

一 本欄ニハ「」ヲ填記スルコトナシ

二 本欄記入ノ職業名又ハ生計ノ途ハ其ノ實ヲ表明スルニ足ルヘキ小分類以下ノ適切ナル稱呼ナルヤ(例之ハ「漁」、「漁」、「工業」、「雜業」等トナキヤ)

三 本欄ニ「家族」又ハ「同居寄留人」ト記入シタル者アルトキハ其ノ他ノ者ニ職業名又ハ生計ノ途ノ記入アリヤ

四 本欄ハ第二欄、第三欄、第四欄、第五欄及第六欄ト對照ノ外向第九欄、第十欄、第十四欄、第十五欄及

五 第十七欄トノ對照

第十九欄トノ對照

所帶票記人心得七ノ甲及辛ニ該當スル者ノ外本欄ニ記入シタル職業名又ハ生計ノ途ニ對スル地位ヲ第九欄ニ記入セリヤ

- 六 第十欄トノ對照
所帶票記入心得七ノ甲、己、庚及辛ニ該當スル者第十欄ニ副業名ノ記入ナキヤ
- 七 第十四欄トノ對照
本欄ニ記入シタル職業名又ハ生計ノ途ニシテ讀ミ書キノ力ヲ要スルモノナルトキ第十四欄ニ「」ノ填記ナキヤ
- 八 第十五欄トノ對照
第十五欄ニ記入シタル不具者ノ從事シ能ハサル職業名又ハ生計ノ途ヲ本欄ニ記入セシヤ
- 九 第十七欄トノ對照
本欄ニ記入シタル官職名(例之ハ逓査補ノ如キ阿片烟吸食ヲ許サレサル者)ニシテ第十七欄ニ「阿」トナキヤ
- 第九欄 本業ノ地位
一 本欄ニハ所帶票記入心得七ノ乙乃至庚ニ該當スル者ニシテ第八欄ニ記入シタル者ニ對スル地位ノ外記入スルコトナシ
- 二 本欄記入ノ地位ハ其ノ職業主ナルカ役員ナルカ労働者ナルカ手助家族ナルカ將家事雇人ナルカヲ表明スルニ足ルヘキ適切ノ稱呼ナルヤ
- 三 本欄ハ第二欄第三欄第四欄第五欄第六欄及第八欄ト對照ノ外尙第十四欄及第十五欄ト對照ヲ要ス
- 四 第十四欄トノ對照
本欄ニ記入シタル地位ニシテ讀ミ書キノ力ヲ要スヘキモノナルトキ第十四欄ニ「」ノ填記ナキヤ
- 五 第十五欄トノ對照

- 第十五欄ニ記入シタル不具者ノ從事シ能ハサル地位ヲ本欄ニ記入セシヤ
- 第十欄 副業ノ業名
一 本欄ニハ所帶票記入心得七ノ乙乃至庚ニ該當スル者トシテ第八欄及第九欄ニ記入シタル者ノ外記入スルコトナシ
- 二 本欄記入ノ職業名又ハ生計ノ途ハ其ノ實ヲ表明スルニ足ルハキ小分類以下ノ適切ナル稱呼ナルヤ(例之ハ「炭商」、「工業」、「雜業」等トナキヤ)
- 三 本欄ハ第三欄第四欄第五欄第六欄第八欄及第九欄ト對照ノ外尙第十一欄第十四欄及第十五欄ト對照ヲ要ス
- 四 第十一欄トノ對照
本欄ニ副業名ヲ記入シタルトキハ其ノ地位ヲ第十一欄ニ記入セシヤ
- 五 第十四欄トノ對照
本欄ニ記入シタル職業名ニシテ讀ミ書キノ力ヲ要スヘキモノナルトキ第十四欄ニ「」ノ填記ナキヤ
- 六 第十五欄トノ對照
第十五欄ニ記入シタル不具者ノ從事シ能ハサル職業名ヲ本欄ニ記入セシヤ
- 第十一欄 副業ノ地位
一 本欄ニハ第十欄ニ記入シタル職業名ニ對スル地位ノ外記入スルコトナシ
- 二 本欄記入ノ地位ハ其ノ職業主ナルカ役員ナルカ労働者ナルカ將分働者トルカヲ表明スルニ足ルヘキ適切ノ稱呼ナルヤ
- 三 本欄ハ第三欄第四欄第五欄第六欄及第十欄ト對照ノ外尙第十四欄及第十五欄ト對照ヲ要ス
- 四 第十四欄トノ對照

本欄ニ記入シタル地位ニシテ讀ミ書キノ力ヲ要スヘキモノトキ第十四欄ニ「」ノ填記ナキ

第十五欄 トノ對照

第十五欄ニ記入シタル不具者ノ從事シ能ハサル地位ヲ本欄ニ記入セスヤ

第十二欄 常用語

一 本欄ニ「」ヲ填記スルコトナシ

二 本欄記入ノ常用語ハ唯一種ニ限ル

三 本欄ハ第六欄及第十五欄ト對照ヲ要ス

四 第六欄トノ對照

發音時期ニ達セサル者ノ常用語ハ家庭語ト相違ナキヤ

五 第十五欄トノ對照

第十五欄ニ「録」ト記入シタル者ノ常用語ハ家庭語ト相違ナキヤ

第十三欄 常用以外ノ語

一 本欄ニハ常用語以外ニ語リ得ル言語(二種以上アルトキハ熟達ノ深淺ニ從ヒテ順次ニ記入ス)

ノ外記入スルコトナシ

二 本欄ハ第六欄及第十五欄ト對照ヲ要ス

三 第六欄トノ對照

發音時期ニ達セサル者ニシテ本欄ニ何等カノ記入ナキヤ

四 第十五欄トノ對照

第十五欄ニ「録」ト記入シタル者ニシテ本欄ニ何等カノ記入ナキヤ

第十四欄 讀ミ書キノ程度

一 本欄ハ假名ヲ讀ミ書キ讀ミ又ハ書キ得ル者ノ外記入スルコトナシ

二 本欄ハ第六欄、第八欄、第九欄、第十欄及第十一欄ト對照ノ外尙第十五欄ト對照ヲ要ス

三 第十五欄トノ對照

本欄ニ「讀、書」ト記入シタル者第十五欄ニ「首及白痴」ト記入スルノ類ナキヤ

第十五欄 不具ノ種類

一 本欄ニハ雙啞、盲、白痴及癡癡ノ外記入スルコトナシ

二 本欄ハ第八欄、第九欄、第十欄、第十一欄、第十二欄、第十三欄及第十四欄ト對照ノ外尙第十六欄ト對照ヲ要ス

三 第十六欄トノ對照

本欄ニ記入シタル者第十六欄ニ原因ノ記入アリヤ

第十六欄 不具ノ原因

一 本欄ニハ「生」、「疾」、「傷」又ハ「老」トアリヤ

二 本欄ハ第十五欄ト對照ヲ要ス

三 第十五欄トノ對照

第十五欄ニ「白痴」又ハ「癡癡」ト記入シタル者本欄ニ「老」トナキヤ

第十五欄ニ記入シタル二種以上ノ不具ニ對シテハ各別ニ其ノ原因ノ記入アリヤ

第十七欄 阿片煙吸食者

一 本欄ハ阿片煙吸食特許者ノ外記入スルコトナシ

二 本欄ハ第三欄、第六欄及第八欄ト對照ノ外尙第十九欄、第二十欄、第二十一欄及第二十二欄ト對照ヲ要ス

三 第十九欄トノ對照

- 本欄三「阿」ト記入シタル者第十九欄三「」ノ填記アリヤ
- 四 第二十欄トノ對照
- 本欄三「阿」ト記入シタル者第二十欄三「」ノ填記アリヤ
- 五 第二十一欄トノ對照
- 本欄三「阿」ト記入シタル者第二十一欄ニ支那以外ノ國籍ノ記入ナキヤ
- 六 第二十二欄トノ對照
- 本欄三「阿」ト記入シタル者第二十二欄三「」ノ填記アリヤ
- 第十八欄 足
- 一 本欄ニハ譯足者又ハ解譯足者ノ外記入スルコトナシ
- 二 本欄ハ第三欄第四欄及第七欄ト對照ノ外尙第五欄第十九欄第二十欄第二十一欄及第二十二欄ト對照ヲ要ス
- 三 第五欄トノ對照
- 本欄三「系」又ハ「解」ト記入シタル者第五欄三「女」トアリヤ
- 四 第十九欄トノ對照
- 本欄三「系」又ハ「解」ト記入シタル者第十九欄三「」ノ填記アリヤ
- 五 第二十欄トノ對照
- 本欄三「系」又ハ「解」ト記入シタル者第二十欄三「」ノ填記アリヤ
- 六 第二十一欄トノ對照
- 本欄三「系」又ハ「解」ト記入シタル者第二十一欄ニ支那以外ノ國籍ノ記入ナキヤ
- 七 第二十二欄トノ對照
- 本欄三「系」又ハ「解」ト記入シタル者第二十二欄三「」ノ填記アリヤ

第十九欄 出生地(内地人ニ限ル)

- 一 本欄ニハ第三欄三「内」ト記入シタル者ノ外記入スルコトナシ
- 二 本欄ハ第三欄第十七欄及第十八欄ト對照ノ外尙第二十欄第二十一欄及第二十二欄ト對照ヲ要ス
- 三 第二十欄トノ對照
- 本欄ニ出生地ヲ記入シタル者第二十欄ニ本籍ノ記入アリヤ但シ無籍者日本ノ國籍ヲ喪失シタル者及本島人ノ戸ニ入りタル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 四 第二十一欄トノ對照
- 本欄ニ出生地ヲ記入シタル者第二十一欄三「」ノ填記アリヤ
- 五 第二十二欄トノ對照
- 本欄ニ出生地ヲ記入シタル者第二十二欄ニ渡臺ノ年ノ記入アリヤ但シ出生地本島内ニ在リテ引續キ在住ノ者改隸前ノ渡臺者ニシテ引續キ在住ノ者及第二十三欄ニ記入シタル常住地本島外ニ在ル者即チ旅行中ノ者ニハ渡臺ノ年ナシ
- 第二十欄 本籍(内地人ニ限ル)
- 一 本欄ハ第三欄三「内」ト記入シタル者ニ付記入ス但シ無籍者日本ノ國籍ヲ喪失シタル者及本島人ノ戸ニ入りタル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 本欄ハ第一欄第二欄第三欄第十七欄第十八欄及第十九欄ト對照ノ外尙第二十一欄及第二十二欄ト對照ヲ要ス
- 三 第二十一欄トノ對照
- 本欄ニ本籍ヲ記入シタル者第二十一欄三「」ノ填記アリヤ
- 四 第二十二欄トノ對照

本欄ニ本籍ヲ記入シタル者第二十二欄ニ渡來ノ年ノ記入アリヤ但シ第十九欄ニ記入シタル出生地本島内ニ在リテ引續キ在住ノ者或前ノ渡來者ニシテ引續キ在住ノ者及第二十三欄ニ記入シタル常住地本島外ニ在ル者即チ旅行中ノ者ニハ渡來ノ年ナシ

第二十一欄 國籍(外國人ニ限ル)

一 本欄ハ第三欄ニ「支」又ハ「外」ト記入シタル者ニ付記入ス但シ無國籍者及日本ノ國籍ヲ取得シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

二 本欄ハ第二欄第三欄第六欄第十七欄第十八欄第十九欄及第二十欄ト對照ノ外尙第二十二欄ト對照ヲ要ス

三 第二十二欄トノ對照

本欄ニ記入シタル者第二十二欄ニ「」ノ填記アリヤ

第二十二欄 渡來ノ年(内地人ニ限ル)

一 本欄ハ第三欄ニ「内」ト記入シタル者ニ付記入ス但シ第十九欄ニ記入シタル出生地本島内ニ在リテ引續キ在住ノ者或前ノ渡來者ニシテ引續キ在住ノ者及第二十三欄ニ記入シタル常住地本島外ニ在ル者即チ旅行中ノ者ニハ渡來ノ年ナシ

二 本欄ニ明治二十八年以前ノ年號記入ナキヤ

三 本欄ハ第三欄第六欄第十七欄第十八欄第十九欄第二十欄及第二十一欄ト對照ノ外尙第二十

三欄ト對照ヲ要ス

四 第二十三欄トノ對照

本欄ニ渡來ノ年ヲ記入シタル者第二十三欄ノ常住地本島外ニ在ル者ナキヤ

第二十三欄 常住地(一時現在者ニ限ル)

一 本欄ニハ一時現在者ノ外記入スルコトナシ

男女合計

一 本欄ニハ各所帶票毎ニ男女數ノ記入アリヤ

二 合計男ノ數ハ第四欄ニ記入シタル「男」ノ數ト符合スルヤ

三 合計女ノ數ハ第五欄ニ記入シタル「女」ノ數ト符合スルヤ

四 男女合計シタル數ハ順番號最終ノ數ト符合スルヤ

男女總計

一 本欄ハ一所帶ニ所帶票二枚以上ヲ使用シタル場合ニ於テ最終ノ所帶票ノミニ男女數ヲ記入シ其ノ他ノ所帶票ニハ「」ノ填記アリヤ(欄外所帶票番號欄括弧内ノ枚數及括弧ノ下對照)

二 總計男ノ數ハ所帶票番號ノ同一ナル所帶票合計男ノ數ヲ合シタルモノト符合スルヤ

三 總計女ノ數ハ所帶票番號ノ同一ナル所帶票合計女ノ數ヲ合シタルモノト符合スルヤ

四 男女合計シタル總數ハ最終ノ所帶票順番號最終ノ番號數ト其ノ他ノ所帶票ノ枚數ニ二十ヲ

乘シタル數トヲ加ヘタルモノト符合スルヤ

常住地ノ男女合計

一 男合計ノ數ハ第二十三欄ニ常住地ヲ記入シタル第四欄ノ男ノ數ト符合スルヤ

二 女合計ノ數ハ第二十三欄ニ常住地ヲ記入シタル第五欄ノ女ノ數ト符合スルヤ

三 男女合計シタル數ハ第二十三欄ニ常住地ヲ記入シタル數ト符合スルヤ

常住地ノ男女總計

一 本欄ハ一所帶ニ所帶票二枚以上ヲ使用シタル場合ニ於テ最終ノ所帶票ノミニ男女數ヲ記入シ其ノ他ノ所帶票ニハ「」ノ填記アリヤ(欄外所帶票番號欄括弧内ノ枚數及括弧ノ下對照)

二 總計男ノ數ハ所帶票番號ノ同一ナル所帶票第二十三欄合計男ノ數ヲ合シタルモノト符合スルヤ

- 三 總計女ノ數ハ所帶票番號ノ同一ナル所帶票第二十三欄合計女ノ數ヲ合シタルモノト符合スルヤ
- 四 男女ヲ合シタル總數ハ所帶票番號ノ同一ナル所帶票第二十三欄ニ常住地ヲ記入シタル數ト符合スルヤ
- 不在者ノ部
- 一 現在者ト對照シ同一氏名ノ者ナキヤ
- 二 男ノ名ニシテ第二欄ニ妻、長女又ハ下女等女性固有ノ續柄又ハ關係ノ記入トキヤ
- 三 片假名ヲ以テ名ヲ記入シ又ハ氏名ノ間ニ「氏」ノ字ヲ挿入シタル者第二欄ニ父、次男、馬丁等男性固有ノ續柄又ハ關係ノ記入ナキヤ
- 四 男ノ名ニシテ第四欄ニ「女」トナキヤ
- 五 片假名ヲ以テ名ヲ記入シ又ハ氏名ノ間ニ「氏」ノ字ヲ挿入シタル者第三欄ニ「男」トナキヤ
- 六 第二欄ニ「所帶主」ノ記入アルトキ更ニ不在所帶主ノ欄ニ其ノ氏名、種族、職業名又ハ生計ノ途及其ノ地位ノ記入アリヤ(種族、職業名又ハ生計ノ途及其ノ地位ノ検査ハ現在者ノ部第三欄第八欄第九欄、第十欄及第十一欄參照)
- 七 第二欄ニ父、兄、姐夫又ハ馬丁等男性固有ノ續柄又ハ關係ヲ記入シタル者第三欄ニ「男」トアリヤ
- 八 第二欄ニ母、妻、妾又ハ下女等女性固有ノ續柄又ハ關係ヲ記入シタル者第四欄ニ「女」トアリヤ
- 九 合計男ノ數ハ男ノ欄ニ記入シタル數ト符合スルヤ
- 十 合計女ノ數ハ女ノ欄ニ記入シタル數ト符合スルヤ
- 十一 男女ヲ合シタル數ハ順番號最終ノ番號ト符合スルヤ
- 十二 支店、別荘ノ類ニ在リテハ不在所帶主ノ欄ニ「ミ」其ノ主人ノ氏名、種族、職業名又ハ生計ノ途及其ノ地位ノ記入アリヤ

十三 不在所帶主ノ欄ニ記入シタルトキハ欄外住家ノ有様ノ欄ニ記入アリヤ

第三 欄外ノ検査

一 調査區畫

縣名、監督區番號及調査區番號ノ欄ニハ監獄、官立醫院又ハ領事館等ノ特別調査ニ屬スルモノヲ除ク外、「」ヲ填記スルコトナシ

調査區番號ハ各監督區毎ニ第一番ヨリ之ヲ起シ缺番號又ハ重複番號ヲ生セス

二 所帶所在地

本欄ニ於ケル(阿蘇、薩東、花蓮港、及、里、薩南、及、阿蘇、市、薩南、縣、薩東、及、花蓮港、海、澎湖、嶼、阿蘇、北、及、薩東、三、街、庄、澎湖、村、及、二、縣、及、花蓮港、社、薩南、及、澎湖、縣、澎湖、縣、名、土、名、町、丁目等ノ記入適當ナリヤ

本欄ニ社名ノミヲ記入セルハ舊地ニ屬スルモノナリヤ

本欄ニ港灣名、河川地先ノ總括名稱又ハ湖沼名ヲ記入シタルモノニ在リテハ住家番號ノ欄ニ「船何丸」(名稱ナキトキハ「船何某所有」等トアリヤ

住家番號ノ欄ニ「」ヲ填記スルコトナシ

住家番號ノ欄括弧内ニ所帶數ヲ記入シタルトキハ括弧ノ下ニ「一」、「二」等ト記入アリヤ

括弧内ノ所帶數ハ住家番號ノ欄ニ記入シタル同一番號ノ住家又ハ同一名稱ノ舟筏ノ括弧ノ下ニ

記入シタル最終ノ番號ト符合スルヤ

所帶票番號ノ欄ニ「」ヲ填記スルコトナシ

所帶票番號ニハ缺號アルコトナシ

所帶票番號ノ欄括弧内ニ枚數ヲ記入シタルトキハ括弧ノ下ニ「一」、「二」等ト記入アリヤ

括弧内ノ枚數ハ所帶票番號ノ欄ニ記入シタル同一番號ノ括弧ノ下ニ記入シタル最終ノ番號ト符

合スルヤ

三 准所帯ノ種類及名稱

本欄ニ種類及名稱ヲ記入シタルモノニシテ欄内(現在者ノ部又ハ不在者ノ部)第二欄ニ所帯主ノ記入ナキヤ

本欄ニ記入シタルモノノ舟筏ナルトキハ所帯所在地ノ欄ニ港灣名、河川地先ノ總括名稱又ハ湖沼名及住家番號ノ欄ニ船何丸等ノ記入アリヤ

本欄ニ記入シタルモノニシテ住家ノ有様ノ記入ナキヤ

四 住家ノ有様

本欄ニ記入シタルモノ欄内第二欄(現在者ノ部又ハ不在者ノ部)ニ所帯主ノ記入アリヤ

本欄ニ記入シタルモノ欄外所帯所在地ノ欄ニ地名及住家番號ノ欄ニ番號ノ記入アリヤ

五 日 附

「大正四年十月」ノ下ニ所帯票毎ニ實地調査ノ日ヲ記入セリヤ

六 署 名

「調査委員官職氏名」ノ下ニ所帯票毎ニ官職氏名ノ記入アリヤ

乙 調査委員要計表検査手續

第一 一般ノ注意

一 調査委員要計表ノ検査ヲ爲ス者ハ先ツ左記ノ注意ヲ要ス

イ 各欄ノ検査ニ著手スル前ニ調査票毎ニ所帯票欄外所帯所在地欄ニ記入シタル街庄村、社、郷別ニ所帯票ヲ欄外要計表欄内第一欄記入ノ堡(里、市、郷、港、灣、嶼)、街(庄、村、社、郷)名ト照合シタル後街(庄、村、社、郷)毎ニ各欄ノ検査ヲ爲スヘシ但シ河川、港灣又ハ湖沼ニシテ別ニ調査票ヲ設ケタルモノハ街(庄、村、社、郷)別ノ例ニ依ル

ロ 本表ハ一調査票毎ニ一枚ヲ調製セシヤ

ハ 記入ノ文字明確ナリヤ

ニ 記入ノ文字適當ナリヤ

ホ 記入計數ノ不分明ナルモノ即チ「I DON'T KNOW」ト記入スル等ノ如キ疑ハシキモノナキヤ

ヘ 記入ヲ必要トスル欄ニ記入ノ誤漏ナキヤ

ト 記入計數ナキ欄ニ「」ノ填記アリヤ

チ 各欄検査ノ證トシテ當該欄ニ鉛筆(黒色ニ限ル)ヲ以テ「レ」ヲ附スヘシ

二 調査委員監督委員ノ調製シタル調査委員要計表ハ監督補助委員ニ於テ之ヲ検査スヘシ

第二 欄内ノ検査

第一欄 堡(里、市、郷、港、灣、嶼)、街(庄、村、社、郷)名

一 本欄記入ノ街(庄、村、社、郷)ニシテ一街(庄、村、社、郷)ノ一部ナルトキハ「何堡何街ノ内等」ト記入アリヤ

二 本欄ニ港灣名、河川地先名又ハ湖沼名ヲ記入シタルモノハ第二欄及第四欄ニ「」ノ填記アリヤ

第二欄 住家數

一 本欄ニ記入シタル數ハ所帯票欄外住家番號ノ欄ニ番號ヲ記入シタル住家ノ數(但シ全家不在ノ住家アルトキハ其ノ數ヲ除ク)ト符合スルヤ

第三欄 舟筏數

一 本欄ニ記入シタル數ハ所帯票欄外住家番號ノ欄ニ記入シタル舟筏ノ數ト符合スルヤ

第四欄 其ノ他ノ住居數

一 本欄ニ記入シタル數ハ所帯票欄外住家番號ノ欄ニ番號又ハ舟筏ノ名稱ヲ記入シタルモノヲ除キタルモノノ數ト符合スルヤ

第五欄 普通所帯数

一 本欄ニ記入シタル数ハ所帯票欄外所帯票番號ノ欄ニ番號ヲ記入シタル所帯ノ数ヨリ所帯票欄外ニ准所帯ノ種類及名稱ノ記入アルモノヲ除キタルモノノ数但シ全所帯不在ノ所帯アルトキハ其ノ数ヲ除クト符合スルヤ

第六欄 准所帯ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ所帯票欄外ニ准所帯ノ種類及名稱ノ記入アルモノノ数(但シ全所帯不在ノ准所帯アルトキハ其ノ数ヲ除クト符合スルヤ)

第七欄 普通所帯ニ在ル常住者ニシテ現在スル男ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第五欄ニ記入シタル所帯ノ各所帯票ノ欄内男女合計若ハ男女總計ノ男ノ数ヨリ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ男ノ数ヲ控除シタルモノヲ合シタル数ト符合スルヤ

第八欄 普通所帯ニ在ル常住者ニシテ現在スル女ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第五欄ニ記入シタル所帯ノ各所帯票ノ欄内男女合計若ハ男女總計ノ女ノ数ヨリ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ女ノ数ヲ控除シタルモノヲ合シタル数ト符合スルヤ

第九欄 普通所帯ニ在ル常住者ニ非スシテ現在スル男ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第五欄ニ記入シタル所帯ノ各所帯票ノ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ男ノ数ヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十欄 普通所帯ニ在ル常住者ニ非スシテ現在スル女ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第五欄ニ記入シタル所帯ノ各所帯票ノ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ女ノ数ヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十一欄 普通所帯ニ在ル不在者男ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ所帯票欄外ニ准所帯ノ種類及名稱ノ記入ナキ各所帯票ノ不在者男女合計ノ男ノ数ヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十二欄 普通所帯ニ在ル不在者女ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ所帯票欄外ニ准所帯ノ種類及名稱ノ記入ナキ各所帯票ノ不在者男女合計ノ女ノ数ヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十三欄 准所帯ニ在ル常住者ニシテ現在スル男ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第六欄ニ記入シタル准所帯ノ各所帯票ノ欄内男女合計若ハ男女總計ノ男ノ数ヨリ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ男ノ数ヲ控除シタルモノヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十四欄 准所帯ニ在ル常住者ニシテ現在スル女ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第六欄ニ記入シタル准所帯ノ各所帯票ノ欄内男女合計若ハ男女總計ノ女ノ数ヨリ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ女ノ数ヲ控除シタルモノヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十五欄 准所帯ニ在ル常住者ニ非スシテ現在スル男ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第六欄ニ記入シタル准所帯ノ各所帯票ノ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ男ノ数ヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十六欄 准所帯ニ在ル常住者ニ非スシテ現在スル女ノ数

一 本欄ニ記入シタル数ハ第六欄ニ記入シタル准所帯ノ各所帯票ノ一時現在者即チ常住地男女合計若ハ男女總計ノ女ノ数ヲ合シタル数ト符合スルヤ

第十七欄 准所帯ニ在ル不在者男ノ数

110

第十八欄 准所帶ニ於ケル不在者女ノ數

合計

第三 關外ノ検査

查區畫

二 實地調查時間數

ノ記入アリト

入アリヤ

三 所帶票整理時間數

本欄ニ所帶票整理開始ノ日、終了ノ日及其ノ時間數ノ記入アリヤ

開始ノ日ハ實地調査終了ノ日又ハ其ノ翌日ヲ記入セリヤ

終了ノ日ハ實地調査終了ノ日ヨリ七日以上ヲ經過セサルヤ

所帶票整理ニ要シタル時間數ハ適宜ナリヤ

四
日
附

「天正四年十月」下二日附ノ訃入アリキ又其ノ日附ノ算上當金給テ一日

五 署 名

「調査委員官職氏名」ノ下ニ調査委員トシテ實地調査ニ從事シタル者ノ官職氏名ノ記入ナリ

丙 監督委員要計表檢査手續

一、監督委員要計表ハ監督委員又ハ監督委員ノ職務ヲ行フ者ハ監督スル者ニ依テ之ヲ執行スル

二 監督委員要計表検査ノ要項左ノ如シ

イ 記入ノ文字明確ナリヤ

口 記入計數ノ不分明ナル

如キ疑ハシキモノナキナ

ハ 記入に必要とする欄に記入し、脱漏防止のため

二 託入ノ計數ヲ名稱ニシテ計算スルハ

水 欄內第一欄議會國花爲入欄二名以爲國石爲入

要計表二計入シタル積立金行合ニシテ

[illegible]

ミタハ 寛弘元年(1000)に、

合諸人等三會入寺。其後。復有僧尼。見

相列當並同置，用三屬各入其平，同石特。

種々村々日暮し

其ノ時間數ノ記入ヲ要ス

同欄ニ記入シタル檢査開始ノ日ハ調査委員ヨリ調査委員要計表及所帶票ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日ナリヤ
同欄ニ記入シタル檢査終了ノ日ハ檢査着手ノ日ヨリ八日以上ヲ經過セスヤ
同欄ニ記入シタル時間數ハ適宜ナリヤ
× 欄外日附ノ部「大正四年十月」ヲ下ニ日附ノ記入アリヤ又其ノ日附ハ調査委員ヨリ調査委員要計表及所帶票ヲ受ケタル後八日以上ヲ經過セスヤ
ル 欄外署名ノ部「監督補助委員官職氏名」及「監督委員官職氏名」下ニ調査委員要計表及所帶票ノ檢査又ハ監督委員要計表ノ調製ニ從事シタル總テノ監督補助委員及監督委員ノ官職氏名ノ記入アリヤ

三 各欄檢査ノ體トシテ當該欄ニ鉛筆(黑色ニ限ル)ヲ以テ「レ」ヲ附スヘシ

爾他諸表ノ檢査要項 各種統計表ノ檢査ハ先ツ事項ノ檢査ヲ爲シ然ル後各關係表トノ對照ヲ了シ最後ニ其ノ檢査ヲ施セリ

第六章 製 表

第一節 小票作成

第一 單 名 票

所帶票ノ檢査既ニ終リタル以上ハ本調査ノ結果ヲ製表スルノ第一著手トシテ目錄式ノ所帶票ヨリ計牌式ノ小票ヲ作成セサルヘカラス本調査ニ使用シタル小票ニ二種アリ一ハ單名票(個人單位ニシテ一ハ所帶單位票所帶單位ナリ而シテ單名票ノ作成ハ單ニ其ノ謄寫ヲ以テ終ルモノニアラス先ツ原票タル所帶票記入ノ職業及其ノ地位ニ對シ相當ノ符號ヲ附シ謄寫ノ準備ヲ爲スノ必要アリ該符號ハ最簡明ヲ旨トシテ所帶票略符記入心得ヲ設ケタリ該心得ニ依リテ既定ノ符號ヲ記入セシメ然ル後始メテ寫字生ヲシテ單名票用紙ニ記入セシメ次ニ校正員ヲシテ之ヲ原票ニ照査セシムルヲ以テ終ト爲ス而シテ符號ノ記入ハ大正五年四月十二日ニ始メ同年九月十一日ニ終レリ此ノ間一五三日ニシテ內就業日數一五一日從事延人員八〇二人ヲ算ス單名票ノ形式及其ノ作成成績左ノ如シ

(實物大)

單名票

氏名順號	常用語
種族	常用以(1).....(2).....(3)..... 外ノ語(4).....(5).....(6).....
出生年月日.....年.....月.....日(出生年月日) 緣事上ノ身分(1).....(2).....(3).....(4).....	讀ミ書キノ程度(1).....(2).....(3).....
有業事者家族人.....	不(種類(1).....(2).....(3).....(4).....) 具原因
本業名	阿片烟吸食者.....
本地ノ位	纏足者.....
副業(内職)名	解纏足者.....
副業(内職)ノ地位	出生地
廳番號	本籍
監督區號	國籍
調查區號	渡臺(初.....年.....終.....年)
堡里號	常住地
街庄社號	
所帶票號	

男ノ用紙ハ白紙ニシテ文字及線ハ代緒女ノ用紙ハ赤色用紙ニシテ文字及線ハ黒

成績 單名票ノ作成膳寫ヨリ校正マテハ大正五年五月十六日ニ始メ同年七月三十日ニ終レ
リ此ノ間七六日(内就業日數七一)事務休止日數五日)ニシテ從事延人員二六三二人ナリ而シ
テ單名票及所帶單位票共ニ廳監督區調查區ノ各番號並堡里及街庄社ノ番號ハ筆寫ニ換フル
ニ押字器ヲ以テセリ

第二 所帶單位票

單名票ノ作成終ルヤ尋テ所帶單位票ノ作成ニ著手セリ而シテ單位票ノ作成モ亦其ノ膳寫準
備トシテ所帶票ニ所帶ノ種類及其ノ構成ニ對シ相當ノ符號ヲ附シ寫字生ヲシテ之ヲ既定ノ
用紙ニ膳寫セシメ然ル後原票ニ照査セリ所帶單位票ノ形式及作成ノ成績左ノ如シ

所帶單位票

住居ノ種類 (住家ヲ除ク)			
所帶ノ種類 (准所帶ハ細別)			
一 住居中ノ所帶數 (1) (2) (3) (4)			
一所帶中二住居以上ノ住居數			
所帶主ノ種族			
所帶主ノ本業名			
所帶主ノ本位 業ノ地			
住家ノ有様			
廳番號	所帶構成別	現在者	
監督區番號	イ 所帶主	男	女
調査區番號	ロ 家族		
堡里番號	ハ 家事上ノ雇人		
街庄社番號	ニ 職業上ノ雇人		
住家番號	ホ 同居寄留人		
所帶票番號	ヘ 來客		
		現在者計	

(用紙ノ文字及線ハ代緒)

(實物大)

成績 所帶單位票ノ作成(謄寫ヨリ校正マテ)ハ大正五年七月三十一日ニ始メ同年十月九日ニ終レリ此ノ間七一日内就業日數六九日事務休止日數二日ニシテ從事延人員四〇五人ナリ

第三 所帶票略符記入心得及寫字生規程

小票作成ニ關スル心得及規定等ヲ左ニ掲ク

所帶票略符記入心得 (大正四年十月十九日決定)

甲 通則

一 略符ハ單名票及所帶單位票謄寫ノ準備トシテ所帶票ニ記入ス但シ略符ヲ記入スヘキ所帶ハ現在所帶ニ限ル

二 略符ノ記入ハ所帶票中指定ノ箇所ニ片假名又ハ日本數字(一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)ヲ以テ其ノ字體

ヲ明確ニ朱書スヘシ

乙 單名票謄寫用略符

第一 總則

一 單名票謄寫ノ準備トシテ略符ヲ記入スルハ職業ノ業名及其ノ地位トス

二 職業分類ノ各目ニ入ルヘキ業名ハ個人的職業ヲ目的トシテ各其ノ主題ノ下ニ類集スヘシ但シ官吏ノ内鐵道ニ關スルモノ、郵便電信及電話ニ關スルモノ、電氣ニ關スルモノ、水道ニ關スルモノ、醫治及公衆衛生(防疫及檢疫ヲ含ム)ニ關スルモノ、教育ニ關スルモノ、營林ニ關スルモノ及專賣ニ關スルモノ等「一六九目」ヨリ分離シテ各其ノ相當ノ目ニ編入スヘシ

三 本島ニ於テ公共團體ト認ムヘキモノハ左記ノ種類ニ限ル

一 公共埤圳組合

- 一 農會
- 一 保甲
- 一 畜牛保健組合
- 一 防疫組合
- 四 「一七五目」(其ノ他ノ自由業)ニ入ルヘキモノハ左記ノ種類トス
 - 一 日本赤十字社
 - 一 愛國婦人會
 - 一 武德會
 - 一 市場
 - 一 屠宰場
 - 一 衛生組合
 - 一 慈善院ノ類
 - 一 信用組合
 - 一 産業組合
 - 一 消防組
 - 一 内地人組合
 - 一 以上類似ノ業ニ従事スル者
- 五 職業上ノ地位ヲ分チテ左記ノ五種トス
 - 一 職業主
 - 一 役員
 - 一 手助家族

- 一 勞働者
- 一 家事雇人
- 六 業名及地位ノ略符ニ關シテ疑義アルトキハ掛長ニ其ノ旨ヲ申出ヘシ
掛長ニ於テ前項ノ申出ヲ受ケタルトキハ調査課長ノ指揮ヲ承ケ之ヲ審査決定シ總テノ掛員ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ
- 第二 業名
 - 七 本業名ノ略符ハ本業ノ業名欄ニ、副業名ノ略符ハ副業ノ業名欄ニ職業分類目ノ番號ヲ記入スヘシ但シ内職名ノ略符ハ之ヲ副業ノ業名欄ニ記入スヘシ
 - 八 各人ノ職業關係ヲ左ノ三種ニ分チ本業ノ業名欄ノ上部ニ下段ノ略符ヲ記入スヘシ
 - 一 有業者(手助家族及土地家屋ノ收養、公債株券ノ利子其ノ他)
 - 一 無業家族(内職者)
 - 一 家事雇人
 - 第三 地位
 - 九 本業及副業ノ地位ハ左記ノ區別ニ依リ下段ノ數字ヲ記入スヘシ但シ内職ノ地位ノ略符ハ副業ノ地位欄ニ記入スヘシ
 - 官吏ノ官職名ニ對スル地位ハ次項ノ規定ニ依ル
 - 一 職業主
 - 一 役員
 - 一 手助家族
 - 一 勞働者
 - 一 家事雇人

- 十 官吏ノ地位ハ左ノ區別ニ依リ記入スヘシ
- 一 高等官(待遇者) 一
 - 但シ政府ノ營業ニ屬スル者(鐵道、郵便、電信及電話、電氣、水道、醫治及公)ハ其ノ事業ノ長官ニ限リ高等官ニ非サルモ「ト」ス
 - 一 列任官(准官ヲ含ム) 二
 - 一 嘱託職員以下 四
 - 第四 記入例
- 一 業名又ハ地位ニ關スル略符ノ記入方ハ左記ノ例ニ依ルヘシ

業名	地位	業及共ノ地位	業位
田、一、烟、作	職、一、主	米、一、小、三、賣、三、商	掌、二、
田、一、烟、作	職、一、主		
内、一、職、一、養、豚、族	職、一、主		
家、一、一、作、人	職、一、主		
下、一、一、作、人	職、一、主		
ヤ、ウ、ム、ム、ウ、ウ、			

- (本表中「」ヲ附セルハ朱書ナリ)
- 丙 所帶單位票請寫用略符
- 第一 總則
- 一 所帶單位票請寫ノ準備トシテ略符ヲ記入スルハ所帶ノ種類及其ノ構成トス
- 第二 所帶ノ種類

- 二 所帶ノ種類ハ一人所帶親族所帶混合所帶及准所帶ニ細別シ左記下段ノ略符ヲ氏名欄(即チ「氏」ノ文字ノ上部)ニ記入スヘシ
- 一 普通所帶 親族所帶 混合所帶
- 一 准所帶
- 三 普通所帶ヲ細別スルハ左記ノ標準ニ依ル
- 一 一人所帶 一人所帶トハ所帶構成者一人ニシテ現在スル者ヲ謂フ但シ不在者アルトキハ假令現在者一人ナルモ之ヲ一人所帶トセス現在者トノ續柄又ハ關係ニ依リ親族所帶又ハ混合所帶トス別莊、支店ノ類ニシテ主人現在セサルトキ亦同シ
- 一 親族所帶 親族所帶トハ所帶構成者二人以上ニシテ左記範圍ノ者ヲ謂フ
- 甲 内地人及支那人以外ノ外國人所帶
- 乙 本島人及支那人所帶
- 丙 所帶主内地人又ハ支那人以外ノ外國人ナルトキハ甲ニ本島人又ハ支那人ナルトキハ乙ニ依ルヘシ
- 四 混合所帶 混合所帶トハ前二種以外ノ所帶ヲ謂フ
- 一 住居中同種又ハ異種ノ所帶ニ以上アル場合ハ左ノ例ニ依リ其ノ所帶ノ種類及所帶數ヲ最初ノ所帶票ノ住家番號欄右側餘白ニ記入シ第二以下ノ所帶票ニハ何等ノ記入ヲ爲スヘカラス
- 一 一人所帶ニ以上アルトキ
- 一 親族所帶ニ以上アルトキ
- 一 混合所帶ニ以上アルトキ
- 一 准所帶ニ以上アルトキ

- 一人所帯ト親族所帯トアルトキ
- 一人所帯ト混合所帯トアルトキ
- 一人所帯ト准所帯トアルトキ
- 一親族所帯二以上ト混合所帯一トアルトキ
- 一親族所帯一ト准所帯二以上トアルトキ
- 一混合所帯二以上ト准所帯二以上トアルトキ
- 一人所帯ト親族所帯ト混合所帯トアルトキ
- 一人所帯ト親族所帯ト准所帯トアルトキ
- 一人所帯ト混合所帯ト准所帯トアルトキ
- 一親族所帯二以上ト混合所帯二以上ト准所帯二以上トアルトキ
- 一人所帯ト親族所帯ト混合所帯ト准所帯トアルトキ

ナコシイ ナコシ ナコイ ナシイ コシイ ナコ ナシ コシ ナイ コイ シイ

二(三)等
二(三)等
二(三)等
二(四)等
二(四)等

第三 所帯構成別

五 所帯構成別ノ略符ハ混合所帯ニ限リ所帯主トノ續柄若ハ關係又ハ所帯トノ關係ニ依リ左記中段ノ片假名ヲ所帯ノ種類ノ略符ノ下部ニ記入スヘシ但シ不在者アルトキハ其ノ不在者ヲ所帯構成者ト看做シテ記入スヘシ別荘支店ノ類ニシテ主人現在セサルトキ其ノ主人ニ付テモ亦同シ各所帯ニ於ケル現在者ノ男女別人員ヲ左記ノ例ニ依リ所帯構成者ノ種別毎ニ構成別略符ノ下部ニ記入スヘシ但シ不在者アルトキ又ハ別荘支店等ノ主人不在ナルトキハ男女ノ區別ニ依リ「△」ヲ附スヘシ

前二項ニ依リテ記入シタル男女數ヲ集算シ「計」ノ行ニ記入シテ當該所帯第四、五欄ノ「男女合計」又ハ「男女總計」ノ數ニ照合スヘシ

一所帯主	イ	男	女
一家族(附籍者同居人及同居者ヲ含ム)	ロ	男	女
一家事上ノ雇人	ハ	男	女
一職業上ノ雇人	ニ	男	女
一同居寄留人	ホ	男	女
一來客(宿泊者ヲ含ム)	ヘ	男	女
一計		男	女

寫字生規程

- 第一條 單名票並所帯單位票ノ謄寫ニ從事スル者ハ當該主任官ノ指揮監督ヲ承クヘシ
- 第二條 就業時間ハ午前七時ヨリ午後十時マデトス
- 第三條 但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ
- 第四條 遲參、早退又ハ缺勤ノ場合ニハ主任官ニ届出ヘシ
- 第五條 就業時間内ニ於ケル外出、應接等ハ主任官ノ許可ヲ受クヘシ
- 第六條 單名票又ハ所帯單位票ノ謄寫ニ要スル所帯票ハ每始業時十分前ニ主任官ヨリ受領スヘシ
- 第七條 所帯票ハ鄭重ニ取扱ヒ改竄塗抹シ又ハ汚損スルヲ得ス
- 第八條 謄寫ノ方法ハ別ニ定ムル所ノ單名票謄寫心得又ハ所帯單位票謄寫心得ニ依ルヘシ
- 第九條 活字共ノ他ノモノヲ以テ謄寫ニ代用スルコトヲ得ス
- 第十條 一調査區ノ謄寫ヲ終リタルトキハ豫メ交付セル左記様式ノ帶紙ヲ施シ枚數及謄寫終了月日ヲ記入シ捺印ノ上所帯票ト共ニ之ヲ主任官ニ提出スヘシ

第十條 謄寫等ノ爲廢紙ニ歸シタルモノ及殘用紙ハ一調査區ノ謄寫サ了リタルトキ之ヲ主任官ニ提出シ新ニ用紙ノ交付ヲ受ケヘシ

第十一條 謄寫サ了セサル調査區ノ所帶票竝記入済ノ單名票又ハ所帶單位票及同上各用紙ハ退廳ノ際之ヲ主任官ニ提出スヘシ

第十二條 寫字生ハ豫メ交付セル左記様式ノ寫字生日報用紙ニ所要ノ記入ヲ爲シ退廳ノ際之ヲ主任官ニ提出スヘシ

第二十二條 寫字生ハ、附テ多クモ、ハルガ前様式ノ寫字生、日報川網ニ所要ノ記入ヲ爲シ退席ノ際之ヲ主任官ニ提出スヘシ

第十一條 膽寫サ丁セサル調査區ノ所帶票竝記入済ノ單名票又ハ所帶單位票及同上各用紙ハ退廳

ノ際之ヲ主任官ニ提出スヘシ

第十二條 寫字生ハ豫メ交付セル左記様式ノ寫字生日報用紙ニ所要ノ記入ヲ爲シ退廳ノ際之ヲ主

任官ニ提出スヘシ

Q

第十三條	贈寫ニ要スル文具ハ總テ自辦トス但シ其ノ種類ヲ指定スルコトアルヘシ
第十四條	贈寫料ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十四條 贈寫料ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十四條 贈寫料ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十五條 贈寫料ハ毎月二十五日ニ前日迄ノ請求書ヲ主任官ニ提出シ各自財務局會計課ヨリ受領スヘシ但シ校合未済ノ分ニ對シテハ贈寫枚數ノ二割引ヲ以テ料金ヲ支給シ翌月分ニ於テ其ノ過不足ヲ精算ス

第十六條 謄寫等ノ爲紙ニ歸シタルモノノ謄寫枚數、枚數各月百分ノ二ヲ超過シタルトキハ其ノ超過枚數一枚ニ付二枚分ノ謄寫料及誤謄件數一件毎二一枚分ノ謄寫料ヲ支給金額ヨリ控除ス

第十七條 成續優等ノ者ニハ終業ノ際特ニ賞與スルコトアルヘシ

第十八條 中途ニシテ寫字生ヲ辭セムトスル者ハ現在寫字生ノ内ヨリ殘務引受人ヲ定メ双方連署

チ以テ主任官ニ届出ヘシ

第十九條 寫字生ニハ宿舍又ハ宿舍料ヲ支給セス

第一概覽表

調製順序 概覽表ハ原表ノ一種ニシテ土地ノ區分ヲ詳密ニシ事項ノ區分ヲ括約シタルモノ

ナリ而シテ原表集計ノ方法ハ概覽表ト集計原表トニ論ナク又單名票ヨリスルト單位票ヨリスルトニ論ナク總テ之ヲ分類、計票及記表ノ三段ニ分ツ概覽表ノ調製順序左ノ如シ

概覽表及集計原表製表順序（概覽表ノ部）

注意

一「種族」ノ文字ノ下ニ（細別）トアルハ本島人ヲ五種族ニ分ツノ意（更ニ外國人ヲモ細別スル）
ハ特ニ之ヲ明記ス）ニシテ「細別」ノ文字ナキモノハ内朝、樺本、外ノ五大別ナリ但シ朝鮮人及樺太人ハ
各符號ヲ冠シテ内地人ノ欄ニ之ヲ記入ス

- 二 内地人種族又ハ本島人種族ニシテ外國ニ國籍ヲ有スル者アリ本島人種族又ハ外國人種族ニシテ内地ニ本籍ヲ有スル者アリ然レトモ種族ト國籍又ハ本籍トハ全ク別箇ノ觀念ニ屬スルカ故ニ國籍ノ調査ニハ内地人及本島人ヲ除外シ又本籍ノ調査ニハ本島人及外國人ヲ除外ス
 - 三 年齡及籍事ニハ總テ不詳ナシ
 - 四 職業上ノ地位ノ「職工其他」ニハ家事雇人ヲ含マス
 - 五 男票ト女票トハ根本的ニ之ヲ區別セルヲ以テ以下「體性別」ノ文字ニ對シテハ敢テ意ヲ用ウルヲ要セス
- 第一 概覽表
- 注意
- 一 操票 概覽表作成ノ爲ニ操票ヲ要スルハ單名票ノミ即チ住所、所帶等ニ關スル事實ハ所帶單位票ノ操票ヲ要セス街庄別調査區配當表ヨリ直ニ之ヲ填記スルコトヲ得
 - 二 土地ノ區分 街庄別ニ之ヲ表章ス
 - 三 種族 (イ)内地 (ロ)本島 (ハ)朝鮮人及樺太人ハ符號ヲ附シテ内地人關ニ之ヲ記入ス
 - 四 種族細別 (イ)福 (ロ)廣 (ハ)其他ノ漢 (ニ)熟 (ホ)生
 - 五 年齡 一—五、六—一〇、一—一五、一六—二〇、二—一五〇、五一—六〇、六一以上
 - 六 本業ノ有無 (イ)本業者 (ロ)無業家族 (ハ)家事雇人
 - 七 副業 本業アル副業
 - 八 職業ノ分類 款別(本業者及家事雇人ハ第六款迄ニ限リ副業ハ第五款迄ニ限ル)
 - 九 讀ミ書きノ程度 (イ)讀書 (ロ)讀ハ書ニ不能
 - 一〇 不具 (イ)聾啞 (ロ)盲 (ハ)白痴 (ニ)癲癩 (三)種ノ者 (四)三種ノ者 (五)四種ノ者 (六)ノ文字ヲ冠ス

- 一 内地人ノ出生地 (イ)内地 (ロ)本島 (ハ)其他
 - 二 内地人最初渡臺ノ年次 (イ)二十八年乃至三十八年 (ロ)三十九年乃至四年 (ハ)其他
 - 三 阿片烟吸食者 本島人及支那人ヲ總括ス
 - 四 纏足者及解纏足者 本島人及支那人ノ女ヲ總括ス
- 單名票現在ノ有様
- 街庄別
- 一 街庄別ニ種族別ノ原票ヲ作ル
 - 二 分 類
 - 三 計 票
 - 四 記 表
 - 五 街庄種族別ニ年齡別ノ原票ヲ作ル
 - 六 分 類
 - 七 計 票
 - 八 記 表
 - 九 單名票ハ年齡別ヲ廢シテ街庄種族別トス
 - 一〇 街庄種族別ニ籍事別ノ原票ヲ作ル
 - 一一 分 類
 - 一二 計 票
 - 一三 記 表
 - 一四 單名票ハ籍事別ヲ廢シテ街庄種族別トス
 - 一五 街庄種族別ニ本業者無業家族家事雇人別ノ原票ヲ作ル

一六	分 類
一七	計 票
一八	記 表
一九	街庄、種族、本業者、無業家族、家事雇人別ニ本業款別ノ原票ヲ作ル
二〇	分 類
二一	計 票
二二	記 表
二三	單名票ハ本業款別ヲ廢シ無業家族ト家事雇人トナ合一シテ街庄、種族、本業ノ有無別ニ纏ム
二四	街庄、種族別ニ本業者ヨリ副業ヲ選出スヘキ原票ヲ作ル
二五	副業選出
二六	街庄、種族別ニ副業款別ノ原票ヲ作ル
二七	分 類
二八	計 票
二九	記 表
三〇	單名票ハ副業款別ヲ廢シテ副業選出殘部ニ合シ本業ノ有無別ヲ廢シテ街庄、種族別ニ纏ム
三一	街庄、種族別ニ讀ミ書キノ程度別ノ原票ヲ作ル
三二	分 類
三三	計 票
三四	記 表
三五	單名票ハ讀ミ書キノ程度別ヲ廢シテ街庄、種族別ニ纏ム
三六	街庄、種族別ニ不具者選出ノ原票ヲ作ル

三七	不具者選出
三八	街庄、種族別ニ不具ノ種類別原票ヲ作ル
三九	分 類
四〇	計 票
四一	記 表 二種ノ者ニハ(2)、三種ノ者ニハ(3)、四種ノ者ニハ(4)ノ文字ヲ冠シテ記表ス
四二	單名票ハ不具ノ種類別ヲ廢シテ不具選出ノ殘部ニ合シ街庄、種族別ニ纏ム
四三	街庄別ニ内地人出生地別ノ原票ヲ作ル
四四	分 類
四五	計 票
四六	記 表
四七	内地人ノ單名票ハ出生地別ヲ廢シテ街庄別ニ纏ム
四八	街庄別ニ内地人最初渡臺ノ年次別原票ヲ作ル
四九	分 類
五〇	計 票
五一	記 表
五二	内地人ノ單名票ハ最初渡臺ノ年次別ヲ廢シテ街庄別ニ纏ム
五三	街庄別ニ外國人ヨリ支那人ヲ選出スヘキ原票ヲ作ル
五四	支那人選出
五五	街庄別ニ本島人及支那人ヨリ阿片烟吸食者ヲ選出スヘキ原票ヲ作ル
五六	阿片烟吸食者選出
五七	計 票

六〇 本島人及支那人ノ女ヨリ纏足者及解纏足者ヲ選出スヘキ原票ヲ作ル

六一 纏足者及解纏足者選出

六二 計 粟

六三 記表

六四 單名粟八糶足者及解糶足者ノ分チ選出殘部ニ合シ街庄別トス

六五 街庄別ニ本島人種族細別ノ府票ヲ作ル

六六分制

六
七
計
票六八
記
表

六九 終算出

姓名、内城人、职业、材大、才高、素易、外、三、四、分

應市人三市從二附一云之平從別

模式 櫛形表、街庄別三表、以成、尙之、魚里、乃、所、持、紮、主、村、云、方、安

()

[illegible]

II

概覽

[illegible]

III

街 庄 社	內 地							
	出 生				地			
	總 數		內 地 出 生		本 島 出 生		其 他	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大 加 納 堡 臺 北 城 觥 大 稻								

表 (廳、堡里、街庄社別)

(縱)

[illegible]

(提)

人						本島人及那					
年ノ産渡初最						許者 阿片烟膏吸食特			纏足者		解纏足者
男		女		男		男		女	女	女	女

人						本島人及那					
年ノ産渡初最						許者 阿片烟膏吸食特			纏足者		解纏足者
男		女		男		男		女	女	女	女

第二 集計原表

調製順序 集計原表ハ單名票ヨリスルモノ二二種單位票ヨリスルモノ六種ニシテ無慮二八種トス其ノ調製順序左ノ如シ

概覽表及集計原表製表順序 (集計原表ノ部)

第二 集計原表

注意

一 操票 (特表及第一表乃至第二十三表ハ單名票第二十四表以下ハ所帶單位票ノ操票ニ依リテ集計ス)

二 土地ノ區分 (特表ノ三市街ニ關スル外總テ之ヲ區別トス)

三 記表ノ根據 記表ハ青色ノ集計原票又ハ補助票ニ依リテ之ヲ爲ス

天 單名票ノ部

一 (特表) 三市街ニ於ケル有業者ノ職業(目別)及職業上ノ地位ヲ種族及體性ニ分チタル有業數並本業從屬者(内職ヲモ有セサル無業家族及家事雇人)

一 三市街

(イ) 臺北城内、艋舺、大稻埕ヲ總括ス、(ロ) 臺中街、(ハ) 臺南市

二 有業者 (イ) 本業者、(ロ) 本業アル副業者、(ハ) 本業ナキ副業者

三 地位

注意

(1) 獨立、(2) 役員、(3) 手助家族(本業ノミナ有スル者ニ限ル)、(4) 職工其他

有業數 人口單位ニ非ラス職業其物ノ數ナリ故ニ本業ノミナ有スル者、副業ノミナ有スル者ハ各之ヲ一ト計算スルモ本業及副業ヲ有スル者ハ總數ニ於テ之ヲ二トシテ調査ス

五 本業從屬者 (イ) 無業家族、(ロ) 家事雇人

單名票現在ノ有様

街庄、種族(細別)別

一 三市街ノ種族(細別)別 (イ) 本業及副業ヲ有スル者、(ロ) 本業ノミナ有スル者、(ハ) 副業ノミナ有スル者 (内職者即チ「ム」ノ一部)、(ニ) 無業家族(「ム」ノ殘部)、(ホ) 家事雇人(「ヤ」ヲ分ツヘキ原票(赤)ヲ作ル)

二分 類

三 計 票

四 三市街ノ種族(細別)別、本業及副業ヲ有スル者、本業ノミナ有スル者別ニ本業地位(1)、(2)、(3) (本業ノミナ有スル者ニ限ル)、(4) 別ノ原票(赤)ヲ作ル

五分 類

六 計 票

七 三市街ノ種族(細別)別、本業及副業ヲ有スル者、本業ノミナ有スル者ノ本業地位別ニ本業目(第一七八目迄ニ限ル)別ノ原票(赤)ヲ作ル

八 分 類

九 計 票

一〇 三市街ノ種族(細別)別、本業地位、本業目別ニ本業及副業ヲ有スル者ト本業ノミナ有スル者トヲ合計シタル甲號補助票(内「外」ハ青「本」ハ赤)ヲ作ル

一一 三市街ノ本業及副業ヲ有スル者ハ本業ノミナ有スル者ノ本業地位、本業目別ニ本島人細別ヲ合計シタル乙號補助票(青)ヲ作ル

一二 内地人、外國人ハ甲號補助票、本島人ハ乙號補助票ニ依リ「本業者」記表但款別ニ概覽表當該市街ノ有業者數ト符合スルヲ要ス

- 一三 單名票ハ本業及副業ヲ有スル者ト本業ノミチ有スル者トチ各別ニ本業地位、本業目別ヲ廢シテ種族(細別)別ニ纏ム
- 一四 三市街ノ種族(細別)、本業及副業ヲ有スル者、副業ノミチ有スル者別ニ副業地位(1)(2)(3)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 一五 分 類
- 一六 計 票
- 一七 三市街ノ種族(細別)、本業及副業ヲ有スル者、副業ノミチ有スル者ノ副業地位別ニ副業目(第一七七日迄)別ノ原票(内「外」ハ青「本」ハ赤)ヲ作ル
- 一八 分 類
- 一九 計 票
- 二〇 三市街ノ本業及副業ヲ有スル者、副業ノミチ有スル者ノ副業地位、副業目別ニ本島人細別ヲ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 二一 内地人、外國人ハ原票、本島人ハ補助票ニ依リ「副業者」記表
- 二二 但シ本業アル副業數ハ款別ニ於テ概覽表當該市街ノ副業者數ハ符合スルヲ要ス
- 二三 單名票ハ本業及副業ヲ有スル者ト副業ノミチ有スル者トチ合一シ副業地位、副業目別ヲ廢シ三市街ノ種族(細別)別ニ纏メテ本業ノミチ分ト合ス
- 二四 三市街ノ種族(細別)、無業家族、家事雇人別ニ其從屬スル本業目(無業家族ハ第一八二目迄)家事雇人ハ第一七八日迄)別ノ原票(内「外」ハ青「本」ハ赤)ヲ作ル
- 二五 分 類
- 二六 計 票
- 二七 三市街ノ無業家族、家事雇人ノ從屬スル本業目別ニ本島人細別ヲ合計シタル補助票(青)ヲ作ル

- 二七 内地人、外國人ハ原票、本島人ハ補助票ニ依リ「本業從屬者」記表
- 二八 總數算出
- 二九 單名票ハ無業家族ト家事雇人トチ合一シ職業地位、職業目別ヲ廢シテ三市街ノ種族(細別)別ニ纏メ有業者ノ分ニ併セテ當該種族ノ種族(細別)別ニ合ス
- 第十表 言語ノ種類ヲ常用語、副用語、種族(細別)及體性ニ分チタル人口
- 注意 一 言語ノ種類 内、朝鮮、フカ、漢、ハ、英、佛、露、獨、西、馬來等、不詳
- 二 副用語 主ナル一種ニ限ル
- 第十一表 言語ノ種類ヲ語數、種族、體性及年齡ニ分チタル人口
- 注意 一 言語ノ種類 内、朝鮮、フカ、漢、ハ、英、佛、露、獨、西、馬來等、不詳
- 二 語數 (イ)一語、(ロ)二語、(ハ)三語等
- 三 年齡 一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一以上ノ十三階級
- 單名票現在ノ右様
- 種族(細別)別
- 一 種族(細別)別ニ常用語別ノ原票(青)ヲ作ル
- 二 分 類
- 三 計 票
- 四 第十表、常用語記表
- 五 第十表、常用語總數算出
- 六 種族(細別)、常用語別ニ副用語選出ノ原票(赤)ヲ作ル
- 七 副用語選出
- 八 選出殘部即チ常用語ノミチ有スル種族(細別)、常用語別ニ年齡別ノ原票(内「外」ハ青「本」ハ赤)ヲ作ル

- 九分 類
- 一〇 計 票
- 一 常用語ノミノ者ノ常用語、年齢別ニ本島人細別ヲ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 二 「内」外ハ原票「本」ハ補助票ニ依リ第十一表「一語」記表
- 三 第十一表「一語」總數算出
- 四 常用語ノミノ原票ハ常用語別ヲ廢シテ種族(細別)、年齢別ニ纏ム
- 五 常用語選出ノ分即チ副用語アル者ノ種族(細別)、常用語別ニ語數(其數ニハ常用語ヲ加フルヲ要ス)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 一六 分 類
- 一七 計 票
- 一八 副用語アル者ノ種族(細別)、常用語、語數別ニ副用語別ノ原票(赤)ヲ作ル 官語ノ種類ハ熟達ノ深淺ニ序次スヘキカ故ニ常用語ヲ第一位トシ以下副用語欄記載ノ順序ニ依ルモノトス故ニ常用語ニ「内」、副用語ニ「フ」トアル者ト常用語ニ「フ」、副用語ニ「内」トアル者トノ如キハ之ヲ混同セス各別ニ原票ヲ作ルヘシ三語、四語等皆之ニ同シ
- 一九 分 類
- 二〇 計 票
- 二一 種族(細別)別ニ第二ノ官語即チ主ナル一種ノ副用語ヲ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 二二 補助票ニ依リ第十表「副用語」記表
- 二三 第十表「副用語」總數算出
- 二四 副用語アル者ノ種族(細別)、常用語、語數、副用語別ニ年齢別ノ原票(内「外」ハ青「本」ハ赤)ヲ作ル
- 二五 分 類

- 二六 計 票
- 二七 副用語アル者ノ常用語、語數、副用語、年齢別ニ本島人細別ヲ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 二八 「内」外ハ原票「本」ハ補助票ニ依リ第十一表「一語」記表
- 二九 第十一表「一語」總數算出
- 三〇 副用語アル者ノ原票ハ常用語、語數、副用語別ヲ廢シ種族(細別)、年齢別ニ纏メテ平用語ノミノ分ト合ス
- 三十一 第十二表 讀ミ書キノ程度ヲ種族(細別)、體性及年齢ニ分チタル人口
- 一 讀ミ書キノ程度 (イ)ヨカ、(ロ)ヨ、(ハ)カ、(ニ)不(不能)
- 二 年齢 一、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一以上ノ二十七階級
- 注意 一 種族(細別)、年齢(一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一以上ノ十三階級)別ニ一五歳ヲ合計シタル原票(赤)ヲ調フ
- 二 種族(細別)別ニ一一、一五歳、一六、一七歳ヲ各歳ニ分ツヘキ原票(赤)ヲ作ル
- 三分 類
- 四 計 票
- 五 種族(細別)別ニ二一歳以上ヲ五歳階級ニ分ツヘキ原票(赤)ヲ作ル
- 六 分 類
- 七 計 票
- 八 種族(細別)、年齢別ニ讀ミ書キノ別ノ原票(青)ヲ作ル但シ一一五歳ハ分類ヲ要セス總テ之ヲ「不」トス

九 六歳以上ニ就キ分類

一〇 計票

一一 記表

一二 總數算出

一三 單名票ハ讀ミ書キ別テ族シ種族(細別)年齡三十一階級別ニ纏ム

四 第二表 各年齡者ヲ生年種族(細別)體性及縁事ニ分テタル人口

注意 各年齡者 生年ニ依ル各歲別

單名票現在ノ有様

種族(細別)年齡(一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

一 種族(細別)別ニ二一歳以上ヲ各歲ニ分ツヘキ原票(赤)ヲ作ル

二 分類

三 計票

四 種族(細別)年齡各歲別ニ縁事別ノ原票(青)ヲ作ル但シ一〇歳以下ハ分類ヲ要セス總テ之ヲ「ミ」トス

五 一一歳以上ニ就キ分類

六 計票

七 記表

八 總數算出

五 第三表 滿一歳以下ノ幼兒ヲ月數(滿一箇月以下ハ日數)種族(細別)及體性ニ分テタル人口

一 滿一歳以下 大正三年十月一日以後出生ノ者

二 月數 (イ)出生ノ月ニ依リ分テタル十二箇月(ロ)十二箇月以上(ハ)大正四年出生ノ月數

注意

三 日數 (イ)大正四年九月一日乃至同月十日ノ出生者ハ「二」以上三十日以下(ロ)大正四年九月十一日乃至同月二十日ノ出生者ハ「三」以上二十日以下(ハ)大正四年九月二十一日乃至同月三十日ノ出生者ハ「四」以上二十日以下(ニ)大正四年九月出生ノ日數不詳

單名票現在ノ有様

種族(細別)年齡各歲(一歳以上ノ縁事別)

一 種族(細別)別ニ一歳二歳ヲ月數(月數ヲ出生ノ月ト混同スル虞アリ注意ヲ要ス)ニ分ツヘキ原票(青)ヲ作ル但シ大正三年一月乃至同年九月出生ノ者ハ分類ヲ要セス

二 大正三年十月一日以後出生ノ者ニ就キ分類

三 計票 大正三年一月乃至同年九月出生ノ者モ一括計票ヲ要ス而シテ之ニ十二箇月十一箇月十箇月ノ者ヲ合計シタル數ハ第二表ノ二歳ト符合シ又一箇月乃至九箇月ノ者ト月數不詳ノ者トヲ合計シタル數ハ第二表ノ一歳ト符合スヘキハ勿論ナリ

四 「二箇月以上」記表

五 「三箇月以上」總數算出

六 種族(細別)別ニ一箇月ヲ日數(九月一日乃至同月十日ヲ「十」日迄九月二十一日乃至同月三十日ヲ「二」

十一日以上三十日以下)ト誤算スル虞アリ注意ヲ要ス)ニ分ツヘキ原票(青)ヲ作ル

七 分類

八 計票

九 「二箇月」記表

一〇 總數算出

二	選出
三	計票
四	種族(本島人細別及支那人、年齢(二十二階級)、縁事別ニ「ア」選出ノ原票(赤)ヲ作ル但シ一〇歳ハ選出ノ要ナシ
五	二一歳以上ヨリ選出
六	計票
七	種族(本島人細別及支那人、年齢(二十二階級)、縁事別ニ本業有無別ノ原票(赤)ヲ作ル
八	分類
九	計票
一〇	種族(本島人細別及支那人、年齢(二十二階級)、縁事、本業有無別ニ本業項別ノ原票(青)ヲ作ル
一一	分類
一二	計票
一三	記表
一四	總數算出
一五	「ア」ノ單名票ハ本業項、本業有無別ヲ廢シテ「ア」選出殘部ト合シ種族細別ヲ合シテ内、朝鮮、本、外ノ五大別トシ各之ヲ年齢(二十二階級)、縁事別トス
第五表	本業者ノ職業(項別)及職業上ノ地位ヲ種族體性、年齢及縁事ニ分チタル人口
第六表	本業從屬者(無業家族及家事雇人)ノ屬スル職業(項別)及職業上ノ從屬關係ヲ種族、體性、年齢及縁事ニ分チタル人口
一	地位 (1)獨立、(2)役員、(3)手助家族(本業ノミナ有スル者ニ限リテ現ハル)、(4)職工其他
二	從屬關係 (4)無業家族(本業ノ地位記入ナキ者)、(5)家事雇人

三	種族 (イ)内、(ロ)朝鮮、(ハ)本、(ホ)外
四	年齢 一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二六、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一以上ノ二十二階級
第七表	副業者ノ職業(項別)及職業上ノ地位ヲ種族體性、年齢及縁事ニ分チタル人口
一	副業 本業アル副業ト本業ナキ副業(内職)トヲ總括ス
二	地位 (1)獨立、(2)役員、(3)職工其他(本業アル副業ノ地位ニモ本業ナキ副業(内職)ノ地位ニモ手助家族アルコトナク又本業ノ地位手助家族ナル者ニ副業アルコトナシ
三	年齢 第五表第六表ト同一ノ二十二階級
第八表	副業ナ有スル本業者ノ職業(項別)及職業上ノ地位ヲ種族體性及縁事ニ分チタル人口
注意	(1)獨立、(2)役員、(3)職工其他(副業ナ有スル者ノ本業ノ地位及副業ノ地位ニハ共ニ手助家族アルコトナク又本業ノ地位手助家族ナル者ニ副業アルコトナシ)
第九表	有業者ノ職業(目別)及職業上ノ地位ヲ種族及體性ニ分チタル有業數
一	有業者 (イ)本業ノミナ有スル者、(ロ)本業及副業ナ有スル者、(ハ)副業ノミ(内職)ナ有スル者
二	地位 (1)獨立、(2)役員、(3)手助家族(本業ノミナ有スル者ニ限リテ現ハル)、(4)職工其他
三	有業數 人口單位ニ非ス職業其物ノ數ナリ故ニ本業ノミナ有スル者ト副業ノミ(内職)ナ有スル者トハ各之ヲ一ト計算スルモ本業及副業ナ有スル者ハ總數算出上ニ於テ二ト計算セラル

- 一 種族、年齢(本表所要ノ二十二階級)種事別
- 二 種族、年齢、種事別ニ本業地位(1, 2, 3, 4, 5)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 三 計票
- 其ノ一 本業者地位(1, 2, 3, 4)
- 四 種族、年齢、種事、本業地位別ニ本業目(第一七八日迄)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 五 分票
- 六 計票
- 七 種族、年齢、種事、本業地位別ニ本業目ヲ本業項(第三十三項迄)ニ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 八 補助票ニ依リ第五表記表
- 九 第五表總數算出
- 一〇 種族、種事、本業地位、本業目別ニ年齢ヲ合計シタル第一補助票(赤)ヲ作ル
- 一一 種族、本業地位、本業目別ニ種事ヲ合計シタル第二補助票(青)ヲ作ル
- 一二 第二補助票ニ依リ第九表、本業者記表
- 一三 第九表、本業者總數算出
- 一四 單名票ハ本業目別ヲ種族、年齢、種事、本業地位、本業項別ニ纏ム
- 一五 種族、年齢、種事、本業地位(1, 2, 4)本業項(第三十三項迄)別ニ副業選出ノ原票(赤)ヲ作ル
- 一六 選出 選出殘部即チ本業ノミノ單名票ハ左ノ如ク之ヲ區別ス
- (イ) 内地人、外國人 年齢、種事別ヲ種族、本業地位(獨立(1)、非獨立(2)、(3)、(4)ヲ總括ス)、本業項別ニ纏ム
- (ロ) 本島人 年齢、種事、本業地位、本業項別ヲ種族ニ括ス
- 一七 計票

- 一八 種族、年齢、種事、本業地位、本業項別ニ副業項(第三十二項迄)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 一九 分票
- 二〇 計票
- 二一 種族、種事、本業地位、本業項、副業項別ニ年齢ヲ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 二二 補助票ニ依リ第八表記表
- 二三 第八表總數算出
- 二四 單名票ハ種族、年齢、種事別ニ本業地位、本業項別ヲ種族、副業項別ニ纏ム
- 二五 種族、年齢、種事、副業項別ニ副業地位(1, 2, 4)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 二六 分票
- 二七 計票
- 二八 種族、年齢、種事、副業項、副業地位別ニ副業目(第一七七日迄)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 二九 分票
- 三〇 計票
- 三一 種族、種事、副業目、副業地位別ニ年齢ヲ合計シタル第一補助票(赤)ヲ作ル
- 三二 種族、副業目、副業地位別ニ種事ヲ合計シタル第二補助票(青)ヲ作ル
- 三三 第二補助票ニ依リ第九表、本業アル副業記表
- 三四 第九表、本業アル副業總數算出
- 三五 種族、年齢、種事、副業地位別ニ副業目ヲ副業項ニ合計シタル第一補助票(赤)ヲ作ル(第七表準備)
- 三六 單名票ハ左ノ如ク之ヲ區別ス
- (イ) 内地人、外國人 年齢、種事、副業目、副業地位別ヲ種族、本業地位(獨立(1)、非獨立(2)、(3)、(4)ヲ總括ス)、本業項(第三十三項迄)ニ分票シテ(六)ノ副業選出殘部ニ合ス

- (ロ) 本島人 年齢、職業、副業地位別ヲ廢シ一括シテ (六)ノ副業選出殘部ニ合ス
其ノ二 本業從屬者(ム、ヤ)
- 三七 種族、年齢、職業、副業地位別ニ本業項(ム、ヤ)ハ第三十四項迄「ヤ」ハ第三十三項迄別ノ原票(青)ヲ作ル
- 三八 分 類
- 三九 計 票
- 四〇 第六表記表
- 四一 第六表總數算出
- 四二 種族、年齢、職業、副業地位別ニ「ム」ヨリ副業(内職)ヲ選出スヘキ原票(赤)ヲ作ル
- 四三 選出 選出殘部ハ左ノ如ク之ヲ區別ス
- (イ) 内地人、外國人 年齢、職業別ヲ廢シテ本業從屬關係本業項別トス
- (ロ) 本島人 年齢、職業、本業從屬關係、本業項別ヲ廢シテ一括トス
- 四四 選出シタル單名票ハ本業項別ヲ廢シ種族、年齢、職業別ニ之ヲ撰ム
- 四五 種族、年齢、職業別ニ副業地位(1, 2, 4)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 四六 分 類
- 四七 計 票
- 四八 種族、年齢、職業、副業地位別ニ副業目(第一七七目迄)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 四九 分 類
- 五〇 計 票
- 五一 種族、職業、副業地位、副業目別ニ年齢ヲ合計シタル第一補助票(赤)ヲ作ル
- 五二 種族、副業地位、副業目別ニ職業ヲ合計シタル第二補助票(青)ヲ作ル
- 五三 第二補助票ニ依リ第九表、本業ナキ副業記表

- 五四 第九表總數算出
- 五五 種族、年齢、職業、副業地位別ニ副業目ヲ副業項ニ合計シタル第一補助票(赤)ヲ作ル(第七表準備)
- 五六 種族、年齢、職業、副業地位、副業項別ニ(三)及(五)ノ第一補助票ヲ合計シタル第二補助票(青)ヲ作ル
- 五七 第二補助票ニ依リ第七表記表
- 五八 第七表總數算出
- 五九 單名票ハ左ノ如ク之ヲ區別ス
- (イ) 内地人、外國人 年齢、職業、副業地位、副業目別ヲ廢シ本業從屬關係、本業項別(ム、ヤ)ニ分類シテ(四)三ノ副業選出殘部ニ合ス
- (ロ) 本島人 年齢、職業、副業地位、副業目別ヲ廢シ一括シテ(四)三ノ副業選出殘部ニ合ス
- 九 第十八表 最初渡臺ノ内地人ヲ渡臺ノ年次、體性、職業(項別)及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口
- 一 渡臺ノ年次 (イ)二十八年ヨリ四年ニ至ル各年、(ロ)本島出生(本島ニ出生シタルモ渡臺ノ年次アル者)ハ其ノ當該年次ノ中ニ入レ本島出生者トセズ、(ハ)一時現在者(本島出生者ニモ非ス又渡臺ノ年次モ記入ナキ者)、(ニ)年次不詳
- 注意 (イ)獨立(1)、(ロ)非獨立(2, 3, 4)ヲ總括ス
- 二 地位 (イ)獨立(1)、(ロ)非獨立(2, 3, 4)ヲ總括ス
- 三 從屬關係 (イ)無業家族(本業ノ地位ナキ者)、(ロ)家事雇人(ヤ)
- 單名票現在ノ有様
- 甲 本業者 本業地位(獨立、非獨立)、本業項別
- 乙 從屬者 從屬關係(無業家族、家事雇人)、本業項別
- 一 本業ノ地位又ハ從屬關係、本業項別ニ最初渡臺年次別ノ原票(青)ヲ作ル

- 二 分類
- 三 計票
- 四 記表
- 五 總數算出
- 一〇 第十九表 二回以上渡臺ノ内地人ヲ渡臺ノ年次、體性、職業(款別)及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口
- 注意 一 渡臺ノ年次 (イ) 二十八年ヨリ三年ニ至ル各年、(ロ) 年次不詳 最後渡臺ノ年次 (イ) 二十九年ヨリ四年ニ至ル各年、(ロ) 年次不詳 二 地位、從屬關係 第十八表ノ區分ニ同シ
- 單名票現在ノ有様
- 本業地位又ハ從屬關係、本業項、最初渡臺ノ年次別
- 一 本業地位又ハ從屬關係、本業項、最初渡臺ノ年次別ニ最後渡臺退出ノ原票(青)ヲ作ル
- 二 退出 退出殘部ハ渡臺ノ年次別ヲ廢シテ本業地位又ハ從屬關係、本業項別ニ纏ム
- 三 計票
- 四 本業地位又ハ從屬關係、本業項、最初渡臺ノ年次別ニ最後渡臺ノ年次別原票(赤)ヲ作ル
- 五 分類
- 六 計票
- 七 本業地位又ハ從屬關係、最初渡臺ノ年次、最後渡臺ノ年次別ニ本業項別ヲ本業款別ニ合計シタル補助票(青)ヲ作ル
- 八 補助票ニ依リ記表
- 九 總數算出

- 一〇 單名票ハ渡臺ノ年次別ヲ廢シ本業地位又ハ從屬關係、本業項別ニ纏メテ最後渡臺退出ノ殘部ニ合ス
- 一一 第十七表 内地人ヲ本籍體性、職業(項別)及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口
- 注意 一 本籍 (イ) 府縣道、(ロ) 内地ニ本籍ヲ有セサル者、(ハ) 不詳 二 地位、從屬關係 第十八表ノ區分ニ同シ
- 單名票現在ノ有様
- 本業地位又ハ從屬關係、本業項別
- 一 本業地位又ハ從屬關係、本業項別ニ本籍別ノ原票(青)ヲ作ル
- 二 分類
- 三 計票
- 四 記表
- 五 總數算出
- 六 單名票ハ本業地位又ハ從屬關係、本業項別ヲ廢シテ本籍別ニ纏ム
- 一二 第十六表 内地人ヲ出生地、本籍及體性ニ分チタル人口
- 注意 一 出生地 (イ) 府縣道、(ロ) 朝鮮、(ハ) 樺太、(ニ) 廳、(ホ) 蕃地、(ヘ) 外國、(ト) 航海中、(チ) 不詳 二 本籍 (イ) 府縣道、(ロ) 内地ニ本籍ヲ有セサル者、(ハ) 不詳
- 單名票現在ノ有様
- 本籍別
- 一 本籍別ニ出生地別ノ原票(青)ヲ作ル
- 二 分類
- 三 計票

- 四 記表
- 五 總數算出
- 六 單名票ハ本籍、出生地別ヲ廢シテ一括ス
- 一三 第二十表 外國人ヲ國籍、體性、職業(項別)及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口
- 注意 一 國籍 (イ)支、英、米、西等 (ロ)外國ニ國籍ヲ有セサル者 (ハ)不詳
二 地位、從屬關係 第十八表ノ區分ニ同シ
- 單名票現在ノ有様
- 本業地位又ハ從屬關係、本業項別
- 一 本業地位又ハ從屬關係、本業項別ニ國籍別ノ原票(青)ヲ作ル
- 二分額
- 三 計票
- 四 記表
- 五 總數算出
- 六 單名票ハ本業地位又ハ從屬關係、本業項、國籍別ヲ廢シテ一括ス
- 一四 第十三表 不具ノ種別ヲ種族(細別)體性及綠事ニ分チタル人口
- 注意 不具ノ種別
- | | |
|-----|-------------------------|
| 一 種 | ロ、モ、ハ、フ |
| 二 種 | ロ、モ、ロ、ハ、ロ、フ、モ、ハ、モ、フ、ハ、フ |
| 三 種 | ロ、モ、ハ、ロ、モ、フ、ロ、ハ、フ、モ、ハ、フ |
| 四 種 | ロ、モ、ハ、フ |
- 單名票現在ノ有様
- 種族別

- 一 種族別ニ不具選出ノ原票(赤)ヲ作ル
- 二 選出 計票セス
- 三 種族別ニ不具ノ種別別原票(赤)ヲ作ル
- 四分額
- 五 計票
- 六 種族、不具ノ種別別ニ綠事別ノ原票(内「外」ハ青「本」ハ赤)ヲ作ル
- 七分額
- 八 計票
- 九 不具ノ種別、綠事別ニ本島人細別ノ原票(青)ヲ作ル
- 一〇 分額
- 一一 計票
- 一二 記表
- 一三 總數算出
- 一四 單名票ハ綠事、種族細別ヲ廢シテ種族、不具ノ種別別ニ額
- 一五 第十四表 不具ノ種別ヲ種族、體性及職業(項別)ノ有無ニ依リ分チタル人口
- 注意 不具ノ種別 第十三表ノ區分ニ同シ
- 單名票現在ノ有様
- 不具者ノ種族、不具ノ種別別
- 一 種族、不具ノ種別別ニ本業ノ有無(家事雇人ハ「無」ニ含マル)別ノ原票(赤)ヲ作ル
- 二分額
- 三 計票

五 分 類

六
計
票七
記
表

八 總數算出

九 單名票ハ本業ノ有無、本業項別ヲ廢シテ種族、不具ノ種類別ニ辨ム

一六 第十五表 不具ノ種類及原因ヲ種族體性及年齡ニ分チタル不具數

不具ノ種類
中、モ、ハ、フ、ノ、各、種、別

二 原因
セシケラ「ラ」バロ「モ」三 陽入不計

三
年
齡
一
二
三
四
五
六
七
八
九
一
〇
一
一
一
五
一
六
一
二
〇
二
一
二
五
二
六
三
〇
三
一
三

注意
五三六十四〇四一十四五四六一五〇五一十五五五六十六〇六一十六五十六七〇七

一、以上八十六附卷

四、不長變。人口單位三與之不長其年人變少，乃在二種人求二三種人求三四種

一、本國之富強

原不異理不人不杜

卷之三

二 十 四

三
十
三

重笑不見、第一重二重、者ハ其、重頂二重以上、者ハ第一、不具、平論同二原因同、原要(亦)ナ

· 作 品

二 「一」所帯中二住居以上ノ住居數欄ニ(2)又(3)等ト記入セルモノハ「住家番號欄」ニ二以上ノ番號ヲ併記シアルヲ以テ住居數ト番號數トヲ照合スルコト

三 以上ノ手續ヲ終リタル單位票ハ之ヲ區別ニ纏ム

一七 第二十八表 住居ノ種類ヲ所帯ノ種類及所帯數ニ分チタル員數

注意	一人准		
	(甲)	(乙)	(丙)
一 所帯ノ種類	(イ) 住家(ロ) 舟筏(ハ) 其他	(イ) 本來所帯(ロ) 一人所帯(ハ) 准所帯(ニ) 本來、一人、(ホ) 本來、准(ヘ) 一人、准(ト) 本來、	
二 所帯一住居以上ノ住居	(イ) 一所帯一住家(ロ) 一所帯一舟筏(ハ) 一所帯二「其他」	(イ) 一所帯一住家二所帯一住家三所帯等(ロ) 一所帯二所帯一舟筏三所帯等(ハ) 二「其他」三所帯二「其他」三所帯等	(イ) 一所帯二住家一所帯三住家等(ロ) 一所帯二舟筏一所帯三舟筏等(ハ) 一所帯二「其他」一所帯三「其他」等

單位票現在ノ有様

區別

一 「一」住居中ノ所帯數欄又ハ「一」所帯中二住居以上ノ住居數欄ニ數字ノ記入アルモノヲ選出スヘキ

原票(赤)ヲ作ル

選出

三 一所帯一住居二所帯以上一住居一所帯二住居以上別ノ原票(赤)ヲ作ル

四分票

五計票

六 一所帯一住居二所帯以上一住居一所帯二住居以上別ニ住居ノ種類ヲ住家、舟筏、其他ニ分ツヘキ

原票(赤)ヲ作ル(住居ノ種類欄ニ何等ノ記入ナキハ住家ナリ)

七分票

八計票

九 住居ノ種類別ニ二所帯以上一住居ノ所帯數別原票(赤)ヲ作ル

一〇分票

一一計票

一二 住居ノ種類別ニ一所帯二住居以上ノ住居數別原票(赤)ヲ作ル

一三分票

一四計票

一五 住居ノ種類別ニ一所帯一住居一所帯二住居一所帯三住居等ヲ親族所帯、混合所帯、一人所帯、准所帯ニ分ツヘキ原票(赤)ヲ作ル

一六分票

一七計票

一八 住居ノ種類別ニ一所帯一住居ノ親族所帯、混合所帯ヲ本來所帯ニ合計シタル補助票(青)ヲ作ル

一九 一人所帯、准所帯ハ原票(赤)ニ依リ本來所帯ハ補助票(青)ニ依リ「一所帯一住居」ノミ記表

二〇 住居ノ種類別ニ一所帯二住居一所帯三住居等ノ親族所帯ト混合所帯トニ合計シタル補助票

(赤)ヲ作ル

二一 住居ノ種類別ニ一所帯二住居一所帯三住居等ノ一人所帯ト准所帯トハ原票ニ依リ本來所帯

ハ補助票ニ依リテ各分類ノ所帯數ニ其ノ住居數ヲ乗シタル數即延住居數ヲ算出シタル補助票(青)

ヲ作ル

二二 補助票ニ依リ「一所帯二住居以上」ノミ記表

- 二三 住居ノ種類所帶數別ニ二所帶以上一住居ヲ同種所帶ニ以上ノモノト異種所帶ニ以上ノモノトニ分ツヘキ原票(赤)ヲ作ル
- 二四 分 類
- 二五 住居ノ種類所帶數別ニ同種所帶ニ以上ノモノヲ親族又ハ混合所帶一人所帶准所帶ニ分ツヘキ原票(青)ヲ作ル
- 二六 分 類
- 二七 計 票
- 二八 同種所帶ノモノノミ記表
- 二九 住居ノ種類所帶數別ニ異種所帶ニ以上ノモノヲ左ノ如ク分ツヘキ原票(青)ヲ作ル
- (イ) 親族又ハ混合所帶一人所帶
- (ロ) 親族又ハ混合所帶ト准所帶
- (ハ) 一人所帶ト准所帶
- (ニ) 親族又ハ混合所帶一人所帶ト准所帶
- 三〇 分 類
- 三一 計 票
- 三二 記 表
- 三三 總數算出
- 三四 單位票ハ一所帶一住居ノモノ一所帶二住居以上ノモノニ在リテハ住居ノ種類ヲ廢シテ親族ノ所帶混合所帶一人所帶准所帶ニ纏メ又二所帶以上一住居ノモノニ在リテハ遷出殘部ト合シテ親族所帶混合所帶一人所帶准所帶ニ分額シ前段ノ種類別ニ合ス
- 第二十六表 准所帶ヲ其ノ種類ニ分チタル員數

- 一八 注意 准所帶ノ種類類別
- 第二十七表 所帶ノ人員ヲ所帶ノ種類及體性ニ分チタル人口
- 注意 所帶ノ人員 一人、二人、三人、四人等
- 二 所帶ノ種類 (イ) 親族所帶 (ロ) 混合所帶 (ハ) 一人所帶 (ニ) 准所帶ノ種類
- 單位票現在ノ有様
- 一 親族所帶混合所帶一人所帶准所帶別
- 二 分 類
- 三 親族所帶混合所帶ノ人員別ニ男女算出ノ原票(青)ヲ作ル
- 四 算 出
- 五 第二十七表「親族所帶」混合所帶記表
- 六 一人所帶ノ男女別原票(青)ヲ作ル
- 七 分 類
- 八 計 票
- 九 第二十七表「一人所帶」記表
- 一〇 准所帶ノ種類別原票(赤)ヲ作ル
- 一一 分 類
- 一二 計 票
- 一三 第二十六表記表
- 一四 第二十六表總數算出
- 一五 准所帶ノ種類別ニ男女算出ノ原票(青)ヲ作ル

一六	算出
一七	第二十七表 准所帯記表
一八	第二十七表 總數算出
一九	單位票ハ准所帯ノ種類男女別、一人所帯ノ男女別ヲ廢シ親族所帯、混合所帯ハ人員別ノ儘トス (准所帯ハ以下操票セス)
一九	第二十四表 普通所帯ヲ所帯ノ種類、人員及所帯主ノ種族(細別)ニ分サタル員數
注意	二 所帯ノ種類 (イ) 親族所帯 (ロ) 混合所帯 (ハ) 一人所帯 三 人員 一人、二人、三人、四人等 各人階級
單位票現在ノ有様	
所帯ノ種類別ニ人員別	
一 所帯ノ種類、人員別ニ所帯主ノ種族(細別)別原票(青)ヲ作ル	
二 分 類	
三 計 票	
四 記 表	
五 總數算出	
六 單位票ハ人員別ヲ廢シ所帯ノ種類及所帯主ノ種族(細別)別ニ種族(細別)別ニ分サタル員數	
二〇 第二十五表 混合所帯(本來所帯中)ヲ所帯ノ構成及所帯主ノ種族(細別)ニ分サタル員數	
家事上ノ雇人	職業上ノ雇人
同居寄留人	來客

注意 所帯ノ構成
甲 所帯主ト
乙 所帯主及
其ノ家族ト

家事上ノ雇人、職業上ノ雇人
家事上ノ雇人、同居寄留人
家事上ノ雇人、來客
職業上ノ雇人、同居寄留人
職業上ノ雇人、來客
同居寄留人、來客
家事上ノ雇人、職業上ノ雇人、同居寄留人
家事上ノ雇人、職業上ノ雇人、來客
家事上ノ雇人、同居寄留人、來客
職業上ノ雇人、同居寄留人、來客
家事上ノ雇人、職業上ノ雇人、同居寄留人、來客

- 單位票現在ノ有様
- 所帯ノ種類、種族(細別)別
- 一 混合所帯ノ種族(細別)別ニ家族(ロ)ノ有無別原票(赤)ヲ作ル
- 二 分 類
- 三 計 票
- 四 種族(細別)家族ノ有無別ニ所帯構成別ノ原票(青)ヲ作ル
- 五 分 類
- 六 計 票
- 七 記 表
- 八 總數算出

九	混合所帶ノ單位票ハ所帶構成別ヲ廢シテ種族細別ト爲シ親族所帶及一人所帶ノ種族細別ニ合
一〇	ス
二一	第二十九表 住家及住地ノ權利關係ヲ所帶主ノ種族細別、職業(項別)及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル員數
注意	一 權利關係 (イ) 持地持家、(ロ) 持地借家、(ハ) 借地持家、(ニ) 借地借家 二 地位 (イ) 獨立、(ロ) 非獨立(2, 3, 4) 三 從屬關係 (イ) 職業ナキ者、(ロ) 家事雇人
單位票現在ノ右様	
准所帶以外ノ所帶ノ所帶主ノ種族細別	
一	種族細別ニ權利關係別ノ原票(赤)ヲ作ル
二	分類住家ノ有様欄ニ何等ノ記入ナキモノハ本表ニ關係ナシ
三	計票
四	種族細別、權利關係何等ノ記入ナキモノヲ除ク別ニ本業地位別ノ原票(赤)ヲ作ル
五	分類
六	計票
七	種族細別、權利關係、本業地位別ニ本業項別ノ原票(青)ヲ作ル
八	分類
九	計票
一〇	記表
一一	總數算出
一二	單位票ハ總テノ區分ヲ廢シテ之ヲ一括ス(終)

様式 集計原表ハ之ヲ應別トシタルモノ二七種、應別及三市街別トシタルモノ一種ニシテ應別ハ孰モ之ヲ合シテ全島ト爲セリ全島表及地方表即チ是ナリ其ノ様式左ノ如シ

第二次臨時戸口調査

集計原表様式

目次

第一表	各年齡者ヲ生年、種族、體性及緣事ニ分チタル人口	應別
第二表	滿一歲以下ノ幼兒ヲ月數、滿一箇月以下ハ日數、種族、體性及體性ニ分チタル人口	應別
第三表	本業者ノ職業、項別及職業上ノ地位ヲ種族、體性、年齡及緣事ニ分チタル人口	應別
第四表	本業從屬者無業家族及家事雇人ノ屬スル職業、項別及職業上ノ從屬關係ヲ種族、體性、年齡及緣事ニ分チタル人口	應別
第五表	副業者ノ職業、項別及職業上ノ地位ヲ種族、體性、年齡及緣事ニ分チタル人口	應別
第六表	副業ヲ有スル本業者ノ職業、項別及職業上ノ地位ヲ副業、項別、種族、體性及緣事ニ分チタル人口	應別
第七表	有業者ノ職業、目別及職業上ノ地位ヲ種族及體性ニ分チタル有業數	應別
第八表	言語ノ種類ヲ常用語、副用語、種族、體性及體性ニ分チタル人口	應別
第九表	言語ノ種類ヲ語數、種族、體性及年齡ニ分チタル人口	應別
第十表	讀ミ書キノ程度ヲ種族、體性及年齡ニ分チタル人口	應別

第十一表	不具ノ種類ヲ種族(細別)體性及緣事ニ分チタル人口	應	別
第十二表	不具ノ種類ヲ種族體性及職業項別ニ分チタル不具數	應	別
第十三表	不具ノ種類及原因ヲ種族體性及年齡ニ分チタル不具數	應	別
第十四表	内地人ヲ出生地本籍及體性ニ分チタル人口	應	別
第十五表	内地人ヲ本籍體性職業項別及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口	應	別
第十六表	最初渡臺ノ内地人ヲ渡臺ノ年次體性職業項別及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口	應	別
第十七表	二回以上渡臺ノ内地人ヲ渡臺ノ年次體性職業款別及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口	應	別
第十八表	外國人ヲ國籍體性職業項別及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口	應	別
第十九表	阿片烟膏吸食特許者ヲ種族細別體性年齡緣事及職業項別ニ分チタル人口	應	別
第二十表	纏足者ヲ種族細別年齡緣事及職業項別ニ分チタル人口	應	別
第二十一表	解纏足者ヲ種族細別年齡緣事及職業項別ニ分チタル人口	應	別
第二十二表	普通所帶ヲ所帶ノ種類人員及所帶主ノ種族細別ニ分チタル員數	應	別

第二十三表	混合所帶(本來所帶中ノ)ヲ所帶ノ構成及所帶主ノ種族細別ニ分チタル員數	應	別
第二十四表	准所帶ヲ其ノ種類ニ分チタル員數	應	別
第二十五表	所帶ノ人員ヲ所帶ノ種類及體性ニ分チタル人口	應	別
第二十六表	住居ノ種類ヲ所帶ノ種類及所帶數ニ分チタル員數	應	別
第二十七表	住家及住地ノ權利關係ヲ所帶主ノ種族細別職業項別及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル員數	應	別

第一表

各年齡者ヲ生年、種族(細別)、

[illegible]

體性及緣事二分チタル人口

(應 別)

[illegible]

滿一歲以下ノ幼兒ヲ月數(滿一箇月以下

第六章 製表

(應 別)

[illegible]

第三表

本業者ノ職業(項別)及職業上ノ地位ヲ

職業、職業上ノ地位、種族及體性		總數					自零歲至十歲			
		總數	配偶者	未婚者	離婚者	寡				
總數	總數	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								
		役員								
		手助家族								
總數	職工其ノ他	總數								
		內地人								
		本島人								
		外國人								
		總數								
	獨立	內地人								
		本島人								
		外國人								

種族、體性、年齡及緣事ニ分チタル人口

(應 別)

自十一歲至十五歲											
總數				十一歲				十二歲			

自十六歲至二十歲											
十五歲				總數				十六歲			

二十歲				自二十一歲至二十五歲			
十九歲				二十歲			

自三十六歲至四十歲				自四十一歲至四十五歲				自四十六歲至五十歲			

自六十一歲至六十五歲				自六十六歲至七十歲				七十一歲以上			

第六章 製表

一七七

第六章 表

一七六

第五表

副業者ノ職業(項別)及職業上ノ地位ヲ

職業、職業上ノ地位、種族及體性	總數					自零歲至十歲			
	總數	配偶者	未婚者	離婚者	寡				
總數	總數								
	內地人								
	本島人								
	外國人								
	獨立								
	內地人								
	本島人								
	外國人								
	役員								
	職工其ノ他								
第一款 農業、牧畜、林業、漁業等（第五款迄）	總數								
	內地人								
	本島人								
	外國人								
	獨立								
	內地人								
	本島人								
	外國人								
	役員								
	職工其ノ他								
第二款 商業、工業、運輸業、服務業、其他（第六款迄）	總數								
	內地人								
	本島人								
	外國人								
	獨立								
	內地人								
	本島人								
	外國人								
	役員								
	職工其ノ他								

種族、體性、年齡及緣事二分チタル人口

(應 別)

自十一歲至十五歲											
總 數				十 一 歲				十 二 歲			

自十六歲至二十歲											
十 五 歲				總 數				十 六 歲			

二十歲								自二十一歲至二十五歲			
十 九 歲				二 十 歲							

自三十六歲至 四 十 歲				自四十一歲至四十五歲				自四十六歲至 五 十 歲			

自六十一歲至六十五歲				自六十六歲至 七 十 歲				七 十 一 歲 以 上			

第六表

副業ヲ有スル本業者ノ職業(項別)及職業上ノ地

第六章 製表

本業者ノ職業、職業(本業)
上ノ地位、種族及體性

副

總

數

總

數

總
數

配
偶
者

未
婚
者

離
婚
者

寡
居

總

數

總數	{	總數	{	總數
		內地人		男女
		本島人		男女
		外國人		男女
		獨立		男女
{	{	內地人	{	男女
		本島人		男女
		外國人		男女
{	{	役員	{	男女
		職工其ノ他		男女

第一款 農業、牧畜、林業、漁業等 (第六款迄)

總數

一八一

位ヲ副業(項別)、種族、體性及緣事ニ分チタル人口 (廳 別)

[illegible]

第七表

有業者ノ職業(目別)及職業上ノ地

第六章
製表

有業者、種族及體性		總數	總數	總數	總數					
總數		總數	獨立	役員	手家助族	職共ノ工他				
總數	總數	{								
總數	內地人	{								
總數	本島人	{								
總數	外國人	{								
本業者		{								
本業者		{								
本業者		{								
本業者		{								
總數		{								
總數		{								
總數		{								
總數		{								
副業者	本業ナル者	{								
副業者	本業ナル者	{								
副業者	本業ナル者	{								
副業者	本業ナル者	{								
本業ナキ者		{								
本業ナキ者		{								
本業ナキ者		{								
本業ナキ者		{								

一八三

位ヲ種族及體性ニ分チタル有業數

·(別市三)

[illegible]

第 八 表

言語ノ種類ヲ常用語、副用語、種

[illegible]

族(細別)及體性ニ分チタル人口

(雌 別)

[illegible]

第九表

言語ノ種類ヲ語數、種族、

[illegible]

體性及年齡二分チタル人口

(應別)

[illegible]

讀ミ書キノ程度ヲ種族(細別)、

[illegible]

體性及年齡二分チタル人口

(題別)

自六歲至十歲					自十一歲至十五歲			
歲	七 歲	八 歲	九 歲	十 歲	總 數		十一歲	十二歲
女								

自十六歲至二十歲					自二十一歲至二十五歲		自二十六歲至三十歲	
歲	十七歲	十八歲	十九歲	二十歲				

十六歲至二十歲	自五十一歲至五十五歲	自五十六歲至六十歲	自六十一歲至六十五歲	自六十六歲至七十歲	七十一歲以上

第十二表

不具ノ種類ヲ種族、體性及

職業、種族及體性	總數	一 種ノ者					總數	聾啞、盲
		總數	聾	盲	白痴	癩癩		
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 外國人 { 男女男女								
總數 { 總數 { 總數男女 內地人 { 男女男女 本島人 { 男女男女 								

職業(項別)ニ分チタル人口

(應 別)

[illegible]

第十三表

不具ノ種類及原因ヲ種族、

本表ノ不具數トハ人口單位ニ非スシテ不具單位ナリ例之ハ一人ニシテ二種以上ノ不具ヲ兼メ

第六章
製表

年齢、種族及體性	總數						聾 啞					
	總數	生來	疾病	負傷	老衰	不詳	總數	生來	疾病	負傷	老衰	不詳
總數												
總數												
內地人												
本島人												
外國人												
總數												
總數												
一歲												
二歲												
三歲												
四歲												
自零歲至五歲												
自六歲至十歲												
自十一歲至二十歲												
自二十一歲至三十歲												
自三十一歲至四十歲												
自四十一歲至五十歲												
自五十一歲至六十歲												
自六十一歲至七十歲												
七十一歲以上												
年齡不詳												

體性及年齡ニ分テタル不具數

(廳別)

ル者ハ各種類毎ニ之ナート計算ス即チ不具者ハ一人ナルモ不具數ハ二又ハ三トナルカ如シ

盲						白痴					癲癩				
總數	生來	疾病	負傷	老衰	不詳	總數	生來	疾病	負傷	不詳	總數	生來	疾病	負傷	不詳

第六章
製表

第十四表

内地人ヲ出生地、本籍及

水 籍	總 數		出						
			内						
	總 數	男	女	總 數	東 京	京 都	大 阪	神奈川	
奈									
	出								
	内								
	奈 良			三 重			愛 知		
	出								
	内								
	福 井			石 川			富 山		
	歌	出							
内									
大 分				佐 賀			熊 本		
出									
本									
新 竹				臺 中			南 投		
兒 海		出							
		本							
新 竹			臺 中			南 投			

總東京大神兵長新埦群千茨枡奈三愛靜山滋岐長宮福巖青山秋福石富島島岡廣山和德香愛高福大佐熊宮鹿沖北内不

數京都阪川庫崎湯玉馬葉城木良重知岡梨賀阜野城島手森形田井川山取根山島口山島川緩知岡分賀本崎島繩道者詳

地ニ本籍ナ有セサル

一九七

第六章 製表

一九七

體性ニ分チタル人口

(附：別)

生				地			
兵 庫	長 崎	新 潟	埼 玉	群 馬	千 葉	茨 城	栃 木
生				地			
岐 阜	長 野	宮 城	福 島	巖 手	青 森	山 形	秋 田
生				地			
廣 島	山 口	和歌山	德 島	香 川	愛 媛	高 知	福 岡
生		地		水 島			
沖 繩	北海道	朝 鮮	樺 太	總 數	奎 北	宜 蘭	桃 園
生		地		島			
阿 嶺	廣 東	花 蓮 港	澎 湖	蕃 地	外 國	航 海 中	不 詳

第六章

— 九 —

第十五表

內地人ヲ本籍、體性、職業(項別)及職業

本籍	總數											
	總數			有業者				無業家族		家事顧人		
				獨立		非獨立						
	總數	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
東京大神兵長新埦群千茨栃奈三愛靜山滋岐長宮福藤青山秋福石富島岡廣山和德香愛高福大佐熊宮鹿沖北内不												
奈												
歌												
兒海												

東京都阪川庫崎湯玉馬業城木良重知岡聖賀草野城島手森形田井川山取根山島口山島川緩知岡分賀本崎島編道者詳
 地ニ本籍ヲ有セサル

第六章 製表
 一九九

上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口

(應別)

[illegible]

第十六表 最初渡臺ノ内地人ヲ渡臺ノ年次、體性、職業(項別)

[illegible]

及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口 (應別)

三十年	明治三十一年	明治三十二年	明治三十三年	明治三十四年

三十八年	明治三十九年	明治四十年	明治四十一年	明治四十二年

大正三年	大正四年	本島出生	一時現在者	不詳

第十八表

外國人ヲ國籍、體性、職業(項別)及職業

職業、職業上ノ地位又ハ從屬關係	總數			支那								
	總數	男	女									
總數 { 總有業者 無家業事 } 數立家族人 { 總數 } { } 第一款 農業、牧畜、林業、漁業等 { } 第一項 農畜、養蠶、農業、牧畜 { } 第二項 狩獵及 { } 第三項 漁業、鹽業及 { } { 總數 } { } 第二款 工業（第七款迄） { } 第四項 採金、鑛冶、鑛業及 { } 第五項 土產、採取及製造 { }												

第六章 製表

二〇五

上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル人口

二(應別)

[illegible]

第十九表

阿片烟膏吸食特許者ヲ種族(細別)、體性、

職業、種族及體性		總 數					二 十 五 歲		
		總數	配偶者	未婚者	離婚者	寡 婦			
總 數	總 數	總數							
	男 女	總數							
	本 島 人	總數					自三十六歲至四十歲		
	漢 人	總數					自四十一歲至		
	福 建 人	總數							
	廣 東 人	總數							
	其 他 人	總數							
	熟 生	總數					自五十六歲至六十歲		
	支 那 人	總數					自六十一歲至		
	支 那 人	總數							
(右ニ掲グル職業ヲ本業トスル者)		總 數					第一項 農業、牧畜、養蠶等		
		男 女					第二項 漁業、牧畜、林業、漁業等		
		本 島 人					右ニ掲グル職業ヲ本業トスル者		
		漢 人							
		福 建 人							
		廣 東 人							
		其 他 人							
		熟 生							
		支 那 人							
		支 那 人							

第六章 製 表

二〇七

年齡、緣事及職業(項別)三分チタル人口

(應 別)

以 下	自二十六歲至三十歲	自三十一歲至三十五歲
四十五歲	自四十六歲至五十歲	自五十一歲至五十五歲
六十五歲	自六十六歲至七十歲	七十一歲以上

第六章 製 表

二〇六

第二十表

纏足者ヲ種族(細別)、年齢、縁事

職業及種族		總 數					自零歲至十歲			
		總數	配偶者	未婚者	離婚者	寡婦				
總數	總數	總數	總數	總數	總數	自十一歲至十五歲				
						十三歲		十四歲		
總數	總數	總數	總數	總數	總數	自十六歲				
						十七歲		十八歲		
總數	總數	總數	總數	總數	總數	自二十六歲至三十歲		自三十一歲至三十五歲		
						自五十一歲至五十五歲		自五十六歲至六十歲		

右ニ掲グル職業ヲ本業トスル者

（右ニ掲グル職業ニ從屬スル者）

第一款 農業、牧畜、林業、漁業等

（無業第七款迄）

（右ニ掲グル職業ニ從屬スル者）

第二項 農業、牧畜、養蠶等

右ニ掲グル職業ヲ本業トスル者

(右ニ掲グル職業ニ從屬スル者)

第一款 農業、牧畜、林業、漁業等 (無業第七款迄)

(右ニ掲グル職業ニ從屬スル者)

及職業(項別)ニ分チタル人口

(廳 別)

自十一歳至十五歳											
總 數				十一歳				十二歳			
自十六歳至二十歳											
十五歳				總 數				十六歳			
至二十歳											
十九歳				二十歳				自二十一歳至二十五歳			
自三十六歳至四十歳				自四十一歳至四十五歳				自四十六歳至五十歳			
自六十一歳至六十五歳				自六十六歳至七十歳				七十一歳以上			

第二十一表

解纏足者ヲ種族(細別)、年齡、緣

[illegible]

事及職業(項別)ニ分チタル人口

(附 別)

自十一歲至十五歲											
總 數				十 一 歲				十 二 歲			

自十六歲至二十歲											
十 五 歲				總 數				十 六 歲			

至二十歲								自二十一歲至二十五歲			
十 九 歲				二 十 歲							

自三十六歲至四十歲				自四十一歲至四十五歲				自四十六歲至五十歲			

自六十一歲至六十五歲				自六十六歲至七十歲				七十一歲以上			

第二十三表 混合所帶(本來所帶中ノ)ヲ所帶ノ構成
及所帶主ノ種族(細別)ニ分チタル員數 (應別)

所帶ノ構成	總 數	內 地 人	本島人						外 國 人	
			總 數	漢人				熟 蕃		生 蕃
				總 數	福 建	廣 東	其 他			
總數 家事上ノ雇人 職業上ノ雇人 同居寄留人 來客 家事上ノ雇人、職業上ノ雇人 家事上ノ雇人、同居寄留人 家事上ノ雇人、來客 職業上ノ雇人、同居寄留人 職業上ノ雇人、來客 同居寄留人、來客 家事上ノ雇人、職業上ノ雇人、同居寄留人 家事上ノ雇人、職業上ノ雇人、來客 家事上ノ雇人、同居寄留人、來客 職業上ノ雇人、同居寄留人、來客 家事上ノ雇人、職業上ノ雇人、同居寄留人、來客										
所帶主ト										
所帶主及其ノ家族ト										

第二十二表

普通所帶ヲ所帶ノ種類、人員及所
帶主ノ種族(細別)ニ分チタル員數 (應別)

所帶ノ種類及人員	總 數	內 地 人	本島人						外 國 人	
			總 數	漢人				熟 蕃		生 蕃
				總 數	福 建	廣 東	其 他			
總 數										
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九										
十										
總 數										
本來所帶										
總 數										
親族所帶										
本來所帶										
混合所帶										
本來所帶										
一人所帶										

(應 別)

[illegible]

(廳 別)

種 類	所 帶 數
總 數	
族 人 宿 及 木 賃 宿	
下 宿 屋	
醫 院 及 病 院	
教 育 上 ノ 場 舍	
宗 教 上 ノ 場 舍	
感 化 上 ノ 場 舍	
工 業 上 ノ 場 舍	
監 獄	
留 置 場	
慈 惠 上 ノ 場 舍	
舟 筏	
官 舍 又 ハ 宿 舍	
宿 舍 (私 人)	
劇 場	
貸 座 敷	
乞 食 小 屋	

住居ノ種類ヲ所帶ノ種類

[illegible]

及所帶數二分チタル員數

(應 別)

住 居 數				
准 所 帶	本 來 人 所 帶	本 來 所 帶	一 准 人 所 帶	本 一 來 人 所 帶

第二十七表 住家及住地ノ權利關係ヲ所帶主ノ種族(細別)、職業

[illegible]

(項別)及職業上ノ地位又ハ從屬關係ニ分チタル員數 (應 別)

款 農業、牧畜、林業、漁業等						第二款 工業（第七款迄）			
畜、養蠶等		第二項 林業及狩獵		第三項 漁業及製鹽		總 數			

第三 結果表

原表ノ集計ニシテ一表ノ成ルニ從ヒ分析シテ或觀察ノ目的ヲ達セムカ爲必須ノ結果表ヲ調製セリ其ノ様式一二四表ニシテ之ヲ前回調査ノ結果表一二三表ニ比スレハ僅ニ一表ヲ増加シタルニ過キスト雖其ノ内容ニ至リテハ非常ノ差異アリ即チ彼是全ク相同シキモノハ僅ニ五三表ニシテ其ノ他ハ悉ク一部若ハ全部ヲ改正シ或ハ全然之ヲ削リ又ハ新ニ加ヘタル等殆ト其ノ大半ヲ改メタリ而シテ其ノ調製方法タルヤ先ツ原表ノ數字ヲ分合シテ實數ヲ得尋テ其ノ比例ヲ算出セリ調製順序左ノ如シ

第二次臨時戸口調査結果表調製順序

注意要項

一、製表順序

記入 結果表各欄界ノ記入及總數ノ算出(實數)

照合 校合檢算

計算 比例ノ算出

檢査 比例ノ檢算及關係數トノ對照(實數、比例)

二、原表(地方)ヨリ記入セシモノハ記入者ニ於テ總數ヲ算出記入シ原表(全島)ニ對照シ然ル後計算者ニ於テ比例ヲ算出ス

三、關係數ノ對照ハ直接對照シ得ヘキモノハ勿論甲乙二數ヲ合算シテ符合スヘキモノモ計算ノ上對照ス

四、比例中百分比比例及百二十分比例ハ、小數二位ニ止メ千分、萬分比例ハ小數一位トス

五、比例中小數二位又ハ小數一位ニ止ムルモノニシテ若シ其ノ小數位ニ違セサルモノアルトキハ(例)セハ小數二位(0.002)ト記入シ小數一位ハ(0.01)ト記入スルカ如シ)括弧ヲ以テ傍ニ其ノ小數一位ヲ示スモノトス

六、比例ノ算出ハ四捨五入法ニ依ルト雖其ノ總數ト内譯ノ符合セサルモノアルトキハ比例ノ最大ナルモノニ就テ之ヲ加除シ全數ニ符合セシムルモノトス但シ此ノ加除法ニ依リ比例若ハ實數ノ順位ニ異動ヲ生スルカ又ハ同一ノ最大數二箇以上アル場合ニ限リ此ノ知キ影響ヲ及ボササル適宜ノ箇所ニ於テ加除スルモノトス

七、百分、千分、萬分比例ニシテ總數中甲乙丙ノ區別アリテ尙各其ノ内譯ヲ有スルモノハ先ツ其ノ甲乙丙ノ總數ヲ算出シ然ル後其ノ内譯ニ及フモノトス例セハ職業ノ款項目ノ如シ初メ款ノ數ヲ算出シ次ニ項、次ニ目ト順次ニ其ノ内譯ニ及フモノトス

第一 人口

○第一表 地方別面積、居住、所帶及人口

實數

一、面積

方里 面積ノ滿洲時ニ於ケル行政區域ノ面積ニシテ臺灣總督府第十九統計書ニ據ル

方間 (一方里ハ) 一方里ハ 4065.600 方間(即チ坪)

方基米 方基米ハ一百萬平方メートルナルヲ以テ方米ニテ全面積ヲ算出シ而シテ其ノ百萬位

ナ方基米トシテ數位ヲ定ム

方米 方間ハ三・三〇五八米ナルヲ以テ一方里ヲ方間ニ換算シ之ニ方間ノ換算率ヲ乘シ而シテ

全面積ノ方里ヲ乘ス

(全面積ノ方里)×(一方里ノ方間)×(方間ノ換算率3.3058) = 〳

二、人口 概覽表(現在人口)ヨリ記入ス

比例

一、地方別百分比比例

面積 總方里ヲ法トシ之ヲ百トシテ地方別ノ方里ニ比例ス

人口 總人口ヲ法トシ之ヲ百トシテ地方別人口ニ比例ス

二、一方里ニ付人口等

住居 應別ノ方里ニテ第二表ノ應別住居數ヲ除ス(但シ小數二位迄除シ一位ニ止ム)以下做之

所帶 應別ノ方里ニテ第二表ノ應別所帶數ヲ除ス

人口 應別ノ方里ニテ人口ヲ除ス

三、一方基米ニ付人口等

住居 應別ノ方基米ニテ第二表ノ住居數ヲ除ス

所帶 應別ノ方基米ニテ第二表ノ所帶數ヲ除ス

人口 應別ノ方基米ニテ人口ヲ除ス

四、一人ニ付面積

方間 應別人口ニテ方間ヲ除ス

方米 應別人口ニテ方米ヲ除ス

○第二表 地方別住居、所帶及人口

實數

一、住居 原表第二八表(表頭住居數ノ總數、表側住居ノ種類別總數)ヨリ記入ス

二、所帶 原表第二四表ノ普通所帶表頭、表側ノ總數(及原表第二六表ノ准所帶(表頭准所帶、表側總數)ヲ合算シテ記入ス

三、人口 第一表ノ人口ヲ記入ス

比例

一、地方別百分比比例

住居 住居ノ總數ヲ法トシ之ヲ百トシテ應別ニ比例ス

所帶 所帶ノ總數ヲ法トシ之ヲ百トシテ應別ニ比例ス

人口 人口ノ地方別百分比比例ハ第一表ニ同シ

二、一住居ニ付所帶 應別ノ住居數ニテ其ノ所帶數ヲ除ス

三、一住居ニ付人口 應別ノ住居數ニテ其ノ人口ヲ除ス

四、一所帶ニ付人口 應別ノ所帶數ニテ其ノ人口ヲ除ス

○第三表 地方及都鄙別人口

實數

一、總數 第二表地方別人口ヲ記入ス

二、都會 概覽表ノ街庄社人口中ヨリ地方別ニ表頭等級別人口ノ街庄ヲ求メ其ノ人口ヲ積算シテ當該欄ニ記入ス

三、村落 應別ニ總數人口ヨリ都會人口ノ總數ヲ控除セシ殘數ヲ記入ス

四、總人口百ニ付都會人口 應別ノ人口ヲ法トシ都會人口ノ總數ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

五、一萬坪ニ付都會人口 區勢一區ヨリ應別ニ都會ノ面積ヲ抄出シ之ヲ法トシテ算出ス

六、總人口百ニ付村落人口 各縣ノ人口ヲ法トシ村落人口ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

七、一方里ニ付村落人口 中集表ヲ作リ區勢一區ヨリ都會ノ面積ヲ抄出シ之ヲ總面積ヨリ應別ニ

控除セシ殘數ヲ記入ス而シテ一方里ノ村落人口ハ村落ノ面積ヲ法トシ其ノ人口ヲ除ス

○第四表 地方及體性別現在人口及常住人口

實數

一、現在人口

總數 概覽表現在人口ノ總數ヲ記入ス(對照第一表)

常住者ニシテ現在セシ者 概覽表現在人口ノ總數ヨリ一時現在者ヲ控除セシ殘數ヲ記入ス

一時現在者 概覽表ヨリ地方別ニ男女數ヲ記入シ其ノ總數ヲ算出ス

二、常住人口

總數 算出ス

常住者ニシテ現在セシ者 現在人口中ノ常住者ニ同シ

一時不在者 概覽表ヨリ地方別ニ男女數ヲ記入シ其ノ總數ヲ算出ス

比例

一、現在人口百中

常住者ニシテ現在セシ者 $\frac{\text{現在人口中ノ常住者} \times 100}{\text{現在人口}}$ ノ式ニ依リ總數、男、女ヲ各別ニ算出ス

ス即チ現在人口ノ男又ハ女百中常住者ニシテ現在セシ男又ハ女何人ノ比例ナリ

一時現在者 $\frac{\text{現在人口中ノ一時現在者} \times 100}{\text{現在人口}}$ ノ式ニ依リ總數、男、女ヲ各別ニ算出ス

(注意) 常住者ニシテ現在セシ者ト一時現在者ノ總數、男、女ヲ各別ニ合算スレハ各百トナラサル

ルヘカラス

二、常住人口百中

常住者ニシテ現在セシ者 $\frac{\text{現在人口中ノ常住者} \times 100}{\text{現在人口}}$ ノ式ニ依リ總數、男、女ヲ各別ニ算出ス

一時不在者 $\frac{\text{現在人口中ノ一時不在者} \times 100}{\text{現在人口}}$ ノ式ニ依リ算出ス其ノ他同上

(注意) 常住者ニシテ現在セシ者ト一時不在者ノ總數、男、女ヲ各別ニ合算スレハ各百トナラサル

ヘカラス

三、現在人口百ニ付常住人口 $\frac{\text{現在人口} \times 100}{\text{現在人口}}$ ノ式ニ依リ總數、男、女ヲ各別ニ算出ス

四、男百ニ付女 $\frac{\text{現在人口中ノ女} \times 100}{\text{現在人口中ノ男}}$ ノ式ニ依リ總數、男、女ヲ各別ニ算出ス

法トシ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

○第五表 人口等級別街庄社及聚積人口

實數

一、街庄社 第六表ノ總數ヲ記入ス

二、人口 第七表ノ總數ヲ記入ス

比例

一、一街庄ニ付人口 各等級別街庄ニテ各等級別人口ヲ除ス

二、人口等級別百分比比例

街庄 $\frac{\text{各等級別街庄人口} \times 100}{\text{現在人口}}$ (對照第六表(百分比比例))

人口 $\frac{\text{各等級別人口} \times 100}{\text{現在人口}}$ (對照第七表(百分比比例))

○第六表 地方及聚積人口等級別街庄社

○第七表 地方及人口等級別聚積人口

實數

一、第六表及第七表ハ同時ニ調製スルヲ便トス先ツ中集表ヲ作り表頭ニ人口等級別ニ街庄ト人口

ヲ掲記シ表側ハ各縣ニ於ケル堡里ノ名稱ヲ記入シ一堡里毎ニ各等級ニ相當スル街庄ノ人口ヲ

求メ同時ニ其ノ人口ト街庄ヲ各別ニ一縣毎ニ合算シ街庄ハ第六表ニ人口ハ第七表ニ記入シ各

縣毎ニ同一手續ヲ繰リ返シタル後之ヲ集計シテ總數ヲ記入ス

(對照第一表(縣別人口)及地名彙編ノ街庄數)

一、人口等級別百分比比例 各縣ノ總數ヲ法トシ之ヲ百トシテ等級別ニ比例ス

第二種族

○第八表 地方及體性別種族(細別)

實數

一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
表	表	表	表
總數及各種族(細別)ノ總數		總數、總數、種族(細別)	

(對照第四表(地方、體性))

比例

一、種族別百分比比例 總數、男女、種族ノ總數ヲ各法トシ之ヲ百トシテ種族ニ比例ス

二、男百ニ付女 各種族ノ男ヲ法トシ之ヲ百トシテ同種族ノ女ニ比例ス(對照第四表(男百ニ付女現在人口))

○第九表 體性及年齡級別種族

實數

一、原表第二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
表	表	表	表
總數及各種族ノ總數		總數、種族(細別)	

(對照第八表(種族、體性))

比例

一、年齡級別百分比比例 總數、男女、種族ノ總數ヲ各百法トシテ之ヲ年齡級ニ比例ス

第三種體性

○第一〇表 地方別體性

實數

一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
表	表	表	表
總數中總數ノ總數		總數、男女、種族	

二、男ノ超過 總數ニ男ヨリ女ヲ減シ其ノ差ヲ記入ス但シ女ノ數男ヲ超過スルトキハ數字ノ頭ニ

(一)ト記入シ備考ニ(一)ハ女超過ト記入ス(對照第四表(地方、體性))

比例

一、地方別百分比比例 男及女ノ總數ヲ各百法トシテ之ヲ總別ニ比例ス

二、男百ニ付女 各體性ニ男ヲ法トシ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(對照第四表(男百ニ付女現在人口))

○第一一表 種族(細別)別體性

實數

一、結果表第八表ヨリ記入ス

二、男ノ超過 種族別ニ男女ノ差ヲ記入ス若シ女ノ男ヨリ多キトキハ數字ノ頭ニ(一)ト記入シ備考

ニ(一)ハ女ノ超過ト記入ス

比例

- 一、種族別百分比比例 男及女ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ種族別ニ比例ス
 - 二、男百ニ付女 各種族ノ男ヲ法トシ同種族ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(對照第一〇表)
- 第一二表 地方及都鄙別體性

實數

- 一、男及女ノ總數ハ第一〇表ニ依リ記入ス
- 二、都會 都會ノ等級別人口ヲ記入スルニハ先ツ中集表ヲ作ラサルヘカラス表頭ハ都會ノ人口等級ニ相當スル等級ヲ設ケ等級毎ニ男、女ニ區別シ表側ヲ應別トセル一表ヲ作り概覽表ノ街庄中人口等級別ニ相當スル街ノ人口ヲ求メテ之ヲ中集表ニ記入シ各縣毎ニ同一手續ヲ繰リ返シ之ヲ第一二表都會ノ部ニ記入スルモノトス(對照第三表第七表(一)萬人以上人口)
- 三、村落 男及女ノ總數ヨリ其ノ都會ノ總數ヲ扣除セシ殘數ヲ記入ス

比例

- 一、男百ニ付女 總數ハ男ノ總數ヲ法トシ女ノ總數ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス都會及村落モ同一算法ニテ都會ハ男ト同縣同等級別ノ女ニ比例シ村落ハ男ト同縣ノ女ニ比例ス(對照第一〇表(男百ニ付女))

第四年 齡

○第一三表 種族及體性別年齡

實數

- 一、原表第二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側

總數及各種族總事(總數)

總數及年齡別(總數、男、女)

總數及種族別(總數、男、女)
總數、五歲級別年齡
總數、五歲級以上ハ合算ス
總數、五歲級以下ハ各年齡ノ男女ノ總數ナキモノハ算出ス

總數、年齡別

○第一四表 地方及體性別年齡級

實數

- 一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側

總數中總事(總數)

總數、五歲級別年齡(總數、男、女)

總數、五歲級以上ハ合算ス
總數、五歲級以下ハ各年齡ノ男女ノ總數ナキモノハ算出ス

總數、男、女ノ(總數、應)

(對照第一三表)

比例

- 一、人口總數萬ニ對スル比例 總人口ヲ一萬トシ應別ニ各年齡級ノ人口ヲ比例スルモノニシテ各數ニ一萬ヲ乘シタルモノヲ總人口ニテ除ス故ニ各縣ノ男女ノ總數ヲ合算シタルモノ及各年齡級ヲ通算シタルモノハ各一萬ニ合致セサルヘカラス此ノ算出ハ先ツ縱橫ノ總數ヲ算出シ然ル後其ノ內譯ニ及フモノトス
- 二、男百ニ付女 應別ニ各年齡級ノ女ニ百ヲ乘シ同年齡級ノ男ニテ除ス(對照第八表(男百ニ付女))
- 三、年齡級別百分比比例 各縣ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ年齡級ニ比例ス

○第一五表 地方種族及體性別年齡級

實數

- 一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
總數及各種族ノ總數	總數及五歲級別年齡(總數、男、女)	總數、男、女ノ(總數、年齡級)	總數、總別ノ(内地人、本島人、外人)
(對照第一四表)			
比例			
一、年齡級別百分比例	總數、男、女ノ表トモ種族別ニ各其ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ年齡級別ニ比例ス(對照第一四表(總數、男、女ノ年齡級))		
○第一六表	種族(細別)及體性別年齡級		
實數			
一、原表第二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス			
原	表	本	表
表	側	表	側
總數中總事(總數)	總數五歲級別年齡(總數、男、女)但シ七十一歲以上ハ合算ス	總數、五歲級別年齡	總數、男、女ノ(總數)

比
例

一、人口總數萬ニ對スル比例 各種族ノ年齡級別人口ニ各一萬ヲ乘シ人口總數ヲ以テ階ス第一四表ニ同シ(對照第一四表(人口萬ニ對スル比例))

二、男百ニ付女 各種族ノ男ヲ法トシ同種族同年齡級ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(對照第一八表(男百ニ付女))

三、年齡級別百分比 各種族ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ年齡級ニ比例ス(對照第九表年齡級別)

○第一七表 種族(細別)及體性別平均年齡

各種族ノ年齡毎ニ其ノ人口ヲ各別ニ乘シ其ノ和ヲ總人口ニテ除ス例セハ内地人ノ一歳ノ者五人二歳ノ者六人計十一人ナリトセハ $\frac{1 \times 5 + 2 \times 6}{11}$ 平均一歳六箇月ナルカ如シ(一歳未満ノ殘數ハ

十二月ヲ乗シ之ヲ除ス總人口ヲ右ノ算法ニテ計算スルニハ先ツ中集表ヲ作り原表第二表(全島)

ヨリ各種族ノ年齡別人口ヲ記入シ年齡ト人口ヲ相乘シタルモノヲ年齡ノ上ニ朱書シ點ノ如クシテ全部ヲ了シタルトキハ朱書ノ員數ヲ合算シ之ヲ實トシ各年齡ヲ合算シタルモノヲ法トシ

テ之ヲ除ス

實
數

一、原表第三表(全島)ヨリ左ノ如ク記入ス

總數、月數	表頭	原
總數、男、女	表側	木
總數、月數	表頭	表側

一、月數別百二十分比例 總數、男、女ノ各月ノ總數ヲ各百二十トシテ各月ニ比例ス

二、男百ニ付女 各月ノ女ニ百ヲ乗シ同月ノ男ニテ之ヲ除ス

實

一、原表第三表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表		本表	
表頭	表側	表頭	表側
總數及種族(細別)(總數、男、女)		總數、男、女(種族細別)	

(對照第一八表)

比例

一、月數別百二十分比例 各種族ノ總數ヲ百二十トシテ之ヲ各月ニ比例ス但シ一箇月ヲ日數ニ區別セルモノハ先ツ其ノ總數ヲ算出シ之ニ他ノ十一箇月ヲ加ヘ其ノ數百二十ニ合致スルヤ否ヲ檢シ而シテ日數ノ比例ヲ算出シ之ヲ合算シテ其ノ總數ニ符合セシム(對照第一八表)

二、男百ニ付女 各月ノ女ニ百ヲ乘シ同月ノ男ニテ之ヲ除ス(對照第一八表(總數))

○第二〇表 地方、月數及體性別乳兒

一、原表第三表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

實數

原表		本表	
表頭	表側	表頭	表側
總數、男、女		總數、男、女(總數)	

(對照第一九表(月數別總數、男、女))

比例

一、乳兒總數萬ニ對スル比例 乳兒總數ヲ一萬トシ地方別及各月ニ比例スルモノニシテ各數ニ一萬ヲ乘シタルモノヲ總人口ニテ除ス而シテ各縣ノ男女ノ總數ヲ合算シタルモノ及各月ヲ通算シタルモノハ各一萬ニ合致セサルヘカラス而シテ此ノ算出ハ先ツ縱橫ノ總數ヲ算出シ然ル後

其ノ内譯ニ及フモノトス

二、男百ニ付女 各縣ノ女ニ百ヲ乘シ同縣同月ノ男ニテ之ヲ除ス(對照第一九表(總數))

三、月數別百二十分比例 各縣ノ總數ヲ各百二十トシテ之ヲ各月ニ比例ス其ノ他第一九表ニ同シ

(對照第一九表(百二十分比例總數))

四、各縣人口千中 縣別ノ人口第一表ヲ法トシ之ヲ千トシテ同縣ノ乳兒ニ比例ス(月別ノ數ヲ合算スレハ總數ニ合致ス)

第五 雜事

○第二一表 地方及體性別雜事

實數

一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表		本表	
表頭	表側	表頭	表側
總數(總數、雜事別)		(總數)	

(對照第一一表(地方、體性))

比例

一、雜事別百分比比例 各縣ノ總數、男、女別總數ヲ各別ニ法トシ之ヲ百トシテ雜事別ニ比例ス

二、男百ニ付女 各縣ノ雜事別ノ女ニ百ヲ乘シ同縣同一雜事別ノ男ニテ之ヲ除ス(對照第一〇表(男百ニ付女))

○第二二表 種族(細別)及體性別雜事

實數

總數、男、女(總數、緣事別)

比
例

二、男百ニ付女 各種族ノ女ニ百ヲ乗シ同種族ノ同一縁事ノ男ニテ之ヲ除ス(對照第一一表)

賀 敬

一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原

總數、種族別(總數、綠事別)	總數(總數、男、女)
總數	總數
種族別	種族別
(總數、綠事別)	(總數、男、女)

國人

比例

一、緣事別百分比
廳及種族別毎ニ總數、男女ノ總數ヲ百トシテ之ヲ緣事別ニ比例ス(對照第二表、第二二表)

○第二四表 種族、體性及年齡級別緣事

寶教

一、原表第二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原

總數、五歲級別年齡(總數、男、女)

歳以上ハ合算ス

(對照第一五表(性、年齡)、第二二表(種族、體性))

比
例

一、緣事別百分比比例 各年齡級ノ總數並男、女ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ緣事別ニ比例ス(對照第二

表、第二二表、第二三表(總數、男、女)

二、人口總數萬ニ對スル比例 總數、内地人、本島人、外國人ノ人口總數ヲ各一萬トシ、總數及年齡總數

比例ス故ニ總數ハ縱横ニ集計スルモ各一萬ニ合致ス(第一四表、第二〇表ノ例ニ同シ)(對照第一

表、第一六表)

○第二五表 地方、種族、體性及年齡級別緣事(婚者、獨者、寡者、寡者)

R

一、原表第二表(地方)ヨリ左ノ中集表ニ記入シ集計シテ更ニ之ヲ本表ニ移植スルモノトス

〔應別同上〕
何々

北 壘
婚者、歸、寡
配偶者、離
未婚者、數

一、本業者百ニ付本業從屬者ノ總數ハ本業從屬者ノ總數ニ百ヲ乘シ同應本業者ノ總數ニテ之ヲ除
ス又第一款ハ本業從屬者ノ第一款ノ數ニ百ヲ乘シ同應ノ本業者ノ第一款ノ數ニテ之ヲ除ス(對
照第二六表)

(其ノ他做之)

(注意) 本業者ノ總數ト本業從屬者總數ノ比例ハ本業從屬者中第七款ヲ加算セシ總數ヲ以テ

○第二八表 地方及體性別本業者(項別)

實數

一、原表第五表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數中總事別(總數)	總數中地位ノ總數種族總數及各款 (總數、男、女)	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、款項別

(對照第二七表(總數、男、女及職業款別))

比例

一、職業別千分比例 各縣ノ總數ヲ法トシ之ヲ千トシテ款項ニ比例ス(對照第二六表本業者款別ノ
總數、男、女)

○第二九表 體性及職業上ノ地位別本業者(款別)

實數

一、原表第五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數中總事別(總數)	款ノ總數中地位總數種族總數及地位 (總數、男、女)但シ地位毎ニ種族ヲ 男女別ニ合算ス	(總數)(男)(女)(總數、款別)	總數、地位

(對照第二六表(總數))

比例

一、地位別千分比例 各款ノ地位ノ總數ヲ百(法)トシテ地位別ニ比例ス

○第三〇表 種族及體性別本業者

實數

一、原表第五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數中總事別(總數)	總數及各款ノ總數、地位ノ總數中 各種族ノ(男、女)	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、種族別

(對照第二九表(總數))

比例

一、職業別千分比例 總數、男、女ノ種族別職業總數ヲ法トシ之ヲ百トシテ款別ニ比例ス(對照第二六
表(職業別)第二八表(種族別))

○第三一表 體性及年齡級別本業者(款別)

實數

一、原表第五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表		中表		集表	
表頭	表側	表頭	表側	表頭	表側
自十歲至十五歲及自一歲至十歲 (總數) (對照第三一表)		總數及各款(總數、男、女) (總數)		十歲以下及十一歲至十五歲 (總數)	
一、職業別百分比 總數、男、女ノ款別ノ總數ヲ百(法)トシテ各款ニ比例ス 二、十五歲以下ノ人口百中 十五歲以下ノ人口比例ハ左記ノ中集表ヲ作ル		比 例		北 (以下 開等別)	
總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲		同上 同上		體性及年齡級 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲	
右中集表ノ總數、男、女ノ(總數)ヲ法トシ本表十五歲以下ノ本業者ニ應毎ニ各百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ中集表ノ臺北縣ノ男ノ人口ヲ法トシ本表臺北縣ノ男ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス又同應ノ男女ノ總數ヲ法トシ本表臺北縣男女ノ總數ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ					

原表		中表		集表	
表頭	表側	表頭	表側	表頭	表側
職業上ノ地位及年齡 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲		總數及各款(總數、男、女) (總數)		十歲以下及十一歲至十五歲 (總數)	
一、地位別百分比 總數、男、女ノ各款ノ總數ヲ百(法)トシ之ヲ地位別ニ比例ス		比 例		北 (以下 開等別)	
右中集表ハ原表第五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス		總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲		體性及年齡級 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲	
自十歲至十五歲及自一歲至十歲 (總數) (對照第三三表)		總數、男、女ノ(總數、款別) (總數、地位別總數(十歲以下、十一歲至十五歲))		總數、男、女ノ各款ノ總數ヲ百(法)トシ之ヲ地位別ニ比例ス	
一、地位別百分比 總數、男、女ノ各款ノ總數ヲ百(法)トシ之ヲ地位別ニ比例ス		比 例		北 (以下 開等別)	
右中集表ハ原表第五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス		總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲		體性及年齡級 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲 總數 數下歲 以十五 乃至十 歲	

○第三五表 種族及體性別十五歲以下ノ本業者(款別)

實數

一、左ノ中集表ヲ作ル

(總數)(男)(女)
(職款)(同)(同)
(業別)(斷)(斷)

年齡級及種族

總數
十歲以下
十歲至十五歲

二、原表第五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭表	側表	中表	頭表	集表	側表
----	----	----	----	----	----	----

自零歲至十歲及自十一歲至十五歲總數

總數中總數(總數、内地人、本島人、外國人)(男)(女)

總數、男、女ノ(總數、款別)

十歲以下及十一歲至十五歲(總數、内地人、本島人、外國人)

(對照第三三表)

三、種族ノ男女ヲ合算シテ總數ヲ記入シ之ヲ本表相當欄ニ記入ス

一、職業別百分比比例 款ノ總數ヲ種族別ニ各百トシテ之ヲ職業款別ニ比例ス(對照第三四表(職業別比例))

二、十五歲以下ノ人口百中 第一三表ニ依リ左ノ(十五歲以下ノ種族及體性別人口表)ヲ作り之ヲ法トシテ本表ノ十五歲以下ノ同種族ノ本業ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(對照第三三表(十五歲以下比例))

女	男	總數
前同	十一歲—十五歲 六歲—十歲 一歲—五歲	十一歲—十五歲 六歲—十歲 一歲—五歲
數人	數人	數人
地島	地島	地島
總内	總内	總内
本外	本外	本外

○第三六表 地方及體性別本業從屬者(項別)

實數

一、原表第六表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭表	側表	中表	頭表	集表	側表
----	----	----	----	----	----	----

總數中總數(總數)

總數及款項ノ總數中地位總數、種族總數(總數、男、女)

(總數)(男)(女)(總數)

總數、款、項

(對照第二六表(本業從屬者))

比例
一、職業別千分比例 各職ノ總數ヲ法トシ之ヲ百トシテ各款項ニ比例ス(對照第二六表(職業別千分比例))

○第三七表 體性及從屬關係別本業從屬者(款別)

一、原表第六表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數及各款ノ總數中職業ナキ家族家事雇人ノ總數(種族別、性別、年齡別)		總數(男、女ノ總數、款別)	
總數中從事別(總數)		總數、無業家族、家事雇人	

(對照第二六表(本業從屬者))

比例

一、從屬關係別千分比例 款別ニ無業家族及家事雇人ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ從屬關係別ニ比例ス

○第三八表 種族及體性別本業從屬者(款別)

實數

一、原表第六表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數及各款ノ總數、地位ノ總數中種族ノ總數(種族、男女、女)		總數、男、女(總數、款別)	
總數中從事別(總數)		總數、種族別	

(對照第三七表(總數、男、女))

比例

一、職業別百分比例 種族ノ男女ノ總數及男女ノ各總數ヲ百(法)トシテ款別ニ比例ス(對照第三六表(款別、總數))

○第三九表 體性及年齡級別本業從屬者(款別)

實數

一、原表第六表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數及各款ノ總數中地位種族種族ノ總數(總數、男女、女)		總數、男、女(總數、款別)	
總數及年齡級別(總數)		總數、年齡級別	

(對照第三六表、第三八表(款別ノ總數、男、女))

比例

一、年齡級別百分比例 總數、男、女ノ款別ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ年齡級別ニ比例ス

二、人口千中 第三一表人口比例ノ法數ニ同シ

○第四〇表 體性及從事別本業從屬者(款別)

實數

原表第六表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數及各款ノ總數中地位種族種族ノ總數(總數、男女、女)		總數、男、女(總數、款別)	
總數(總數、從事別)		總數、從事別	

(對照第三九表(款別總數))

比例

- 一、總事別百分比比例 總數、男、女ノ各款別ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ總事別ニ比例ス
- 二、人口千中 第三二表人口比例ノ法數ニ同シ

C 副業者

○第四一表 地方及體性別副業者(項別)

實數

- 一、原表第七表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
總數及各項ノ總數中地位總數、種族ノ總數(總數、男、女)	表	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、款項別

比例

- 一、職業別千分比例 總ノ總數ヲ千(法)トシテ之ヲ職業ノ款項ニ比例ス

○第四二表 體性及職業上ノ地位別副業者(款別)

實數

- 一、原表第七表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
總數中總事(總數)	表	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、地位

(對照第四一表)

比例

- 一、地位別百分比比例 總數、男、女ノ各款ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ地位別ニ比例ス

○第四三表 種族及體性別副業者(款別)

實數

- 一、原表第七表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
總數中總事別(總數)	表	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、種族

(對照第四一表(總數))

比例

- 一、職業別百分比比例 (總數)(男)(女)ノ種族ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ職業款別ニ比例ス(對照第四一表)

(職業別千分比例)

○第四四表 體性及年齡級別副業者(款別)

實數

- 一、原表第七表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側
總數及各款總數中地位總數、種族總數(總數、男、女)	表	(總數)(男)(女)ノ(總數、款別)	總數、年齡級別

(對照第四三表)

比例

一、年齡級別百分比比例 表例ノ總數ヲ款別ニ百(法)トシテ之ヲ年齡級別ニ比例ス

○第四五表 體性及總事別副業者(款別)

實數

一、原表第七表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	側
總數中(總數、總事別)	表	側	表	側	側
總數及各款ノ總數中地位總數、種族總數(總數、男女)			總數、男女、女ノ(總數、款別)		
總數、總事別			總數、總事別		

(對照第四四表(款別ノ總數))

比例

一、總事別百分比比例 款別ノ總事總數ヲ百(法)トシテ之ヲ總事別ニ比例ス

○第四六表 體性及職業上ノ地位別本業アル副業者(款別)

實數

一、原表第七表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	側
總數中總事別ノ(總數)	表	側	表	側	側
總數及各款ノ總數中(總數、地位)(種族ヲ男女別ニ合算ス)			總數、款別(地位)		
總數、總事別ノ(總數)			總數、男女(但シ地位總數算出ス)		

(對照第四五表(總數、男女ノ款別))

一、本業者百ニ付副業者 第二九表體性及職業上ノ地位別本業者ニ依リ職業、地位及體性別ノ本業アル副業者ト同一本業者ヲ法トシ本業アル副業者ノ地位別ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ本業者ノ第一款ノ獨立ノ男ヲ法トセハ本業アル副業者ノ第一款ノ獨立ノ男ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

○第四七表 體性及本業別副業者(款別)

實數

一、原表第八表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	側
副業總數、總事別(總數)	表	側	表	側	側
總數及各款ノ總數中地位ノ總數、種族ノ總數(總數、男女)			副業(總數、款別)		
副業總數、總事別			總數、男女、女ノ(總數)		

(對照第四六表(總數))

比例

一、副業別百分比比例 表例ノ總數ヲ款別ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ副業ノ款別ニ比例ス

○第四八表 體性、本業及其ノ地位別副業者(款別)

實數

一、原表第八表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	側
副業ノ總數及各款ノ總數中總事別(總數)	表	側	表	側	側
總數及各款ノ總數中總數、地位、地位別(種族ヲ男女別ニ合算ス)			副業、總數、男女、女ノ(總數、款別)		
副業、總數及各款ノ總數中總事別(總數)			總數及款別(地位)		

(對照第四六表(總數第四七表))

比例

一、副業別百分比比例 本業各款ノ地位ハ(總數)(男)(女)ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ副業ノ款別ニ比例ス
(對照第四七表(副業別百分比比例))

D 有業數

○第四九表 地方及體性別有業數(款別)

實數

一、區別ノ本業ハ第二七表ノ體性別本業者ヲ記入シ區別別副業者ハ第四一表ノ體性別副業者ノ款ノ總數ヲ記入ス

(對照第九(總數)第二八表)

比例

一、職業別百分比比例 區別別本業副業ノ總數ハ(總數)(男)(女)ノ總數ノ行ヲ各欄毎ニ百(法)トシテ之ヲ款別ニ比例ス(本業副業亦同シ)

二、本業百ニ付副業 男女各別ノ副業ニ百ヲ乘シ同職同業ノ本業ニテ除ス

三、人口百ニ付 有業數(副業) 男女ノ總數ハ總人口ヲ法トシ有業數ノ男及女ニ對シテハ體性別人口ヲ法トス本業及副業ノ總數ハ有業總數ノ款別ニ各百ヲ乘シ總數ハ總人口ノ男ハ男ノ人口ノ女ハ女ノ人口ニテ除ス本業及副業ハ本業又ハ副業總數ニ各百ヲ乘シ同上人口ニテ除ス(對照第二八表(職業別百)第四一表(同上))

表(分比例)第四一表(同上)

○第五〇表 種族及體性別有業數(款別)

實數

一、本業者及副業者ノ種族別ハ原表第九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表	頭	表	側	本	表	頭	表	側
有業總數(總數)(内地人)(本島人)(外國人)(男)(女)	總數及各款總數中ノ地位ノ(總數)	總數(總數)(内地人)(本島人)(外國人)	總數及各款總數中ノ地位ノ(總數)	總數(總數)(内地人)(本島人)(外國人)	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、男、女ノ(總數、款別)	總數、男、女ノ(總數、款別)

(對照第四九表(總數、男、女))

比例

一、本業百ニ付副業 本業者ノ總數及種族別ヲ各百(法)トシテ之ヲ副業者ノ總數及種族別ニ比例ス
(對照第四九表(本業百ニ付副業))

○第五一表 體性別有業數(日別)

實數

一、原表第九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表	頭	表	側	本	表	頭	表	側
有業總數中種族ノ總數(總數、男、女)	總數、款、項、目別	總數、款、項、目別	總數、款、項、目別	總數、款、項、目別	總數、男、女ノ(總數)	總數、男、女ノ(總數)	總數、男、女ノ(總數)	總數、男、女ノ(總數)	總數、男、女ノ(總數)

(對照第二八表(本業者)第四一表(副業者)第四六表(本業アル者))

比例
一、職業別百分比例 本業者、副業者(本業アル者、本業ナキ者)ノ總數ヲ萬(法)トシテ之ヲ職業款、項目ニ比例ス(對照第二八表(職業別百分比例))
二、本業副業別百分比例 本業者及副業者ノ總數ヲ款、項目別ニ各百(法)トシテ之ヲ本業及副業ニ比例ス而シテ本業アル者及本業ナキ者ヲ合シテ副業者ノ總數ニ合致セシム
三、男百ニ付女 有業數ノ女ニ百ヲ乘シ男ニテ除ス即チ女ノ本業副業別ニ各百ヲ乘シ男ノ本業副業別ニテ除ス(本業アル者及本業ナキ者同上)(對照第二六表(男百ニ付女))
○第五二表 種族及體性別有業數(目別)

一、原表第九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本		表	
表	頭	表	側	表	頭	表	側
本業者、副業者ノ總數及種族別 (總數、男、女)		總數、款、項、目別		總數、款、項、目別		總數、男、女ノ(種族別)(本業者及副業者)	
副業者ノ本業アル者及本業ナキ者ノ(種族別)(總數、男、女)		同前		同前		總數、男、女ノ(種族別)(本業者及副業者)	

(對照第五〇表)

比例

一、職業別百分比例 職業ノ總數ヲ萬(法)トシテ之ヲ款、項目ニ比例ス
(注意) 先ツ各款ノ總數ヲ算出シ次ニ項、次ニ目ヲ算出ス
二、本業副業別百分比例 種族別ニ本業者及副業者ノ總數ヲ款、項目別ニ各百(法)トシテ之ヲ本業及副業ニ比例ス而シテ本業アル者及本業ナキ者ヲ合シテ副業者ノ總數ニ合致セシム

三、男百ニ付女 女ノ本業、副業別種族ニ各百ヲ乘シ同種族ノ本業、副業別ノ男ニテ除ス
○第五三表 體性及職業上ノ地位別有業數(目別)

實數

一、原表第九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本		表	
表	頭	表	側	表	頭	表	側
有業總數(總數、男、女)				總數、款、項、目別ノ地位			
				總數、款、項、目			
				總數、男、女ノ地位			

(對照第五一表(總數、男、女))

比例

一、職業別百分比例 地位ノ總數ヲ萬(法)トシテ職業ノ款、項目ニ比例ス(對照第五一表(職業別百分比例))
二、地位別百分比例 職業ノ款、項目別ノ各總數ヲ百(法)トシテ地位別ニ比例ス
三、男百ニ付女 款、項目別ノ女ノ地位ニ各百ヲ乘シ同一款、項目別ノ同地位ノ男ニテ除ス(對照第五一表(男百ニ付女))

○第五四表 地方及體性別有業數(目別)

實數

一、原表第九表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭表	款、項、目	有業總數、種族別總數（總數、男、女）	本表	頭表	總數、男、女ノ（區別）

(對照第四一表、項、總別、第五三表、總數)

比例

- 一、職業別百分比比例 各縣別ニ總數ヲ萬(法)トシテ之ヲ款、項、目別ニ比例ス
- 二、地方別百分比比例 款、項、目別ノ縣ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ縣別ニ比例ス
- 三、男百ニ付女 款、項、目別ノ各縣ノ女ニ百ヲ乘シ同縣ノ同一款、項、目ノ男ニテ除ス

(對照第五一表)

○第五五表 地方、種族及體性別有業數(款別)

實數

一、原表第九表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	表頭	表	表	本表	表頭	表	表	表
有業總數及本業及副業者總數 (總數)總數、男、女、種族別、男、女	款、總數及第一款乃至第六款ノ總數 (副業者ノ款別)	總數、男、女、種族別、(本業者)	總數、男、女、種族別、(副業者)	總數、男、女、種族別、(本業者)	總數、男、女、種族別、(副業者)	總數、男、女、種族別、(本業者)	總數、男、女、種族別、(副業者)	總數、男、女、種族別、(本業者)

(對照第四九表、第五二表、第五四表)

比例

- 一、本業百ニ付副業 副業者ノ款別ニ各百ヲ乘シ同款別ノ本業ニテ除ス(對照第四九表、本業者百ニ付副業)

○第五六表 體性及年齡級別有業數(款別)

實數

一、原表第五表(全島)ヨリ本業者第七表(全島)ヨリ副業者ヲ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	表頭	表	表	本表	表頭	表	表	表
本業者、副業者ノ總數、年齡級別及種族別總數	總數及各款ノ總數、種族別、種族別總數、(總數、男、女)	本業者及副業者(總數、款別)	但シ本業者及副業者ノ總數算出ス	總數、男、女	總數、男、女	總數、男、女	總數、男、女	總數、男、女

(對照第三一表、第四四表、第五〇表)

比例

- 一、年齡級別百分比比例 各款毎ニ年齡級ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ各年齡級ニ比例ス(對照第三一表、第四四表、年齡級別百分比比例)

○第五七表 體性別十一歲以上ノ有業數(項別)

實數

一、本表ニ記入スルニハ左ノ中集表ヲ作ル

體性、職業、年齡級	總數	款	項
總數	總數	總數	總數
本業者	總數	總數	總數
副業者	總數	總數	總數
男	總數	總數	總數
女	總數	總數	總數

二、中集表ニ記入スルニハ本業者ハ原表第五表(全島)副業者ハ原表第七表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原	表	本	表	表
表	表	表	表	表	表
總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)
總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)	總數及各項(總數)

三、中集表ノ記入ヲ終リタルトキハ總數ヨリ十歳以下ヲ控除シテ十一歳以上ノ行ニ記入シ之ヲ第五七表ニ移記スルモノトス

(注意) 中集表ノ本業者、副業者ノ體性別ハ表別ニ第五六表總數並十歳以下ヲ對照シ然ル後十歳以上ヲ算出スルモノトス

一、十一歳以上ノ人口千ニ付 原表第五表本業者總數中ヨリ零歳乃至十歳ノ總數ヲ控除スレハ十一歳以上ノ人口ヲ得ヘシ總數、男女別ニ項毎ニ之ヲ算出シ又第六表ノ本業從業者モ同一手續ニ依リ十一歳以上ノ本業從業者ノ項別人口ヲ算出シ此ノ二者ヲ體性及項別ニ合算シ之ヲ法トシテ男ノ職業別人口ヲ法トセハ本表ノ男ノ總數、本業者及副業者ニ各千ヲ乘シ同一法ニテ各之ヲ除ス

○第五八表 地方及體性別十一歳以上ノ有業數(項別)

一、本表ニ記入スルニハ左ノ中集表ヲ作リ有業總數ハ第五四表ノ項別及總數、男女別ニ記入シ十歳以下ノ總數ハ原表第五表(全島)及第七表(全島)ヨリ記入ス

總數（各縣別做之）					
有業總數	十歲以下			十歲以上總數	
	有業數	本業者	副業者		
總數 男女	總數 男女	總數 男女	總數 男女	總數 男女	

二、十歳以下ノ本業者及副業者ハ原表第五表(地方)及第七表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原	表	補	表	助	表	側
表	表	表	表	表	表	表	表
表	表	表	表	表	表	表	表
表	表	表	表	表	表	表	表

三、原表ヨリ十歳以下ヲ記入シタルトキハ其ノ有業數ノ總數ヲ算出シ之ヲ有業總數ノ總數、男女別ヨリ各別ニ減シテ其ノ殘數ヲ十一歳以上ノ有業數、總數、男女ノ間ニ記入ス

四、十一歳以上ノ有業數ヲ中集表ヨリ之ヲ第五八表相當欄ニ記入ス對照第五七表(總數)比

一、十一歳以上ノ人口千中 第二八表及第三六表ノ本業者及本業従属者ノ項ヲ毎ニ合算シ各職ノ職業人口ヲ作り而シテ原表第五六表(地方)ヨリ毎ニ零歳乃至十歳總數、男女ノ本業者及本従業属者ヲ項別ニ合シ之ヲ其ノ職ノ職業人口ヨリ控除スレハ十一歳以上ノ職業別人口ヲ得ヘシ之ヲ法トシテ有業數ノ項別ニ千ヲ乘シ同一項ノ人口ニテ除ス

五都鄙ノ職業

○第五九表 都鄙、種族、體性及職業上ノ地位別有業數(款別)

實數

一、原表第九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	側	表	側

有業總數(種族別、男女)

總數及各款ノ總數(總數及地位)

總數(總數、款別)

總數、男女ノ種族別、地位

二、都會ノ員數ハ特表ヨリ右ノ例ニ依リ之ヲ記入シ總數ヨリ都會ノ款別ヲ控除シタルモノヲ村落トス(對照第五三表)

比例

一、職業別百分比例 (總數)(都會)(村落)ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ款別ニ比例ス

二、地位別百分比例 各種族ノ地位ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ地位別ニ比例ス

三、男百ニ付女ノ種族別ニ女ノ有業數ニ百ヲ乘シ同種族ノ男ノ有業數ニテ除ス(對照第五三表及職業地位別男百ニ付女比例)

○第六〇表 體性別三市街ノ有業數(款別)

實數

一、本ハ特表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

特		本	
表	側	表	側

本業者種族ノ總數(總數、男女)

總數(總數、男女)

本業者(臺北、臺中、臺南)市街

副業者種族ノ總數(總數、男女)

同前

副業者(同前)市街

(對照第五九表(都會))

二、職業別百分比例 三市街各別ニ(總數)(男)(女)ノ款ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ款別ニ比例ス

三、本業百ニ付副業 本業者ヲ法トシ副業者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(三市街各別)(對照第五九表(都會)業別百)

○第六一表 體性別三市街ノ有業數(項別)

實數

一、本表ハ特表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

特		本	
表	側	表	側

有業總數、種族總數、種族別總數、總數、款、項別

總數、男女ノ總數、三市街

總數、款、項別

(對照第五九表(都會)、第六〇表(總數))

比例

一、職業別千分比例 三市街ノ有業總數ヲ各別ニ千(法)トシテ之ヲ款、項ニ比例ス(對照第六〇表(職業別千分比例))

○第六二表 體性及職業上ノ地位別三市街ノ有業數

實數

一、特表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	表	表	表
有業總數、本業者、副業者、副業者ノ種族別總數(總數、男、女)	總數(總數、地位別)	總數、本業者、副業者(三市街)	(總數)(男)(女)ノ地位別

(對照第五九表(都會ノ總數)、第六〇表(總數))

一、地位別百分比比例 (總數)(男)(女)ノ地位ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ地位ニ比例ス(對照第五九表(總數、男、女ノ地位))

○第六三表 體性、職業及其ノ地位別三市街ノ有業數(項別)

實數

一、特表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	表	表	表
有業總數、種族總數(總數、男、女)	總數、款、項別(地位別)	(總數、男、女)ノ三市街(總數、地位別)	總數、款、項別

(對照第五九表(都會ノ款別)、第六二表)

比例

一、地位別百分比比例 款、項別ニ三市街ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ地位別ニ比例ス(對照第六二表(地位別百分比比例))

二、男百ニ付女 三市街各別ニ女ノ款、項別ノ地位ニ百ヲ乘シ同一ノ款、項別ノ男ニテ之ヲ除ス(對照

第五九表(都會ノ地位及男百ニ付女))

○第六四表 體性別三市街ノ有業數(項別)

實數

一、特表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	表	表	表
有業總數、本業者、副業者ノ種族別總數(總數、男、女)	款、項別	總數、男、女(總數、本業者及副業者(總數、本業者、本業者ノ種族別總數、男、女))	款、項別

(對照第六〇表(本業、副業))

比例

一、人口千中有業者 臺北、臺中、臺南市街ノ人口(左ノ中集表ヲ作ル)ヲ各別ニ法トシ三市街ノ有業總數ニ千ヲ乘シテ之ヲ除ス(三市街ノ男、女各別ニ比例ス)

市街	總數	男	女
臺北、臺中、臺南			

二、本業者百ニ付副業者 副業者ニ百ヲ乘シ本業者ニテ除ス(三市街ノ男、女各別ニ比例ス)(對照第六〇表(本業、副業百ニ付副業者))

○第六五表 體性別三市街ノ有業數(日別)

一、特表ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	頭	表	側	本	表	頭	表	側
有業總數、種族別總數(總數、男、女)	表	表	側	本	表	表	表	側
款、項、目ノ地位(總數)					總數、款、項、目別			
					總數、男、女ノ(總數及三市街)			

(對照第五四表(項別))

比例

- 一、職業別千分比例 三市街ノ總數ヲ千(法)トシテ之ヲ款、項、目別ニ比例ス
- 二、男百ニ付女 三市街各別ニ女ニ百ヲ乘シ同市街ノ男ニテ除ス例セハ臺北市街ノ第二款ノ女ニ百ヲ乘シ同市街ノ第二款ノ男ニテ之ヲ除スルカ知シ(對照第五九表、第六三表)

第七 言語

○第六六表 地方及體性別用語

實數

一、原表第一〇表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表	頭	表	側	本	表	頭	表	側
種族別總數(總數、男、女)	表	表	側	本	表	表	表	表	側
常用語、副用語ノ(種族別)					總數、男、女			總數、常用語、副用語ノ(種族別)	

比例

一、用語別百分比例 (總數)(常用語)(副用語)ノ總數ヲ應別ニ各百(法)トシテ之ヲ各種ノ言語ニ比例ス

○第六七表 種族(種別)及體性別用語

實數

一、原表第一〇表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表	頭	表	側	本	表	頭	表	側
總數及種族(種別)(總數、男、女)	表	表	側	本	表	表	表	表	側
常用語、副用語ノ(種族別)					總數、男、女(總數及言語ノ種族別)			總數、常用語、副用語ノ(種族別)	

(對照第六六表(總數))

比例

- 一、用語別百分比例 種族(種別)ニ常用語、副用語ノ總數ヲ言語ノ種族別ニ各百(法)トシテ之ヲ常用語、副用語ニ比例ス
- 第六八表 種族體性及年齡級別用語

實數

一、原表第一一表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表	頭	表	側	本	表	頭	表	側
一語、二語、三語以上ノ言語(種族別)	表	表	側	本	表	表	表	表	側
總數及年齡級別ノ總數(總數、男、女)					總數、種族別一語、二語、三語以上ノ(用語數)			總數、男、女ノ(年齡級別)	

(對照第六七表(常用語)(第一六表))

比例

一、年齡級別百分比例 總數、男、女ノ總數ヲ言語別ニ各百(法)トシテ之ヲ年齡級ニ比例ス

○第六九表 地方、種族及年齡級別川語

一、原表第一一表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

一語(總數、内地語、土語、外國語)
二語、三語ノ(總數)不詳(種族)
(但シ一語中土語、外國語ハ種
族別ニ各其ノ種類ヲ合算ス)

(對照第六表(總數))

一、用語別百分比例 種族別ニ各年齡級ヲ百(法)トシテ之ヲ用語別ニ比例ス(對照第六八表)

○第七〇表 地方、體性及年齡級別土語ヲ話ス内地人

一、原表第一一表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

一語、二語、三語以上ノ（内地人ノ主語）

比
481

一、内地人千中土語ヲ話ス者 第一五歳ノ地方、種族及體性別ノ内地人ノ人口ヲ法トシテ用、諸別ノ總數ヲ年齡級、體及體性別ニ各千ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ、臺北廳ノ五歳以下ノ男ノ土語ヲ話ス

比例

一、讀ミ書キノ程度別百分比比例 總數、男、女ノ種族(細別)ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ讀ミ書キノ程度ニ比例ス

二、男百ニ付女 種族(細別)ノ男ノ讀ミ書キノ程度別ヲ法トシテ同程度ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

○第七三表 體性及年齡級別讀ミ書キノ程度

實數

一、原表第一二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
總數、年齡級別(總數、男、女)	總數、年齡級別及讀ミ書キノ程度		總數、年齡級別	總數、男、女(讀ミ書キノ程度)	

(對照第七二表(總數))

比例

一、讀ミ書キノ程度別百分比比例 總數、男、女ノ年齡級別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ讀ミ書キノ程度ニ比例ス

二、男百ニ付女 各年齡級ノ男ノ讀ミ書キノ程度別ヲ法トシテ同程度ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

(對照第一六表及第七二表(男百ニ付女))

○第七四表 地方、種族(細別)及體性別讀ミ書キノ程度

實數

一、原表第一二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
總數、男、女	總數、種族(細別)(讀ミ書キノ程度)		總數、男、女(體別)	總數、種族(細別)(讀ミ書キノ程度)	

(對照第七二表)

比例

一、讀ミ書キノ程度別百分比比例 總數、男、女ノ種族(細別)ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ讀ミ書キノ程度ニ比例ス(總數、男、女各別)(對照第七二表(總數、男、女))

○第七五表 地方、體性及年齡級別讀ミ書キノ程度

實數

一、原表第一二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
總數、年齡級別(總數、男、女)	總數、年齡級別及讀ミ書キノ程度		總數、年齡級別	總數、男、女(讀ミ書キノ程度)	

(對照第七四表(總數))

比例

一、讀ミ書キノ程度別百分比比例 總數、男、女ノ各年齡級ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ讀ミ書キノ程度ニ比例ス(總數、男、女各別)(對照第七四表(總數))

○第七六表 種族、體性及年齡級別讀ミ書キノ程度

實數

一、原表第一二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本	
表	頭	表	側	表	側
總數、年齡級別(總數、男、女)		總數及種族(總數、讀ミ書キノ程 度)		總數、種族別(總數、讀ミ書キノ 程度)	
				總數、男、女ノ(總數、年齡級 別)	

(對照第七三表)

比 例

一、年齡級別百分比比例 (總數)(男)(女)ノ年齡級ノ總數ヲ讀ミ書キノ程度別ニ各百(法)トシテ之ヲ年齡級
ニ比例ス

二、男百ニ付女 各種族ノ讀ミ書キノ程度別ニ年齡級別ノ男ヲ法トシ同種族ニシテ同程度同年齡
級ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(對照第七三表(男百ニ付女))

○第七七表 地方、種族及年齡級別讀ミ書キノ程度

實 數

一、原表第一二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本	
表	頭	表	側	表	側
總數、年齡級別、女ノ(總數)		(總數)種族別ノ(總數、讀ミ書キノ 程度)		總數、年齡級別(總數、讀ミ書キノ 程度)	
				處(總數、種族)	

(對照第七五表)

比 例

一、讀ミ書キノ程度別百分比比例 各處ノ種族ノ年齡級毎ニ讀ミ書キノ程度別總數ヲ各百(法)トシテ

之ヲ讀ミ書キノ程度別ニ比例ス(對照第七五表(總數))

第九 不 具

A 一般ノ不具

○第七八表 地方及體性別不具者

實 數

一、原表第一三表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本	
表	頭	表	側	表	側
總數、一、種、二、種、三種ノ者不 具ノ種別(總數、男、女)		總數中種族(總數)		總數、男、女ノ(總數、一、種、二、種、 三種ノ者ノ(不具ノ種別))	

比 例

一、不具ノ種別別百分比比例 總別ニ(總數)(男)(女)ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ不具ノ種別ニ比例ス

二、人口萬中 第一〇表ノ體性及體別人口ヲ法トシ各種ノ不具者ニ一萬ヲ乘シタルモノヲ除ス例

セハ不具ノ總數ヲ算出セムニハ總人口ヲ法トシ男ノ不具者ハ男ノ人口、女ノ不具者ハ女ノ人口

ヲ法トス但シ總別ハ總ノ人口ニ依ル

(注意) 內譯ノ比例數ヲ總ニ合算スレハ總數ニ合致ス

三、不具者男百ニ付女 各種ノ不具者ノ男ヲ法トシ之ヲ百トシテ同種ノ女ニ比例ス例セハ臺北ノ

男ノ百ヲ法トシ臺北ノ女ノ百ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

○第七九表 種族(種別)及體性別不具者

實 數

一、原表第一三表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	表
總數、一種、二種、三種ノ者(總數、不具ノ種類)	總數中(總數、種族(細別))		總數、一種、二種、三種ノ者(總數、不具ノ種類)	(總數)(男)(女)(種族(細別))	

(對照第七八表)

比例

- 一、不具ノ種族別百分比比例 總數、男女ノ種族(細別)ニ不具ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ不具ノ種族ニ比例ス(對照第七八表)
- 二、人口萬中 第八表ノ種族別人口ヲ法トシ總數及一種、二種、三種ノ者ノ不具ノ種族別總數ニ各一萬ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ内地人ノ男ノ人口ヲ法トセハ本表内地人ノ男ノ行總數、一種、二種、三種ノ總數ニ各萬ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

○第八〇表 體性及職業(款別)別不具者

實數

- 一、原表第一四表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	表
總數、一種、二種、三種ノ者(總數、不具ノ種類)	總數、本業者及本業從屬者ノ總數(種族、總數)(總數、男女)		總數、本業者、本業從屬者(總數、款別)	總數、男、女ノ總數及一種、二種、三種ノ者(種族、總數)(總數、男女)	

- 二、本業者及本業從屬者ヲ合算シテ總數中ノ第一款乃至第七款ヲ記入シ之ヲ合算シ最初記入セシ總數ニ對照ス(對照第七八表(總數))

比例

- 一、不具ノ種族別百分比比例 總數、本業者、本業從屬者ノ款別毎ニ總數、男女ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ不具ノ種族別ニ比例ス(對照第七九表(不具ノ種族別百分比比例))
- 二、本業者及本業從屬者別百分比比例 總數、男女ノ不具ノ種族別各款毎ニ本業者及本業從屬者ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ本業者ト本業從屬者ニ比例ス
- 三、本業者萬中不具ノ本業者 第二六表ノ體性別本業者ノ總數、男女ノ本業者ヲ法トシ本表表頭本業者ノ總數關表側(總數)(男)(女)ノ各種ノ不具者ノ行ニ各一萬ヲ乘シ不具ノ總數ハ本業者ノ總數、不具ノ男ハ本業者ノ男、不具ノ女ハ本業者ノ女ニテ除ス
- 四、本業從屬者萬中不具ノ本業從屬者 第二六表ノ體性別本業從屬者ノ總數、男女ノ本業從屬者ヲ法トス其ノ他本業者ノ例ニ依ル

○第八一表 體性及種事別不具者

實數

- 一、原表第一三表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側	頭	側	表
總數及一種、二種、三種ノ者(總數、不具ノ種類)(男)(女)	總數及種事別ノ(總數)		總數及一種、二種、三種ノ者ノ(總數、不具ノ種類)	總數、男、女ノ種事別	

(對照第七八表(總數、男、女))

比例

- 一、不具ノ種族別百分比比例 一種、二種、三種ノ不具者ノ種事別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ不具者ノ種族別ニ比例ス
- 二、人口萬中 第二一表ノ總數ノ種事別人口ヲ法トシ種事別不具ノ種族別總數ニ各一萬ヲ乘シテ

之ヲ除ス例セハ配偶者ノ總人口ヲ法トセハ不具者ノ配偶者ノ總數ニ一萬ヲ乘シテ之ヲ除ス(對照第七九表(人口萬中不具者ノ總數、男女))

○第八二表 地方及體性別不具數

一、原表第一五表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	表	表	表	表
總數及不具ノ種類別(總數、原 因別)					
總數中種族ノ總數、總數、男、女					
(總數)					
總數、男、女(總數及不具ノ種類別)					

比例

一、不具ノ種類別百分比比例 (總數)(男)(女)ノ總數ヲ總別ニ各百(法)トシテ之ヲ其ノ總ノ不具ノ種類別ニ比例ス

二、人口萬中 第一〇表ノ地方及體性別人口ヲ法トシ總毎ニ體性別ノ不具數ニ一萬ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ臺北廳ノ男ノ人口ヲ法トシ同總ノ男ノ不具數ニ一萬ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

○第八三表 體性及年齡級別不具數

實數

一、原表第一五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	表	表	表	表
總數、不具ノ種類別(總數、原 因別)					
總數、年齡級別種族ノ總數、總數、 男、女					
總數、不具ノ種類					
總數、男、女(總數、年齡級別)					

(對照第八二表(總數))

比例

一、人口萬中 第一三表ノ總數、男、女ノ年齡級ノ人口ヲ法トシ(但シ十歲以上ハ五歲級ヲ十歲級ニ改

ム)不具ノ種類別ニ各一萬ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ育ノ男ノ十一歲乃至二十歲級ノ比例ハ男ノ十

一歲乃至十五歲及十六歲乃至二十歲ノ人口ヲ合算シ之ヲ法トシ育ノ男ノ十一歲乃至二十歲級

ニ一萬ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ(對照第八二表(人口萬中總數、男、女))

○第八四表 地方、體性及原因別不具數

實數

一、原表第一五表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	表	表	表	表
總數及育、健康、白痴、癲癩ノ 各種ノ不具中(總數、原因別)					
總數(總數、男、女)					
總數及育、健康、白痴、癲癩ノ 各種ノ不具中(總數、原因別)					
(總數)(男)(女)ノ總數					

(對照第八二表)

比例

一、原因別百分比比例 總數、男、女(總數)ニ不具ノ原因別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ其ノ原因別ニ比例ス

二、體性別百分比比例 各廳不具ノ原因別男女ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ男及女ニ比例ス

○第八五表 種族、體性及原因別不具數

實數

一、原表第一五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	側	表	表	側
總數、不具ノ種類別(總數、原因)					
總數、不具ノ種類別(總數、原因)					

(對照第八四表)

比例

一、原因別百分比例 種族及體性毎ニ各種ノ不具ノ原因別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ原因別ニ比例ス(對照第八四表(原因別百分比))

○第八六表 體性、年齡級及原因別不具數

實數

一、原表第一五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	側	表	表	側
總數、不具ノ種類別(總數、原因)					
總數、不具ノ種類別(總數、原因)					

總數、不具ノ種類別(總數、原因)

總數、不具ノ種類別(總數、原因)

總數、不具ノ種類別(總數、原因)

總數、不具ノ種類別(總數、原因)

原表年齡級ハ五歲級ナレトモ本表ハ十歲以上ハ十歲級ナルヲ以テ五歲級ニテ合シテ十歲級ニ改メ相當欄ニ記入ス

(對照第八三表(總數))

比例

一、人口萬中 第一三表ノ總數、男女ノ年齡級別人口ヲ法トシ(合シテ十歲以上ハ五歲級ヲ)總數、男女ノ年齡級及不具ノ原因別ニ各萬ヲ乘シ同年級ノ人口ニテ除ス(對照第八三表(總數))

B 特種ノ不具(纏足)

○第八七表

地方及種族(種別)別纏足者

實數

一、原表第二二表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	側	表	表	側
總數、種族(種別)					
總數、種族(種別)					

總數、種族(種別)

總數、種族(種別)

(總數)

總數、種族(種別)

比例

一、女百中 第八表ノ地方及體性別種族中本島人及支那人ノ女ノ人口ヲ法トス即チ本表ノ種族別纏足者ニ百ヲ乘シ同種族ノ女ノ人口ニテ除ス例セハ臺北ノ福建人ノ纏足者ニ百ヲ乘シ第八表ノ臺北ノ福建人ノ女ノ人口ニテ之ヲ除スルカ知シ

○第八八表 年齡級及種別纏足者

實數

一、原表第二二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原	表		本	表	
	頭	側		頭	側
表	表	側	表	表	側
總數、年齡級別					
總數、年齡級別					

總數、年齡級別

總數、年齡級別

總數、年齡級別

總數、種別

(對照第八七表)

比例

(一) 本島人及支那人ノ女子年齡級及緣事別ニ調製セル左ノ中集表ヲ要ス
(二) 表頭ハ第八表ノ如ク年齡級トシ表側ヲ左ノ如ク緣事及種族別トス

緣事及種族別			
息	數	{ 總 本島	數人 支那人
記	偶者	{ 總 本島	數人 支那人
未	婚者	{ 總 本島	數人 支那人
離	婚者	{ 總 本島	數人 支那人
寡		{ 總 本島	數人 支那人

(三) 第二四表ヨリ本島人ノ女ヲ記入シ支那人ノ女ハ別ニ調製セル支那人以外ノ外國人ノ女ヲ年

(四) 本島人及支那人ノ總數ヲ年齡級及緣事別トシ之ヲ法トシテ各年齡級ノ緣事別ニ百ヲ乘シテ

二百ヲ乗シテ之ヲ除スルカ如シ

○第八九表 職業(款別)別纏足者

實數

一、原表第二二表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

總數中緣事別ノ(總數)

本業者及本業從屬者(款別)

總數、款

本業者及本業從屬者

比例

一、女百中 第二六表ノ體性別本業者及本業從屬者ノ女ノ本業者及本業從屬者ヲ法トス例セハ釋足者ノ本業者ニシテ第一款ノ職業ナルトキハ之ニ百ヲ乘シ第二六表ノ女ノ本業者ノ第一款ノ員數ニテ之ヲ除スルカ如シ(對照第八七表、第八八表(總數))

○第九〇表 地方及種族(細別)別解雇足者

實數

一、原表第二三表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

比例

一、女百中 第八表中地方及體性別本島人種族(細別)及外國人中支那人ノ女ノ人口ヲ法トス即チ各種族ノ解釋足ニ百ヲ乘シ同種族ノ女ノ人口ニテ除ス

二、纏足者百ニ付解纏足者 第八七表ノ種族(細別)別纏足者ヲ法トシ同種族解纏足者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

○第九一表 年齡級及緣事別解纏足者

實數

一、原表第二三表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

總數及年齡級(總數、緣事別)

$$\frac{\text{總數(種族)}}{\text{(總數)}}$$

總數、年齡級別

總數、
解別

(對照第九〇表(種族ノ總數))

比 例

一、總足者百ニ付解總足者 第八八表ノ年齡級及緣事別總足者ヲ法トシ年齡級及緣事別解總足者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ解總足者カ二十一歳乃至二十五歳ノ配偶者ナルトキハ之ニ百ヲ乘シテ總足者ノ同年齡級ノ配偶者ニテ除スルカ如シ(對照第九〇表(總足者百ニ付解總足者比例總數))

○第九二表 職業(款別)別解總足者

實 數

一、原表第二三表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	頭	表	表	本	表	頭	表	表
總數、緣事別(總數)		本業者及本業從屬者(款別)		總數、款別		本業者及本業從屬者		

(對照第九一表(總數))

比 例

一、總足者百ニ付解總足者 第八九表ノ職業(款別)別總足者ヲ法トシ解總足者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ解總足者ノ本業者ハ第二款工業ナルトキハ之ニ百ヲ乘シ第八九表ノ本業者ノ第二款工業者ニテ除スルカ如シ

第一〇 内地人

○第九三表 本籍、出生地及體性別内地人

實 數

一、原表第一六表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	頭	表	表	本	表	頭	表	表
出生地ノ總數及内地出生(總數、男女)		總數、本籍別		總數、男女(總數)及(内地出生ノ總數)		總數、本籍別		
内地出生ノ府縣		本籍(出生地ト同一府縣)		本籍ニ於ケル出生者		本籍(出生地ト同一府縣)		

右表ノ記入方ハ先ツ原表出生地ノ總數ヲ本表表頭總數、男女ノ(總數)欄ニ記入シ次ニ内地出生ノ總數ヲ本表總數、男女(總數)欄ニ記入ス而シテ本表ノ本籍ニ於ケル出生者ハ原表表頭本籍ト表頭府縣ト同一名稱ノ交叉點ノ員數ハ即チ本籍ノ出生者ナリ例セハ表頭ノ東京ト表頭ノ東京トノ交叉點ハ東京ノ出生ニシテ東京カ本籍ナリ故ニ其ノ員數ヲ本表ノ本籍ニ於ケル出生者ノ欄本籍ノ東京ノ行ニ記入ス京都モ表頭京都ノ欄表頭京都ノ行ノ交叉點ハ本籍京都ニシテ京都出生ナリ斯ノ如ク記入シ内地出生ノ本籍以外ノ出生ハ内地出生ノ總數ヨリ本籍ニ於ケル出生者ヲ控除セシ殘數ヲ記入ス

二、本島出生者ノ現在地ニ於ケル出生(地方)表ヨリ左ノ中集表ヲ作ル

現在地ニ於ケル出生				
臺北	宜蘭		何々	
	總數	男	女	
女				

本籍	現在地ニ於ケル出生				
	總數			臺北	
	總數	男	女	總數	男
數					
東京大阪兵庫					
長崎福岡					

三、右中集表ノ記入方ハ原表第一六表(地方)ノ臺北縣ノ表ナルトキハ表頭出生地ノ本島出生ニシテ臺北ノ欄ハ臺北出生ノ現在者ナルヲ以テ臺北ノ欄ヲ本籍別ニ中集表ニ記入ス其ノ他同上ノ例ニ依リ記入ナリシタルトキハ其ノ總數ヲ算出シ之ヲ本表ノ現在地ニ於ケル出生者ノ欄ニ記入ス

四、現在地以外ニ於ケル出生者ハ本島出生ノ總數ヨリ現在地ニ於ケル出生者ヲ控除セシ殘數ヲ記入ス

五、外國出生及出生地不詳ハ原表第一六表(全島)相當欄ヨリ其ノ員數ヲ記入ス

六、其ノ他ハ朝鮮、樺太及航海中ノ出生ナルヲ以テ原表ノ相當欄ヨリ本籍別ニ合算シテ記入ス

一、出生地別百分比例 本籍別ニ出生地總數(男女)ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ出生地ニ比例ス

(注意) 内地出生ト本島出生ノ總數及外國出生等ヲ合シテ百トナリ又其ノ内容ノ比例ヲ合シ

テ其ノ總數ニ合致ス

二、内地ニ於ケル本籍人口千中 最近(第三十五)帝國統計年鑑ニ據リ道府縣別ノ本籍人口ヲ法トシ内地人男女及其ノ總數ニ各千ヲ乘シ本籍人口ニテ之ヲ除ス

三、内地出生者百中本籍ニ於ケル出生者 内地出生ノ總數ヲ法トシ本籍別出生ニ各百ヲ乘シテ之ヲ除ス但シ男ハ男ノ内地出生ノ總數、女ハ女ノ内地出生ノ總數ヲ法トス

四、本島出生者百中現在地ニ於ケル出生者 本島出生ノ總數ヲ法トシ現在地ニ於ケル出生者ヲ本籍別ニ各百ヲ乘シテ之ヲ除ス但シ男ハ男ノ本島出生ノ總數、女ハ女ノ本島出生ノ總數ヲ法トス

五、本島現在内地人男百ニ付女 内地出生ハ内地出生ノ男ヲ法トシ内地出生ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス(本島出生、外國出生、出生地不詳亦做之)

○第九四表 出生地現在地及體性別内地人

實數

一、原表第一六表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表頭	表側	表頭	表側
出生地ノ總數、内地、本島、外國等ノ出生(總數、男、女)	總數	(總數)	總數、男、女總數、内地、本島、外國等(總數)	

(對照第九三表)

比例

一、出生地別百分比例 總數及縣毎ニ(總數)(男)(女)ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ出生地別ニ比例ス

○第九五表 本籍現在地及體性別内地人

實數

一、原表第一六表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表	側	表	側
出生地ノ總數(總數、男、女)	總數、本籍別		總數、男、女(總數)	
			總數、本籍	

(對照第九三表(總數、男、女ノ本籍別))

比 例

一、本籍別百分比例 總數及總別ノ内地人ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ本籍別ニ比例ス(總數、男、女各別)

○第九六表 本籍、體性、職業(款別)及其ノ地位別内地人

實 數

一、本表ハ原表第一七表(全島)ト同形式ニシテ唯、職業ノ分類ノミ原表ハ項別ニシテ本表ハ款別ナル
ニ依リ原表ノ各款ノ總數ヲ職業上ノ地位及從屬關係別ニ記入セハ可ナリ、尤モ原表ニハ地位毎
ニ男女ヲ區別スレトモ本表ハ總數、男、女ノ區別ナルヲ以テ男女ヲ合シテ總數ヲ算出ス(對照第九
三表(總數、男、女))

比 例

一、職業別百分比例 本籍別ニ其ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ職業及地位ニ比例ス但シ第一款乃至第
七款ノ總數ヲ合算シテ總數百ニ合致シ各款ノ有業者及無業家族等ヲ合シテ其ノ總數ニ合致ス
(總數、男、女各別)

○第九七表 地方體性及渡遷ノ同數別内地人

實 數

一、原表第一八表(地方)及第一九表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表	側	表	側
第一八表ノ總數(總數、男、女)	總數中有業及從屬關係ノ(總數)		總數、男、女(一同ノ渡遷者)	
第一九表ノ總數(總數、男、女)	最後渡遷ノ年次總數中有業及從屬關係ノ(總數)		總數、男、女(一同ノ渡遷者)	

比 例

一、内地人百中渡遷者 第九五表ノ本籍、現在地及體性別内地人ノ各縣ノ總數(總數、男、女)ヲ法トシ本表
ノ一同、二同以上ノ渡遷者ノ總數(總數、男、女)ヲ總別ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ臺北縣ノ男ノ比例
ヲ算出セムニハ本表ノ臺北縣ノ男ノ一同、二同以上ノ渡遷者ノ總數ニ百ヲ乘シ第九五表ノ臺北
縣ノ男總數ニテ除スルカ如シ

二、渡遷者百中二同以上ノ者 一同ノ渡遷者ト二同以上ノ渡遷者ノ(總數)ヲ法トス即チ男ノ比例ハ
男ノ一同、二同ノ(總數)ヲ法トシ女ノ比例ハ女ノ一同、二同ノ(總數)ヲ法トス而シテ總別ニ男、女各二
同以上ノ渡遷者百ヲ乘シテ之ヲ除ス又總數ハ男女ノ總數ニテ男女ノ(二同以上ノ渡遷者ノ總數)
ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

○第九八表 體性、職業(款別)及最初渡遷ノ年次別内地人

實 數

一、原表第一八表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表	側	表	側
總數及渡遷ノ年次(總數、男、女)	總數及各款ノ總數中有業者及從屬關係別(總數)		總數、男、女ノ(總數、款別)	
			總數及渡遷ノ年次	

〔對照第九七表(一回、二回)〕

比例

一、渡臺年次別百分比比例 (總數)(男)(女) 款別ニ年次別ノ總數ヲ法トシ之ヲ百トシテ年次別ニ比例ス

〔對照第一〇〇表(最初渡臺ノ年次別百分比比例)〕

○第九九表 體性、職業(款別)及最後渡臺ノ年次別内地人實數

一、原表第一九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭	表	側	本	頭	表	側
最初渡臺ノ年次總數(總數、男、女)	最後渡臺ノ總數及年次別總數(款別)	總數、男、女(總數、款別)	總數、最後渡臺ノ年次別				

〔對照第九七表(二回渡臺者)〕

比例

一、渡臺ノ年次別百分比比例 (總數)(男)(女) 款別ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ最後渡臺ノ年次別ニ比例ス

○第一〇〇表 體性及前後渡臺ノ年次別内地人實數

一、原表第一九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭	表	側	本	頭	表	側

最初渡臺ノ總數年次別(總數、男、女)

最後渡臺ノ總數及年次別總數中有業者及從屬關係ノ(總數)

最後渡臺ノ總數年次

總數、男、女ノ(總數、最初渡臺ノ年次別)

〔對照第九七表(二回以上ノ渡臺)第九九表(總數)〕

比例

一、最初渡臺ノ年次別百分比比例 表側ノ最初渡臺ノ年次ノ(總數)(男)(女)ノ總數ノ行ヲ最後渡臺ノ年次別ニ各百(法)トシテ之ヲ最初渡臺ノ年次別ニ比例ス

二、最後渡臺ノ年次別百分比比例 表頭ノ最後渡臺ノ年次別ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ最後渡臺ノ年次別ニ比例スルモノニシテ表側ノ最初渡臺ノ年次別ニ之ヲ算出ス(對照第九九表)

第一一 外國人

○第一〇一表 國籍及體性別外國人實數

一、原表第二〇表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭	表	側	本	頭	表	側
總數、國籍別(總數、男、女)	款ノ總數中有業者及從屬關係ノ(總數)	總數、男、女	總數、國籍別				

(注意) 本表ト第一一表ノ種族トハ一致セス何トナレハ外國人ニシテ國籍ヲ有セサルモノアリ又本島人ニシテ外國ニ國籍ヲ有スルモノアルヲ以テナリ

ス

一、國籍別百分比比例 表頭ノ總數、男女各別ニ表側ノ國籍別ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ國籍別ニ比例ス

二、體性別百分比比例 國籍別ニ男女ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ男、女ニ比例ス

○第一〇二表 地方、國籍及體性別外國人

實數

一、原表第二〇表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
表	表	表	表
總數、國籍別(總數、男、女)		總數、男、女(國籍)	
(總數)		總數、男、女(國籍)	

(對照第一〇一表)

比例

一、國籍別百分比比例 國籍別ニ表側ノ總數、男、女ノ總數ヲ各頁(法)トシテ之ヲ國籍別ニ比例ス(對照第一〇一表)

○一表(總數、男、女)

○第一〇三表 國籍、體性、職業(款別)及其ノ地位別外國人

實數

一、原表第二〇表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
表	表	表	表
總數、國籍別(總數、男、女)		總數、國籍別	
(總數、款別(總數、有業者(地位)從屬關係別))		總數、男、女ノ總數及款別(總數、有業者(地位別)從屬關係別)	

(對照第一〇二表(總數、男、女))

比例

一、職業別百分比比例 國籍別總數ヲ各頁(法)トシテ之ヲ職業及其ノ地位ニ比例ス(總數、男、女各別)

日、第一二 阿片煙膏吸食者

實數

一、原表第二一表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
表	表	表	表
總數、種族別		總數、種族別	
總數、種族別(總數、男、女)		總數、男、女	

比例

一、二十一歳以上ノ人口百中 二十一歳以上ノ人口ハ第一〇七表ノ中集表總數ニ依リ本島人(種族別)及支那人ノ體性別二十一歳以上ノ人口ヲ法トシ種族及體性別吸食者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例
セハ福建人ノ男ノ二十一歳以上ノ人口ヲ法トセハ阿片煙膏吸食者ノ福建人ノ男ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

二、阿片煙膏吸食者男百ニ付女 種族別阿片煙膏吸食者ノ男ヲ法トシ同種族ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス

○第一〇五表 體性及年齡級別阿片煙膏吸食者

實數

一、原表第二一表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
表	表	表	表
總數、年齡級別		總數、年齡級別	
總數、年齡級別(總數、男、女)		總數、男、女	

比
例

傾ナルヲ以テ其ノ形式ヲ一二セリ

總數

總數	{	總	數	數
		本島	支那	人
	{	總	數	數
		本島	支那	人
	{	總	數	數
		本島	支那	人
{	總	數	數	
	本島	支那	人	
{	總	數	數	
	本島	支那	人	

女

口ヲ記入シ支那人ハ別ニ調製セル特表ヨリ中集表相當欄ニ記入ス而ミテ中集表ノ備考ノ下ニ

實數

除スルカ如シ

シテ之ヲ除ス(對照第一〇四表)男男女女數二付

第一〇六表 體性及綠事別阿片烟膏吸食者

一、原表第二一表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

杜豐(杜豐)
杜豐(杜豐)

比例

除スルカ如シ

二、阿片烟膏吸食者 阿片烟膏吸食者ノ縁事別ノ男ヲ法トシ同縁事ノ女ニ百ヲ乗シテ之ヲ除ス例

付女總數)

第一〇七表 地方、種族(細別)及體性別阿片烟吞吸食者

實數

一、原表第二一表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表	側	表	側
總數中(總數)	本業及本業從屬者ノ總數及種族別(總數、男、女)		總數、男、女(總數、種族別)	

(對照第一〇四表(總數、種族、男女))

比例

一、二十一歳以上ノ人口百中 二十一歳以上ノ人口ハ別ニ中集表(第一〇七表)ヲ作り原表第二二表(地方)ヨリ本島人ヲ種族別ニ二十一歳以上ノ人口(二十歳以下ノ人口ヲ除ス)ヲ中集表ニ記入ス又支那人ハ別ニ作ル所ノ特表ニ依リ總別ニ二十歳以下ノ人口ヲ控除ス而シテ中集表ノ人口ヲ法トシ總別ニ阿片烟膏吸食者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ臺北廳ノ福建人ノ男ノ人口ヲ法トセハ同廳ノ福建人ノ男ノ吸食者ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ(對照第一〇四表(總數、種族、男女))

○第一〇八表 體性及職業(項別)別阿片烟膏吸食者

實數

一、原表第二一表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表	側	表	側
總數中(總數)	總數、種族、男女、及本業從屬者ノ款、項別(總數、男、女)		總數、男、女(總數、種族、男女、及本業從屬者)ノ款、項別	

(對照第一〇六表(總數、男、女))

一、二十一歳以上ノ人口百中 第一〇八表ト同形式ノ中集表ヲ作り原表第五表及第六表ヨリ本島人ノ本業者ト本業從屬者ノ總數中(總數、男、女)ヨリ自零歳至十歳、自十一歳至十五歳、自十六歳至二十歳(總數、男、女)ヲ款項別ニ控除シ又別ニ調製セル二十一歳以上ノ支那人ヲ款項別ニ合算シテ之ヲ中集表ニ記入ス而シテ本業者及本業從屬者ノ職業項別ノ人口ヲ法トシ阿片烟膏吸食者ノ國職業別ニ百ヲ乘シテ之ヲ除ス例セハ本島人及支那人ノ二十一歳以上ノ本業者ニシテ第二款第四項ノ男ヲ法トセハ阿片烟膏吸食者ノ本業者ノ第二款第四項ノ男ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

第一三 所帶

○第一〇九表 地方別所帶實數

一、普通所帶ハ原表第二四表(地方)准所帶ハ原表第二六表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	表	側	表	側
普通所帶ノ總數、種族准所帶ノ所帶數	普通所帶ノ總數、種族、種族、混合、一人所帶		總數、種族、准所帶ノ種族別	

比例

一、所帶ノ種族別百分比比例 總別ニ普通所帶及准所帶ノ總數ヲ百(法)トシテ之ヲ所帶ノ種族ニ比例ス

○第一一〇表 地方及人員級別普通所帶實數

一、原表第二四表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數	總數、本來所帶ノ人員及一人所帶	總數、總	總數、本來所帶(人員別)及一人所

(對照第一〇九表)

比 例

一、所帶ノ種類及人員級別百分比比例 應別ノ普通所帶總數ヲ百トシテ所帶人員級ニ比例ス

○第一一一表 所帶主ノ種族(細別)別普通所帶

實 數

一、原表第二四表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數、種族(細別)	總數、親族、混合、一人所帶ノ總數	總數、親族、混合、一人所帶	總數、種族(細別)

比 例

一、所帶種類別百分比比例 種族別普通所帶ノ總數ヲ各百(法)トシテ所帶ノ種類ニ比例ス

一、所帶主ノ種族別百分比比例 所帶ノ種類毎ニ所帶主ノ種族別總數ヲ百(法)トシテ之ヲ其ノ各種族

別ニ比例ス(對照第一一〇表(總數))

○第一一二表 人員級別普通所帶

實 數

一、原表第二四表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數	總數、親族、混合、一人所帶ノ人員級	總數、親族、混合、一人所帶	總數及人員級(六人以上ノ等級別ニ合算ス)

(對照第一一〇表)

比 例

一、所帶人員級別百分比比例 所帶ノ種類毎ニ所帶人員級ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ人員級ニ比例ス

二、所帶種類別百分比比例 人員級別ニ所帶ノ種類別總數ヲ百(法)トシテ之ヲ所帶ノ種類ニ比例ス

○第一一三表 所帶主ノ種族(細別)及人員級別普通所帶

實 數

一、原表第二四表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		本	
表	頭	表	頭
總數、種族(細別)	普通所帶ノ總數(總數及人員級)	所帶人員級(總數及人員級)但シ十一人以上ノ五階級ニ合算シテ記入ス	總數、種族(細別)

比 例

一、所帶人員級別百分比比例 種族別ノ所帶人員級ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ所帶人員級ニ比例ス

(對照第一一二表(所帶人員級別百分比比例))

二、所帶主ノ種族別百分比比例 所帶人員級別ニ所帶主ノ種族別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ所帶主ノ

種族別ニ比例ス(對照第一一一表(所帶主ノ種族別百分比比例))

○第一一四表 地方及所帶構成別混合所帶

實數

一、原表第二五表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	頭	表	頭	表
總數	表	側	表	側
總數、所帶主ト、所帶主及其ノ家族ト(所帶構成別)				
總數、所帶主ト共ニアル者(所帶主及家族ト共ニアル者)(所帶構成別)				

(對照第一一〇表(總數)ノ混合所帶總數)

比例

一、所帶構成別百分比比例 總數ニ混合所帶ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ所帶構成別ニ比例ス

○第一一五表 所帶主ノ種族及所帶構成別混合所帶

實數

一、原表第二五表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	頭	表	頭	表
總數	表	側	表	側
總數、種族				
總數、種族				
總數、種族				

(對照第一一四表(總數))

比例

一、所帶構成別百分比比例 (總數)(所帶主ト共ニアル者)(所帶主及家族ト共ニアル者)ノ總數ヲ種族別ニ各百(法)トシテ之ヲ所帶構成別ニ比例ス(對照第一一四表(總數))

○第一一六表 地方、體性及人員數別普通所帶ノ所帶人員

實數

一、原表第二七表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	頭	表	頭	表
總數	表	側	表	側
(總數)(男)(女)				
普通、本來、親族、混合所帶ノ總數及人員數				
普通、本來、親族、混合所帶ノ總數、男、女(總數)				

比例

一、人員數別百分比比例 總數ノ普通所帶ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ親族、混合及一人所帶ニ比例ス

二、男百ニ付女 總數ニ親族、混合及一人所帶ノ人員數別ノ男ヲ各百トシテ之ヲ女ニ比例ス例セハ

臺北廳ノ親族所帶中一人所帶ノ男ヲ法トセハ同廳ノ親族所帶中一人所帶ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ除スルカ如シ

○第一一七表 地方及體性別普通所帶ノ所帶人員

實數

一、原表第二七表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

表	原		本	
	頭	表	頭	表
總數	表	側	表	側
總數、男、女				
總數、准所帶ノ種別				
總數、准所帶ノ種別				

比例

一、種別別百分比比例 總數ニ准所帶ノ總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ准所帶ノ種別ニ比例ス

二、男百ニ付女 准所帶ノ種別別ニ各百ノ男ヲ法トシ同廳同種別ノ准所帶ノ女ニ百ヲ乘シテ之ヲ

除ス
三、平均一准所帯ノ人員 第一〇九表ノ應別ノ准所帯總數ヲ種族別ニ各法トシ同種別ノ准所帯ノ人員ヲ除ス例セハ第一〇九表ノ准所帯ノ官舎及宿舍總數ヲ以テ本表總數中ノ官舎及宿舍ノ所帯人員ヲ除スルカ如シ

第一五 住居

○第一一八表 所帯數別住居

實數

一、原表第二八表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭	表	側	本	頭	表	側
住居數ノ(總數)	總數、所帯數別住居ノ(總數、住家、舟筏、其ノ他)	總數、所帯數別住居	總數、住家、舟筏、其ノ他				

比例

一、住居種別別百分比例 住居ノ種別別總數ヲ所帯數別住居毎ニ各百(法)トシテ之ヲ住居ノ種別別ニ比例ス

二、所帯數別百分比例 住居ノ種別毎ニ所帯數及住居別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ所帯數及住居別ニ比例ス

第一一九表 地方及所帯數別住居

實數

一、原表第二八表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭	表	側	本	頭	表	側
總數	總數、所帯數別住居(總數、住居、舟筏、其ノ他)	(總數)	總數、所帯數別住居(總數、住家、舟筏、其ノ他)				

(對照第一一八表(總數))

比例

一、住居種別別百分比例 應別ノ住居總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ住居ノ種別別ニ比例ス(對照第一一八表(住居種別別))

二、所帯數及住居別百分比例 應別ノ所帯數及住居別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ所帯數及住居別ニ比例ス(但シ實數ノ總數、一、所帯一住居、二、所帯二住居以上ノ各住居總數ニ依リ算出ス)(對照第一一八表(所帯數及住居別))

第一二〇表 所帯ノ種別及員數別住居

實數

一、原表第二八表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原表	頭	表	側	本	頭	表	側
住居數別(總數及所帯ノ種別)	總數、所帯數別住居(總數、住家、舟筏、其ノ他)	總數及所帯ノ種別別住居(總數、住家、舟筏、其ノ他)	總數、所帯ノ種別				

(對照第一一八表、第一一九表)

比例

一、所帯種別及住居別百分比例 所帯ノ種別及住居總數ヲ住居ノ種別毎ニ各百(法)トシテ之ヲ所帯

ノ種類及住居別ニ比例ス
二、所帶數及住居種類別百分比比例 所帶數及住居ノ種類別總數ヲ百(法)トシテ之ヲ所帶數及住居ノ種類別ニ比例ス
三、所帶數及住居種類別各百分比比例 所帶數及住居ノ種類別各總數ヲ百(法)トシテ之ヲ所帶數及住居ノ種類別ニ比例ス(對照第一一九表(住居種類別並所帶數及住居別百分比比例))

○第一二二表 地方並所帶主ノ住家及住地ノ權利關係別住所

實數

一、原表第二九表(地方)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本	
表	頭	表	側	表	側
總數及權利關係別(種族)		總數及權利關係別(種族)		總數、權利關係別	
比例		比例		比例	
一、所帶主ノ住家及住地ノ權利關係別百分比比例		住家及住地ノ權利關係別住所總數ヲ聯毎ニ各百(法)トシテ之ヲ住家住地ノ權利關係別ニ比例ス			
○第一二二表 所帶主ノ種族(細別)並其ノ住家及住地ノ權利關係別住所					
實數					
一、原表第二九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス					
原		表		本	
表	頭	表	側	表	側
總數及權利關係別(種族)		總數及權利關係別(種族)		總數、種族	

(對照第一二二表(總數))

比例

一、所帶主ノ住家及住地ノ權利關係別百分比比例 所帶主ノ種族別毎ニ住家住地ノ權利關係別總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ住家住地ノ權利關係別ニ比例ス(對照第一二二表(總數))
二、所帶主ノ種族別百分比比例 住家住地ノ權利關係別種族總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ種族別ニ比例ス

○第一二三表 所帶主ノ職業(款別)其ノ地位並其ノ住家及住地ノ權利關係別住所

實數

一、原表第二九表(全島)ヨリ左ノ例ニ依リ記入ス

原		表		本	
表	頭	表	側	表	側
總數及權利關係別(種族)		總數及權利關係別(種族)		總數、款	
比例		比例		比例	
(對照第一二二表(總數)、第一二二表(總數))					
一、所帶主ノ住家及住地ノ權利關係別百分比比例 款毎ニ地位別ノ住家及住地ノ權利關係總數ヲ各百(法)トシテ之ヲ所帶主ノ住家及住地ノ權利關係別ニ比例ス(對照第一二二表、第一二二表(住家住地權利關係別(總數)))					

第四 比較表

論究記述ノ資料トシテ結果表ノ外前同トノ比較表ヲ調製シ彼此對照以テ其ノ増減消長ヲ示

セリ其ノ數一四六表ニシテ之ヲ別刊第二次臨時臺灣戶口調査記述報文ノ附錄中ニ收ム
前回比較 時間ニ關スル比較ハ統計上最緊要ニシテ最價值アルモノナリ是レ歐米諸國ニ於
テ國勢調査ノ定期ニ繼續施行セラルル所以ナリ本調査ノ論究記述ハ先ツ其ノ結果ヲ解説シ
次テ之ヲ前回ニ比較シ以テ既往十年間ニ於ケル時ノ推移ニ依ル事物ノ變遷消長ヲ觀察セリ
附錄表 論究記述ノ資料トシテ作成シタル統計表ハ結果表及記述報文中ニ挿入シタル小表
(四四表)ヲ除キ其ノ數二〇三表ニシテ之ヲ別刊第二次臨時臺灣戶口調査記述報文ノ附錄表ト
爲ス

第七章 記述

要旨 論究記述ノ事タルヤ本調査ノ最大目的ニシテ最終ノ事業ニ屬ス蓋シ統計上ノ科學的
記述ハ統計ノ結果ニ就キテ民志的、社會的及經濟的現象ヲ明ニシ其ノ關係原因又ハ法則ヲ論
究シ且空間又ハ時間ノ異同ニ依ル變化ヲモ比較研究シ以テ作成セラレタル統計表ヲシテ最
大ノ價值ヲ發揚セシメサルヘカラス而シテ本調査ノ論究記述ハ如上ノ目的ニ副ハムカ爲力
メテ直截簡明ニ之ヲ解析記述スルコトトシ大正六年九月其ノ擔任者ヲ定メ記述ノ範圍標準
文體用字等ヲ協定シ先ツ各分擔ノ項目ニ就テ研究ヲ爲サシメ同年十月ヨリ記述ニ著手シ大
正七年一月完了シタリ記述ニ關スル方針及擔任者左ノ如シ

第二次臨時戶口調査ノ記述ニ關スル方針

- 一、記述ハ概ネ前回ノ例ニ依ル但シ左記ノ諸件ハ此ノ限ニ在ラス
- イ、調査事項ノ改正ニ因ルモノ
- ロ、様式ノ改正ニ因ルモノ
- ハ、新ナル研究又ハ觀察ニ因ルモノ
- ニ、前回トノ比較ヲ要スルモノ(前回トノ比較ハ附錄統計表又ハ記述文中ニ挿入ノ統計表アル事項
ニ限ル)
- ホ、結論中「願末」ニ讓リテ可ナルモノハ之ヲ略シ調査ニ直接必要ノモノニ限リテ掲グルコト
- ヘ、前回ノ記述中歴史的事項又ハ本島人ノ風俗慣習等ニ關スル事項ニシテ今次モ記述ノ必要アル
モノハ力メテ簡略ニ從フコト又以上ノ事項中省略シテ可ナルモノハ再記セサルコト
- 二、分擔主義ニ依ルモ統一ヲ要ス其ノ要件概ネ左ノ如シ

イ、文章ハ官府の時文タルコト
ロ、統計的計數ハ實數ト比例ヲ問ハス果記法ヲ用非結果表ノマタルコト
ハ、各章ノ排列ハ人口ニ關スル自然的事項ヲ先ニシ次ニ其ノ社會的事項ヲ以テシ終ニ附帶的事項
ヲ以テスルコト
ニ、各節(節以下ノ分節共)ノ記述範圍ハ第一ニ專ラ其ノ命題ノ事ノミヲ記スルニ止メ第二ニ至リ始
ニ主トシテ其ノ命題ノ事ヲ記シ次ニ第一トノ關係アレハ其ノ關係ノ事ヲ記ス以下第三、第四等
皆此ノ例ニ準スルコト
ホ、章節等ニ於ケル末文ノ「括約」ハ成ル可ク之ヲ廢シテ當初ノ「要旨」中ニ加フルコト
ヘ、記述ノ根據トセシ統計表及前同調査トノ比較表ハ之ヲ記述報文ノ附録トスルコト但シ統計表
ニハ每表簡短ナル表題ヲ冠スルコト
ト、記述ノ方法ハ先ツ其ノ概要ヲ簡明ニ記シ必要ニ應シテ之ニ關係アル附録以外ノ統計表ヲ附ス
ルコトヲ得但シ附録統計表ノ表番號ヲ每節本文ノ下ニ(第何表)ト附記シテ照査ノ便ニ供スルコ
ト
チ、行文ノ要點ハ初行ノ始ニ「撮記」ヲ爲シ本文ハ一字明ケト爲スコト(印刷ノ際ハ「撮記」ヲ「ブツク」型
トス)
リ、前同トノ比較ハ各事項(節、分節等)ノ最終ニ於テスルコト
メ、描畫ノ原圖ハ各分節者ニ於テ考案調製スルコト
三、各章節ノ細目ハ概ネ左ノ如シ但シ執筆ノ上ハ多少ノ變更ヲ來スヘキニ付豫メ承認アリタシ
記述報文目次(略ス)
四、各章ノ分擔ハ左ノ如シ
緒論及第一章(人口)並各章ノ統一及校訂

堀託 水 科 七 三 郎

第二章(種族)第三章(體性)第四章(年齡)及第五章(緣事)
第六章(職業)第十章(内地人)及第十二章(阿片烟膏吸食)
第七章(言語)第八章(教育)第十三章(所帶)及第十四章(住居)
第九章(不具)及第十一章(外國人)

屬 福 田 眞 鷹	屬 堤 一 馬	屬 二 瓶 士 子 治	屬 竹 田 唯 四 郎
-----------	---------	-------------	-------------

第八章 調査機關

第一節 中央機關(臨時戸口調査部)

第一 組織

本調査ノ中央機關ハ總督官房臨時戸口調査部ニシテ大正三年四月勅令第五十九號ヲ以テ臨時職員制ヲ公布セラレ尋テ同年六月訓令第八號ヲ以テ臨時戸口調査部規程ヲ發布シ部長ハ民政長官ヲ以テ之ニ充テ副部長以下ノ職員ヲ任命シ大正三年六月二十七日ヲ以テ本調査ノ中央機關ヲ組織セリ而シテ臨時戸口調査部ハ本調査ニ關スル一切ノ事務ヲ掌リ地方機關ヲ統督シ準備ヨリ實查結果ノ編成ニ至ルマテ總テ豫期以上ノ效果ヲ收メ大正七年三月三十一日ヲ以テ之ヲ閉鎖セリ勅令及訓令左ノ如シ

勅令第五十九號 (大正三年四月十三日)

戸口調査事務ニ從事セシムル爲メ臺灣總督府ニ臨時左ノ職員ヲ置ク

屬 專任 二人

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第二十號 (大正四年七月十七日)

大正三年勅令第五十九號中左ノ通改正ス

「二人」ヲ「十二人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第三十四號 (大正七年三月二十九日)

大正三年勅令第五十九號ハ大正七年三月三十一日限り之ヲ廢止ス

訓令第八號 (大正三年六月二十七日)

臨時戸口調査部規程

第一條 臺灣總督官房ニ臨時戸口調査部ヲ置キ大正四年十月一日ヲ以テ臺灣ニ施行スル戸口調査

ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ラシム

第二條 臨時戸口調査部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長 一人

副部長 一人

主事 二人

屬 若干人

第三條 部長ハ臺灣總督府民政長官ヲ以テ之ニ充ツ

部長ハ部中一切ノ事務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第四條 副部長ハ臺灣總督府高等官中ヨリ之ヲ命ス

副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第五條 主事ハ臺灣總督府高等官中ヨリ之ヲ命ス

主事ハ上司ノ命ヲ承ケ部務ヲ分掌ス

第六條 屬ハ上司ノ命ヲ承ケ調査及庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訓令第六十三號 (大正七年四月一日)

大正三年六月訓令第百八號臨時戸口調査部規程ハ之ヲ廢止ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

分課規程 今臨時戸口調査部内ノ組織ヲ示サムカ爲左ニ分課規程及調査課事務規程ヲ掲ク

臨時戸口調査部分課規程 (大正三年六月二十五日決裁)

- 第一條 臨時戸口調査部ニ庶務課及調査課ヲ置ク
- 第二條 課ニ長ヲ置キ主事ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 部長ノ官印及部印ノ保管ニ關スル事項
 - 二 人事ニ關スル事項
 - 三 文書ノ發受ニ關スル事項
 - 四 經費ニ關スル事項
 - 五 印刷ニ關スル事項
 - 六 物品ニ關スル事項
 - 七 前各號ノ外調査課ノ主管ニ屬セサル事項
- 第四條 調査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 調査ノ計畫ニ關スル事項
 - 二 調査事務ノ訓練及指導ニ關スル事項

- 三 調査ノ監督ニ關スル事項
- 四 所帶票、單名票及要計表等ノ検査ニ關スル事項
- 五 統計ノ編成及論究ニ關スル事項

調査課事務規程 (大正四年十月十四日決裁)

- 第一條 調査課ニ倉庫掛、検査掛、集計掛及結果掛ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム
- 第二條 各掛ニ長ヲ置キ各掛長ハ調査課長ニ對シテ其ノ責ニ任ス
- 各掛中事務ノ種類ニ依リ別ニ主任ヲ定メ事務ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得
- 第三條 倉庫掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 所帶票及要計表ノ受理ニ關スル事項
 - 二 所帶票、要計表、單名票、所帶單位票及各種統計表ノ保管及出入ニ關スル事項
- 第四條 検査掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 所帶票及要計表ノ検査ニ關スル事項
 - 二 單名票及所帶單位票ノ調製及検査ニ關スル事項
 - 三 各種統計表ノ検査ニ關スル事項
 - 四 他掛ノ主管ニ屬セサル事項
- 第五條 集計掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 集計ニ關スル事項
 - 二 集計原表ノ調製ニ關スル事項
- 第六條 結果掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 結果表ノ調製ニ關スル事項
 - 二 記述論究ニ關スル事項

各掛事務規程 調査課内各掛ノ事務分掌ヲ示サムカ爲左ニ其ノ各規程ヲ掲ク

倉庫掛事務規程
大正四年
十月十三日決定

第一 所帶票受理手續

庶務課ヨリ送付ノ所帶票ハ受附主任之手受理ス

受附主任所帶票ヲ受ケタルトキハ直ニ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 監督委員要計表ノ監督區番號調查區番號並調査委員要計表ノ監督區番號調査區番號及堡里街庄社名ト大正四年六月訓令第七十八號臨時戶口調査事務取扱規程第六條ニ依ル報告ノ監督區番號調査區番號及堡里街庄社名トヲ照合シ監督委員要計表ノ監督區番號調査區番號並調査委員要計表ノ堡里街庄社名ノ上ニ赤鉛筆ヲ以テ「レ」ヲ附スヘシ
- 二 調査委員要計表ノ監督區番號調査區番號及堡里街庄社名ト所帶票ノ監督區番號調査區番號及堡里街庄社名トヲ照合シ要計表ノ監督區番號調査區番號及當該堡里街庄社名ノ上ニ赤鉛筆ヲ以テ「レ」ヲ附スヘシ
- 三 前二項ノ手續ニ於テ不符合ノ點アルトキハ其ノ都度之ヲ掛長ニ申出ヘシ
- 四 掛長ニ於テ前項ノ申出ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ照會ヲ要スルモノト認ムルトキハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ別紙甲號様式ノ所帶票返付簿ニ必要事項ノ記入ヲ爲スヘシ
- 五 第一項及第二項ノ手續ヲ終リタル所帶票ハ之ヲ調査區番號順ニ重テ調査委員要計表ハ所帶票ヨリ取外シテ之ヲ調査區番號順ニ綴リ監督委員要計表ヲ最上部ニ添附シテ所帶票ト共ニ一監督區ノ分チ一括シ紐ニテ之ヲ縱横ニ括リ左記ノ紙牌ヲ附スヘシ

廳名	監督區番號
	調查區數

六 前各項ノ手續ヲ終リタルトキハ其ノ所帶票ヲ倉庫主任ニ引渡シ交付簿ニ認印ヲ求ムヘシ

第二 所帶票保管手續

所帶票ハ倉庫主任之手保管ス

倉庫主任受附主任ヨリ所帶票ヲ受ケタルトキハ直ニ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 所帶票ヲ監督區順ニ棚架ニ重ネ置クヘシ
二 各廳所帶票ノ受領ヲ終ラハ各廳別ニ納置スヘキ棚架ノ區域ヲ定メ左記ノ紙牌ヲ見易キ場所ニ貼附シ尙其ノ所在ノ略圖ニ葉ヲ作成シ一ヲ調査課長ニ差出シ一ヲ本掛ニ備ヘ置キ所帶票出納ノ便ニ供スヘシ

監督區番號					調度區數	

第三 所帶票授受手續

他掛ト所帶票ノ授受ヲ爲ストキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 所帯票交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ別紙乙號様式ノ所帯票授受簿當該監督區相當欄ニ交付ノ月日及請求掛名ヲ記入シ受領者ノ認印ヲ捺シ然ル後之ヲ交付スヘシ
 - 二 所帯票ノ返付ヲ受ケタルトキハ所帯票授受簿當該欄ニ其ノ返付月日ヲ記入シ所帯票ハ還滯ナク之ヲ所定ノ棚架ニ納置スヘシ但シ同一掛ニ於テ尙引續キ使用ノ申出アレハ假棚架ニ納置スルコトヲ得
 - 三 検査係ニ於テ所帯票審査ノ結果再査ノ爲監督區ノ全部又ハ一部返戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ所帯票授受簿當該監督區月日欄ニ其ノ月日ヲ備考欄ニ返付ノ旨ヲ明記シ検査掛員ノ認印ヲ捺スヘシ
 - 四 前項ノ所帯票ニシテ返付ヲ受ケタルトキハ當該備考欄ニ其ノ旨ヲ朱記スヘシ
- 以上ノ規定ニ於テ所帯票ト稱スルハ之ニ添附ノ要計表ヲモ包含ス
- 單名票、所帯單位票及各種統計表ノ授受保管ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

検査掛事務規程 (大正四年十月十三日決定)

- 第一 掛員ハ掛長ノ命ヲ承ケ検査スヘキ所帯票及要計表ヲ倉庫掛ヨリ受領スヘシ
- 第二 検査ノ手續ハ大正四年七月訓令第八號臨時戸口調査所帯票及要計表検査手續ニ依ルヘシ
- 第三 所帯票及要計表ノ検査ニ際シ各欄對照ノ證トシテ當該事項ニ赤鉛筆ヲ以テ「レ」ヲ附スヘシ
- 第四 検査ノ際不備ノ事項ヲ發見シタルトキハ其ノ要旨ヲ附箋紙ニ明記シテ之ヲ當該欄ニ貼附スヘシ
- 第五 掛員ハ各自別紙甲號様式ノ検査日報ヲ作り毎日検査シタル所帯數及検査ノ際發見シタル不備件數並其ノ他重要事項ヲ記入シ毎日退廳時十分前ニ之ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第六 掛長ハ前項ノ検査日報ヲ受ケタルトキハ之ヲ檢シ別紙乙號様式ノ検査功程日報ヲ添附シ翌日中ニ調査課長ヲ經テ副部長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第七 所帯票及要計表ハ毎日倉庫掛ヨリ之ヲ受領シ退廳時五分前ニ倉庫掛ニ之ヲ返付スヘシ但シ第十項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八 調査委員要計表ノ検査ハ其ノ調査區ニ屬スル所帯票ノ検査終了後監督委員要計表ノ検査ハ其ノ監督區内各調査區ニ屬スル所帯票ノ検査終了後之ヲ爲スヘシ

第九 検査ヲ了シタル所帯票ニハ一調査區毎ニ欄外右方上部ニ「検査済」ノ印ヲ押捺シ其ノ下ニ擔當者捺印スヘシ要計表ニ就テモ亦同シ

第十 一調査區ノ所帯票ノ検査ヲ了シタルトキハ之ヲ掛長ニ提出スヘシ要計表ニ就テモ亦同シ

第十一 掛長ハ掛員ヨリ提出シタル検査済ノ所帯票及要計表ヲ審査シ其ノ不備事項中別ニ照會ヲ要セスシテ訂正シ得ヘキモノハ直ニ之ヲ訂正シ其ノ照會再査ヲ要スルモノハ案ヲ具シテ調査課長ノ指揮ヲ請ヒ倉庫掛事務規程第一項ノ四ニ規定セル所帯票返付簿ニ必要事項ノ記入ヲ爲スヘシ

第十二 前項ニ依リ所帯票及要計表ノ全部又ハ一部ノ返戻ヲ要スルモノアルトキハ倉庫掛ノ承認ヲ得ヘク且一部ヲ返戻シタルトキハ其ノ旨關係所帯票綴ニ附箋ヲ以テ明記シ置クヘシ

第十三 掛長ハ訂正済又ハ訂正ヲ要セサル所帯票及要計表ヲ倉庫掛ニ返付スヘシ

第十四 掛長ハ一監督區ノ所帯票及要計表ノ検査ヲ了シタルトキハ附箋主任ヲシテ單名票及所帯單位票附箋ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十五 單名票及所帯單位票ノ附箋手續ハ別ニ之ヲ定ム

第十六 掛長ハ集計掛ヨリ單名票又ハ所帯單位票ノ事故通牒ヲ受ケタルトキハ直ニ掛員ヲシテ所帯票ニ就キ調査ヲ遂ケ事故訂正記入欄ニ訂正ノ事項ヲ記入セシメ審査ノ上集計掛ニ返付ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七 各種統計表ノ検査ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

集計掛事務規程 (大正十五年四月二十八日決定)

總則

- 第一 本掛ハ單名票及所帶單位票(以下單ニ之ヲ「單位票」ト稱ス)ニ依リ規定ノ統計表ヲ作成ス
- 第二 本掛ノ事務ヲ分チテ分類計票及記表ノ三ト爲ス
- 第三 前項ノ事務ヲ處理スル爲掛長ノ下ニ主任ヲ置ク
- 第四 主任ハ掛長ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ヲ分擔ス
- 第五 必要ニ依リ主任ノ下ニ組ヲ置クコトヲ得
- 第六 組ニ組長ヲ置ク
- 第七 組長ハ主任ノ指揮ヲ承ケ其ノ組ノ事務ヲ分擔ス
- 第八 掛員職務上左ノ場合ニ遭遇シタルトキハ上司ノ指揮ヲ承ケヘシ
 - 一 疑義ヲ生シタルトキ
 - 二 照合ノ符合セサルトキ
 - 三 檢算又ハ合計ノ内容ト符合セサルトキ
 - 四 先例ナキ處分ヲ爲サルトスルトキ
- 第九 掛員事務進行中票ニ事故アルコトヲ發見シタルトキハ之ニ其ノ事故ヲ簡明ニ記シタル附箋ヲ爲シ之ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第十 前項ノ場合ニ於テ掛長其ノ事故ヲ審查シ必要ト認メタルトキハ第一號様式單名票(單位票)事故通牒ニ依リテ之ヲ檢査掛ニ移牒シ且場合ニ依リ事故ノ結了迄其ノ事務ヲ中止セシム
- 第十一 掛長前項ニ對スル回答ヲ受ケタルトキハ審查ノ上當該小票ヲ訂正シ附箋ヲ除去シテ之ヲ其ノ主任ニ交付シ前ニ中止シタル事務ヲ繼續進行セシム

分類

- 第十二 分類主任ハ小票ノ分類事務ヲ掌ル
- 第十三 分類主任ハ掛長ヨリ小票及第二號様式集計原票ヲ受領スヘシ
- 第十四 分類主任ハ分類員ヲシテ一住居中ノ所帶數ニ以上アル單位票ニ就キ其ノ所帶數ハ所帶票番號ノ異番號ト同數ナリヤヲ檢セシムヘシ
- 第十五 分類主任ハ集計原票ニ依リ分類面ヲ適當ニ裝置シ之ニ集計原票ヲ添ヘ分類員ヲシテ分類セシム
- 第十六 分類員ハ分類面ニ就キ小票ノ分類ヲ爲シ分類終了ノ上ハ其ノ旨ヲ分類主任ニ申出ヘシ
- 第十七 分類員ハ分類著手及終了ノ際集計原票當該欄ニ其ノ月日時ヲ記入シテ之ニ捺印スヘシ
- 第十八 分類主任ハ分類終了ノ分類面ニ就キ各分類毎ニ分類事項其ノ他必要ナル事項ヲ記入シタル第三號様式集計票ヲ挿入シ其ノ集計原票ハ之ヲ計票主任ニ交付スヘシ

計票

- 第十九 計票主任ハ計票事務ヲ掌ル
- 第二十 計票主任ハ掛長ヨリ第四號様式街庄別調査區配當表ヲ受領シ計票員ヲシテ單位票記載ノ男女及總數ヲ各別ニ合計シタルモノヲ同表ニ照合セシムヘシ
- 第二十一 計票主任ハ分類主任ヨリ交付セラレタル集計原票ニ依リ計票員ヲシテ計票セシム
- 第二十二 計票員ハ分類終了ノ分類面ニ就キ各分類ノ枚數ヲ數ヘ之ニ挿入ノ集計票當該欄ニ其ノ枚數ヲ記入シテ之ヲ計票主任ニ提出スヘシ
- 第二十三 計票員ハ計票著手及終了ノ際集計原票當該欄ニ其ノ月日時ヲ記入シテ之ニ捺印スヘシ
- 第二十四 計票主任ハ集計票記載ノ枚數ヲ合計シ之ヲ集計原票記載ノ枚數ニ照合ノ上集計原票及集計票ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第二十五 計票員分類ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ計票主任ニ申出ヘシ

- 第二十六 計票主任前項ノ申出ヲ受ケタルトキハ分類主任ト交渉ノ上其ノ集計原票ノ當該欄ニ分類誤ノ枚數ヲ記入シテ之ニ捺印スヘシ
- 第二十七 掛長計票主任ヨリ集計原票及集計票ノ提出ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ニ依リテ第五號様式分類計票事務比較表ヲ作リ之ヲ課長ニ提出スヘシ
- 第二十八 掛長ハ計票完了ノ小票ヲ倉庫掛ニ引繼クヘシ
- 記表
- 第二十九 記表主任ハ記表事務ヲ掌ル
- 第三十 記表主任ハ掛長ヨリ統計表用紙集計原票及集計票並街庄別調査區配當表ヲ受領スヘシ
- 第三十一 記表主任ハ記表前ニ記表員ヲシテ集計原票ト集計票トヲ照合檢算セシムヘシ
- 第三十二 記表主任ハ統計表用紙ニ必要ナル確定數ヲ記入シ記表員ヲシテ集計原票及集計票ニ依リ其ノ記入ヲ爲サシムヘシ
- 第三十三 記表員ハ集計原票及集計票ニ依リ統計表用紙當該欄ニ其ノ數字ヲ記入シ之ヲ合計シテ既記ノ總數ト照合シ集計原票又ハ集計票ニ捺印ノ上之ニ統計表(調部記)ヲ添ヘ記表主任ニ提出スヘシ
- 第三十四 記表主任前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ審査ノ上其ノ集計原票及集計票ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第三十五 一表ノ記入ヲ終リケルトキハ記表主任ハ記表員ヲシテ其ノ表ノ總數ヲ算出シ之ヲ街庄別調査區配當表ニ照合セシムヘシ
- 第三十六 記表員一表ノ總數算出ヲ終リタルトキハ一定ノ箇所ニ捺印ノ上街庄別調査區配當表ヲ添ヘテ之ヲ記表主任ニ提出シ記表主任ハ審査ノ上之ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第三十七 掛長各區統計表ヲ受ケタルトキハ之ヲ記表主任ニ交付スヘシ

- 第三十八 記表主任前項ノ統計表ヲ受ケタルトキハ記表員ヲシテ全島表ヲ作成セシムヘシ
- 第三十九 記表員前項ノ製表ヲ終リタルトキハ一定ノ箇所ニ捺印ノ上各區ノ統計表ヲ添ヘテ之ヲ記表主任ニ提出シ記表主任ハ審査ノ上之ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第四十 掛長記表主任ヨリ記入済統計表又ハ算出済全島表ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ第六號様式記表事務比較表ニ其ノ月日ヲ記入シ第七號様式統計表授受簿ヲ以テ順次之ヲ檢査掛ニ同付スヘシ
- 第四十一 統計表中不備ノ爲檢査掛ヨリ返付セラレタルモノアルトキハ直ニ之ヲ審査訂正シテ檢査掛ニ同付スヘシ
- 第四十二 掛長ハ檢査掛ヨリ檢査済統計表ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ課長ニ提出スヘシ
- 第四十三 掛長ハ課長ヨリ統計表ノ交付ヲ受ケタルトキハ統計表授受簿ヲ以テ之ヲ結果掛ニ同付スヘシ
- 第四十四 掛長ハ結果掛ヨリ統計表ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ記表主任ニ交付スヘシ
- 第四十五 記表主任前項統計表ノ交付ヲ受ケタルトキハ記表員ヲシテ裝釘セシメ之ヲ掛長ニ提出スヘシ
- 第四十六 掛長前項ノ統計表ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ統計表授受簿ヲ以テ倉庫掛ニ引繼クヘシ

結果掛事務規程 (大正五年九月二十三日決定)

總則

- 第一 本掛ハ集計原票ニ依リ規定ノ結果表ヲ作成シ之ニ依リテ臨時戸口調査ノ結果ヲ記述ス
- 第二 本掛ノ事務ヲ分テ製表及記述ノ二トス
- 第三 前項ノ事務ヲ處理スル爲掛長ノ下ニ主任ヲ置ク

第四 主任及掛員ハ掛長ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ事務ヲ分擔ス
第五 事務上ニ疑義ヲ生シタルトキハ上官ノ指揮ヲ承クヘシ

但シ一旦決定ノ事項ヲ變更シ若ハ重要ノ事項ト認ムルトキハ掛長之ヲ調査課長ニ提出シ其ノ指揮ヲ承クヘシ

第六 數字及文字ハ楷書ヲ以テ明確ニ書シ記入及計算ハ錯誤ナキヲ期スヘシ

第七 諸表及其ノ他ノ書類ハ鄭重ニ取扱ヒ汚損散逸セサルヲ注意スヘシ

第八 結果表ノ記入、計算及検査ヲ了シタルトキハ其ノ都度附屬ノ當該欄ニ取扱者ノ認印ヲ押捺スヘシ

製表

第九 製表主任ハ左ノ事務ヲ掌ル

一 結果表ノ記入ニ關スルコト

二 結果表ノ總數及比例算出ニ關スルコト

三 結果表ノ檢算及對照ニ關スルコト

第十 製表主任掛長ヨリ原表ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ附屬附屬ナキモノハ製表順序一覽及樣式ノ備考ニ依リテ結果表ニ之ヲ記入スヘシ

第十一 記入済ノ結果表ハ必之ヲ原表、其ノ他ノ母表ニ照査シ原表ハ之ヲ掛長ニ提出スヘシ

第十二 前項ノ手續ヲ了シタルトキハ先ツ其ノ總數ヲ算出シ次ニ比例ヲ算出スヘシ

第十三 比例ハ小數二位ヲ算出シ其ノ末位ニ於テ四捨五入シ小數一位ニ止ムヘシ

第十四 比例ノ内譯ハ其ノ總數ト必一致スルヲ要ス若シ一致セサルトキハ比例數ノ最多キモノニ就キ加除スヘシ但シ之カ爲比例ノ位置ヲ轉倒スルカ若ハ實數ノ順序ト相伴ハサル結果ヲ生スル

場合ニ限リ適宜ノ箇所ニ於テ加除スルヲ得

第十五 記入及計算ヲ了シタルトキハ各表毎ニ左ノ事項ヲ検査スヘシ

一 各表ノ總數ト他ノ關係表ト一致スルヤ否ヤ

二 各欄ノ内譯ト其ノ總數ト符合スルヤ否ヤ

三 比例ノ算出及數字、文字等ニ錯誤又ハ不明瞭ノモノナキヤ否ヤ

第十六 前項ノ検査ニ依リ誤謬ヲ發見シタルトキハ各其ノ取扱者ニ實シタル上之ヲ訂正スヘシ但シ原表ノ誤謬ニ基クモノナルトキハ其ノ旨ヲ附屬シテ掛長ニ提出スヘシ

第十七 以上ノ手續ヲ了シタルトキハ別紙甲號樣式製表功程簿ニ記入シテ之ヲ掛長ニ提出スヘシ

記述

第十八 記述主任ハ左ノ事務ヲ掌ル

一 結果ノ論究及記述ニ關スルコト

第十九 結果表ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十 結果表ノ樣式ニハ一表毎ニ番號ヲ附シ且ツ之ニ記入スヘキ原表ノ番號及記入計算ノ方法等ヲ備考欄ニ記載スヘシ

第二十一 集計掛ヨリ原表ノ同付アリタルトキハ掛長ハ別紙乙號樣式ノ原表授受簿ニ記入シ且ツ之ニ依リテ作成スヘキ結果表ノ番號ヲ附屬シテ原表授受簿ヲ以テ之ヲ製表主任ニ交付スヘシ

第二十二 本掛事務ノ系統及順序ヲ明ニスル爲原表及結果表ノ總目錄(表名及番號ヲ記シタル)並製表順序一覽ヲ調製スヘシ

但シ其ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十三 掛長ハ製表主任ヨリ記入済原表ノ提出ヲ受ケタルトキハ原表授受簿ヲ以テ之ヲ集計掛ニ返付スヘシ

第二十四 記述ノ綱目、範圍及各種統計表ノ種目等就其ノ擔任者ハ別ニ之ヲ定ム

製表功程簿

(乙) 號樣式

原表授受簿

總
列

大正四年十二月二十八日	調査課検査掛	屋(官)計課房	矢留越
同 五年一月十二日	調査課検査掛	屋(官)計課房	武田純一郎
同 五年一月二十六日	調査課検査掛	屋(官)計課房	秋増一
同 五年二月十二日	調査課検査掛	屋(官)計課房	石井喜一郎
同 五年二月二十五日	調査課検査掛	屋(官)計課房	岸井貞章
同 五年四月五日	調査課検査掛	屋(官)計課房	近藤小一郎
同 五年四月十四日	調査課検査掛	屋(官)計課房	森田正輝
同 五年五月五日	調査課検査掛	屋(官)計課房	遠島梅雄
同 五年五月十二日	調査課検査掛	屋(官)計課房	木村猪鹿

同 五年五月十九日	調査課検査掛	吉良一義
同 五年五月二十日	調査課検査掛	植村敏満
同 五年五月二十二日	調査課検査掛	薄井豊治
同 五年五月二十三日	調査課検査掛	牧野元秋
同 五年五月二十五日	調査課検査掛	相良長隆
同 五年五月二十六日	調査課検査掛	井上龍水
同 五年五月二十七日	調査課検査掛	望月敏三郎
同 五年五月三十日	調査課検査掛	周延壽
同 五年五月三十一日	調査課検査掛	幸文春
同 五年五月三十一日	調査課検査掛	王棋水
同 五年五月三十一日	調査課検査掛	楊謝河
同 五年五月三十一日	調査課検査掛	李鼎祥
同 五年五月三十一日	調査課検査掛	曾六瑞

孫	鍾	黃	周	原	賴	周	菊	典	玉	間	黃	許	陳	柯	陳	李
紅	阿	世	春	田	川	永	池	山	利	島	金	天	新	憐	彩	源
毛	林	陰	龍	英	大	亨	義	美	藏	三	豆	送	最	憫	鑾	財
				熊	造		耶	正	之	二						
									助							

中 原	小 倉	高 松	龍 井	平 井	河 野	藤 田	神 保	河 田	宮 崎	中 島	若 泰	吉 田	三 浦	諸 富	野 間	原 田	阿 部	三 宅	高 枝	陳 天	張 風	林 明
文 夫	正 夫	佐 男	佐 男	角 五郎	虎 治	虎 熊	次 郎	嘉 右衛門	定 一	喜 市	泰 三	四 郎	太 郎	末 吉	利 雄	茂 三	崎 熊	次 郎	南	暖	月	

(2)

試

調查課集計掛

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

125

154

五

and

26

18

Me

INTRODUCTION

● ●

風

Kel

【原】

雁

近藤小一郎	高見猶介	神保啓次郎	岡部熊之助	池田宗平	杉本修三	龍野虎治	河野喜市	中島英輔	清水英輔	宮崎定一	三浦信太郎	藤田虎熊	松元豐城	米本米三	佐藤富次郎	岡村三一	原田茂三	內藤泰吉	榎澤茂	近藤關屋	佐々木高景	二瓶士子治	竹田唯四郎
-------	------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	-----	------	-------	-------	-------

同 同 同 同 同 同

同 五年八月二十五日

同 五年八月二十九日

履

調查課集計掛

屈

■

【題意】 題意為「下列何者為「非」非暴力不合作運動之特點？」

張

歷

同 五年八月三十日

第八章 調查機關

[illegible]

100

御用濟

御用濟

御用濟

御用濟

調查課結果掛兼集

同 六年二月一日

御用濟

同 同 同 同 同 同 同 同

[illegible]

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

[illegible]

大正六年七月二日
御用濟
同 六年七月七日
調查課結果掛兼務
同 六年七月十日
官房統計課勤務
同 六年八月一日
調查課結果掛兼務
御川濟
同 六年九月十日
官房統計課勤務
同
同
同 六年九月四日
御川濟
同 六年九月六日
依願免本官
同 六年九月十四日
依願免本官
同 六年九月十五日
總督府 調查課集計掛
同 六年九月十九日

屈 吉田 安定
屈 福田 眞
屈 根石 邦三
屈 菊池 義郎
屈 間島 三二
屈 米本 米三
屈 吳明 旺
屈 蔡吉 龍
屈 楊阿 泉
屈 鄭四 川
屈 宮崎 定一
屈 奥山 美正
屈 近藤 關
屈 石井 喜三郎

民政部學務部勤務
同 六年十月二日
調查課集計掛
同
兼務ヲ解ク
同 六年十一月五日
官房統計課勤務
同 調查課結果掛
同
同
同 六年十一月二十六日
同 六年十一月二十六日
戶口調查部勤務 調查課結果掛
同
同
同 六年十二月三日
調查課檢查掛結果掛兼務
同
同
同
同
同
同 六年十二月五日
御川濟
同 六年十二月二十六日
御川濟

屈 內藤 泰吉
屈 朝倉 豐次郎
屈 池田 宗平
屈 松元 豐城
屈 陶山 妻平
屈 陶山 妻平
屈 池部 安清
屈 渡邊 重孝
屈 松元 豐城
屈 吉田 四郎
屈 右田 留造
屈 石井 喜一郎
屈 榎澤 茂
屈 若泰 三
屈 瀧井 豐治
屈 三宅 康次郎
屈 松元 豐城
屈 吉田 新三郎

高木寅次郎

五、

第一 委員部

委員長

委員部附

監督委員

監督補助委員

調査委員

調査委員附通譯

豫備委員

右ハ普通調査區ニ屬スルモノニシテ特別調査區即チ陸海軍人(軍隊ニ屬スル者ヲ除ク)税關醫院監獄等ニ對シテハ特例ヲ設ケ便宜ノ調査方法ヲ以テセリ

第二 主ナル職員

大正四年十月一日實査當日ニ於ケル地方委員部ノ主ナル職員左ノ如シ

臺北廳委員部

委員長

委員部附

廳長 加 福 豐 次

警視 市來半次郎

屬 黒田清政

屬 風間佐登美

警部 中原勇四郎

宜蘭廳委員部

委員長

委員部附

廳長 小 松 吉 久

警視 金子 薫 敬

屬 池浦和三郎

警部 高橋 周 平

警部 道 山 保

桃園廳委員部

技手 出淵 勝 郎

委員長
委員部附

廳長 武 藤 針 五 郎

警視 山内小藤二

屬 松本平次郎

警部 小島 弟 助

新竹廳委員部

委員長

委員部附

廳長 三 村 三 平

警視 今岡 始 祐

屬 春日 德 吉

警部 藤崎 濟 之 助

臺中廳委員部

委員長

委員部附

廳長 枝 德 二

警視 荒巻 鐵 之 助

警視 河東田義一郎

屬 石垣 良 助

警部 清水源次郎

警部 都 甲 鐵 雄

南投廳委員部

委員長

委員部附

廳長 石 橋 亨

嘉義廳委員部

委員長

委員部附

屬 河野覺太郎
警部 齊藤 遼
警部 早瀬覺次郎
警部 小關 力造

廳長 津田 毅一

警視 中田 直久
屬 中田 正明
警部 岩本 虎夫
警部 吉田 秀治郎
警部 中島 興一

臺南廳委員部

委員長

委員部附

廳長 松木 茂俊

警視 高橋 傳吉
屬 村上 龜市
屬 湯川 寛猛
屬 高橋 善三郎
警部 秋光 一郎
警部 澤本 金吾

阿緬廳委員部

委員長

廳長 立川 連

委員部附

臺東廳委員部

委員長

委員部附

廳長 能勢 靖一

警視 永田 綱明
屬 伊集院 武彦
警部 城戸 彦市
屬 濱崎 敬孝
警部 井野邊 幸如
警部 下川 靜一
警部 妹尾 牛助

花蓮港廳委員部

委員長

委員部附

廳長 飯田 章

警視 宇野 英種
屬 林田 軍五郎
警部 山戸 金三

澎湖廳委員部

委員長

委員部附

廳長 澤井 淵平

屬 川上 千尋
警部 鹽尻 彌太郎
警部 山來 精一

第九章 參加章

臨時戸口調査ニ參加スルハ一ノ名譽ナリ而シテ實査ノ際徽章ヲ佩用スルハ其ノ職責ヲ明ニセムカ爲ナリ依リテ本調査ニ從事スル職員ハ上、臨時戸口調査部長ヨリ下、調査委員ニ至ルマテ準備調査ヨリ實査終了マテ之ヲ佩用セシメ査了後ハ永ク其ノ名譽ヲ表章スルノ記念トシテ各自ニ之ヲ交付セリ地質銀ニシテ佩用ノ位置ハ上衣ノ右胸部トス而シテ其ノ形式左ノ如シ



第十章 經費

戸口調査費 本調査ノ經費豫算額ハ前回調査ノ決算額ヲ標準トシ十年間ニ於ケル物價及勞銀ノ昇騰並人口ノ自然増加ト行政區域ノ擴大トヲ參酌シ尙時勢ノ變遷ニ伴フ結果トシテ調査事項ヨリ結果ノ編成ニ至ルマテ悉ク之カ改善ヲ行ヒ以テ時代ノ要求ニ應ヒムコトヲ期シ當初大正三年度ヨリ同七年度マテノ五箇年度繼續事業トシテ二六萬圓ヲ計上シタレトモ後之ヲ大正三年度ヨリ同六年度マテノ四箇年度繼續ニ改メ更ニ審議精査ノ上二二五、五三〇圓ニ削減シ第三十四帝國議會ノ協賛ヲ求ムルニ至レリ而シテ右ハ原案ノ儘貴衆兩院ヲ通過確定セリ即チ左ノ如シ

第二次臨時戸口調査費豫算(圓)

款	項	目	總費額	支出年度				
				大正三年度	同四年度	同五年度	同六年度	割
事業費	戸口調査費	俸給	11,111	11,111	11,111	11,111	11,111	
		旅費	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	
		雜給及雜費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	

而シテ其ノ決算ハ總額二〇六、六八四圓四〇錢ニシテ各年度科目別ニ掲ケムニ即チ左表ノ如シ

款	項	目	總額
事業費	戶口調查費	伴給 旅費 雜給及雜費	同六年度 20,000圓 同五年度 19,000圓 同四年度 18,000圓 同三年度 17,000圓 同二年度 16,000圓 同一年度 15,000圓

今本調査ニ依リテ得タル本島總人口三、四七九、九二二人ヲ以テ前掲ノ決算額二〇六、六八四圓餘ヲ除スルニ一人ニ付五錢九厘四毛ニ當リ之ヲ前回ノ一人當リ六錢六毛ニ比スレハ其ノ差一厘二毛ノ減額ニシテ而モ本調査ハ一方ニ於テ調査事項ノ増訂ト共ニ結果ノ表章上ニモ幾多ノ改善ヲ加ヘ他方ニ於テ十年前ヨリモ著シク物價及勞銀ノ騰貴シタルニ拘ラス其ノ一人當リニ於テ約二分ノ差減ヲ示スニ至リテハ其ノ費用ノ意外ニ少額ナルヲ證スルニ足ラム是レ經費ノ點ニ於テモ優ニ成功シタルモノト謂フヘシ

旅費支給規程　經費ノ節約ヲ圖ル爲訓令ヲ以テ臨時戶口調査ニ關スル旅費支給規程ヲ定メ監督委員以下各委員及調査委員附通譯ニ旅費ノ給否並支給ノ場合ニ於ケル給額ヲ規定セリ而シテ其ノ支給額ハ日額二圓以內ニシテ前回ノ日額一圓五十錢以內ニ比シ五十錢ヲ増額セ

臨時戸口調査ニ關スル旅費支給規程

者其ノ所轄外ニ出テタル場合ニハ各官廳ニ於テ定メタル其ノ官職相當ノ日額旅費ヲ支給スルコトヲ得

第四條 前二條以外ノ者ニ對シテハ日額旅費二圓以內ヲ支給スルコトヲ得但シ其ノ額ハ月日調査委員長之ヲ定ム

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

各委員 本調査ハ之ニ從事シタル各吏員ノ熱心ナル勤勞ニ依リ豫期以上ノ效果ヲ收メ得タリ就中直接實査ニ當リタル監督委員監督補助委員及調査委員ハ其ノ本官本職ノ如何ヲ問ハス各其ノ擔當事務ヲ誠實敏活ニ處理シ以テ調査ノ進捗ニ多大ノ貢獻ヲ爲セリ依リテ臺灣總督府ハ其ノ勤勞ヲ多トシ大正四年十二月十日付ヲ以テ監督委員以下各委員五三九七人ニ對シ三圓乃至十圓ノ範圍内ニ於テ慰勞金ヲ交付セリ其ノ辭令文及各應別受賞人員左ノ如シ

委員名氏名

臨時臺灣戸口調査ニ關シ勤勞不尠ニ付慰勞金トシテ
金 圓ヲ給ス

大正四年十二月十日

臺灣總督府

受賞人員

宣 寒	監 督 委 員	監 督 補 助 委 員	調 査 委 員
蘭 北	10K 五元	二五元 100元	五元 九

區長及保正 區長及保正ニシテ本調査ノ際當該職員ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ヲ補助シテ功勞アリタル者四、七九六名ニ對シ大正四年十二月十五日付ヲ以テ賞狀ヲ授與セリ其ノ辭令文及各廳別受賞者左ノ如シ

賞 狀

賞狀

廳區長(保正) 氏 名

臨時臺灣戸口調査ノ事務ヲ補助シ其ノ功勞不尠仍テ
賞狀ヲ授與ス

大正四年十二月十五日

臺灣總督府

受賞人員

廳		區		保		正		廳		區		保		正	
嘉	南	新	桃	宜	北	義	投	中	竹	園	蘭	北	義	投	中
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

部員其ノ他 本調査ハ豫期以上ノ效果ト功程ヲ以テ豫定ノ如ク大正六年度ヲ以テ完了セリ
是ニ於テ乎總督府ハ大正七年三月三十日ヲ以テ本調査ニ關スル功勞者即チ部長、副部長、主事、
地方委員長、本部員、地方委員長、部職員等ニ對シテ行賞セリ各等差アリ其ノ辭令文左ノ如シ

辭 令 文

官(職) 氏 名

第二次臨時戸口調査ニ關シ勤勞尠カサルニ依リ
金 圓ヲ賞與ス

大正七年三月三十日

臺灣總督府

後又本部職員中主事以下各掛長ニ對シ賜盃ノ恩典アラムトス(五月二日發令セラル)

第十二章 執務時間

本部ニ於ケル所帶票ノ検査ハ可及的迅速ニ且精細ニ之ヲ行ヒ時機ヲ逸セスシテ其ノ不備ヲ
訂正セシムルノ必要アリ而モ之ニ要スル豫定ノ検査員ヲ得ル能ハス又集計事務ハ最煩瑣ナ
ル手數ト多數ノ人員ヲ要シ其ノ遲速ハ延テ結果ノ表章ニ影響スト雖事務室狹隘ニシテ一時
ニ多數ノ人員ヲ容ルル能ハス從テ普通ノ勤務時間ノミヲ以テシテハ豫定ノ年度内ニ事業ノ
完結ヲ期シ難キヲ認メ大正四年十一月二十九日ヨリ廢休夜勤以テ急速ニ事務ノ結了ヲ期セ
リ此ノ如クニシテ本部ノ事業ハ豫定ノ如ク進捗シ最早延長ノ必要ナキニ至リタルヲ以テ大
正六年十月ヨリ一般官衙ノ執務時間ニ復セリ時間外勤務時間左ノ如シ

時間外勤務時間

年	月	日	平	日	土	曜	日	休	日
至從	大正	四年十二月二十九日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年三月二十九日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年四月三十日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年五月十五日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年五月十六日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年五月二十三日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年六月二十四日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年七月二十五日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年九月二十六日	至從	同	同	同	同	至從	同
至從	同	五年九月三十日	至從	同	同	同	同	至從	同

年	月	日	平	日	土曜	日	休	日
至從	同	同	至從	至從	至從	至從	至從	至從
同	同	同	同	同	同	同	同	同
六	六	六	六	六	六	六	六	六
年	年	年	年	年	年	年	年	年
九	五	四	五	四	三	二	一	〇
月	月	月	月	月	月	月	月	月
三	三	三	三	三	三	三	三	三
十	十	十	十	十	十	十	十	十
日	日	日	日	日	日	日	日	日

大正五年三月十一日ヨリ同年四月十九日マテ及大正六年五月十七日ヨリ同年八月二日マテハ時間外勤務ヲ爲サス

一般官衙ノ勤務時間左ノ如シ

從五月一日 平日及土曜日 從午前八時至正午
至九月三十日 日曜日及大祭日 全 休

從十月一日 平日 從午前九時至午後四時
至四月三十日 土曜日 從午前九時至正午
日曜日及大祭日 全 休

第十三章 出版公布

第二次臨時臺灣戶口調査概覽表 前回調査ニ於ケル要計表ハ單ニ調査委員要計表ヨリ得タル街庄別住居所帯現在人口ノ體性別及常住人口ヲ表章シタルノミニシテ人口組織ノ一般的觀察ヲ爲シ能ハサルヲ以テ時代ノ要求ニ應セムカ爲本調査ニ於テハ要計表ニ代フルニ概覽表ヲ以テセリ蓋シ概覽表ハ土地ノ區分ヲ詳細ニシ事項ノ區分ヲ概括セルヲ以テ前者ハ之ヲ街庄別トシ後者ハ之ヲ適宜括約シテ三表ト爲セリ即チ一般的ノモノニ二表種族特種ノモノニ一表ヨリ成リ其ノ第一表ハ前回調査ノ要計表現在人口ヲ種族別ニ改メタルモノ第二表ハ種族及體性別年齡、職業、教育ノ程度及不具ヲ第三表ハ内地人ノ體性別出生地及渡臺ノ年、本島人及支那人ノ體性別阿片烟膏吸食特許者及纏足者解纏足者ヲ表章シ尙附録トシテ調査委員及監督委員要計表ヨリ得タル實地調査及所帶票整理並之カ檢査ニ要セシ時間數其ノ他調査區畫調査委員及監督委員等ノ官職別等ヲ收録ス而シテ本書ハ四六四四倍版一〇二八頁ノ龐大ナル報告書ニシテ大正六年五月二十五日其ノ編纂ヲ了リ同年九月十日刷了セリ

第二次臨時臺灣戶口調査職業名彙 本書ハ所帶票ヨリ收録シタル職業名ヲ分類、内地語及土語ニ分チ此ノ三者ヲシテ相互對觀スルヲ得セシムルノ目的ヲ以テ分類引イロハ引及字畫引ノ三編ニ區分ス其ノ編纂印刷ノ體裁ハ大體ニ於テ前回調査ノ職業名彙ト其ノ形式ヲ同一ナラシメタルモ土語ニ對スル傍訓及發音符號ハ之ヲ省略セリ而シテ本書所載ノ職業名ハ其ノ數七、五五八ニシテ之ヲ前回調査ノ職業名四、二九九ニ比スレハ七割五分ノ増加ナリ尙本書ハ四六二倍版四九八頁ニシテ大正六年六月二十五日其ノ編纂ヲ了リ同年八月十七日刷了

セリ
第二次臨時臺灣戸口調査集計原表 本書ハ之ヲ全島之部ト地方之部トノ二冊ニ區分セリ蓋シ原表ハ頗ル浩瀚ニシテ悉ク之ヲ刊行スル能ハサルヲ以テ全島之部ニ在リテハ原表ニ何等ノ輯約ヲ加ヘス其ノ儘印刷ニ附シタルモ地方之部ニ在リテハ多少事項ノ省略ヲ爲シ其ノ大要ヲ摘録セリ而シテ全島之部ハ大正六年七月十二日地方之部ハ同年八月二十日其ノ編纂ヲ了シ前者ハ同年十月二十七日後者ハ同年十二月五日印刷ヲ了セリ其ノ體裁ハ概ネ前回調査ノ集計原表ト同一形式ニシテ孰モ四六二倍版其ノ頁數全島之部一五二頁地方之部一五〇二頁ナリ
第二次臨時臺灣戸口調査結果表 本書ハ集計原表ノ事實ヲ分合シテ之ニ比例ヲ附シ一ハ以テ記述ノ根據ト爲シ一ハ以テ應用ノ資料ト爲ス其ノ體裁ハ概ネ前回調査ノ結果表ニ同シキモ内容ハ大ニ改善セル所アリ四六二倍版五四六頁ニシテ大正七年一月二十一日其ノ編纂ヲ了リ同年三月二十日印刷ヲ了セリ
第二次臨時臺灣戸口調査記述報文和文之部 本書ハ本調査ノ結果ヲ論究記述シタルモノニシテ全編ヲ緒論及第一章乃至第十二章ニ分チ別ニ附録トシテ記述ノ資料トシテ作成シタル統計表ヲ收ム大サ四六二倍版ニシテ本文六一六頁附録四五〇頁ニシテ統計圖表二一枚ヲ附ス大正七年二月五日其ノ編纂ヲ了リ同年三月二十八日刷了セリ
近刊 以上ノ出版物ハ其ノ刷成ニ從ヒ孰モ之ヲ公布セリ尙右ノ外第二次臨時臺灣戸口調査記述報文ノ英譯及第二次臨時臺灣戸口調査顛末アリ前者ハ近ク刊行スヘク後者ハ本編即是ナリ

大正七年九月十二日印刷
大正七年九月十四日發行

臺灣總督官房調査課

臺北府中街四丁目拾五番戸

印刷者 中 村 誠 道

臺北石坊街壹丁目拾番戸

印刷所 松 浦 屋 印 刷 部